NTT DoCoMo

Designed for Microsoft® Windows® XP

# 取扱説明書 アプリケーション編

# FOMA® SH900i '05.1




i mode®

# ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA SH900i」を
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
FOMA SH900iの取扱説明書は、『基本編』、『アプリケーション編』
の２冊から構成されています。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書『アプリケーション編』および
別冊の『基本編』をよくお読みいただき、
FOMA SH900iを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。
FOMA SH900iは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取扱いのうえ、末長くご愛用ください。

## FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモ及び別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性等に関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

FOMA端末、FOMAカードをお使いになる前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。また、電池パックおよびアダプタ（充電器を含む）をお使いになる前には、機器に添付の個別の取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

■お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合　（局番なしの）151　無料
※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合
0120-800-000（携帯・PHS OK）
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

※（FOMA）商品については一部取り扱ってない店舗がございます。あらかじめご了承ください。

この『FOMA SH900i取扱説明書アプリケーション編』の本文中においては、「FOMA SH900i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

# 著作権と商標について

## 著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。
- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用についてはライセンス許諾されておりません。
  ・ MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
  ・ 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを複号すること。
  ・ ライセンス許諾を受けているプロバイダーから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。但し、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得及びロイヤリティの支払いが必要となります。
  ・ タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録又は複製すること。
  ・ 永久記録及び／又は使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザーに配信すること。
  追加のライセンスについては米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。

## 登録商標・商標について

- 「FOMA／フォーマ」、「ｉメロディ／アイメロディ」、「mopera／モペラ」、「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」、「ｉエリア／アイエリア」、「FirstPass」、「キャラ電」、「デコメール／デコレーションメール」、「着モーション」、「ｉショット／アイショット」、「Freedom Of Mobile multimedia Access」、「マルチアクセス」、「ｉモーションメール／アイモーションメール」、「ｉアプリ／アイアプリ」、「ｉモーション／アイモーション」、「ｉモード」、「デュアルネットワーク」、「クイックキャスト」、「i-mode」ロゴ、「i-motion」ロゴ、「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。　Copyright © 1996-2004 ACCESS CO., LTD.
  NetFront及び **NetFront** は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、簡易ウインドウマネージャ機能ソフトウェアとして、株式会社ACCESSのWAVEを搭載しています。
  Copyright © 1997-2004 ACCESS CO., LTD.
- Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  （Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- 本製品は、赤外線データ通信機能として株式会社ACCESSのIrFront®を搭載しています。
  IrFront®は株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
  Copyright © 1996-2004 ACCESS CO.,LTD.
- JAVAおよびすべてのJAVA関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 下記の１件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4,901,307 | 5,490,165 | 5,056,109 | 5,504,773 | 5,101,501 | 5,506,865 | 5,109,390 | 5,511,073 |
| 5,228,054 | 5,535,239 | 5,267,261 | 5,544,196 | 5,267,262 | 5,568,483 | 5,337,338 | 5,600,754 |
| 5,414,796 | 5,657,420 | 5,416,797 | 5,659,569 | 5,710,784 | 5,778,338 | | |

- 本製品のインターネット通信機能は、株式会社ACCESSのAVE-TCPを搭載しています。
  **AVE-TCP** は、株式会社ACCESSの日本国およびその他の国における登録商標または商標です。
  Copyright © 1986-2004 ACCESS CO.,LTD.
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。
  Copyright © 1995-2004 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- miniSD™ miniSD™マークは商標です。
- Powered by JBlend™　© 1997-2004 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- ドキュメントビューアはPicsel Poweredにより実現しております。
  Picsel, PicselPowered and the Picsel cube logo are trademarks or registered trademarks of Picsel Technologies Ltd and/or its affiliates.
- 「**CP8 PATENT**」
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

# 取扱説明書の構成について

FOMA SH900iの取扱説明書は、『基本編』、『アプリケーション編』の２冊で構成されています。

以下に各取扱説明書の概要をご紹介します。目的に合わせてお読みください。なお、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

## FOMA SH900i取扱説明書　基本編

- 各部の名称や機能、電池パックの充電方法など、FOMA端末の基本的な事柄について説明しています。
- 電話のかけかた／受けかた、文字の入力方法など、FOMA端末の基本操作について説明しています。
- 電話をかけるときの機能や通話中の機能、FOMA端末を便利に使うための各種設定方法や操作方法について説明しています。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、当社が提供するネットワークサービスについて説明しています。
- 「故障かな？」と思ったときの対処方法やアフターサービスなどについて知っておいていただきたいことを説明しています。

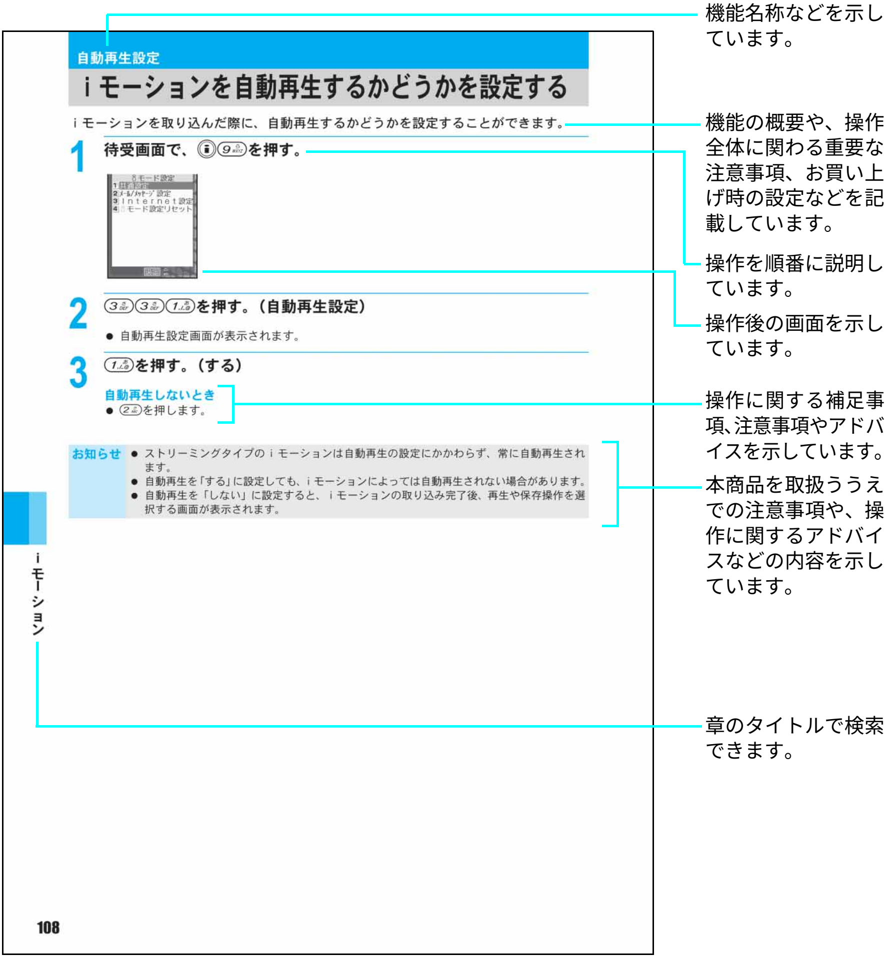
## FOMA SH900i取扱説明書　アプリケーション編（本書）

- ｉモードでサイトへ接続する方法や、ｉアプリ、ｉモーションを利用する方法について説明しています。
- ｉモードメールやSMS（ショートメッセージサービス）を利用してメールをやり取りする方法について説明しています。
- カメラの使い方や画像、動画／ｉモーション、メロディの操作方法などについて説明しています。
- 赤外線通信機能やminiSDメモリーカードの操作方法について説明しています。
- FOMA PC設定ソフトのインストールについて説明しています。また、FOMA SHシリーズデータリンクソフトをご紹介しています。
- FOMA端末のパケット通信機能、64Kデータ通信機能などの利用方法について説明しています。

# 本書の見かたについて

## 本書の記載について

本書の誌面は、次のように構成されています。



自動再生設定

**iモーションを自動再生するかどうかを設定する**

iモーションを取り込んだ際に、自動再生するかどうかを設定することができます。

**1** 待受画面で、(i)(9)を押す。

**2** (3)(3)(1)を押す。（自動再生設定）

● 自動再生設定画面が表示されます。

**3** (1)を押す。（する）

自動再生しないとき
● (2)を押します。

お知らせ
● ストリーミングタイプのiモーションは自動再生の設定にかかわらず、常に自動再生されます。
● 自動再生を「する」に設定しても、iモーションによっては自動再生されない場合があります。
● 自動再生を「しない」に設定すると、iモーションの取り込み完了後、再生や保存操作を選択する画面が表示されます。

iモーション

108



**お知らせ**

● 本書でのボタンの表記方法については、『基本編』P.31を参照してください。
● お買い上げ時の設定については、『基本編』P.320～P.326の「メニュー一覧」を参照してください。
● 表中に参照ページの項目がある場合、基は『基本編』のページを表しています。
例：

| メニュー | 機　能 | 表示される画面 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電話機能 | 自分の電話番号 | 電話番号確認画面 | 基P.58 |
| メール機能 | メールを書く | メール作成の宛先／題名／本文入力画面 | P.127 |

# 目次



## はじめに



## ｉモード編

### ｉモードとは



### サイト（番組）接続



### ｉアプリを利用する

## キャラ電



## ｉモーション



## メッセージサービスを利用する



# メール編

## メールサービスを利用する



## ｉモードメールとは

## ショートメッセージを作成して送信する（SMS）



## メールBOX



## メール機能を設定する

# マルチメディア編

## カメラ機能を利用する



## イメージビューア



## ビデオプレーヤ

## メロディプレーヤ



## ドキュメントビューア



# FOMA端末データ交換編

## 赤外線通信を利用する



## miniSDメモリーカード



# データ通信編

## データ通信をはじめる前に



## 通信設定ファイルをインストールする

## FOMA PC設定ソフトを利用する



## FOMA PC設定ソフトを利用しない設定方法



# 付録

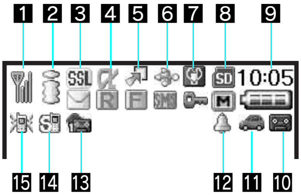
▶MEMO◀

# はじめに

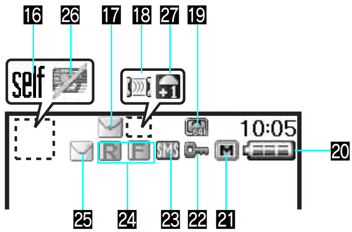
# ディスプレイの見かた

FOMA端末にはメインディスプレイとサブディスプレイがあります。電源を入れたときや機能の設定中などに、現在の状態を確認することができます。
何かのボタンを押すと一定時間、ディスプレイの照明が点灯します。お買い上げ時は、「15秒」に設定されています。(☞『基本編』P.176)

## メインディスプレイ上部に表示されるマーク



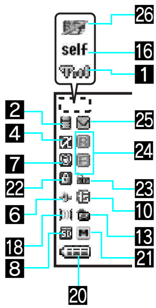
## メインディスプレイ上部に表示されるマーク



## メインディスプレイ下部に表示されるマーク




## サブディスプレイ



**1** 電波状態表示(☞『基本編』P.63)
電波の強さの目安を表示します。

**2** iモード表示(☞P.34)
iモードの状態を表示します。

**3** SSL表示(☞P.36)
SSLに対応しているサイトやホームページを表示中に表示します。

**4** iアプリ表示(☞P.74)
iアプリの状態を表示します。
：iアプリ実行中
　iアプリ待受画面表示中※
：iアプリ待受画面設定中
：iアプリDX実行中
　iアプリDX待受画面表示中※
：iアプリDX待受画面設定中
※ iアプリが待受画面として表示されていますが操作できない状態です。

**5** ショートカットメニュー表示
(☞『基本編』P.236)
ショートカットメニューに登録できるときに表示します。

**6** 外部機器接続表示(☞P.355)
パソコンなどの外部機器を接続しているときに表示します。
：外部機器を接続中
(緑色)：外部機器を接続し、パケット通信中
(赤色)：外部機器を接続し、パケットデータ送受信中
：外部機器を接続し、64Kデータ通信中

**7** マナーモード表示
(☞『基本編』P.139)
マナーモード設定中に表示します。

**8** miniSDメモリーカード表示
(☞P.332)
(グレー)：miniSDメモリーカードを装着中
(ピンク)：miniSDメモリーカード内のデータを参照中
(点滅)：miniSDメモリーカードにアクセス中

**9** 時計表示(☞『基本編』P.56)
設定されている時刻を表示します。

**10** 伝言メモ表示
（☞『基本編』P.79）
音声電話伝言メモまたはTV電話伝言メモを設定しているときに表示します。伝言メモが録音されているときは、両方の件数を合わせ、「～」と表示されます。

**11** ドライブモード表示
（☞『基本編』P.76）
ドライブモードを設定しているときに表示します。

**12** アラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラーム表示
（☞『基本編』P.201、P.216、P.232）
その日にスケジュールアラーム、ToDoアラームまたはアラームが設定されているときに表示します。

**13** 留守番電話新メッセージあり
（☞『基本編』P.266）
留守番電話サービスをご利用の場合で、新しい伝言メッセージがあるときに表示します。

**14** サイレント表示（☞『基本編』P.75）
音声電話着信音選択を「サイレント」に設定しているときに表示します。

**15** バイブレータ表示
（☞『基本編』P.141）
バイブレータを設定しているときに表示します。

**16** セルフモード表示self
（☞『基本編』P.197）
セルフモードを設定し、電話の発信、着信、ｉモードメール／SMSの送受信、ｉモード、赤外線通信の機能を使えないようにしたときに表示します。

**17** アシスタントビュー表示
（☞『基本編』P.258）
アシスタントビューを起動してデータを確認しているときに起動元アプリケーション種別を表示します。
：ｉモードメール／SMS
：通話中
：電話帳
：ToDoリスト
：スケジュール
：テキストメモ
：ｉモード

**18** 赤外線通信表示
赤外線通信機能で他の機器とデータ通信を行っているときに表示します。（☞P.324）
赤外線リモコンの送信中に点滅します。（☞P.331）

**19** 音声／テレビ電話中表示
（☞『基本編』P.62、P.69、P.86）
音声電話中やテレビ電話の通話の状態を表示します。
：テレビ電話（32K）中
：テレビ電話（64K）中
：音声電話中
：ハンズフリー（テレビ電話32K）中
：ハンズフリー（テレビ電話64K）中
：ハンズフリー（音声電話）中

**20** 電池残量／充電中表示（☞『基本編』P.54）
電池パックの状態を表示します。

**21** メモリ警告表示
マルチメディア用のメモリの状態を表示します。
：イメージのメモリの空き容量が6Kバイト未満になったとき、または静止画の保存件数が300件に達したときに表示されます。
：ｉモーションのメモリの空き容量が10Kバイト未満になったとき、または動画／ｉモーションの保存件数が100件に達したときに表示されます。
：イメージとｉモーションのメモリの空き容量について、上記の両方の状態が重なったときに表示されます。

**22** 制限表示（☞『基本編』P.191）
各種制限の設定状態を表示します。
：シークレットモード
：シークレットデータ編集中
：ダイヤル発信制限中
：オールロック中
：PIMロック中
：背面ボタン操作無効設定中（サブディスプレイのみ）

**23** SMS受信表示（☞P.168）
SMSの受信状態を表示します。
（緑色）：SMSを受信したときに表示されます。
（黒色）：FOMA端末（本体）のSMSがいっぱいのときに表示されます。
（青色）：FOMAカードのSMSがいっぱいのときに表示されます。
（黄色）：FOMA端末（本体）とFOMAカードのSMSがいっぱいのときに表示されます。

**24** メッセージRアイコン、メッセージFアイコン表示（☞P.111）
メッセージR／F受信状態、センターのメッセージR／F保管状態を表示します。ただし、センター保管中でも表示されないことがあります。

はじめに

次ページへ続く

はじめに

㉕ｉモードメール受信表示
（☞P.139）
ｉモードメールの受信状態、センターのｉモードメールの保管状態を表示します。ただし､センター保管中でも表示されないことがあります。また、受信メールを保存するメモリの状態を表示します。

㉖FOMAカードエラー表示
FOMAカードのエラーを表示します。
：FOMAカードが挿入されていないとき、またはドコモ以外のFOMAカードを挿入したときに表示します。

㉗テレビ電話中明るさ表示
–2　–1　+1　+2
明るさが±0のときは表示されません。

㉘操作ガイダンス
、、などのボタン操作で利用できる機能を表示します。

㉙画面ナビゲーション
マルチガイドボタンで切り替えられる画面の方向などを表示します。
● サイトの作りかたによっては、この限りではありません。

## その他のマークについて

次の機能をご利用時に表示されるマークについては､各機能のページを参照してください。

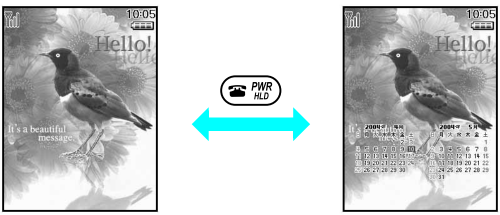
- 着信履歴（☞『基本編』P.72）
- カメラモード（☞P.213～P.216）
- ｉモード（☞P.34）
- メール（☞P.177～P.182）
- SMS（☞P.177～P.182）
- 電話帳（☞『基本編』P.107）
- メッセージR／F（☞P.111～P.116）
- マルチメディアのイメージ（☞P.256～P.257）

お知らせ
- 本書内ではminiSDメモリーカードのことを､「miniSDメモリーカード」または「miniSD」と記載していますが、FOMA端末では「miniSD」または「SD」と表示されます。
- 本書内で記載しているディスプレイの表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- FOMA SH900iのディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

ディスプレイの表示について
- 本書では､表示をおもにお買い上げ時の状態をもとに説明していますので､お買い上げ後の設定変更等によっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- サイトによっては、Flash画像が表示されているとき、ディスプレイの表示が異なる場合があります。

# メインディスプレイの表示を切り替える

カレンダー表示を設定しているときに待受画面でを押すと、待受画像表示とカレンダー表示が切り替わります。




待受画像表示

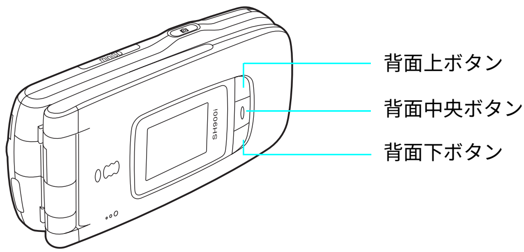
カレンダー表示
（２ヶ月表示）

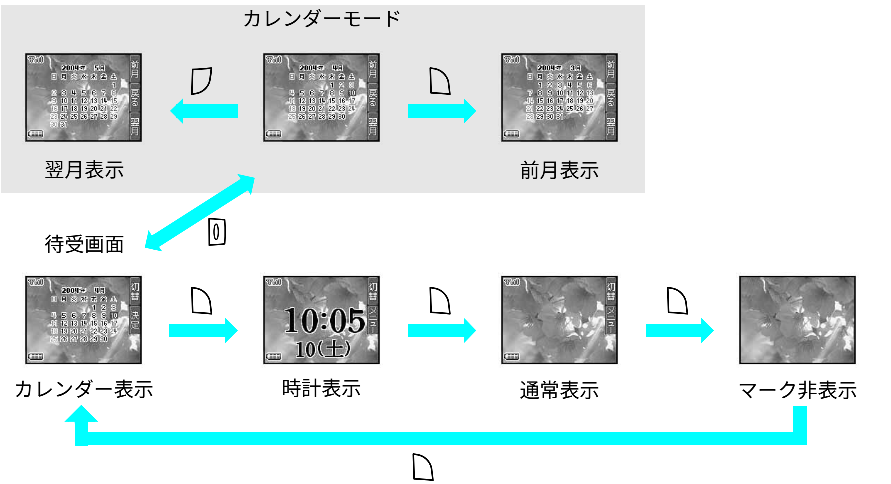
- ２ヶ月表示に設定すると、今月と次月のカレンダーが表示されます。６ヶ月表示に設定すると、今月を含む２ヶ月単位で、奇数月を先頭に、６ヶ月分のカレンダーを表示します。を押すと、前後の月のカレンダーを表示します。６ヶ月表示の場合は、前後２ヶ月分のカレンダーを表示することができます。
- ｉアプリ待受画面にカレンダーを重ねて表示することはできません。
- 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像、ｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。
- 「１ヶ月（大）」を設定しているときは、スケジュールが設定されている日付にアイコン表示されます。

## サブディスプレイの表示を切り替える

FOMA端末を閉じた状態で（背面上ボタン）を押すと、カレンダー／時計／通常表示／マーク非表示を切り替えることができます。

- 時計やカレンダー表示が「OFF」に設定されているときは（『基本編』P.169）、カレンダーや時計に切り替わりません。
- サブディスプレイに対応した待受ｉアプリの表示中は、表示を切り替えることができません。




**お知らせ**

**前月のカレンダーを表示するとき**

- 待受画面をカレンダー表示に切り替えたあと、（背面中央ボタン）を押し、カレンダーモードで、（背面上ボタン）を押します。

**翌月のカレンダーを表示するとき**

- 待受画面をカレンダー表示に切り替えたあと、（背面中央ボタン）を押し、カレンダーモードで、（背面下ボタン）を押します。

# 背面ボタンやシャッターの操作

サブディスプレイと背面ボタンやシャッターを使うと、FOMA端末を折りたたんだままで、基本的な操作を行うことができます。

● 待受画面で



（表示する画像は変更できます。）

| ボタン | | 説　明 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| （背面上ボタン） | 短く押す | カレンダー表示→時計表示→通常表示→マーク非表示を交互に切り替えます。<br>例：カレンダー表示<br><br>● サブディスプレイのカレンダー表示設定、時計表示設定がそれぞれ「OFF」に設定されているときは、カレンダー表示、時計表示には切り替わりません。 | P.15 |
| | 1秒以上押す | シャッターと背面ボタンの操作を無効にします。<br>設定中に、もう一度1秒以上押すと、解除されます。 | 基P.198 |
| （背面中央ボタン） | 短く押す | クイックメニューを表示します。（背面上ボタン）と（背面下ボタン）でメニューを選び、（背面中央ボタン）で決定できます。<br>（背面中央ボタン）を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。<br><br>● カレンダー表示のとき、クイックメニューは表示されません。 | 基P.42 |
| | 1秒以上押す | 待受画面に設定したｉアプリのソフトを操作できるようにします。 | P.84 |
| （背面下ボタン） | すばやく2回押す | ｉモードメールやメッセージR／Fが届いているかどうかのｉモード問い合わせを行います。<br>（背面中央ボタン）を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。 | P.114<br>P.144 |
| | 1秒以上押す | スポットライトを点灯します。もう一度1秒以上押すと、消灯します。点灯しているときにさらに、（背面下ボタン）を押すと、ライトの色が「白、赤、緑、青、黄色、紫、水色、白」の順に切り替わります。 | ー |
| シャッター | 短く押す | 不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話の有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、「バイブパターン1」で2回振動します。何もない場合は「バイブパターン2」で2回振動します。<br>シャッター半押し状態では動作しませんので、ご注意ください。 | P.141<br>基P.79<br>基P.179 |
| | 1秒以上押す | 静止画撮影画面が表示され、カメラ撮影できる状態になります。<br>（背面中央ボタン）を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。 | P.221 |

● 電話がかかってきたとき




（相手表示設定（☞『基本編』P.180）が「ON」に設定されているとき、電話帳に登録された相手の方からかかってくると、名前と電話番号が表示されます。
電話に出るときは、FOMA端末を開いて、を押します。）

| ボタン | | 説　明 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| （背面上ボタン） | 1秒以上押す | 伝言メモで応答します。 | 基P.83<br>基P.93 |
| （背面中央ボタン） | 1秒以上押す | 着信音を止めます。<br>（クイックサイレント）<br>バイブレータ設定中は、バイブレータも止まります。 | 基P.70 |
| （背面下ボタン） | 1秒以上押す | 応答保留になります。 | 基P.76<br>基P.91 |

● 不在着信があるとき



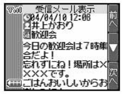

| ボタン | | 説　明 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| （背面中央ボタン） | 短く押す | 最新の不在着信が表示されます。<br>（背面上ボタン）を押すと、1つ前の不在着信、（背面下ボタン）を押すと、次の不在着信が表示されます。<br> | 基P.79 |
| | 1秒以上押す | 待受画面に戻ります。 | 基P.79 |
| シャッター | 短く押す | 不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話の有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、「バイブパターン1」で2回振動します。何もない場合は「バイブパターン2」で2回振動します。<br>シャッター半押し状態では動作しませんので、ご注意ください。 | P.141<br>基P.79<br>基P.179 |

次ページへ続く

はじめに

● 新着メールがあるとき




| ボタン | | 説　明 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| [0]<br>（背面中央ボタン） | 短く押す | 最新の新着メールの内容を表示します。◸（背面上ボタン）を押すと、１つ前の新着メール、◿（背面下ボタン）を押すと、次の新着メールが表示されます。<br>メールの内容を表示しているとき、[0]（背面中央ボタン）を押すと、ページ単位で下にスクロールします。<br><br>● メール本文を表示しない場合は、メール本文表示（☞基P.179）を「OFF」に設定します。 | P.141 |
| | １秒以上押す | 待受画面に戻ります。 | － |

● アラーム時刻になったとき




| ボタン | | 説　明 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 背面ボタンのいずれか | 短く押す | アラーム音が止まります。メッセージが表示されているときは、[0]（背面中央ボタン）を１秒以上押すと、待受画面に戻ります。 | 基P.206 |

● カメラモード（静止画撮影画面）で



| ボタン | | 説　明 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| ◸<br>（背面上ボタン） | 短く押す | ズームアップ | P.233 |
| | １秒以上押す | 瞬間連続ズームアップ | P.233 |
| [0]<br>（背面中央ボタン） | 短く押す | カメラメニューを表示します。◸（背面上ボタン）と◿（背面下ボタン）でメニューを選び、[0]（背面中央ボタン）で決定できます。 | P.229 |
| | １秒以上押す | カメラファインダー状態の場合、待受画面に戻ります。<br>撮影直後の場合、終了確認画面が表示されます（自動保存モードがONのとき（☞P.241）は表示されません）ので「はい」を選び、[0]（背面中央ボタン）を押すと、待受画面に戻ります。「いいえ」を選び、[0]（背面中央ボタン）を押すと、前画面に戻ります。 | － |
| ◿<br>（背面下ボタン） | 短く押す | ズームダウン | P.233 |
| | １秒以上押す | 瞬間連続ズームダウン | P.233 |
| シャッター半押し | | フォーカスをロックします。 | P.238 |
| シャッター全押し | | 撮影します。 | P.238 |

# マルチアクセス・アシスタントビューについて



FOMA端末では音声電話と一部のパケット通信（ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信）の複数の通信を同時に利用できます。これをマルチアクセスと呼びます。（☞『基本編』P.255）

- マルチアクセスとは別に、音声電話などの通信中にSMSの受信を行うことができます。
- 音声電話中にｉモードおよびｉモードメール送信はできません。

アシスタントビューとは、１つの機能を実行中に別の機能を呼び出したり、データを参照することができる機能です。アシスタントビューを使うと、音声電話中に受信したｉモードメールやSMSを見ることができます。（☞『基本編』P.258）

## マルチアクセスの主な組み合わせ

FOMA端末で同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

| 実行する通信／現在の通信状態 | 音声電話 | | テレビ電話 | | ｉモード接続 | ｉモードメール | | SMS | | データ通信（パケット） | | データ通信（64K） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 発信 | 着信 | 発信 | 着信 | | 送信 | 受信 | 送信 | 受信 | 発信 | 着信 | |
| 音声電話中 | ×※1 | ×※1 | × | ×※2 | × | × | ○※3 | × | ○※3 | ○※9 | × | × |
| テレビ電話中 | × | × | × | × | × | × | × | × | ○※3 | × | × | × |
| ｉモード中 | ○※4 | ○ | ×※5 | × | × | ○※6 | ○※3 | × | ○※3 | × | × | × |
| ｉアプリ中 | × | ○ | × | ×※7 | × | ×※8 | ○※3 | × | ○※3 | × | × | × |
| データ通信中（パケット） | × | ○※10 | × | × | × | × | × | × | ○※3 | × | × | × |
| データ通信中（64K） | × | × | × | × | × | × | × | × | ○※3 | × | × | × |

○：現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理することができます。
×：現在の通信状態を継続します。（実行する通信を処理することはできません。）

※１ キャッチホンをご契約されていれば、処理することができます。（☞『基本編』P.268）

※２ 音声電話を継続するか、音声電話を切断してテレビ電話を受けるか選択できます。

※３ ｉモード問い合わせ／SMS問い合わせはできません。自動受信のみとなります。

※４ Phone To機能による発信が可能です。（☞P.58、P.75）

※５ Phone To機能による発信が可能ですが、ｉモード通信は終了します。テレビ電話を終了すると、元の画面に戻ります。（☞P.58）

※６ Mail To機能による送信が可能です。（☞P.59）

※７ テレビ電話を受けると、ｉアプリは終了します。

※８ ｉモードメールを送信すると、ｉアプリは終了します。

※９ 通話中はFOMA端末でデータ通信中（パケット）の画面が表示されます。このとき通信終了操作を行うと、まずデータ通信が終了し、その後の通信終了操作により音声電話が終了します。

※10 通信中は音声電話中の画面が表示されます。
このとき通信終了操作を行うと、まず音声電話が終了し、その後の通信終了操作によりデータ通信（パケット）が終了します。（パソコン等の接続機器で通信終了操作を行うと、上記にかかわらずデータ通信（パケット）を終了することができます。）

# FOMA端末での保存・登録および保護件数



FOMA端末では、送受信したSMSやｉモードメール、受信したメッセージリクエスト／フリー、ブックマーク、画面メモ、URL履歴、取り込んだｉアプリのソフト、ｉモーションなどを保存・登録、保護することができます。それぞれの最大件数は次のとおりです。（各機能の詳細については、表中の参照ページをご覧ください。）

| | | 保存・登録件数 | 保護件数 | 参照ページ |
|---|---|---|---|---|
| ｉモードメール | 受信メール※1 | 最大10～1000件 | 最大510件（SMSと合わせて） | P.139 |
| | 送信メール | 最大４～100件（未送信メールと合わせて） | 最大60件（SMS、未送信メールと合わせて） | P.176 |
| | 未送信メール | 最大４～100件（送信メールと合わせて） | － | P.176 |
| | 署名 | １件 | － | P.202 |
| SMS※2 | 受信SMS | 最大20件 | 最大20件（ｉモードメールとの合計は最大510件） | P.170 |
| | 送信SMS | 最大20件（未送信SMSと合わせて） | 最大20件（ｉモードメール、未送信メールとの合計は最大60件） | P.164 |
| | 未送信SMS | 最大20件（送信SMSと合わせて） | － | P.166 |
| メールの受信BOX | フォルダ | 最大10個 | － | P.183 |
| メールの送信BOX | フォルダ | 最大10個 | － | P.183 |
| メッセージリクエスト／フリー | リクエスト | 最大10～50件 | 最大25件 | P.111 |
| | フリー | 最大10～50件 | 最大25件 | P.111 |
| ブックマーク | ブックマーク | 最大100件 | － | P.45 |
| | ブックマークフォルダ | 最大10個 | － | P.46 |
| 画面メモ※1 | | 最大400件 | 最大200件 | P.50 |
| URL履歴 | | 最大10件 | － | P.44 |
| ｉアプリのソフト※1 | | 最大10～100件 | － | P.72 |
| 静止画、アニメーション | カメラ※1 | カメラ、取り込みを合わせて最大300件 | － | P.212 |
| | 取り込み※1 | | － | P.54 |
| ｉモーション | カメラ※1 | カメラ、取り込みを合わせて最大100件 | － | P.105 |
| | 取り込み※1 | | － | P.136 |
| メロディ（ｉメロディ） | 取り込み※1 | 最大100件 | － | P.56 |
| キャラ電 | 取り込み※1 | 最大30件（ただし最大サイズのコンテンツで保存可能な最大件数は５件） | － | P.90 |

※１ 保存・登録、保護できる最大数は、データ量によって変わります。保存・登録した画面メモのデータ量が大きいときは保存・登録、保護できる最大件数は少なくなります。

※２ SMSは、送信SMSと受信SMSをFOMAカードにさらに合計20件まで保存することができます。

お知らせ

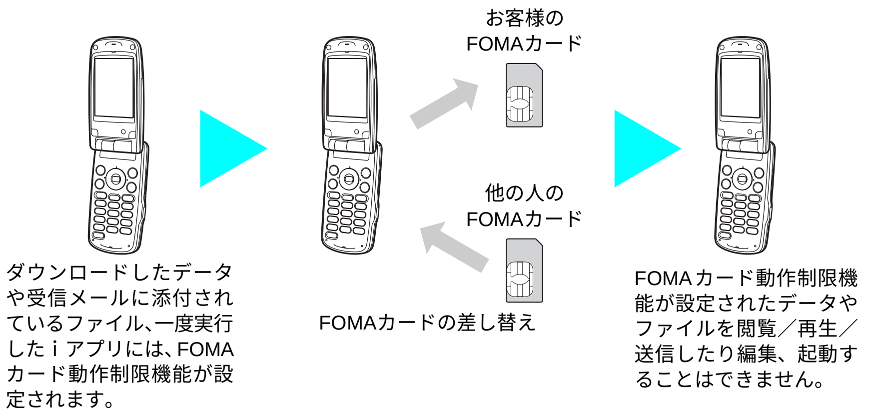
- FOMA端末に保存されている内容（メール、メッセージリクエスト／フリー、画面メモ、ｉアプリ）やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約１ヶ月は記憶されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、FOMA端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えを取っておくことをおすすめします。万が一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためのセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末に、FOMAカードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得したり、iアプリを実行したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
  - ■ サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどのファイルをダウンロードしたとき
  - ■ サイトやインターネットホームページを画面メモとして保存したとき（ただし、画像の含まれない画面メモは除く）
  - ■ ファイルが添付されているiモードメールを受信したとき
  - ■ iアプリを実行したとき
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイル、ソフトは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／iモードメールへの添付／ソフトの起動／赤外線通信機能によるデータの送信、miniSDメモリーカードへのコピーなどを実行することができます。
- データ、ファイルの取得時やiアプリの実行時に挿入していたFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。

※ 以降、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。




**お知らせ**

- 他の人のFOMAカードに差し替えたときに、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定することはできません。
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能がはたらき、サイトなどから取得したデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定してあった場合、お買い上げ時の設定で動作します。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。

**＜例：FOMAカード動作制限機能が設定された「メロディA」を着信音に設定したとき＞**
お客様のFOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたときに着信音選択で表示される設定内容は「メロディA」になりますが、実際に着信があったときにはお買い上げのときに設定されていた着信音が鳴ります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、「メロディA」の着信音に戻ります。

- 赤外線通信機能やデータの送受信機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影した静止画／連続画像／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを移動したり削除することはできます。
- iモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択して、iアプリを起動したりiモーションを取り込む場合も、FOMAカード動作制限機能が設定されていると、起動や取り込みができません。
- iアプリを待受画面に設定後、FOMAカードを差し替えると、設定したiアプリを待受で起動できないため、待受画面に戻ります。その際、待受画面には待受画面設定で設定した画像が表示されます。

# FOMAカードのバージョンについて

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色）」とは次のような違いがあります。ご注意ください。

| 機　能 | FOMAカード（青色） | FOMAカード（緑色） | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数 | 最大20桁 | 最大26桁 | 基P.117 |
| FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作 | 利用不可 | 利用可 | P.64 |
| World Wingの利用 | 利用不可 | 利用可 | ― |

## World Wingについて

● World Wingとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。World Wingのご利用にはお申し込みが必要です。詳しくは、下記にお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合　（局番なしの）151　無料

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

0120-800-000

携帯・PHS OK

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

►MEMO◄

# ｉモード編



※ 掲載している画面はイメージのため、実際の画面とは異なる場合があります。

# ｉモードとは

ｉモードでは、ｉモード対応FOMA端末（以下ｉモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、ｉモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

## サイト（番組）接続

ｉモードメニューからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

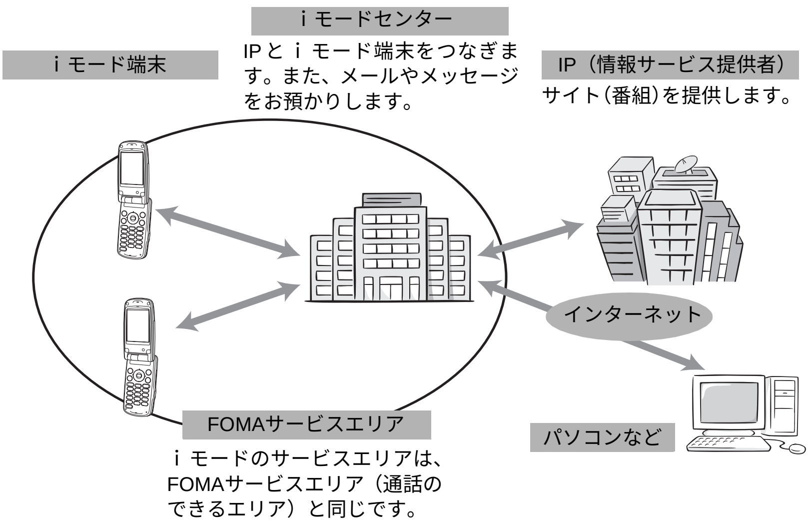
## インターネット接続

ｉモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、ｉモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

## ｉモードメール

ｉモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

## サービスのしくみ




ｉモードは、お申し込みが必要な有料サービスです。
お申し込みに関するお問い合わせは

| ドコモの携帯電話、PHSからの場合 | （局番なしの）151 | 無料 |
|---|---|---|

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

0120-800-000

携帯・PHS OK

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

**お知らせ**
- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。

**お知らせ**

- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引継がれます。サイトによって、FOMAに「マイメニュー」が引継がれないサイトもございますので、その場合は再登録をお願いします。なお、「マイメニュー」引継対応サイトについては、ｉMenu内「お知らせ&ヘルプ」でご確認できます。
- ｉモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、ｉモードご契約時にお渡しする『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。
- ｉモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは、最新の『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。

## ｉモード画面について




| メニュー | 機　能 |
|---|---|
| 1 ｉＭｅｎｕ | ｉモードセンターへ接続すると、最初に表示されるページです。ここから各サイト（番組）や「週間ｉガイド」などへアクセスします。 |
| 2 メッセージ | 受信したメッセージのリストを表示します。メッセージサービスは、欲しい情報が自動的に携帯電話に届くサービスです。 |
| 3 Bookmark | お気に入りのホームページアドレスをｉモード端末に登録しておくと、次回から直接アクセスできます。 |
| 4 ｉモード問い合わせ | ｉモードセンターにメールやメッセージが保管されていないか問い合わせます。 |
| 5 画面メモ | ｉモード端末に保存されたｉモードの画面を見ることができます。 |
| 6 ラストURL | 最後に表示したサイトやインターネットホームページなどを表示します。 |
| 7 URL履歴 | 以前入力したアドレス（URL）を利用して、インターネットホームページを表示します。 |
| 8 Internet | ホームページアドレスを直接入力することでインターネットのｉモード対応ホームページに接続することができます。 |
| 9 ｉモード設定 | ｉモードに関するFOMA端末の設定を呼び出します。 |
| コード認識 | ｉモード端末のカメラを使ってバーコードを読み取り、URL情報を埋め込んだバーコードを認識してインターネットにアクセスすることができます。操作はカメラから起動するバーコードリーダーと同じです。 |
| ｉアプリ | サイトからダウンロードしたソフト（アプリケーション）をここからご利用になれます。 |

# サイト（番組）接続

簡単なボタン操作でサイトに接続して、IPが提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。
たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。



## サイトを表示するには




ｉモードセンターに接続すると、最初にｉMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊ｉガイド」などへアクセスします。
サイトの表示方法☞P.33〜P.34

| | |
|---|---|
| 1マイメニュー | よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。（☞P.41）ｉMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。 |
| 2週刊ｉガイド | 新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。 |
| 3メニューリスト | すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。 |
| 4とくするメニュー | 楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます。（提供：D2コミュニケーションズ） |
| 5ｉエリア | 今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。 |
| 6かんたん検索 | 「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。 |
| 6ｉアプリサーチ | ｉアプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど目的別に紹介しているメニューです。 |
| 6便利サイトサーチ | メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。 |
| 7マイボックス | サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。 |
| 8オプション設定 | ｉモードメールの設定やｉモードパスワードの変更などを行います。 |
| 9お知らせ＆ヘルプ | ドコモからのお知らせや、ｉモードの利用方法やご利用規則を掲載しています。 |
| □料金＆お申込 | 料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。 |
| English | ｉMenuを英語表記に変更できます。 |

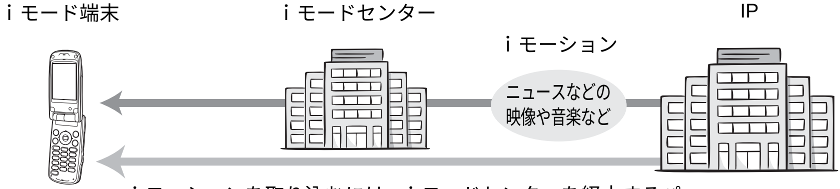
※ 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

**お知らせ**
- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉモード有料サイト）があります。
- IPが提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
- ｉモードアイコンが点滅していても、ｉモードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
- デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu画面などが一部異なります。

## こんなこともできます

### ｉモーション

ｉモードのサイトから映像や音をｉモード端末に取り込み、再生したり、待受画面として楽しむことができます。☞P.105
- ｉモーションを取り込むには☞P.105
- ｉモーションを再生するには☞P.105
- ｉモーションを自動再生設定するには☞P.108




ｉモーションを取り込むには、ｉモードセンターを経由するパケット通信と、経由しないデジタル通信の２種類があります。

## 着モーション

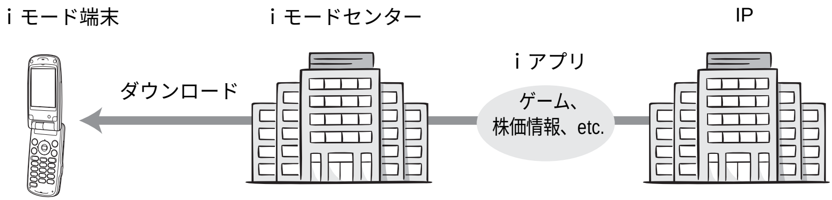
ｉモードのサイトからｉモーションをｉモード端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます。（一部の対応していないｉモーションは着モーションに設定できません。）

● 着モーションを設定するには☞P.105、『基本編』P.158

## ｉアプリ

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード端末をより便利に活用いただけます。たとえばｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

● ｉアプリをダウンロードするには☞P.72
● ｉアプリを実行するには☞P.74
● ｉアプリを自動実行するには☞P.80




## ｉアプリ待受画面

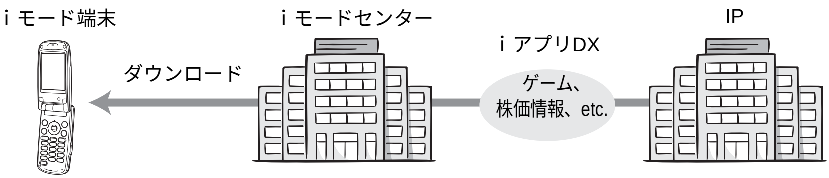
ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

● ｉアプリ待受画面を設定するには☞P.84

## ｉアプリDX

ｉアプリDXでは、FOMA端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

● ｉアプリDXとは☞P.70

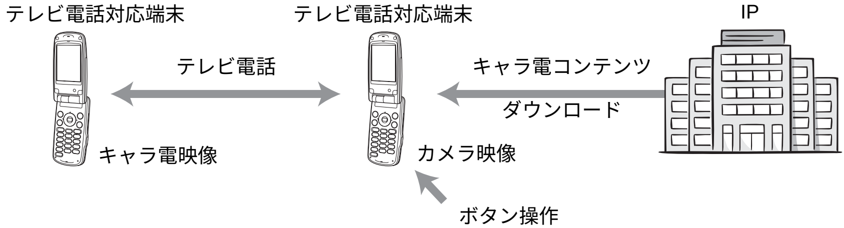



次ページへ続く

## キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話対応端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、ボタン操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送ることもできます。(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。)


● キャラ電をダウンロードするには☞P.90
● キャラ電を設定するには☞P.96
● キャラ電の撮影☞P.98
● キャラ電の確認☞P.90
● キャラクタの操作方法☞P.94

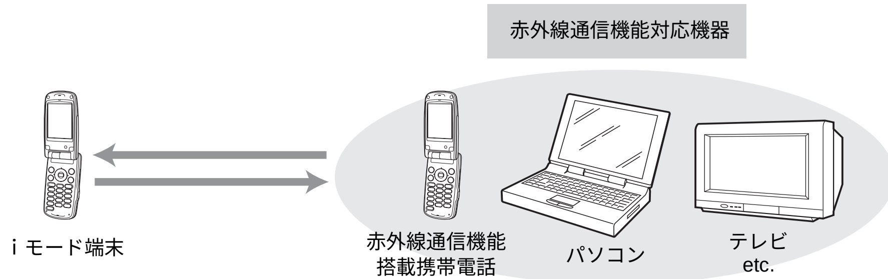

## 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信することができます※。

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使い方ができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

※相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。


● 赤外線通信モードにするには☞P.76

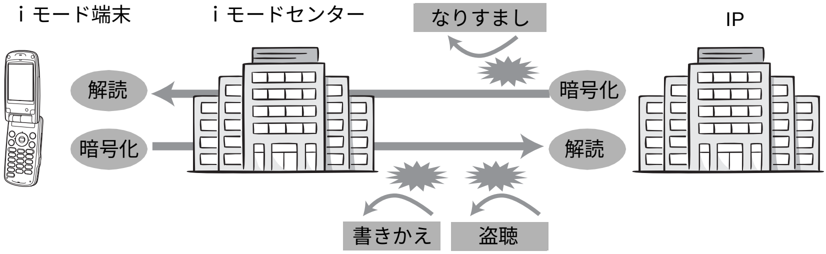




## SSL通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと２つあります。なお、サイトによって、使用する証明書は異なります。（☞P.36）


● ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用するには☞P.64
● FirstPassのユーザ証明書を利用するには☞P.64




※なりすまし：第三者がサイトになりすまして、不正にお客様の情報を入手したりすることです。

## FOMAカード動作制限機能

お客様情報〔電話番号・電話帳（一部）等〕を格納しているFOMAカードを、ｉモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・動画等のファイルを動作制限します。また、別のFOMAカードを差し替えたり、または未挿入の状態で電源をONした場合、取得したファイルの再生・表示を不可にする機能です。

■動作制限対象となるファイル

- 静止画ファイル
- メロディファイル
- ｉアプリ
- 動画ファイル
- キャラ電
- 画面メモ内の画像（Flashを含む）
- メッセージR／Fに添付されているファイル
- ｉモードメールに添付されているファイル
- デコメール本文中に挿入されている画像
- TV電話の録画機能を用いて保存した画像ファイル、動画ファイル

※ カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、外部メモリからｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。

※ 着信音や待受画面設定等、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

## ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。（☞P.56）

## ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末に取り込み、待受画面や着信画面に表示できます。（☞『基本編』P.165、P.171、P.172）

## Flash™

Flashとは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

## メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

| | |
|---|---|
| メッセージリクエスト（メッセージR） | メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。 |
| メッセージフリー（メッセージF） | パケット通信料無料で届けられるメッセージです。 |

- メッセージサービスの受信方法は☞P.111

次ページへ続く

- メッセージF（フリー）の設定について、2004年10月１日以降にFOMAの新規ご契約と同時にｉモードをお申込みの場合は、メッセージF設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージF設定をお客様ご自身で「受信しない」設定にご変更いただく必要がございますので、ご了承ください。
  ※ 上記の場合以外のお客様がメッセージFをご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」設定になっております。
  詳細はｉモードご契約時にお渡しいたします『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。

電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR／Fはｉモードセンターに保管されます。

- ｉモードセンターでのメッセージの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

| | 最大保管件数 | 最大保管期間 |
|---|---|---|
| メッセージR | 300件 | 72時間 |
| メッセージF | 300件 | 72時間 |

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR／Fは、ｉモード問い合わせにより受信できます。（☞P.114）

## トクだねニュース便

メッセージR（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。
トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。詳しくは『FOMAｉモード操作ガイド』をご覧ください。

- メッセージRの画面の見かたは☞P.116

## ｉモードパスワード

有料サイトの申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の４桁の数字に変更してください。☞P.42
ｉモードパスワードは他人に知られないように十分ご注意ください。

# インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力し接続することにより、ｉモード対応のホームページを表示することができます。

- 表示方法は☞P.43

**お知らせ**

- ｉモード対応のインターネットホームページ以外は正しく表示されない場合があります。ｉモード対応のホームページとは、ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページのことです。詳しくは☞P.43
- パソコン上での表示とは異なる場合があります。
- URLが512文字を超えるインターネットホームページは表示できない場合があります。

### ｉモードのご使用にあたって

- サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ｉモード端末に保存されている内容（メール、メッセージ、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション）やブックマークなどの登録内容は、電池パックを外したままの状態でも約１か月は記憶されていますが、それ以上経過すると消失する可能性があります。また、ｉモード端末の故障、修理やその他の取扱いによっても消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えを取っておくことをおすすめします。万が一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ｉモード端末の修理等を行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・動画・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、「画面メモ」および「メッセージR／F」などを表示・再生できません。
- FOMAカードにより表示・再生が制限されているファイルを待受画面・指定着信音などに設定されている場合、別のFOMAカードを差し替えたり、FOMAカードを未挿入のまま電源ONにすると、設定内容は初期状態にリセットされます。

# サイトを表示する

IP（情報サービス提供者）が提供する各種サービスをご利用いただけます。（別途申し込みが必要なことがあります。）
FOMA端末のディスプレイ上で、銀行の残高照会や各種チケットの予約などができます。（サイトによりサービス内容が異なります。また、別途申し込みが必要なことがあります。）

## 1 待受画面で、ⓘを押す。




● ｉモードメニューが表示されます。

| メニュー | 機　能 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ①ｉＭｅｎｕ | ｉモードセンターへ接続すると、最初に表示されるページです。ここから各サイト（番組）や「週間ｉガイド」などへアクセスします。 | P.28 |
| ②メッセージ | 受信したメッセージのリストを表示します。メッセージサービスは、欲しい情報が自動的に携帯電話に届くサービスです。 | P.111 |
| ③Bookmark | お気に入りのホームページアドレスをｉモード端末に登録しておくと、次回から直接アクセスできます。 | P.45 |
| ④ｉモード問い合わせ | ｉモードセンターにメールやメッセージが保管されていないか問い合わせます。 | P.114 |
| ⑤画面メモ | ｉモード端末に保存されたｉモードの画面を見ることができます。 | P.50 |
| ⑥ラストURL | 最後に表示したサイトやインターネットホームページなどを表示します。 | P.36 |
| ⑦URL履歴 | 以前入力したアドレス（URL）を利用して、インターネットホームページを表示します。 | P.44 |
| ⑧Internet | ホームページアドレスを直接入力することでインターネットのｉモード対応ホームページに接続することができます。 | P.43 |
| ⑨ｉモード設定 | ｉモードに関するFOMA端末の設定を呼び出します。 | P.61～P.69 |
| ⓒコード認識 | FOMA端末のカメラを使ってバーコードを読み取り、URL情報を埋め込んだバーコードを認識してインターネットにアクセスすることができます。操作はカメラから起動するバーコードリーダーと同じです。 | P.246 |
| ⓘｉアプリ | サイトからダウンロードしたソフト（アプリケーション）をここからご利用になれます。 | P.70 |

サイト（番組）接続

次ページへ続く

### ｉモード中に表示されるマーク

| | |
|---|---|
| （点滅） | ｉモード待機中です。 |
| | ｉモードアクセス中です。（点滅） |
| SSL | SSLページ表示中です。 |
| | 画像読み込み中と、画像表示設定が「OFF」の場合に表示されます。 |
| | 画像読み込みに失敗した場合、表示できない形式の画像の場合に表示されます。 |
| ☒ | URLが正しくないため画像が読み込めない場合に表示されます。 |

※「 」が表示されているときは、サービスエリア外または電波が届かないところにいます。「 」など、電波の受信レベル表示が点灯するところまで移動してください。
※「 」が表示されているときでもｉモードメニューを表示することができます。ただし、サイトやインターネットホームページでの情報の送受信およびｉモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、ｉモード問い合わせやSMS問い合わせなどはできません。

## 2 1を押す。（ｉMenu）




- ｉMenuが表示されます。

**接続を中止するとき**

- 接続中（「 」点滅）に、●を押します。

## 3 表示したい項目を選び、●を押す。

- この操作をくり返し、目的のサイトを表示します。

**画面をスクロールするとき**

- を押します。
- を押すと、下に１画面単位でスクロールします。またを押すと、上に１画面単位でスクロールします。
- #を１秒以上押すと、下に自動的にスクロールします。また*を１秒以上押すと、上に自動的にスクロールします。スクロール中にもう一度#または*を押すと、自動スクロールが停止します。

## 4 終了するときはを押す。

## 5 「はい」を選び、●を押す。

- ｉモード通信が終了し、待受画面に戻ります。

サイト（番組）接続

**お知らせ**

- サイト表示時に、画像を読み込まないように設定することもできます。（☞P.63）
- サイトによっては、正しく表示されない文字もあります。
- サイトによっては、実際のサイトの画面と同じ表示ができない場合があります。
- サイトなどからダウンロードしたファイル形式により、FOMA端末の持っている最大表示色数が発色できない場合があります。
- サイト表示中に、ⓘを押すと、ｉモード終了確認画面のあと、ｉモードメニューが表示されます。

**文字コードを変換するとき**

- サイト表示中に、◎8を押します。

**サイトのサーバ証明書を参照するとき**

- SSLページの場合、サーバから受信した証明書を参照することができます。
- サイト表示中に、◎を押し、「■証明書参照」を選び、●を押します。

**Flash画像の効果音を鳴らすとき**

1. サイト表示中に、◎を押し、「■効果音設定」を選び、●を押す。
2. 1を押す。

**Flash画像を再び再生するとき**

- サイト表示中に、◎を押し、「■リトライ」を選び、●を押します。

## 携帯電話情報について




サイトやインターネットホームページの画面を表示するときに、携帯電話情報通知画面が表示されることがあります。
このとき、「携帯電話情報を送信しますか？」と表示されます。送信するときは「はい」を選び、●を押します。
送信しないときは「いいえ」を選び、●を押します。
送信せずに元の画面に戻るには、ⓘ（戻る）を押します。

**お知らせ**

- 携帯電話情報が送信される前には、必ず「携帯電話情報通知画面」が表示されます。自動的に送信されることはありません。
- 送信される携帯電話情報は、お客様のFOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号などです。
- 送信するお客様の携帯電話情報（FOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号）は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

## サイトなどでの画像表示について

サイトやインターネットホームページ、画像メールやメッセージR／Fの画面では、画像が表示されることがあります。




FOMA端末では、GIF形式やJPEG形式の画像、Flash画像を表示できます。（ただし、一部表示できないJPEG形式の画像もあります。）
受信中の画像は、「🔍」が表示され、受信が終わると画像を表示します。
また、画像を表示するかしないかを画像表示設定（☞P.63）で設定することができます。「OFF」に設定すると、画像の代わりに「🔍」が表示されます。

**お知らせ**

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- インターネット接続でJPEG形式の画像データやFlash画像も表示できます。ただし、受信したｉモードメールに、JPEG形式の画像データやFlash画像のURLが含まれていても画像メールとしては表示できません。この場合は、対象のURLをクリックすると「Web To機能」（☞P.60）を利用してJPEG形式の画像データやFlash画像を表示できます。
- GIF形式やJPEG形式、Flash画像以外の画像を受信したときは、画像の代わりに「🖼」が表示されます。その画像は表示できません。
- 画像を取得できなかったときは、「🖼」が表示されます。再読み込みを行うと、取得可能な場合があります。

## SSL対応のページを表示するとき




FOMA端末は、SSL通信に対応したサイトや「https://」から始まるインターネットホームページ（SSLページ）を表示できます。SSL対応のページを表示しようとしているときは、左のような画面が表示されます。SSL通信を中止するときは◉を押します。

SSL対応のページを表示するときは、以下のいずれかの証明書を使用します。（☞P.64）

- ■ CA証明書
- ■ ドコモCA証明書
- ■ ユーザ証明書

- ● SSL対応のページを表示しているときは、「SSL」が表示されます。




SSL対応のページから通常のページへ移動するときは、SSLを終了するか確認する旨のメッセージが表示されます。

**お知らせ**

- ●「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」、「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」、「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」と表示されたときは、ページのSSL証明書が期限切れになっているか、FOMA端末が使用しているSSL証明書と異なる証明書を使用しているページを表示しようとしています。
この場合、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報を安全に送信することができませんのでご注意ください。
続けてページを表示させるときは「はい」を選び、◉を押します。ページを表示させないときは「いいえ」を選び、◉を押します。「SSL通信を切断しました」と表示され、◉を押すと元の画面に戻ります。

## 最後に表示したページに再接続する＜ラストURL＞

ｉモードを終了すると、最後に表示していたページのURLがラストURLとして記憶されます。ラストURLを利用すると、最後に表示したページに簡単に接続することができます。

- ● URL が半角 512 文字を超えるページやメロディのダウンロード完了の画面など、ページによってはラストURLに記憶されない場合があります。

**1** 待受画面で、ⓘ⑥を押す。




- ● 最後に表示したページのURLが表示されます。

**ラストURLが記憶されていないとき**

- ●「ラストURLはありません」と表示されます。

**2** ◉を押す。

- ● 最後に表示したページが表示されます。

**お知らせ**

**ラストURLを削除するとき**

- 操作１の画面で◎1を押し、「はい」を選び、●を押します。

**ラストURLをブックマークに登録するとき**

- 操作１の画面で◎2を押します。以降の操作については、P.45の操作２を参照してください。

**ラストURLをコピーするとき**

- 操作１の画面で◎3を押します。
- コピーは最大512文字まで可能です。512文字を超える場合は、「URLが長すぎてコピーできません」と表示されます。

# サイトの見かたと操作

## リンク先や項目を選択する

サイトやインターネットホームページでは、表示されている画面から、他の画面に移動できる場合があります。これを「リンク」と言います。リンク設定されている文字列は通常、青色で表示されます。選択されているリンクは、反転表示されています。

- リンクは画像に設定されていることもあります。選択すると、画像が実線で囲まれます。

### [リンクを選んで画面を移動する]

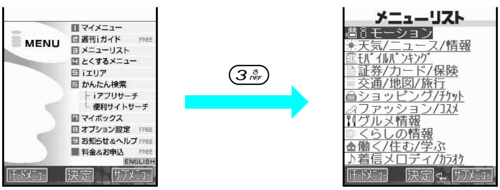


反転表示が移動　　リンク先へ

- ◯を押すと、次のリンクが反転され、◯を押すと、前のリンクが反転表示されます。

### [番号をダイヤルボタンで指定して画面を移動する]

選択できるリンクの先頭に「1」、「2」、「3」などの番号が付いていることがあります。先頭に付いている番号と同じダイヤルボタン（0〜9、*、#）を押すと、移動することができます。



リンク先へ

- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページもあります。

## サイトやインターネットホームページ内の項目選択や文字入力

サイトやインターネットホームページ内で、次のような方法で項目を選択したり、文字入力を行う場合があります。

| 名　称 | 表示例 | 内　容 |
|---|---|---|
| ラジオボタン | ○：非選択状態<br>◉：選択状態 | 項目等の選択に使用します。１つの項目のみ選択することができます。 |
| チェックボックス | □：未選択状態<br>☒：選択状態 | 項目等の選択に使用します。複数の項目を選択することができます。 |
| プルダウンメニュー | ▭ | 項目等の選択に使用します。プルダウンメニューを選ぶと、選択できる項目の一覧が表示されます。 |
| テキストボックス | ▭ | 文字を入力することができます。 |

## Flash機能

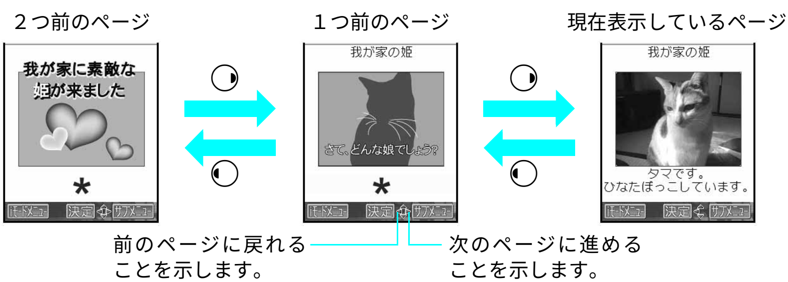
Flashとは絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用することができます。また、Flash画像をFOMA端末に取り込み、待受画面に設定することもできます。

- 「⇕」が表示されていない場合でも、操作できることがあります。
- Flash画像を再び動作させたいときはサイトや画面メモを表示中に◎を押し、「リトライ」を選びます。
- Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさないときには、サイトや画面メモを表示中に◎を押し、「効果音設定」を選び、●2を押します。（☞P.61）
- 着信バイブレータを設定していても、Flash画像の効果音に合わせて振動しません。
- Flash画像を再生中に●（停止）を押すと一時停止します。もう一度●（再生）を押すと再開します。
- Flash画像を画面再生中に30秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには●を押します。（他のボタンでも再開できます。）

## 前のページに戻る／進む（キャッシュ、履歴について）

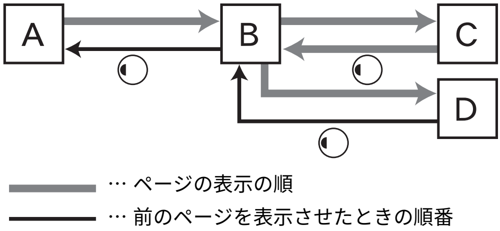
FOMA端末はサイトやホームページの画面と表示してきた経路を、最大10件記憶しています。

◐で、前または次のページを表示することができます。




- ◐を押して前のページを表示したあとは、◑を押して次のページを表示することができます。
- 履歴に10件記憶されている状態で、新たなページを表示すると、古い履歴から順に削除されます。
- ◐◑で前、または次のページを表示するときに、キャッシュ内にそのページが残っていない場合には、サイトから取り込んで表示します。ただし、ページ内の画像がキャッシュにない場合は、サイトからの取り込みは行いません。
- キャッシュに保存した画面を切り替えているとき、画面の表示に時間がかかることがあります。
- 履歴とキャッシュの情報は、ｉモード終了確認画面で「はい」を選んだときにリセットされます。

- ◐を続けて押すと、これまで表示してきたページをさかのぼって表示することができます。ただし、途中で◐を押して前のページを表示させ（「C」から「B」に戻る）、そのページから他のページ（「D」）を表示させたときは、「D」から◐を２回押しても「C」は表示されません。「B」→「A」の順で前のページを表示します。
〈画面「A」→「B」→「C」→「B」→「D」の順番でページを表示させたとき〉




## 情報を再読み込みする＜再読み込み＞

サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できなかったとき（「 」が表示されたとき）などに、もう一度そのサイトやインターネットホームページに接続して、情報を読み込み直すことができます。

- この操作はサイトやインターネットホームページの情報の取り込みが完全に終わってから行ってください。

**1** サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33**～**P.34**の操作１～３、**P.43**の操作１～２）に、◉ 1 を押す。

- 再読み込みを開始します。

再読み込みを中止するとき

- 接続中（「 」点滅）に、ⓘ（中止）を押します。

お知らせ

- 再読み込みを行っても、サイトやインターネットホームページの情報が正常に受信できない場合もあります。
- 画面メモ（☞P.50）は、再読み込みできません。

## URLを参照する＜URL表示＞

表示中のサイトやインターネットホームページのURLを確認することができます。
URLとは、「http://www.xxx.△△.jp」などで表示されるアドレスです。
URLは最大半角512文字（http://などを含む）まで表示できます。

- 表示したURLを編集することはできません。

**1** サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33**～**P.34**の操作１～３、**P.43**の操作１～２）に、◉ 7 を押す。

- サイトやインターネットホームページのURLが表示されます。
- URLが１画面で表示できない場合は、◯でスクロールできます。

URLをコピーするとき

- ◉（コピー）を押します。
- コピーは最大512文字まで可能です。512文字を超える場合は、「URLが長すぎてコピーできません」と表示されます。

サイト（番組）接続

次ページへ続く

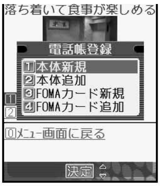
お知らせ
- 画面メモ（☞P.50）やブックマーク（☞P.45）のURLも表示できます。画面メモの一覧画面の場合は◎④、ブックマークの一覧画面の場合は◎③を押します。

## 電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する<電話帳登録>

サイトやインターネットホームページで反転表示された電話番号やメールアドレスを、電話帳に登録することができます。

**1** サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33**～**P.34**の操作１～３、**P.43**の操作１～２）に、電話番号やメールアドレスを選び、◎を押す。

**2** 「■電話帳登録」を選び、●を押す。




**3** ①を押す。（本体新規）

- FOMA端末（本体）電話帳に新規電話帳データとして登録することができます。
- 電話帳の新規登録画面が表示されます。選択した電話番号やメールアドレスが入力されています。

**FOMA端末（本体）電話帳に追加登録するとき**
- ②を押します。

**FOMAカード電話帳に新規登録するとき**
- ③を押します。

**FOMAカード電話帳に追加登録するとき**
- ④を押します。

**4** 電話帳の他の項目を入力し、電話帳の登録を完了する。（☞『基本編』**P.107**～**P.110**）

お知らせ
- 画面メモで反転表示される電話番号やメールアドレスも、電話帳に登録することができます。（☞P.51）
- 反転表示される電話番号やメールアドレスでも、電話帳に登録できないことがあります。

サイト（番組）接続

# マイメニューに登録する

ｉMenu、メニューリストの中のよく利用するサイトをマイメニューに登録することで、次回からそのサイトに簡単に接続することができます。

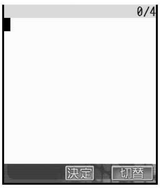
- マイメニューは45件まで登録できます。
- インターネットホームページは登録できません。また、マイメニューに登録できないサイトもあります。

## マイメニューに登録する

**1** 登録したいサイトを表示（☞**P.33**～**P.34**の操作１～３）し、マイメニュー登録用のメニュー（例：「1マイメニュー登録」）を選び、◉を押す。




**2** 「ｉモードパスワード入力」の入力欄を選び、◉を押す。




**3** ｉモードパスワード（４桁の数字）を入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「*」で表示されます。

**4** 「決定」を選び、◉を押す。

- マイメニューへの登録が完了します。

**お知らせ**

- movaサービス（ｉモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、マイメニューへの登録は、ご契約の翌日午前９時以降から可能になります。
- 各サイトによって、ページ構成が異なります。
- 有料サイトに申し込まれると、自動的にマイメニューに登録されます。

## マイメニューに登録したサイトを表示する

**1** 待受画面で、[i][1]を押す。

- ｉMenuが表示されます。

**2** [1]を押し、サイトを選び、[●]を押す。

- サイトのページが表示されます。



ｉモードパスワード変更

# ｉモードパスワードを変更する

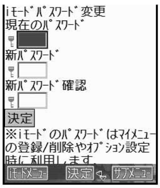
マイメニューの登録／削除、メッセージＲ／Ｆやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときには、ｉモードパスワード（４桁の数字）が必要になります。

- ｉモードパスワードが変更されるまでは「0000」がｉモードパスワードとして設定されています。
- ｉモードパスワードの変更は、ｉモードをご契約後に可能となります。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないよう十分ご注意ください。
- ｉモードパスワードをお忘れのときは、ご契約いただいたご本人であるかどうか確認できるもの（運転免許証など）を当社窓口にご持参いただき、ｉモードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

**1** 待受画面で、[i][1]を押す。

- ｉMenuが表示されます。

**2** [8][2]を押す。（ｉモードパスワード変更）




**3** 「現在のパスワード」の入力欄を選び、[●]を押す。

- 現在のｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**4** 現在のｉモードパスワード（４桁の数字）を入力し、[●]を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

**5** 「新パスワード」の入力欄を選び、[●]を押す。

- 新しいｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**6** 新しく設定するｉモードパスワード（４桁の数字）を入力し、[●]を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

**7** 「新パスワード確認」の入力欄を選び、◉を押す。

- 新しいｉモードパスワードの確認入力画面が表示されます。

**8** もう一度新しく設定したｉモードパスワード（４桁の数字）を入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

**9** 「決定」を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードが変更されます。

インターネット接続

# インターネットホームページを表示する

インターネットホームページのアドレス（URL: http://などで始まるアドレス）を入力して、接続することができます。

- ｉモードに対応していないインターネットホームページや、情報量の多いインターネットホームページは正しく表示されないことがあります。

**1** 待受画面で、ⓘ⑧を押す。

- URLの入力画面が表示されます。（「http://」が入力されています。）
- 以前にURLを入力したことがある場合には、そのURLが表示されます。

**2** **URL**を入力し、◉を押す。

- 最大半角512文字まで入力できます。（「http://」などを含む。）
- インターネットホームページが表示されます。
- 表示中の操作はサイトの場合と同じです。

接続を中止するとき

- 接続中（「⇔」点滅）に、◉を押します。

接続を終了するとき

- ☎を２回押します。

お知らせ

- URL入力画面で、カーソルが文字列の一番最後にあるときにCLRを１秒以上押すと、入力されているすべての文字が削除されます。また、その状態でCLRを押すと、ｉモードメニューに戻ります。
- 受信したデータが、１ページの最大サイズを超えた場合、「最大サイズを超えたので中断しました」と表示され、受信を中断し取得したところまでのデータを表示します。

サイトやインターネットホームページ表示中に接続するとき

- ⓒ④を押すと、URL入力画面が表示されます。以降は操作２と同様です。

## インターネットホームページを正しい文字で表示し直す

インターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、正しい文字に変換して再表示します。

**1** サイトやインターネットホームページを表示中（☞P.33〜P.34の操作１〜３、P.43の操作１〜２）に、(📷)(8)を押す。（文字コード変換）

- インターネットホームページを正しい文字に変換して再表示します。
- 正しく表示されないときは、同じ操作をくり返します。

お知らせ
- 文字コード変換をくり返しても、正しく表示できない場合があります。
- 文字コード変換を４回くり返すと、元の表示に戻ります。
- 正しい文字で表示し直したあと、ページの更新、進む、戻るなどの操作を行った場合、文字表示は元に戻ります。

### URL履歴を使ってページを表示する＜URL履歴＞

FOMA端末では、ｉモードメニューのInternetから接続したインターネットホームページの履歴を最大10件まで記憶しています。
この履歴を利用して、インターネットホームページへ再接続することができます。

**1** 待受画面で、(i)(7)を押す。

- URL履歴一覧が表示されます。

**2** URLを選び、(●)を押す。

- 接続中画面表示後、インターネットホームページが表示されます。

お知らせ
- URL履歴が10件を超えたときは、古いものから順に自動的に上書きされます。

サイトやインターネットホームページ表示中に接続するとき
- (📷)(5)を押すと、URL履歴一覧が表示されます。以降は操作２と同様です。

### URL履歴を削除する

**1** 待受画面で、(i)(7)を押し、削除したいURLを選ぶ。

**2** (📷)(2)を押す。（１件削除）

- 削除画面が表示されます。

**3** 「はい」を選び、(●)を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

サイト（番組）接続

# ブックマークを使う

よく見るサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録しておくと、すぐに見たいページを表示することができます。
- フォルダを追加して、ブックマークを種類ごとに分けて管理できます。
- 画像やメロディが保存されているサイトやインターネットホームページのURLをブックマークに登録したとき、サイトやインターネットホームページによってはブックマークから表示できない場合もあります。

## サイトやインターネットホームページをブックマークに登録する

ブックマークはフォルダ全体で最大100件まで登録することができます。
- 1件あたりのURLの文字数は、最大半角256文字までです。URLの文字数が256文字を超えるときは登録できません。

**1** サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33**～**P.34**の操作1～3、**P.43**の操作1～2）に、[📷][2]を押す。

- タイトルまたはURLの先頭から全角12文字分（半角24文字分）までが登録されます。タイトルの文字数が全角12文字（半角24文字）を超えるときは、超えた部分が削除されて登録されます。タイトルがないときは、先頭から24文字のURLが登録されます。

すでにブックマークが**100**件登録されているとき
- 「Bookmarkがいっぱいです　他のBookmarkを上書きしますか？」と表示されます。「はい」を選び、[●]を押します。このあとフォルダを選び、[●]を押し、不要なブックマークを選び、[●]を押します。（☞P.48）

**URL**が長すぎるとき
- 「URLが長すぎて登録できません」と表示されます。

**2** [1]を押す。（**OK**）

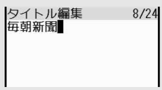
- Bookmarkフォルダに、ブックマークが登録されます。

**お知らせ**

- サイトやインターネットホームページによっては、ブックマークに登録できない場合があります。

すでに同じ**URL**が登録されているとき
- 「同じURLが登録されています　上書きしますか？」と表示されます。
「はい」を選び、[●]を押すと、操作1の画面に戻ります。
「いいえ」を選び、[●]を押すと、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。

タイトルを編集するとき




1. 操作2で、[2]を押す。
2. タイトルを編集し、[●]を押す。
   - 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

**miniSD**メモリーカードについて
- FOMA端末（本体）に登録したブックマークをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.338）、miniSDメモリーカード内のブックマークを表示する（☞P.342）ことができます。
- miniSDメモリーカードに保存されているブックマークをFOMA端末（本体）にコピーする（☞P.343）ことができます。

赤外線通信について
- FOMA端末（本体）に登録したブックマークを赤外線通信で送信したり（☞P.328）、赤外線通信でブックマークを受信できます。（☞P.327）

ブックマークに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合は**miniSD**メモリーカード（☞**P.332**）やデータリンクソフト（☞**P.404**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ブックマークからサイトやインターネットホームページを表示する

**1** 待受画面で、ⓘ3を押す。

● Bookmarkフォルダ一覧が表示されます。

**miniSDメモリーカード内のブックマークを利用するとき**
● Bookmarkフォルダ一覧で、Ⓜ#を押します。
● 再び、FOMA端末（本体）のブックマークを利用するときは、CLRを2回押します。

**2** フォルダを選び、●を押す。

● Bookmark一覧が表示されます。

**3** ブックマークを選び、●を押す。

● ページが表示されます。

**接続を中止するとき**
● 接続中（「⇔」点滅）に、●（中止）を押します。

**お知らせ**
● Bookmark一覧は利用した順に表示されます。

**登録しているすべてのブックマーク一覧を表示するとき**
● Bookmarkフォルダ一覧で、Ⓜ4を押します。

**サイトやインターネットホームページ表示中にブックマークを利用するとき**
● Ⓜ3を押します。以降は操作2と同様です。

**ブックマークのURLを確認／コピーするとき**
● 操作1～2を行ったあと、Ⓜ3を押すと、選択されているブックマークのURLを確認できます。
また、操作2の画面でⓂ4を押すと、ブックマークのURLをコピーすることができます。コピーしたURLはメールやテキストメモの本文などに貼り付けることができます。貼り付け方法について詳しくは、『基本編』P.310を参照してください。

## フォルダを作成する

ブックマークを最大10個（「Bookmark」フォルダ含む）のフォルダに分けて管理することができます。
作成したフォルダはフォルダ名を編集したり、削除することができます。（ただし、あらかじめ登録されている「Bookmark」フォルダは、フォルダ名を編集したり、削除することはできません。）
● フォルダの作成、フォルダ名編集、削除はBookmarkフォルダ一覧で行います。

**1** 待受画面で、ⓘ3を押す。

● Bookmarkフォルダ一覧が表示されます。

**2** Ⓜ1を押す。（フォルダ新規作成）

● フォルダ名入力画面が表示されます。

## 3 フォルダ名を入力し、⦿を押す。




「スポーツ」フォルダを作成した場合

- 「新しいフォルダ」が入力されています。他のフォルダ名に変更することができます。
- 「新しいフォルダ」を削除するときは、CLRを１秒以上押します。
- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

# フォルダ名を編集する

フォルダ名を変更することができます。
- 「Bookmark」のフォルダ名は変更できません。

## 1 待受画面で、ⓘ3を押す。

- Bookmarkフォルダ一覧が表示されます。

## 2 編集したいフォルダを選び、📷2を押す。（フォルダ名編集）

- フォルダ名編集画面が表示されます。

## 3 フォルダ名を入力し、⦿を押す。

- CLRを１秒以上押すと、入力されているフォルダ名が削除されます。
- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

# ブックマークを別のフォルダに移動する

ブックマークを別のフォルダに移動させて、種類別に管理することができます。
- あらかじめ、フォルダを作成しておいてください。（☞P.46）

## 1 待受画面で、ⓘ3を押し、フォルダを選び、⦿を押す。

- Bookmark一覧が表示されます。

## 2 ブックマークを選び、📷5を押す。（移動）

- 移動画面が表示されます。

## 3 1を押す。（１件移動）

フォルダ内のすべてのブックマークを移動するとき
- 2を押します。

複数のブックマークを選び、まとめて移動するとき
- 3を押し、移動したいブックマークを選び、⦿を押します。（番号が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているブックマークを選び、⦿を押します。）移動したいブックマークをすべて選び、ⓘ（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

サイト（番組）接続

次ページへ続く ▶▶

**4** 移動先のフォルダを選び、◉を押す。

## ブックマークのタイトルを変更する

ブックマークのタイトルを編集することができます。

**1** 待受画面で、Ⓘ③を押し、フォルダを選び、◉を押す。

- Bookmark一覧が表示されます。

**2** ブックマークを選び、📷①を押す。（タイトル編集）

- タイトル編集画面が表示されます。

**3** タイトルを入力し、◉を押す。

- CLRを１秒以上押すと、入力されているタイトルが削除されます。
- 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

## ブックマークを削除する

次のいずれかの方法で削除することができます。

| | |
|---|---|
| １件削除 | ブックマークを１件ずつ削除します。 |
| フォルダ内全件削除 | フォルダ内のすべてのブックマークを削除します。 |
| 選択削除 | 複数のブックマークを選び、まとめて削除します。 |
| 全件削除 | ブックマークを全件削除します。 |
| フォルダ削除 | フォルダごと削除します。 |

- 「Bookmark」フォルダは、フォルダ削除することはできません。

### ブックマークを削除する

**1** 待受画面で、Ⓘ③を押し、フォルダを選び、◉を押す。

- Bookmark一覧が表示されます。

**2** 削除したいブックマークを選び、📷②を押す。（削除）

- 削除画面が表示されます。

**3** ①を押す。（１件削除）

フォルダ内のすべてのブックマークを削除するとき

- ②を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、◉を押します。

複数のブックマークを選び、まとめて削除するとき

- ③を押し、削除したいブックマークを選び、◉を押します。（番号が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているブックマークを選び、◉を押します。）削除したいブックマークをすべて選び、Ⓘ（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

サイト（番組）接続

**4** 「はい」を選び、●を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、●を押します。

## 作成したフォルダを削除する

**1** 待受画面で、ⓘ3を押し、フォルダを選ぶ。

**2** 📷3を押す。（削除）

- 削除画面が表示されます。

**3** 2を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「*」で表示されます。

すべてのブックマークを削除するとき
- 1を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押します。

**4** 「はい」を選び、●を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、●を押します。

| お知らせ | ● Bookmarkフォルダ一覧で全件削除を行うと、フォルダは削除されず、全フォルダに登録されているすべてのブックマークが削除されます。 |
|---|---|

# サイトの内容を保存する

お好きなサイトやインターネットホームページの画面を、画面メモとして保存しておくことができます。

● 画面メモ内の画像を、マルチメディアのイメージに保存し直すと待受画面に設定することもできます。（☞P.54）
● 画面メモは最大400件まで保存することができます。保存・登録できる最大件数はデータ量によって変わります。保存・登録した画面メモのデータ量が大きいときは保存・登録できる最大件数は少なくなります。
● 保存できる容量の半分まで保護設定することができます（最大200件）。保護した画面メモは上書きされません。

## 画面メモを保存する

**1** サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33**～**P.34**の操作1～3、**P.43**の操作1～2）に、(📷)(6)を押す。

● タイトルまたはURLの全角12文字分（半角24文字分）までが表示されます。

**2** (1)を押す。（**OK**）

● サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。

**お知らせ**

● 画像表示設定を「OFF」に設定しているときは、画面メモに画像は保存されません。
● 取り込んだ画像のサイズによっては、待受画面などに設定した場合、すべて表示できない場合があります。

画面メモを登録するメモリがいっぱいのとき

● 操作1のあと「画面メモがいっぱいです　書きかえますか？」と表示されます。
● 「はい」を選び、(●)を押し、上書きする画面メモを選び、(●)を押すと、操作2の画面に進みます。また、登録する画面メモの容量が指定した画面メモよりも大きい場合、「容量が不十分です　他の画面メモも書きかえますか？」と表示されます。「はい」を選び、(●)を押し、上書きする画面メモを選び、(●)を押します。
● 「いいえ」を選び、(●)を押すと、サイトやインターネットホームページの表示画面に戻ります。

タイトルを編集するとき

● 操作2で、(2)を押し、タイトルを編集し、(●)を押します。
● 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

## 画面メモを表示する

**1** 待受画面で、(i)(5)を押す。

● 画面メモ一覧が表示されます。

| | |
|---|---|
| （画面メモ） | 通常の状態です。 |
| （画面メモ） | 保護されています。 |
| （画面メモ） | FOMAカード動作制限（☞P.22）が設定されています。 |

## 2 画面メモを選び、●を押す。

● 指定した画面メモが表示されます。

画面をスクロールするとき
● を押します。
● を押すと、下に１画面単位でスクロールします。またを押すと、上に１画面単位でスクロールします。
● を１秒以上押すと、下に自動的にスクロールします。またを１秒以上押すと、上に自動的にスクロールします。スクロール中にもう一度またはを押すと、自動スクロールが停止します。

他の画面メモを表示するとき
● を押すと、前後の画面メモの内容を表示できます。

お知らせ
● 画面メモに登録された情報は、登録した時点の情報です。最新のサイトやインターネットホームページの情報と異なる場合があります。

画面メモのURLを確認するとき
● 操作２の画面でを押します。
● URLが表示されている状態で（コピー）を押すと、URLをコピーすることができます。
● 画面メモ一覧で、確認したい画面メモを選び、を押しても確認することができます。

画面メモの詳細な情報を確認するとき（情報表示）
● 操作２の画面でを押します。
● 画面メモ一覧で、確認したい画面メモを選びを押しても確認することができます。

画面メモ内の静止画をマルチメディアのイメージに取り込むとき
● 操作２の画面でを押します。
● 詳しくは、P.54を参照してください。

画面メモのURLを記載したｉモードメールを作成するとき
● 操作２の画面でを押します。

画面メモ内の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録するとき
● 操作２の画面でを押します。以降の操作について詳しくは、P.40の操作３～４を参照してください。

画面メモ内のFlash画像の効果音を鳴らすとき
● 操作２の画面でを押し、「■効果音設定」を選び、●を押し、を押します。

画面メモ内のFlash画像を再び再生するとき
● 操作２の画面でを押し、「■リトライ」を選び、●を押します。

# 画面メモのタイトルを変更する

画面メモのタイトルを編集することができます。

## 1 待受画面で、を押す。

● 画面メモ一覧が表示されます。

## 2 編集したい画面メモを選び、を押す。（タイトル編集）

● タイトル編集画面が表示されます。

## 3 タイトルを入力し、●を押す。

● を１秒以上押すと、入力されているタイトルが削除されます。
● 最大全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

お知らせ
● 画面メモ表示画面で、を押しても編集することができます。

サイト（番組）接続

## 画面メモを保護する

画面メモを保護したり、保護されている画面メモの保護を解除することができます。
保護すると上書きできなくなります。

**1** 待受画面で、(i)(5)を押す。

● 画面メモ一覧が表示されます。

**2** 保護／解除したい画面メモを選び、(📷)(3)を押す。（保護設定）

● 保護設定画面が表示されます。

**3** (1)を押す。（**ON**：保護する）

● 保護された画面メモには、「🔒」が表示されます。

解除するとき

● (2)を押します。

お知らせ ● 画面メモ表示画面で、(📷)(3)を押しても設定することができます。

## 画面メモを削除する

画面メモは次のいずれかの方法で、削除することができます。

| | |
|---|---|
| 1件削除 | 画面メモを1件ずつ削除します。 |
| 全件削除 | すべての画面メモを削除します。 |
| 選択削除 | 複数の画面メモを選び、まとめて削除します。 |

**1** 待受画面で、(i)(5)を押す。

● 画面メモ一覧が表示されます。

**2** 削除したい画面メモを選び、(📷)(1)を押す。（削除）

● 全件削除や選択削除の場合、画面メモを選ぶ必要はありません。
● 削除画面が表示されます。

**3** (1)を押す。（1件削除）

すべての画面メモを削除するとき

● (2)を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、(●)を押します。

複数の画面メモを選び、まとめて削除するとき

● (3)を押し、削除したい画面メモを選び、(●)を押します。（画面メモマークが「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されている画面メモを選び、(●)を押します。）削除したい画面メモをすべて選び、(i)（完了）を押します。
● 最大50件まで選択できます。

**4** 「はい」を選び、(●)を押す。

削除しないとき

●「いいえ」を選び、(●)を押します。

サイト（番組）接続

お知らせ
- 全件削除では、保護されていない画面メモだけを削除します。
- 画面メモ表示画面で、(カメラ)(1)を押しても１件削除することができます。

## 画面メモの情報を表示する

画面メモの情報（タイトル、保存日時、サイズ、保護設定）を表示します。

**1** 待受画面で、(i)(5)を押す。
- 画面メモ一覧が表示されます。

**2** 確認したい画面メモを選び、(カメラ)(5)を押す。（情報表示）

**3** 確認を終わるときは、(●)（確認）を押す。

## 画面メモを並べ替える<ソート>

画面メモ一覧の表示順番を次のいずれかに変更することができます。（ソート）

| | |
|---|---|
| 日付順（新→旧） | 保存した日付の新しい順 |
| タイトル順 | タイトルによって、半角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→カタカナ）→全角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→ひらがな→カタカナ→記号・特殊文字→漢字→絵文字）の順<br>※ 各文字種類内では、文字コード順 |
| サイズ順 | サイズの大きい順 |
| 保護優先 | 保護（日付順）→通常（日付順）の順（各項目内では「日付順（新→旧）」） |

- お買い上げ時は、「日付順（新→旧）」に設定されています。

**1** 待受画面で、(i)(5)を押す。
- 画面メモ一覧が表示されます。

**2** (カメラ)(6)を押す。（ソート）
- ソート画面が表示されます。

**3** ソート方法を選び、(●)を押す。
- ソートされます。
- 設定した表示方法は、表示方法を変更するか、電源を切るまで有効です。

お知らせ
- ソート操作を行ったあとタイトル編集などをしても、再ソートは自動的に行われません。操作２〜３をくり返し、再ソートしてください。

サイト（番組）接続

# サイトやメッセージR／Fから画像を取り込む

サイト、インターネットホームページやメッセージR／Fのお好みの画像やFlash画像を保存することができます。保存した画像は、待受画面などに設定することができます。
（☞『基本編』P.165）

- 保存した画像は、マルチメディアのイメージの「その他静止画」フォルダに保存されます。（☞P.220）
- 画像の保存件数は、最大300件です。メモリの使用状況によっては、少なくなることがあります。

サイトやインターネットホームページを例に説明します。

**1** サイトやインターネットホームページ、メッセージ**R**／**F**を表示中（☞**P.33**～**P.34**の操作１～３、**P.43**の操作１～２、**P.115**の操作１～３）に、[📷][9]を押す。

**2** 画像を選び、⦿を押す。




- 複数の画像がある場合は、保存したい画像を選び、⦿を押します。
- 「保存中」「その他静止画に保存しました」と表示されたあと、左の画面が表示されます。

フレームのとき

- 複数のフレームがある場合は、保存したいフレームを選び、⦿を押します。
- 「保存中」「アイテムに保存しました」と表示されます。

**3** 「はい」を選び、⦿を押す。




表示画面に設定しないとき

- 「いいえ」を選び、⦿を押します。

**4** 設定先の画面を選び、⦿を押す。

- 画像のファイル形式によって、設定できる項目が異なります。設定できない項目はグレーで表示されます。

お知らせ

- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールから画像を取り込む際は、メモリマークにご注意ください。メモリマークが表示されているときに、画像を取り込むと上書き保存される場合があります。
  あらかじめ、マルチメディアの不要な画像を削除して、メモリマークの表示を消すことをおすすめします。（画面メモ保存はできます。）

| | |
|---|---|
|  | イメージのメモリの空き容量が6Kバイト未満になったとき、または静止画の保存件数が300件に達したときに表示されます。 |
|  | ｉモーションのメモリの空き容量が10Kバイト未満になったとき、または動画／ｉモーションの保存件数が100件に達したときに表示されます。 |
|  | イメージとｉモーションのメモリの空き容量について、上記の両方の状態が重なったときに表示されます。 |

- 取り込んだ画像のサイズによってはサブディスプレイの待受画面などに設定した場合、全体を表示できないため、表示する部分を指定することができます。

# サイトからフレームを取り込む

フレームを提供しているサイトから、フレームをダウンロードし、保存しておくことができます。また、フレームは、静止画の編集やカメラの撮影に使用することもできます。

- 保存したフレームは、マルチメディアのイメージの「アイテム」フォルダに保存されます。
- フレームを使った静止画の編集について詳しくは、P.265を参照してください。
- フレームを使った静止画の撮影について詳しくは、P.234を参照してください。

## 1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33**～**P.34**の操作１～３、**P.43**の操作１～２）に、(カメラ)(9)を押す。

## 2 フレームを選び、◉を押す。

- 複数のフレームがある場合は、保存したいフレームを選び、◉を押します。
- 「保存中」「アイテムに保存しました」と表示されます。

**お知らせ**

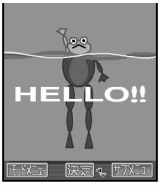
- サイトやインターネットホームページからフレームを取り込む際は、メモリマークにご注意ください。メモリマークが表示されているときに、フレームを取り込むと上書き保存される場合があります。（上書き保存時には、削除するファイルを選択できます。）
あらかじめ、マルチメディアの不要な画像を削除して、メモリマークの表示を消すことをおすすめします。

| | |
|---|---|
| | イメージのメモリの空き容量が6Kバイト未満になったとき、または静止画の保存件数が300件に達したときに表示されます。 |
| | ｉモーションのメモリの空き容量が10Kバイト未満になったとき、または動画／ｉモーションの保存件数が100件に達したときに表示されます。 |
| | イメージとｉモーションのメモリの空き容量について、上記の両方の状態が重なったときに表示されます。 |

# Flash画像を表示する

FOMA端末ではFlash画像を表示することができます。
また、Flash画像をマルチメディアのイメージに保存し、待受画面に設定することもできます。（☞P.259、『基本編』P.165）

**1** **Flash画像のあるサイト、インターネットホームページや保存している画面メモを表示する。（☞P.33～P.34の操作１～３、P.43の操作１～２、P.50～P.51の操作１～２）**




- Flash画像が自動的に再生されます。

**Flash画像内にリンクなどが設定されているとき**

- Flash画像の中には、リンクなどが設定されている場合があります。この場合は、[上]、[下]、[●]、[0]～[9]、[*]、[#]を押して、Flash画像内のリンクなどを選ぶことができます。

**お知らせ**

- 画像表示設定を「OFF」に設定しているとき、Flash画像は表示されません。
- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。

**Flash画像を保存するとき**

- 詳しくは、P.54の操作２～４を参照してください。

**Flash画像の効果音を鳴らすとき**

- 詳しくは、P.61を参照してください。

**Flash画像を再び再生するとき**

- Flash画像を表示中に、[カメラ]を押し、「■リトライ」を選び、[●]を押します。



# サイトからｉメロディを取り込む

サイトやインターネットホームページからメロディをダウンロードして保存することができます。ｉメロディは最大100件まで保存することができます。（メロディのサイズによって、保存できる件数が変わります。）
保存したメロディは着信音として設定したり、ｉモードメールに添付したりすることができます。

**1** サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33～P.34**の操作１～３、**P.43**の操作１～２）に、メロディを選び、[●]を押す。

- ダウンロードが終了すると、「完了しました」と表示されます。
- ダウンロード中にアニメーションが表示されない場合もあります。

**ダウンロードを中止するとき**

- ダウンロード中に[i]（中止）または[CLR]を押します。

**ダウンロードしたメロディを再生するとき**

- [1]を押します。[1]（フルコーラス再生）または[2]（ポイント再生）を押すと、再生されます。再生を中止するときは、[●]または[CLR]を押します。
- マナーモード設定中は、確認画面が表示されます。「はい」を選び、[●]を押します。
- 音量の設定にかかわらず、音量レベル３で再生されます。

## 2 2を押す。（保存）

- メロディ保存画面が表示されます。

保存しないとき
- 3を押します。

## 3 1を押す。（フルコーラス再生）

- 着信音に設定したとき全部演奏されます。

ポイント再生するとき
- 2を押します。あらかじめ設定されている一部が演奏されます。

すでにメロディが**100**件登録されているとき
- 上書きするメロディのメロディマークを選び、●を押し、「はい」を選び、●を押します。

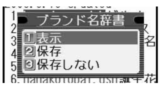
お知らせ　登録したｉメロディは、パソコンをお持ちの場合は、**miniSD**メモリーカード（☞**P.332**）またはデータリンクソフト（☞**P.404**）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。（メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディは転送できません。）

データファイル

# サイトからデータファイルを取り込む

サイトやインターネットホームページから各種のデータファイルをダウンロードし、FOMA端末に登録していろいろな用途に利用することができます。
- ダウンロード辞書ファイルは最大５件まで登録することができます。（ただし、使用できる辞書は最大２件です。）
- ｉMenu内のサイト「SH-MODE」から、FOMA端末で利用できるデータファイルをダウンロードすることができます。
  「ｉMenu」→「3メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「SH-MODE」

## 1 サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33**～**P.34**の操作１～３、**P.43**の操作１～２）に、ファイルを選び、●を押す。

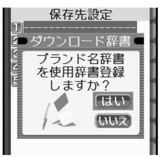



- ダウンロードが終了すると、「完了しました」と表示されます。

データを確認するとき
- 1を押します。

データを保存しないとき
- 3を押します。

## 2 2を押し、登録する番号を選び、●を押す。




すでに登録されている番号を選んだとき
- 上書きするかどうかを確認する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選び、●を押します。

すでに使用辞書設定に２件登録されているとき
- 左の確認画面は表示されません。現在設定されている辞書を解除してから、やり直してください。解除方法について詳しくは、『基本編』P.313～P.314の操作１～３を参照してください。

次ページへ続く

**3** 「はい」を選び、◉を押す。

データファイルをすぐに使用しないとき

● 「いいえ」を選び、◉を押します。



# Phone To・Mail To・Web To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールで反転表示された情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）を利用して簡単な操作で電話をかけたり、メールを送信したり、インターネットホームページを表示することができます。

● パソコンなどからHTML形式のメールを受信すると、Phone To、Mail To、Web To機能が使用できない場合があります。



## Phone To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールの中に表示されている電話番号に音声電話やテレビ電話をかけることができます。

● 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。

● ダイヤル発信制限中や電話帳のPIMロック中は、Phone To機能を使って電話をかけることはできません。

**1** サイト、インターネットホームページ、メッセージ**R**／**F**やメールで表示されている電話番号を選び、◉を押す。

**2** 「はい」を選び、◉を押す。

● 発信する電話番号が表示されます。

● 電話帳に登録されている電話番号の場合、電話番号と登録されている名前が表示されます。

電話をかけないとき

● 「いいえ」を選び、◉を押します。

**3** ◉（音声電話）または（📞）を押す。

● 表示されている電話番号に発信されます。

テレビ電話をかけるとき

● ⓘ（TV電話）を押します。

**お知らせ**

● サイトやインターネットホームページの場合、電話番号自体は表示されず、「電話番号はこちら」などの文字が反転表示されることがあります。

● サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールなどの中に表示されている電話番号を電話帳に登録することもできます。（☞P.40）

● メールの本文中に次の条件を満たす数字列が表示されている場合は、電話番号として認識されてPhone To機能を利用できます。

■ 「０」から始まる10～26桁の数字列

■ 「#」または「¥」で始まる「#」と「¥」を含めて５～26桁の数字列

■ 「tel:」で始まる３～26桁の数字列

※ 上記の数字列内に「-」（ハイフン）、「(」、「)」が含まれているときも、電話番号として認識されます。（ただし、これらの記号が連続した場合は、電話番号として認識されません。）

## Mail To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールなどの中に表示されているメールアドレスにｉモードメールを送ることができます。

- 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
- メールアドレスが２つ以上続けて表示されているときは、Mail To機能をご利用できない場合があります。
- メールアドレスとして使える文字数は半角50文字までです。51文字以上のアドレスは、メールアドレスとして認識されず、反転表示されません。

**1** サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールで表示されているメールアドレスを選び、◉を押す。

- メール作成画面が表示されます。選択したメールアドレスが入力されています。
- サイトやインターネットホームページから操作したときは、題名や本文が入力されていることもあります。

**2** ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.128の操作５～６を参照してください。

お知らせ
- サイトやインターネットホームページの場合、メールアドレス自体は表示されず、「メールはこちら」などの文字が反転表示されることがあります。
- サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールの中に表示されているメールアドレスを電話帳に登録することもできます。（☞P.40）

## 画像メールを作成する

サイトやインターネットホームページで表示されている画像のURLを貼付したｉモードメールを作成します。

**1** サイトやインターネットホームページを表示中（☞P.33～P.34の操作１～３、P.43の操作１～２）に、📷を押す。

**2** 「■画像メール作成」を選び、◉を押す。

**3** 画像を選び、◉を押す。




- 複数の画像がある場合は、添付したい画像を選び、◉を押します。

**4** ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。
- 画像のURLを貼付したｉモードメールが送信されます。



次ページへ続く

お知らせ
● 送信できるのは、GIF形式またはJPEG形式の静止画ファイルです。Flash画像は送信できません。

## ｉアプリTo機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メールや画面メモの中に表示されているURLからｉアプリを起動します。
● ｉアプリTo設定が「許可する」に設定されているときに、ｉアプリを起動することができます。
● URLが半角512文字を超える場合は、ｉアプリを起動できません。

**1** サイト、インターネットホームページ、メールや画面メモで表示されているｉアプリのアドレス（**URL**）を選び、◉を押す。

**2** 「はい」を選び、◉を押す。

● ｉアプリを起動します。

ｉアプリを起動しないとき
●「いいえ」を選び、◉を押します。

## Web To機能を使う

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやメールの中に表示されているURLのインターネットホームページを表示することができます。
● 一部ご利用になれないサイトやインターネットホームページがあります。
● URLが半角512文字を超える場合は、インターネットホームページを表示できません。

**1** サイト、インターネットホームページ、メッセージ**R**／**F**やｉモードメールで表示されているアドレス（**URL**）を選び、◉を押す。

● 接続確認が表示されます。

**2** 📷（はい）を押す。

● 接続が開始されます。
● 指定したインターネットホームページが表示されます。
● 以降は、ｉモードのインターネット接続と同様です。（☞P.33）

接続しないとき
● ⓘ（いいえ）を押します。

お知らせ
● サイトやインターネットホームページの場合、URL自体は表示されず、インターネットホームページの名称などの文字が反転表示されることがあります。
● ｉモーション待受画面（☞『基本編』P.165）からWeb To機能はご利用になれません。

メール本文に静止画のURLが含まれているとき
● 静止画をFOMA端末内のマルチメディアのイメージに保存することができます。
1 URLを選び、◉を押す。
2 📷（はい）を押す。
3 📷 9 ◉を押す。
● 保存した静止画は、マルチメディアのイメージの「その他静止画」フォルダに保存されます。

# 詳細機能を設定する

ｉモード接続に関する各種の機能を設定します。

## Flashの効果音を設定する<効果音設定>

Flash画像によっては効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らすかどうかを設定することができます。

● お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

**1** **Flash**画像のあるサイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33**〜**P.34**の操作１〜３、**P.43**の操作１〜２）に、(📷)を押す。

**2** 「■効果音設定」を選び、(●)を押す。

**3** (1)を押す。（**ON**：効果音を鳴らす）

● 効果音が鳴るように設定されます。

効果音を鳴らさないとき

● (2)を押します。

お知らせ ● マナーモード設定中は、効果音を「ON」に設定しても効果音は鳴りません。

## 接続待ち時間を設定する<接続待ち時間設定>

サイトやインターネットホームページが混み合っていてデータの送受信ができなかったときに、自動的にデータの送受信を中止するまでの時間を「60秒間」、「90秒間」、「無制限」のいずれかに設定することができます。

● お買い上げ時は、「60秒間」に設定されています。

**1** 待受画面で、(i)(9)を押す。

● ｉモード設定画面が表示されます。

**2** (1)(1)を押す。（接続待ち時間設定）

● 接続待ち時間設定画面が表示されます。

**3** 接続待ち時間を選び、(●)を押す。

お知らせ ● 設定されている接続待ち時間が経過した場合、「設定時間内に接続できませんでした」と表示され、元の画面に戻ります。

「3無制限」に設定したとき

● ｉモードセンターとの切断時間を設定しません。（ただし、電波状況等により切断される場合があります。）

# ｉモードから接続先を変更する（ISP接続通信）＜ｉモード接続先選択＞

※ ドコモのｉモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。

## ISP接続通信とは

ドコモのFOMA端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続が可能になります。ISP接続通信のご利用に際しては、パケット通信サービスのお申し込みが必要です。なお、ISP接続通信にはパケット通信料がかかります。
※ｉモードをご契約しているお客様はお申し込み不要です。

## プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料等がかかる場合があります。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダにお客様の電話番号や位置情報が通知される場合があります。
- 本FOMA端末に登録できる接続先は、最大10件です。（「ｉモード」を含まず）
- 「ｉモード」以外の接続先にすると、ｉモードがご利用できなくなります。

## 接続先を変更する

あらかじめ、接続先を登録しておく必要があります。

**1** 待受画面で、ⓘ 9 を押す。
- ｉモード設定画面が表示されます。

**2** 1 2 を押す。（接続先選択）
- 接続先選択画面が表示されます。

**3** 接続先番号を押す。

**4** 1 を押す。（設定）

## 接続先を登録する

最大10件（「ｉモード」を含まず）まで登録することができます。

**1** 待受画面で、ⓘ 9 を押す。
- ｉモード設定画面が表示されます。

**2** 1 2 を押し、登録したい番号を押す。（接続先選択）

**3** 2 を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、● を押す。
- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

サイト（番組）接続

## 4 接続先名を入力する。

- 新規登録のときは「接続先○」と表示されます。
- 表示されている接続先名を消すときは、CLRを１秒以上押します。
- 最大全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

## 5 ●を押し、接続先を入力する。

- 入力できるのは半角英数字と記号です。
- 最大半角99文字まで入力できます。

## 6 ●を押し、接続先アドレスを入力し、●を押す。

- 入力できるのは半角英数字と記号です。
- 最大半角30文字まで入力できます。

お知らせ

- ドコモのｉモードサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。
- 接続先選択の画面で表示される「ｉモード（FOMAカード）」は、ｉモードをご契約された地域により、次のいずれかになります。
  - ■「ドコモ北海道」「ドコモ東北」「ドコモ」「ドコモ東海」「ドコモ北陸」「ドコモ関西」「ドコモ中国」「ドコモ四国」「ドコモ九州」
- お買い上げ時の接続の情報を変更することはできません。

登録内容をリセットするとき

1. 操作２の画面で登録内容をリセットしたい接続先を選び、●を押す。
2. 3（リセット）を押す。
3. 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 現在設定されている接続先をリセットすると、接続先は「ｉモード（FOMAカード）」になります。

# 画像を表示しないようにする<画像表示設定>

サイトやインターネットホームページ、メッセージR／F本文内の画像や画面メモの静止画を表示しないように設定することができます。

- お買い上げ時は、「ON」（表示する）に設定されています。

## 1 待受画面で、ｉ9を押す。

- ｉモード設定画面が表示されます。

## 2 31を押す。（画像表示設定）

- 画像表示設定画面が表示されます。

## 3 2を押す。（**OFF**：表示しない）

表示するとき

- 1を押します。

お知らせ

- 画像表示設定を、「OFF」に設定すると、静止画の表示位置に「🔍」が表示されます。この場合、表示されている静止画を画面メモに登録しても、静止画は保存されません。（☞P.50）
- 画像表示設定を、「OFF」に設定すると、Flash画像も表示されません。
- ｉモードメールやメッセージR／Fの添付画像は、画像表示設定を「OFF」に設定していても表示されます。

サイト（番組）接続

# 証明書を操作する

## CA証明書の有効／無効を設定する<CA証明書設定>

SSLページを表示する際は、以下の証明書が必要です。

- CA（Certification Authorityの略）証明書…認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時、FOMA端末内に保存されています。
- ドコモCA証明書…FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、FOMAカード（緑色）内に保存されています。
- ユーザ証明書…FOMA端末内のメニュー（☞P.66）を選択してFirstPassセンターからダウンロードした証明書です。FOMAカード（緑色）内に保存されます。

各証明書の内容は、表示することができます。また、万が一、CA証明書自体の安全性に問題が生じた場合は、CA証明書を無効にできます。

- お買い上げ時は、すべて「有効」に設定されています。
- CA証明書を無効にすると、そのCA証明書を使用するSSLページは表示できなくなります。

**1** 待受画面で、ⓘ⑨を押す。

- ｉモード設定画面が表示されます。

**2** ③②を押し、有効／無効にする証明書を選ぶ。

- 有効な証明書には「☑」が、無効な証明書には「□」が表示されています。

**3** 📷（有効／無効）を押す。

- 有効／無効が切り替わります。

お知らせ　証明書の内容を表示するとき

- 操作２の画面で、表示したい証明書を選び、◉（表示）を押します。

## ユーザ証明書を操作する<ユーザ証明書操作>

FirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続する際は、ユーザ証明書が必要です。ユーザ証明書は、お客様がFOMAと契約されていることを証明するもので、FirstPassセンターからユーザ証明書の発行を要求したり、ダウンロードすることができます。ダウンロードしたユーザ証明書はFOMAカード（緑色）に保存され、クライアント認証に対応しているサイトやインターネットホームページで利用できます。

- FOMAカード（青色）ではご利用になれません。
- FOMAデータプランではご利用になれません。（ISP接続通信でご利用の場合は料金プランに関わらずご利用いただけます）
- FirstPassセンターに接続するには、日付・時刻設定が必要です。（☞『基本編』P.56）
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンター接続中は、メールの送受信やメッセージR／Fの受信はできません。

お知らせ

**FirstPassのご使用にあたって**

- FirstPassとはドコモの電子認証サービスです。FirstPassを利用することにより、サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
- ユーザ証明書の発行要求をする際は、画面に表示される「FirstPass ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意のうえ、要求してください。
- ユーザ証明書のご利用にはPIN２コードの入力が必要です。（☞『基本編』P.185）
PIN２コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMAカードまたはPIN２コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
- FOMAカードの紛失、盗難にあった場合などは、当社窓口にてユーザ証明書の失効を行うことができます。
- FirstPass 対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様とFirstPass対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
- FirstPassおよびSSLのご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性等に関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

クライアント認証について

- FOMA端末では、より安全にデータをやりとりするために、サーバ認証とクライアント認証を行います。サイト側とFOMA端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手側の証明書を検証して、確実にお互いの認証を行います。クライアント認証をうけることで、より安全に通信サービスを受けられます。
- FOMAカード（青色）ではユーザ証明書を使ったクライアント認証はご利用になれません。

## ■ユーザ認証でサイトに接続する

ユーザ証明書を用いてFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続します。

**1** サイトやインターネットホームページに接続し、**SSL**対応のサイトを表示する。（☞**P.33**～**P.34**の操作１～３、**P.43**の操作１～２）

- ユーザ証明書が必要なサイトやインターネットホームページでは、送信確認画面が表示されます。

**2** 「はい」を選び、◉を押す。

- PIN２コード入力画面が表示されます。

**3** **PIN**２コード（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

- 認証が成功すると、SSL対応のサイトやインターネットホームページが表示されます。
- PIN2コードについて詳しくは、『基本編』P.185を参照してください。

お知らせ

- ユーザ証明書がない状態でFirstPass対応のサイトやインターネットホームページに接続した場合、「ユーザ証明書がありません　継続しますか？」というメッセージが表示されます。「いいえ」を選ぶとSSL通信が切断されます。FirstPassセンターからユーザ証明書をダウンロードしてから再び接続してください。
- ユーザ証明書の有効期限が切れている場合、「ユーザ証明書の有効期限が切れています　継続しますか？」というメッセージが表示されます。「NO」を選び◉を押すと元のページに戻ります。FirstPassセンターでユーザ証明書を更新してから再び接続してください。

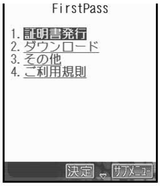
## FirstPassセンターに接続する

ユーザ証明書の操作はFirstPassセンターから行います。
FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は変更されることがあります。

**1** 待受画面で、(i)(9)(3)(4)(1)を押す。

● FirstPassセンターのトップ画面が表示されます。

**2** 「次へ」を選び、◉を押す。




● FirstPassセンターのトップメニューが表示されます。

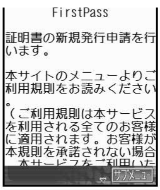
**お知らせ**

● FirstPassセンターに接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんので、あらかじめご了承ください。
● FirstPassを利用する前には、操作２の画面で、「ご利用規則」を選び、◉を押し、記載内容をよくお読みください。
● FirstPassセンターへ接続中は、次の機能を利用できません。
- ■ テレビ電話（音声電話は利用可）
- ■ ｉモードメールの送受信（SMSの受信は利用可）
- ■ ｉモード問い合わせ（SMS問い合わせ）
- ■ メッセージR／Fの受信
- ■ ｉモーションの取り込み
- ■ Web To機能

## ユーザ証明書の発行を申請する

ユーザ証明書のダウンロードを行う前には、必ずユーザ証明書の発行を申請します。

**1** **FirstPass**センターに接続（☞前項「■ **FirstPass**センターに接続する」の操作１～２）し、「証明書発行」を選び、◉を押す。

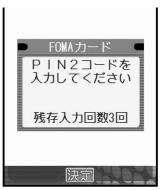



● 新規発行画面が表示されます。

更新を申請するとき

● 更新発行画面が表示されます。

**2** 「実行」を選び、◉を押す。



**3** PIN２コード（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

- PIN２コードについて詳しくは、『基本編』P.185を参照してください。
- 「証明書の発行申請が完了しました。一度終了し、ダウンロード操作を行ってください。」の画面が表示されます。
- 終了するには、☎を押し「はい」を選び、◉を押します。

お知らせ
- ユーザ証明書を新規でダウンロードする場合と更新でダウンロードする場合、どちらの場合も必ずユーザ証明書の発行申請を行ってください。発行の申請をしていないユーザ証明書はダウンロードすることができません。

## ■ユーザ証明書をダウンロードする

発行申請が完了したら、ユーザ証明書をダウンロードします。ダウンロードを完了すると、ユーザ証明書はFOMAカードに保存され、そのユーザ証明書が必要なSSL対応のページが表示できるようになります。

**1** FirstPassセンターに接続（☞P.66「■FirstPassセンターに接続する」の操作１～２）し、「ダウンロード」を選び、◉を押す。




**2** 「実行」を選び、◉を押す。

- ダウンロード完了画面が表示されます。
- 終了するには、☎を押し「はい」を選び、◉を押します。

## ■ユーザ証明書の失効を申請する

一度ダウンロードしたユーザ証明書を無効にします。

**1** FirstPassセンターに接続（☞P.66「■FirstPassセンターに接続する」の操作１～２）し、「その他」を選び、◉を押し、もう一度◉を押す。

**2** 「はい」を選び、◉を押す。（証明書失効）

**3** PIN２コード（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

- PIN２コードについて詳しくは、『基本編』P.185を参照してください。

**4** 「次へ」を選び、◉を押す。

- 失効申請確認の画面が表示されます。

**5** 「実行」を選び、◉を押す。

- 「証明書の失効申請が完了しました。」の画面が表示されます。
- 終了するには、☎を押し「はい」を選び、◉を押します。

次ページへ続く▶▶

**お知らせ**
- ユーザ証明書の発行申請、ダウンロード、失効申請は、連続して行うことはできません。それぞれ操作終了後、いったんFirstPassセンターとの接続を終了させてください。
- 失効申請が完了すると、FirstPass対応サイトは表示できなくなります。
- 失効が完了したユーザ証明書を有効にする場合には、再びユーザ証明書の発行申請とダウンロードを行ってください。
- ダウンロードしたユーザ証明書を見る方法について詳しくは、P.64の「お知らせ」を参照してください。

## 証明書発行接続先を変更する

ユーザ証明書をダウンロードするときの接続先を設定します。
- お買い上げ時は、「ドコモ」に設定されています。

※ 通常は設定を変更する必要はありません。

**1** 待受画面で、(i)(9)を押す。
- ｉモード設定画面が表示されます。

**2** (3)(4)(2)を押す。（センター接続先設定）




**3** (1)を押す。

**4** 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押す。
- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

**5** 接続先情報を入力し、(●)を押す。




- 入力できるのは半角英数字と記号です。
- 最大半角99文字まで入力できます。

**6** 接続先アドレスを入力し、(●)を押す。




- 入力できるのは半角英数字と記号です。
- 最大半角100文字まで入力できます。

お知らせ　登録内容をリセットするとき

1 操作３で、②（リセット）を押す。
2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。
● 現在設定されている接続先情報と接続先アドレスの設定を、お買い上げ時の状態に戻します。

ｉモード設定リセット

# ｉモード機能の設定を初期状態に戻す

ｉモードに関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。
リセットされる項目と、お買い上げ時の状態は次のとおりです。

| 設定項目 | | | お買い上げ時の設定 |
|---|---|---|---|
| 共通設定 | 接続待ち時間設定 | | 60秒間 |
| | 接続先選択 | | ｉモード（FOMAカード） |
| Internet設定 | 画像表示設定 | | ON |
| | 証明書設定 | | ドコモ証明書１～２<br>CA証明書１～５すべて有効 |
| | ｉモーション設定 | 自動再生設定 | する |
| | | ｉモーションタイプ設定 | 標準タイプ |
| | セキュア通信サービス | センター接続先設定 | 接続先：“ reg.ca.nttdocomo.co.jp ”<br>接続先アドレス：<br>“ reg.ca.nttdocomo.co.jp ” |
| サブメニュー項目 | 効果音設定 | | ON |

**1** 待受画面で、ⓘ⑨を押す。

● ｉモード設定画面が表示されます。

**2** ④を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

● 入力した端末暗証番号は、「✱」で表示されます。

**3** 「はい」を選び、●を押す。

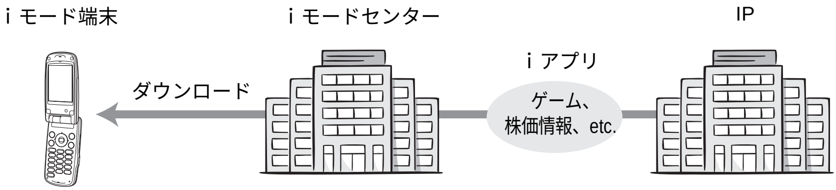
● 設定がリセットされます。

設定をリセットしないとき
●「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ
● 接続先選択でお買い上げ時に設定されている「ｉモード（FOMAカード）」は、ｉモードをご契約された地域により、次のいずれかになります。
■ 「ドコモ北海道」「ドコモ東北」「ドコモ」「ドコモ東海」「ドコモ北陸」「ドコモ関西」「ドコモ中国」「ドコモ四国」「ドコモ九州」

# ｉアプリとは

ｉアプリをサイトから取り込むことにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）をより便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードで楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。
さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などマルチメディアと連動できるｉアプリもあります。




● ｉアプリをダウンロードするには☞P.72
● ｉアプリを実行するには☞P.74
● ｉアプリを自動実行するには☞P.80

● ソフトによっては、ｉモード端末の携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号、FOMAカードの識別番号など）を利用する場合があります。
● ソフトによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。

## 登録データを利用する

ｉアプリのソフトには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作ができるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

● 電話帳登録
● スケジュール登録
● アイコン情報利用
● マルチメディアからの画像取得
● ブックマーク登録
● マルチメディアへの画像保存

# ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信か知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。（☞P.74）

## 登録データを利用する

ｉアプリDXのソフトでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）に加えて、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは以下のとおりです。

● 電話帳登録
● ブックマーク登録
● 電話帳参照
● スケジュール登録
● アイコン情報利用
● メールメニューの利用

- iモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音保存
- 着信音変更（電話、メール、メッセージ）
- マルチメディアからの画像取得
- マルチメディアへの画像保存
- 画面設定の変更（待受画面、電話発着信、メール送受信、メッセージR／F受信）

- iアプリDXでは、ソフトの有効性を確認するため、ソフトの通信設定にかかわらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはソフトによって異なります。
- iアプリDXを起動するには日付時刻設定が必要です。

## メール連動型iアプリとは

メール連動型iアプリは、iアプリDXの一種で、iモードメールで情報をやり取りすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ソフトをより便利に楽しく利用することができます。

- メール連動型iアプリで利用されるiアプリメールは、正しく表示できない場合があります。

### こんなこともできます

#### iアプリ待受画面

iアプリ待受画面では、iアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。☞P.84

- iアプリ待受画面に対応したソフトで利用できる機能です。

#### iアプリの自動起動

時刻や日付、曜日などを指定して、ソフトを自動起動できます。あらかじめソフトに設定されている時間間隔で自動起動できるソフトもあります。☞P.80

#### カメラ撮影

ソフトからiモード端末のカメラを使って撮影できます。☞P.76

- カメラ撮影機能に対応したソフトで利用できる機能です。

#### 赤外線通信

ソフトから、赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動して、より広がった使い方ができます。☞P.76

- 赤外線通信機能に対応したソフトで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

#### 赤外線リモコン

ソフトから赤外線リモコンに対応した家電機器など各種機器を操作できます。
☞P.331、別冊『SH900i iアプリのご紹介』

- 赤外線リモコン機能に対応したソフトで利用できる機能です。相手の機器に対応したソフトが必要です。

#### バーコードリーダー

ソフトからiモード端末のカメラを使ってバーコードを読み取ることができます。
☞P.246

# ソフトをダウンロードする

サイトやインターネットホームページからｉアプリのソフトをダウンロードすると、FOMA端末のディスプレイ上で実行することができます。

- ソフトは最大10～100件まで保存することができます。（ソフトのサイズによって、保存できる件数が変わります。）

## 1 サイトやインターネットホームページ表示中（☞P.33～P.34の操作1～3、P.43の操作1～2）に、ソフトを選び、◉を押す。

- ｉアプリダウンロード中画面が表示され、ダウンロードが開始されます。




### 「ｉアプリを起動しますか？」が表示されたとき

- 「はい」を選び、◉を押すと、起動されます。
- ソフトによっては、ダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトは、ダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト実行後、終了時に保存するかどうかを選択できます。

### ダウンロードを中止するとき

- 「ダウンロード中」というメッセージが表示されているときに、CLRを押します。

### FOMA端末（本体）のメモリの空き容量が不足しているとき

- 「空き容量が不足しています　容量確保しますか？」と表示されます。

### 上書き（削除）するとき

- 「はい」を選び、◉を押し、上書き（削除）するソフトを選び、◉を押します。
上書き（削除）したいすべてのソフトを選び終わったらⓘ（完了）を押します。

### 別のFOMAカードを使用してダウンロード済みのとき

- 「異なるFOMAカードでダウンロード済みです　ソフトを上書きしますか？」と表示されます。「はい」を選び、◉を押すと、上書きされます。

**お知らせ**

- 電波状態によりダウンロードが失敗した場合、ｉアプリは登録されません。
- ダウンロード時にメモリの空き容量が不足したため古いソフトを削除した後で、電波状態によりダウンロードが失敗しても、古いソフトは復活できません。
- 通信設定を「通信しない」に設定すると、情報提供ができない場合があります。ご注意ください。
- ダウンロード開始前に「このソフト（ｉアプリDX）は登録データと携帯電話情報を利用します。ダウンロードしますか？」または「このソフト（ｉアプリDX）は登録データを利用します。ダウンロードしますか？」または「このソフトは携帯電話情報を利用します。ダウンロードしますか？」が表示される場合があります。「はい」を選び、◉を押すと、ダウンロードを開始します。なお、「登録データ」を選び、◉を押すと、利用する登録データの一覧が確認できます。
- ソフト情報表示設定を「ON」に設定すると、ダウンロード開始時にソフト情報が表示されます。◉を押すとダウンロードが開始されます。
- アイコン情報設定を「使用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話情報（携帯電話機の機種や製造番号、FOMAカードの識別番号）と同様にインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。
- SSL対応のページからｉアプリの情報やｉアプリをダウンロード中のときは、「SSL」が表示されます。
- ｉアプリのソフトによっては、ダウンロードをしたあとも自動的に通信を行う場合がありますが、このサービスを利用するにはあらかじめFOMA端末での設定が必要です。
- ｉアプリのPIMロック中は、ｉアプリをダウンロードできません。

**選択したソフトがすでにFOMA端末に保存されているとき**

- ソフトのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの問い合わせ画面が表示されます。「はい」を選び、◉を押すと、ダウンロード（バージョンアップ）が開始されます。

## メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードするときは、次の点にご注意ください。

- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、送信BOX、受信BOX、未送信BOXにメール連動型ｉアプリ用フォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更することはできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダがすでに５個ある場合、メール連動型ｉアプリはダウンロードできません。
- 同じフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、すでにソフト一覧にある場合、そのソフトはダウンロードできません。
- メール連動型ｉアプリ用フォルダのみが残っており、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再ダウンロードしようとした場合、フォルダを利用することができます。フォルダを利用しない場合は、フォルダを削除して新規フォルダを作成することができます。新規フォルダを作成しない場合は、メール連動型ｉアプリをダウンロードすることができません。
- メール起動時ｉアプリを残したまま、対応するメール連動型ｉアプリ用フォルダを削除することはできません。ソフトがない場合はフォルダを削除することができますが、送信フォルダ一覧、受信フォルダ一覧、未送信フォルダ／メール一覧に作成されたフォルダがまとめて削除されます。
- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作成されたフォルダを同時に削除するかしないかを選択することができます。フォルダ内に保護されているメールがある場合は、そのメールとフォルダは残します。
- メールのPIMロック中（☞『基本編』P.194）は、メール連動型ｉアプリをダウンロードできません。
- メールのPIMロック中は、メールフォルダ名を変更するメール連動型ｉアプリはダウンロードやバージョンアップできません。
- メールのPIMロック中は、新規メールフォルダを作成するメール連動型ｉアプリはダウンロードできません。

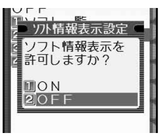
## ダウンロード時にｉアプリの情報を見る＜ソフト情報表示設定＞

ダウンロード開始時に、ソフトの情報を表示するかどうかを設定することができます。

**1** 待受画面で、ⓘを１秒以上押す。

- ｉアプリ画面が表示されます。
- ⓘを２回押してもｉアプリ画面が表示されます。

**2** ②を押す。（ソフト情報表示設定）




**3** ①を押す。（**ON**：ソフトの情報を表示する）

- ダウンロードを行うと、ソフト情報が表示されます。◉を押すと、ダウンロードが開始されます。

表示しないとき

- ②を押します。

# ｉアプリを実行する

FOMA端末に保存されているｉアプリを実行（起動）します。

● ソフトによっては、起動したときに自動的に通信するものがあります。あらかじめ「通信設定」（☞P.82）で通信しないようにしたり、起動するたびに接続するかどうかを確認するよう設定することができます。

## 1 待受画面で、ⓘを１秒以上押す。

● ｉアプリ画面が表示されます。
● ⓘを２回押してもｉアプリ画面が表示されます。

## 2 1を押す。（ソフト一覧）




● FOMA端末に保存されているソフトのタイトルが表示されます。
● 選択しているソフトの設定状態によっては、次のマークが表示されます。
：ｉアプリ待受画面の機能を持ったソフト
：自動起動の機能を持ったソフト
：SSL通信でダウンロードしたソフト
：ｉアプリDXのソフト
：メール連動型ｉアプリのソフト
：ｉアプリ待受画面に設定されているソフト
：自動起動が設定されているソフト
：通信する機能を持ったソフト
：背面起動が設定されているソフト

## 3 実行するソフトを選び、●を押す。




● ｉアプリ起動中画面が表示され、選んだソフトが起動します。

### ソフトを終了するとき

● ソフト実行中に☎を押し、「はい」を選び、●を押します。

**お知らせ**

● ｉアプリをダウンロード時に使用したFOMAカードと同じFOMAカードを挿入していないと実行（起動）できないｉアプリがあります。
● ソフト実行中にｉモードメールやメッセージR／F、SMSが届いたときは、自動的に受信され「✉／R／F」が点灯します。受信したメールを確認するときは、ｉアプリを終了させてください。
● ソフト実行中に音声電話がかかってくるとソフトは中断され、電話を切ると再開します。
● ソフト実行中にテレビ電話がかかってくると、ソフトは中断され、通話を行った場合ソフトは終了します。通話を行わずにテレビ電話を終了した場合は、ソフトが再開します。
● ソフト実行中にスケジュールやアラームの時刻になると、ソフトは中断され、スケジュールやアラームの通知画面が表示されます。スケジュールやアラームの通知画面を終了すると再開します。
● メール連動型ｉアプリは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXからも起動できます。各フォルダ一覧からｉアプリメール用フォルダを選び、●を押します。
● 起動時にソフトのバージョンが更新されていた場合は、確認画面が表示されバージョンアップすることができます。

**FOMA端末を閉じたままｉアプリを起動するとき**

● 背面起動設定されているソフトがある場合、設定されたソフトが起動できます。サブディスプレイの待受画面で（背面中央ボタン）を押して「ｉアプリ」を選び、（背面中央ボタン）を押します。
● サブディスプレイにカレンダーが表示されているときは、（背面中央ボタン）を押してもメニューを表示できませんので、（背面上ボタン）を押して、サブディスプレイの表示を通常表示に切り替えたあと（☞P.15）で操作してください。

**お知らせ**

ｉアプリDXを起動するとき

- ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。（通信する回数やタイミングは、ソフトにより異なります。）
- 日付・時刻を設定していないときは、有効性の確認は実行されずソフトは起動できません。
- ソフトが無効になった場合、有効性を確認できるまではソフトを起動できません。

ｉアプリ作成者の方へ

- 作成したｉアプリが正常な動作をしない場合は、トレース情報の内容が参考になることがあります。(i)を１秒以上押し、(5)を押すと、トレース情報の内容が表示されます。通常、「5トレース表示」は表示されません。
- トレース情報はトレースを採取するように設定されているソフトがないときは表示できません。

## ソフトから他のソフトを起動する

ソフトによっては、他のソフトを起動することができるものがあり、ソフト一覧に戻ることなくソフトを楽しむことができます。

- 起動するソフトが指定されていないときは、画面の指示に従ってソフトを選択します。
- 起動するソフトがFOMA端末に保存されていない場合は、ダウンロードする必要があります。

# ｉアプリからさまざまな機能を利用する

## ｉアプリからサイトを表示する

実行中のソフトから、サイトやインターネットホームページを表示することができます。

- サイト表示に対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリ待受画面からWeb To機能はご利用になれません。
- URLが半角の英数字や記号で255文字を超えるサイトは表示することができません。

**1** ソフト実行中に、**URL**の項目を選び、(●)を押す。

- サイトやインターネットホームページを表示する方法は、ソフトによって異なります。

**2** (1)を押す。（はい）

- サイトやインターネットホームページが表示されます。

操作を中止するとき

- (2)を押します。

URLを表示するとき

- (3)を押します。

## ｉアプリから電話をかける

実行中のソフトから、音声電話またはテレビ電話をかけることができます。

- 音声電話またはテレビ電話をかけることに対応したソフトをダウンロードする必要があります。
- ｉアプリ待受画面から電話をかけることはできません。
- ダイヤル発信制限中、セルフモード中、電話帳のPIMロック中は、電話をかけることができません。
- テレビ電話をかけると、ｉアプリは終了します。

**1** ソフト実行中に、電話番号の項目を選び、(●)を押す。

- 音声電話またはテレビ電話をかける方法は、ソフトによって異なります。



次ページへ続く

**2** 「はい」を選び、◉を押す。

- 音声電話またはテレビ電話をかける電話番号が表示されます。

**3** 📞を押す。（発信）

- 表示されている電話番号に発信されます。

操作を中止するとき
- CLRを押します。

## ｉアプリからカメラ機能を利用する

実行中のソフトから、カメラを利用することができます。
- ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像はｉアプリの一部として保存、利用されます。

**1** ソフト実行中に、カメラの起動項目を選び、◉を押す。

- カメラモード（静止画撮影画面）になります。明るさの調節をしたり、セルフタイマー、ズームを利用することもできます。
- ソフトから「画像サイズ」や「連写」、「画質」、「フレーム」などの設定ができるものもあります。設定できる項目や設定方法、カメラ起動方法はソフトによって異なります。

**2** ◉（撮影）を押す。

- 画像が撮影されます。

撮影した画像を保存するとき
- ◉（保存）を押します。

お知らせ
- ソフトによってはｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して送信することがあります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリが、カメラ機能を起動して撮影した画像、マルチメディアのイメージから選択した画像および赤外線通信機能を利用して取得した画像などです。

## ｉアプリから赤外線通信機能を利用する

実行中のソフトから、赤外線通信機能（☞P.324）を利用することができます。
- セルフモード中は、赤外線通信機能を利用することはできません。

**1** ソフト実行中に、赤外線通信を起動する。

- 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。

**2** 「はい」を選び、◉を押す。

- 赤外線通信を開始します。

操作を中止するとき
- 「いいえ」を選び、◉を押します。

赤外線通信を中止するとき
- 「通信中」というメッセージが表示されているときに、CLRを押します。

## お買い上げ時に登録されているソフト

### キティDEリモコン2

キティと一緒に、FOMA端末で楽しくテレビをコントロール。FOMA端末を閉じたままでもテレビの音量変更やチャンネル切り替えが可能です。






### パイロットになろう！ SH

いろいろな飛行機を操ることのできる、フライトシミュレーションゲームです。






### Dimo絵文字メール

メール内の絵文字に反応して、キャラクタ達が愉快に動き回り、楽しいメールのやりとりができます。また、相手がDimo対応の機種の場合は、キャラクタ達が電話やメールの着信を教えてくれたり、FOMA端末の未読メール情報などを伝えてくれます。

- メール連動型ｉアプリで利用されるｉアプリメールは、正しく表示できない場合があります。






**お知らせ**

- お買い上げ時は、内蔵ｉアプリの各機能は次のように設定されています。
- ソフト一覧のサブメニューより設定を変更することができます。

| 設定項目 | お買い上げ時の設定 | | |
|---|---|---|---|
| | キティDE リモコン2 | パイロットに なろう！ SH | Dimo絵文字 メール |
| 待受画面設定 | 設定しない | ー | 設定しない |
| 通信設定 | 通信する | 通信する | 通信する |
| ｉアプリTo設定 | 許可する | 許可する | 許可する |
| アイコン情報設定 | ー | ー | 使用する |
| 着信音／画像変更 | ー | ー | ー |
| 電話帳／履歴参照 | ー | ー | 許可する |
| 背面起動設定 | 設定する | ー | ー |

- 「Dimo絵文字メール」について詳しくは、最新の『FOMAｉモード操作ガイド』を参照してください。「Dimo絵文字メール」以外の内蔵ｉアプリについては、別冊『SH900i ｉアプリのご紹介』を参照してください。

ソフト情報表示

# ソフトの情報を見る

ソフト名、バージョン、ソフト保存領域、プロファイルバージョン、対応機種、自動起動の時間間隔、SSL接続などの情報を表示します。
- 表示されるｉアプリのソフト名は変更できません。

**1** 待受画面で、iを１秒以上押し、1を押す。
- ソフト一覧画面が表示されます。

**2** ソフトを選び、◎1を押す。（ソフト情報表示）
- ソフトの設定状態が表示されます。
- SSL対応のページからダウンロードしたｉアプリの場合は、ソフト情報の「SSL接続」の項目に「あり」と表示されます。

ｉアプリTo機能

# サイトやｉモードメールからｉアプリを実行する

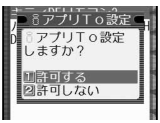
サイト、インターネットホームページ、メッセージR／F、ｉモードメールや画面メモにｉアプリTo（ｉアプリ起動設定）が表示されている場合、ｉアプリを起動することができます。また、赤外線通信中にｉアプリ起動の信号を受信したとき、またバーコードリーダーでｉアプリの起動情報を読み取ったときもｉアプリを起動することができます。
ｉアプリToを許可するかどうかは、ｉアプリTo設定で設定します。

## ｉアプリToでの起動を設定する＜ｉアプリTo設定＞

ｉアプリToで起動させるかどうかを、ソフトごとに設定することができます。
- お買い上げ時やソフトのダウンロード時は、「許可する」に設定されています。

**1** 待受画面で、iを１秒以上押し、1を押す。
- ソフト一覧画面が表示されます。

**2** ソフトを選び、◎6を押す。（ｉアプリTo設定）




**3** 1を押す。（許可する）

許可しないとき
- 2を押します。

お知らせ
- 起動するソフトは、サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールによって決まっています。指定のソフトをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- バーコードリーダーで読み取ることができるｉアプリの起動情報は一つ分だけです。

## サイトやｉモードメールからｉアプリを起動する<ｉアプリTo機能>

サイト、インターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールにｉアプリ To（ｉアプリ起動設定）が設定されている場合は、ｉアプリを起動することができます。

- ｉアプリTo設定が「許可しない」に設定されている場合、ｉアプリToでは起動できません。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。

### 1 サイト、インターネットホームページ、メッセージ**R／F**、ｉモードメールや画面メモに表示されているｉアプリを選び、◉を押す。

- ｉアプリ起動画面が表示されます。

### 2 「はい」を選び、◉を押す。

- ソフトが起動します。

起動を中止するとき

- 「ｉアプリ起動中」というメッセージが表示されているときに(PWR/HLD)を押します。

お知らせ

- ｉアプリを終了すると、元のサイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fや受信メール詳細画面に戻ります。
- ｉアプリの起動指定に該当するソフトがない場合は、「指定されたソフトがありません」というメッセージが表示されます。
- サイトによっては、指定のソフトがFOMA端末に保存されていないときや、FOMA端末に保存されているソフトのバージョンが古いときに、ソフトをダウンロードできる場合があります。
- ソフトによってはダウンロードが完了すると自動的に起動するように設定されているものもあります。このようなソフトはダウンロード後すぐにFOMA端末には保存されません。ソフト実行後、終了時に保存するかどうかを選択できます。
- 実行中に「通信設定」が必要な場合もあります。
- ｉモードメールからのｉアプリToは、IP（情報サービス提供者）からのｉモードメール配信で利用する機能です。FOMA端末どうしではご利用になれません。

# ｉアプリを自動起動する

ｉアプリの自動起動には、次の２種類があります。

**ソフト自体の機能による自動起動**
あらかじめソフトに組み込まれている自動起動の動作です。

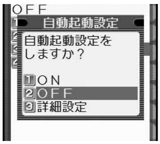
**FOMA端末の設定による自動起動**
FOMA端末に保存されているｉアプリに対して、時刻・日付・曜日を指定して自動起動を設定します。

ここではFOMA端末の設定による自動起動について説明します。

ｉアプリの自動起動を許可するかどうかの設定と、ソフトごとの日時の登録操作が必要です。
- あらかじめ日時を設定しておいてください。（☞『基本編』P.56）
- 最大10件まで登録することができます。

## 自動起動を設定する

**1** 待受画面で、[i]を１秒以上押し、[3]を押す。




**2** [1]を押す。（**ON**：自動起動を許可する）

- 設定後、ｉアプリ画面が表示されます。

**解除するとき**
- [2]を押します。

| お知らせ | ● 自動起動設定を「ON」に設定したときは、詳細設定で起動日時も登録してください。起動日時が登録されたソフト以外は起動しません。 |
|---|---|

### ■ ソフトの起動日時を設定する

**1** 待受画面で、[i]を１秒以上押し、[3]を押す。

- 自動起動設定画面が表示されます。

**2** [3]を押す。（詳細設定）

## 3 設定する番号を選び、◉を押す。

- 新規に登録するときは「--------------------」が表示されている番号を選びます。

### 自動起動のスケジュールを変更するとき

- 変更する番号を選び、◉を押し、1（変更）を押します。

### 自動起動のスケジュールを削除するとき

- 削除する番号を選び、◉を押し、2（削除）を押します。

## 4 自動起動するソフトを選び、◉を押す。




## 5 1を押す。（デイリー）

### 曜日指定のとき

- 2を押し、起動したい曜日を選び、◉を押します。（表示が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されている曜日を選び、◉を押します。）
  起動したい曜日をすべて選び、ⓘ（完了）を押します。

### 日付指定のとき

- 3を押します。
- 日付・時刻を入力し、◉を押します。

### 自動起動対応のソフトのとき

- 4を押します。
- ソフトに設定されている自動起動のみ有効になります。

## 6 時刻を入力し、◉を押す。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◀▶で移動できます。

**お知らせ**

- 自動起動できなかったときは、自動起動失敗履歴に記憶されます。
- 自動起動するソフトを設定すると、ここでの設定に加えて、ソフト自体に設定されている自動起動も「ON」に設定されます。
- 次の場合、ソフトは自動起動できません。
  - ■ 電源OFF時
  - ■ 他の機能が起動している場合
  - ■ ｉアプリが起動中の場合
  - ■ 通話中
  - ■ スケジュール、ToDoリストのアラーム時刻が自動起動の時刻と同じ場合
  - ■ ｉアプリのPIMロック中
- 同じ時刻に設定した以下の機能は次の優先順位（高→低）で動作します。
  自動電源OFF→アラーム→ToDoリスト→自動電源ON→ｉアプリ自動起動
- 設定リセット（☞『基本編』P.249）を行うと、ｉアプリの自動起動設定は解除されます。

# ソフトの動作を設定する

ｉアプリの動作をソフトごとに設定することができます。

## 通信を行うかどうかを設定する

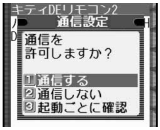
ｉアプリ実行中に通信を行ってもよいかどうかを、ソフトごとに設定します。

- ここでの設定は、通信を利用するソフトに対してのみ有効です。
- お買い上げ時は「通信する」、ソフトのダウンロード時は「起動ごとに確認」に設定されています。

**1** 待受画面で、[i]を１秒以上押し、[1]を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。

**2** ソフトを選び、[カメラ][5]を押す。（通信設定）




**3** [1]を押す。（通信する）

通信しないとき

- [2]を押します。

ｉアプリが起動するたびに確認するとき

- [3]を押します。

**お知らせ**

- 通信設定を「通信しない」に設定すると、動作しない場合やタイムリーな情報提供ができない場合があります。また、起動しないソフトもありますので、ご注意ください。
- ソフトで利用する画像やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由して送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。（「ｉアプリで利用する画像」とは、起動中のソフトからカメラ機能を起動して撮影した画像、起動中のｉアプリから赤外線通信機能を利用して取得した画像、起動中のソフトからマルチメディアを参照して取り込んだ画像です。）

## アイコン情報通知を許可する<アイコン情報設定>

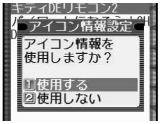
ｉアプリ実行中、未読のメール・メッセージＲ／Ｆの有無、電池残量、圏内／圏外情報、マナーモードの設定状態などのアイコンの有無を、ソフトへ通知してもよいかどうかを、ソフトごとに設定します。

- ここでの設定は、アイコン情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- お買い上げ時やソフトのダウンロード時は、「利用する」に設定されています。

**1** 待受画面で、[i]を１秒以上押し、[1]を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。

## 2 ソフトを選び、【MENU】【7】を押す。（アイコン情報設定）




## 3 【1】を押す。（使用する）

**使用しないとき**

- 【2】を押します。

**お知らせ**

- アイコン情報が必要なソフトの場合、「使用しない」に設定すると動作しないことがあります。
- アイコン情報設定を「使用する」に設定すると、未読のメール・メッセージ、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がお客様の携帯電話情報（FOMA端末の機種や製造番号、FOMAカードの識別番号）と同様にインターネットを経由してIP（情報提供者）に送信される場合があるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。

# 電話帳や履歴の参照を許可する

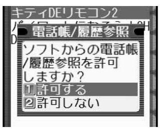
ｉアプリには、電話帳、リダイヤルや着信履歴の参照を許可するかどうかを、設定できるものがあります。「許可する」に設定した場合、ｉアプリから電話帳、リダイヤルや着信履歴を自動的に参照することができます。

- ここでの設定は、電話帳や履歴情報を利用するソフトに対してのみ有効です。
- お買い上げ時やソフトのダウンロード時は、「許可する」に設定されています。

## 1 待受画面で、【i】を１秒以上押し、【1】を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。

## 2 ソフトを選び、【MENU】【9】を押す。（電話帳／履歴参照）




## 3 【1】を押す。（許可する）

**許可しないとき**

- 【2】を押します。

**お知らせ**

- 「許可する」に設定すると、電話帳、リダイヤル、着信履歴を自動的に参照します。
- 「許可しない」に設定すると、ソフトによっては利用できないものもありますので、ご注意ください。

## 着信音や画面の変更を許可する

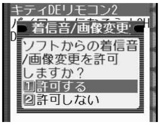
ｉアプリには、着信音や画面の変更を許可するかどうか、また、変更時に確認画面を表示するかどうかを、設定できるものがあります。「許可する」に設定した場合、ｉアプリから着信音や画面を自動的に変更することができます。

- お買い上げ時やソフトのダウンロード時は、「許可する」･「表示しない」に設定されています。

**1** 待受画面で、(i)を１秒以上押し、(1)を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。

**2** ソフトを選び、(カメラ)(8)を押す。（着信音／画像変更）




**3** (1)を押す。（許可する）

許可しないとき

- (2)を押します。

**4** (1)を押す。（表示する）

確認画面を表示しないとき

- (2)を押します。

お知らせ
- 「許可する」に設定すると、着信音や画面が自動的に変更されることがあります。

ｉアプリ待受設定

# ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリを待受画面に設定することができます。

- 待受画面に設定したｉアプリは、(view)を押すと操作できるようになります。FOMA端末を閉じているときは、(背面中央ボタン)（背面中央ボタン）を１秒以上押します。

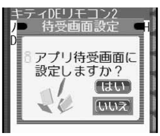
## ｉアプリ待受画面を設定する

ｉアプリを待受画面に設定します。通信を利用するかどうかも設定することができます。

**1** 待受画面で、(i)を１秒以上押し、(1)を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。

**2** ソフトを選び、(カメラ)(4)を押す。（待受画面設定）




ｉアプリを利用する

## 3 「はい」を選び、◉を押す。

● ｉアプリ待受画面に設定され、待受画面に戻ると、ソフトが起動します。

**設定しないとき**

●「いいえ」を選び、◉を押します。

**通信を利用するソフトのとき**

● 待受画面通信設定の画面が表示されます。1を押します。
2を押すと、情報提供ができない場合があります。ご注意ください。

**お知らせ**

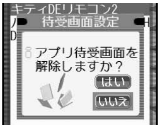
● ｉアプリ待受画面に設定できるソフトは１つのみです。
● ｉアプリ待受画面に設定できないソフトもあります。
● ｉアプリ待受画面を設定している場合、待受画面設定（☞『基本編』P.165）で設定した画像は表示されません。
● ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合、エラー発生時刻などがエラー履歴に記録、表示されます。通常終了時には記録されません。
● 通信を行うソフトをｉアプリ待受画面に設定した場合は、電波状況等により正しく動作しない場合があります。
● ｉアプリ待受画面表示中にオールロックを設定すると、ｉアプリ画面は終了し、待受画面メイン１の画像が表示されます。またｉアプリ待受画面表示中にｉアプリのPIMロックを設定すると、ｉアプリ画面は終了し、待受画面設定で設定した待受画面が表示されます。オールロックまたはｉアプリのPIMロックを解除するとｉアプリ待受画面が再表示されます。
● ｉアプリDXをｉアプリ待受画面に設定した場合、ｉアプリDXのソフトによっては、有効性を確認するため、通信設定にかかわらず通信するものがあります。
● ｉアプリ待受画面を設定しているときは、電源を入れるとｉアプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。「はい」を選び、◉を押すか、約5秒そのままにしておくと、ｉアプリ待受画面が起動します。「いいえ」を選び、◉を押すと、通常の待受画面になり、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。ただし、自動電源ONで電源を入れたときは確認画面が表示されず、待受画面に戻ると起動します。
● ｉアプリ待受画面を設定している場合、待受画面にはｉアプリが表示されます。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、待受画面設定（☞『基本編』P.165）した画像が表示されます。
● ｉアプリ待受画面を設定すると、電池の利用可能時間が短くなります。
● ｉアプリ待受画面からWeb To機能はご利用になれません。
● 次の操作を行うと待受画面のｉアプリは一旦終了します。
ｉアプリを終了するときには、一瞬「ｉアプリ 終了中です」というメッセージが表示されます。
■ カメラ機能を利用する場合
■ イメージビューアを利用する場合
■ ビデオプレーヤを利用する場合
■ 赤外線通信を利用する場合
■ ｉアプリのソフトをダウンロードする場合
■ ｉアプリの画面を表示する場合（ⓘを１秒以上押すか、ⓘを２回押して表示される画面）
■ ｉアプリを起動する場合
■ TV電話通信を行った場合

## ｉアプリ待受画面を解除する

**1** 待受画面で、(i)を１秒以上押し、(1)を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。

**2** ソフトを選び、(MENU)(4)を押す。（待受画面設定）




**3** 「はい」を選び、(●)を押す。

- ｉアプリ待受画面が解除されます。

解除しないとき
- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

## サブディスプレイで起動するかどうかを設定する<背面起動設定>

サブディスプレイのメニューから起動するｉアプリを設定します。
- お買い上げ時は、「キティ DEリモコン2」が「背面起動設定」に設定されています。

**1** 待受画面で、(i)を１秒以上押し、(1)を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。

**2** ソフトを選び、(MENU)(＊)を押す。（背面起動設定）




**3** 「はい」を選び、(●)を押す。

背面起動を設定しないとき
- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

**お知らせ**
- 通信設定を「起動ごとに確認」にしている場合は、FOMA端末を開いて操作してください。
- FOMA端末を閉じたまま起動するためには、通信設定を「通信する」に設定してください。
- どのソフトでも背面起動設定できますが、FOMA端末を閉じたまま操作が出来るのは、背面操作に対応したソフトだけです。背面起動を設定し、起動できても、サブディスプレイに画像表示ができないソフトがあります。

他の背面起動を設定するとき
- 操作１～３を行います。「すでに設定されています　変更しますか？」が表示されたら「はい」を選び、(●)を押します。

ｉアプリを利用する

# ｉアプリを管理する

## ｉアプリをバージョンアップする

FOMA端末に保存済みのソフトが、サイト側で新しいバージョンに更新されている場合に、バージョンアップすることができます。

**1** 待受画面で、ⓘを１秒以上押し、1を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。

**2** ソフトを選び、📷2を押す。（バージョンアップ）




**3** 「はい」を選び、⦿を押す。

- 新しいバージョンのソフトのダウンロードを開始します。
- ソフト情報表示設定が「ON」に設定されているときは、ソフトの情報が表示されます。⦿を押すと、ダウンロードが開始されます。
- FOMA 端末（本体）のメモリの空き容量が不足しているときは、バージョンアップできません。他のソフトを削除してください。

操作を中止するとき

- 「いいえ」を選び、⦿を押します。

ソフトがすでに最新バージョンであるため、バージョンアップが実行されなかったとき

- 「そのソフトは最新です」というメッセージが表示されます。

### 自動バージョンアップについて

ソフトによっては、実行時に更新情報を自動確認し、自動的にバージョンアップできるものもあります。
「バージョンアップできます」の確認画面が表示されたときに⦿を押すと、自動的にバージョンアップを行います。

- バージョンアップを行わないときは、CLRを押します。

お知らせ
- メールのPIMロック中は、メールフォルダ名を変更するメール連動型ソフトはバージョンアップできません。

## ｉアプリを並べ替える

ソフト一覧の表示順番を次のいずれかに変更することができます。

| | |
|---|---|
| ダウンロード（新→旧） | ダウンロードした日付の新しい順 |
| ダウンロード（旧→新） | ダウンロードした日付の古い順 |
| ソフトサイズ順 | プログラムサイズの大きいもの順 |

- お買い上げ時は、「ダウンロード（新→旧）」に設定されています。

**1** 待受画面で、ⓘを１秒以上押し、1を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。



次ページへ続く

**2** [カメラ][0]を押す。（ソート）




**3** ソート方法を選び、[●]を押す。

- ソートされます。

## iアプリを削除する

ソフトは、次のいずれかの方法で削除することができます。

| | |
|---|---|
| 1件削除 | ソフトを1件ずつ削除します。 |
| 全件削除 | すべてのソフトを削除します。 |
| 選択削除 | 複数のソフトを選び、まとめて削除します。 |

**1** 待受画面で、[i]を1秒以上押し、[1]を押す。

- ソフト一覧画面が表示されます。

**2** 削除したいソフトを選び、[カメラ][3]を押す。（削除）




**3** [1]を押す。（1件削除）

**すべてのソフトを削除するとき**

- [2]を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、[●]を押します。

**複数のソフトを選び、まとめて削除するとき**

- [3]を押し、削除したいソフトを選び、[●]を押します。（リストの先頭が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているソフトを選び、[●]を押します。）
削除したいソフトをすべて選び、[i]（完了）を押します。

**4** 「はい」を選び、[●]を押す。

- 待受画面設定または背面起動設定している場合、確認画面が表示されます。削除するときは「はい」を選び、[●]を押します。

**削除しないとき**

- 「いいえ」を選び、[●]を押します。

お知らせ
- メール連動型ｉアプリのソフトを削除する場合､自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するか、しないかを選択することができます。ただし、メールフォルダ内に保護されているｉモードメールがある場合、ソフト、フォルダは削除できません。
- フォルダを残してメール連動型ｉアプリのソフトを削除した場合、フォルダ内のｉモードメールを確認するときは、受信BOX、送信BOX、未送信BOXで◎を押し､「ｉモードメール閲覧」を選び、◉を押します。メール連動型ｉアプリを起動せずにフォルダ内のｉモードメールを表示することができます。
- 別のFOMAカードでダウンロードしたソフトは、選択削除の一覧でソフト名が青で表示されます。
- 内蔵ソフトを削除後にもう一度ご利用になる場合は、ｉMenu 内のサイト「SH-MODE」からダウンロードすることができます。（ダウンロードしたｉアプリはFOMAカード動作制限機能の対象になります。☞P.22）

メール連動型ｉアプリを含むソフトを全件削除するとき
- フォルダ内に保護されたｉモードメールがあるときは､ソフト､フォルダは削除できません。

エラー表示

# エラー表示を確認する

ソフト実行時のエラー情報（「自動起動失敗履歴」、「待受画面エラー履歴」、「セキュリティエラー履歴」）を確認することができます。

**1** 待受画面で、ⓘを１秒以上押し、4を押す。
- エラー表示画面が表示されます。

**2** エラー履歴を選び、◉を押す。
- エラー履歴が表示されます。

お知らせ
- ｉアプリ待受画面が解除されてしまうようなエラーが発生した場合､エラー発生時刻などがエラー履歴に記録、表示されます。通常終了時には記録されません。

# ｉアプリからバーコードリーダーを利用する

実行中のソフトから、バーコードリーダーを利用することができます。
- 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

**1** ソフト実行中に、バーコードリーダーの起動項目を選び、◉を押す。
- カメラモード（バーコードリーダー）になります。
- バーコードの読み取りは、AFモードの接写撮影で行います。接写撮影の焦点距離は約10cmです。（☞P.246）
- バーコードリーダーの起動方法は、ソフトによって異なります。

**2** バーコード／**QR** コードが表示されるようにカメラを合わせ、◉（読取）を押す。
- バーコード／QRコードが撮影されます。

お知らせ
- 読み込んだデータはソフトで利用される場合があります。

ｉアプリを利用する

# キャラ電とは

テレビ電話中、自分のカメラ映像の代わりにキャラクタを相手の方へ送信することができます。さらに、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、お客様のボタン操作に従ってキャラクタの手足を上げたり、ダンスをするなど、さまざまなアクションを行わせることができます。お好きなキャラクタをダウンロードし、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像にしたり、メールに添付して送ることもできます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません。）
キャラ電や動作は、キャラ電プレーヤでいつでも確認したり、撮影することが可能です。

- キャラ電は、FOMA端末にあらかじめ登録されているほか、サイトやインターネットホームページからダウンロードすることができます。
- TV電話中（☞P.94）、キャラ電プレーヤ中（☞P.90）、キャラ電撮影中（☞P.98）のキャラクター操作では、ボタン確認音は鳴りません。

キャラ電ダウンロード

# キャラ電をダウンロードする

サイトやインターネットホームページからキャラ電をダウンロードし、FOMA端末に保存することができます。

- ダウンロードできるキャラ電は最大100Kバイトです。
- キャラ電は最大30件まで保存することができます。（キャラ電のサイズによって、保存できる件数が変わります。）
- ダウンロードしたキャラ電は、マルチメディアのキャラ電に保存されます。

**1** サイトやインターネットホームページを表示中（☞**P.33**～**P.34**の操作１～３、**P.43**の操作１～２）に、キャラ電を選び、(●)を押す。

- ダウンロードが終了すると、「完了しました」と表示されます。

データを確認するとき

- (1)を押します。
- キャラ電プレーヤが表示されます。

データを保存しないとき

- (3)を押します。

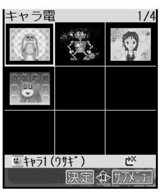
**2** (2)を押す。（保存）

キャラ電プレーヤ

# キャラ電を表示する

マルチメディアのキャラ電に保存されているキャラ電を再生することができます。またアクションを実行することもできます。

**1** 待受画面で、(●)(7)(4)を押す。




- キャラ電の画像一覧が表示されます。

画像一覧表示を切り替えるとき

- (カメラ)(7)を押し、(2)（16分割表示）または(3)（リスト表示）に切り替えることができます。９分割表示にするときは、(1)（９分割表示）を押します。

次のページを表示するとき

- (下)を押します。

前のページを表示するとき

- (上)を押します。

## 2 再生したいキャラ電を選び、◉を押す。




- キャラ電プレーヤが表示されます。
- アクションモードを切り替えるときは、◠を押します。全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。
- アクションをさせるときは、◡を押し、アクションを選び、◉を押します。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号（1～9、#）を押してアクションをさせることもできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.92 ～ P.93を参照してください。

**お知らせ**　キャラ電プレーヤでキャラ電を表示中のボタン操作

| ◠ | ◉ | ◡ | 📷 | # 1秒以上 | 1～9、# | 0 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| アクション切替（☞P.94） | 画面サイズ切替（☞P.97） | アクション一覧（☞P.95） | サブメニュー表示 | ライトアップ（☞P.91） | アクション操作（☞P.95） | アクションの中止（☞P.95） |

アクションモードマークの見かた

- ：全体アクションモードのときに表示されます。
- ：パーツアクションモードのときに表示されます。
- ◠を押すとアクションモードが交互に切り替わります。

# キャラ電をライトアップする

キャラ電プレーヤを表示中にディスプレイの照明の明るさを最大にして、キャラ電をライトアップすることができます。

## 1 待受画面で、◉74を押し、キャラ電を選び、◉を押す。

- キャラ電プレーヤが表示されます。

## 2 📷8を押す。（ライトアップ）

- キャラ電がライトアップされます。
- もう一度操作２を行うか、再生中照明設定（☞P.97）を「照明設定に従う」に設定しているときは照明時間設定（☞『基本編』P.176）で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- 再生中照明設定を「常にON」に設定しているときは、キャラ電を終了するまでライトアップされます。
- #を１秒以上押しても、ライトアップされます。

**お知らせ**

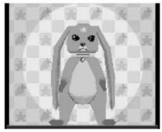
- ライトアップ時は、メインディスプレイの明るさの設定（☞『基本編』P.177）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

キャラ電

# お買い上げ時に登録されているキャラ電

## キャラ1（ウサギ）

ウサギが喜びや怒りの感情を表したり、手や耳をふるなどのさまざまなアクションで応対します。



### 全体アクションモードでのアクション一覧

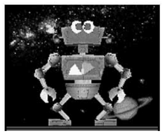
| 番号（ボタン操作） | アクション |
|---|---|
| 1 | 喜ぶ |
| 2 | 怒る |
| 3 | 泣く |
| 4 | ウインク |
| 5 | 驚く |
| 6 | ゴメンなさい |

### パーツアクションモードでのアクション一覧

| 番号（ボタン操作） | アクション |
|---|---|
| 1 1 | （右腕）手を振る（ループ） |
| 1 2 | （左腕）手を振る（ループ） |
| 1 3 | （顔）うなずく |
| 1 4 | （右腕）おいでおいで（ループ） |
| 1 5 | （左腕）おいでおいで（ループ） |
| 1 6 | （顔）左右ブルブル（ループ） |
| 1 7 | （足）足で地面たたく |
| 1 8 | （足）つま先立ち |
| 2 1 | （右腕）右腕回す（ループ） |
| 2 2 | （左腕）左腕回す（ループ） |
| 2 3 | （顔）うつむく |
| 2 4 | （顔）額の星点滅 |
| 2 5 | （右耳）右耳ではばたく |
| 2 6 | （左耳）左耳ではばたく |

## キャラ2（ロボット）

ロボットが喜びや驚きの感情を表したり、腕を回したりガッツポーズをとるなどのさまざまなアクションで応対します。



### 全体アクションモードでのアクション一覧

| 番号（ボタン操作） | アクション |
|---|---|
| 1 | 喜ぶ |
| 2 | 怒る |
| 3 | いじける |
| 4 | ラブラブ |
| 5 | 驚く |
| 6 | ゴメンなさい |

### パーツアクションモードでのアクション一覧

| 番号（ボタン操作） | アクション |
|---|---|
| 1 1 | （右腕）手を振る（ループ） |
| 1 2 | （左腕）手を振る（ループ） |
| 1 3 | （顔）うなずく（ループ） |
| 1 4 | （右腕）ガッツポーズ |
| 1 5 | （左腕）ガッツポーズ |
| 1 6 | （顔）頭ぐるぐる（ループ） |
| 1 7 | （右腕）右腕バタバタ（ループ） |
| 1 8 | （左腕）左腕バタバタ（ループ） |
| 2 1 | （右腕）右腕回す（ループ） |
| 2 2 | （左腕）左腕回す（ループ） |
| 2 3 | （体）上半身回転（ループ） |
| 2 4 | （体）ボディから煙り |
| 2 5 | （足）がに股 |
| 2 6 | （体）ミサイル発射 |

## キャラ３（女性）

OL風のキャラクタです。喜びや悲しみの感情を表したり、手を振ったり頭を傾けるなどのさまざまなアクションで応対します。



全体アクションモードでのアクション一覧

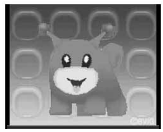
| 番号（ボタン操作） | アクション |
|---|---|
| 1 | 喜ぶ |
| 2 | 怒る |
| 3 | 哀しむ |
| 4 | 投げキッス |
| 5 | 驚く |
| 6 | ゴメン |
| 7 | 恥ずかしー |
| 8 | ずっこけ |
| 9 | バーン！ |

パーツアクションモードでのアクション一覧

| 番号（ボタン操作） | アクション |
|---|---|
| 1 1 | （右腕）手を振る（ループ） |
| 1 2 | （左腕）手を振る（ループ） |
| 1 3 | （顔）うなずく |
| 1 4 | （右腕）おいでおいで（ループ） |
| 1 5 | （左腕）おいでおいで（ループ） |
| 1 6 | （顔）左右ブルブル |
| 1 7 | （顔）右に傾ける |
| 1 8 | （顔）左に傾ける |

## ブンブン（Dimo）

ブンブンが喜びや怒りの感情を表し、体全体のアクションで応対します。





全体アクションモードでのアクション一覧

| 番号（ボタン操作） | アクション |
|---|---|
| 1 | 喜ぶ |
| 2 | 怒る |
| 3 | 悲しむ |
| 4 | ありがとう |
| 5 | ラブラブ |
| 6 | ごめんなさい |
| 7 | ノーリアクション |
| 8 | バイバイ |
| 9 | びっくり |

# キャラ電を操作する

## キャラ電を代替画像として送信する

テレビ電話中の操作で、自分のカメラ映像の代わりにキャラ電を相手の方に送信することができます。

- お買い上げ時は、「ブンブン（Dimo）」が設定されています。

**1** テレビ電話中（『基本編』**P.87**～**P.88**の操作１～３、『基本編』**P.90**の操作１～２）に、（代替画像）を押す。

- キャラ電が相手の方に送信されます。
- 代替画像を静止画に変更することもできます。（『基本編』P.103）

## キャラ電を切り替える

テレビ電話中に、キャラ電が表示されているとき、別のキャラ電に切り替えることができます。

**1** 代替画像でキャラ電を送信中（**P.94**）に、3を押す。




テレビ電話中にキャラ電を切り替えるとき

- を１秒以上押して、キャラ電一覧を表示させてから切り替えることもできます。

**2** 1を押す。（キャラ電切替）

- キャラ電一覧が表示されます。

**3** 表示したいキャラ電を選び、を押す。

- 選んだキャラ電に切り替わります。

## アクションを切り替える

テレビ電話中やキャラ電プレーヤで、表示中のキャラ電の動作を全体アクションかパーツアクションに切り替えることができます。

**1** 代替画像でキャラ電を送信中（**P.94**）に、3を押す。

- キャラ電設定画面が表示されます。

**2** 2を押す。（アクション切替）

- 全体アクションモードとパーツアクションモードが交互に切り替わります。
- テレビ電話中に、を押すだけでも切り替えできます。

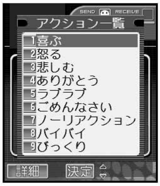
お知らせ
- キャラ電プレーヤ実行中にアクションを切り替えるときは、を押します。

キャラ電

## アクションをさせる

テレビ電話中やキャラ電プレーヤで、キャラ電にアクションをさせることができます。
- 全体アクションモードにすると、「喜ぶ」や「怒る」などの感情を選ぶことができます。
- パーツアクションモードにすると、体の一部を動かしたり、ジャンプやダンスなどをさせることができます。
- パーツアクションの中には、別のアクションと組み合わせて実行できるものもあります。
- キャラ電によっては、マイクから入力された音に合わせて口を動かすことができます。
- アクションの種類は、キャラ電により異なります。

**1** 代替画像でキャラ電を送信中（☞**P.94**）に、○を押す。（アクション一覧）




アクションリストの詳細を表示するとき
- ⓘ（詳細）を押します。

**2** アクションを選び、◉を押す。（☞**P.92～P.93**）

- 設定されたアクションを行います。
- アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号（1～9、#）を押すこともできます。
- あらかじめ登録されているキャラ電のアクションについては、P.92～P.93を参照してください。

アクションを中止するとき
- 0を押します。

**お知らせ**
- キャラ電プレーヤ実行中にアクションをさせるときは、○を押し、アクションを選び、◉を押します。アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号（1～9、#）を押してアクションをさせることもできます。
- キャラ電の種類によっては、操作しなくてもアクションを行う場合があります。

キャラ電発信

# キャラ電を利用して電話をかける

お好みのキャラ電を選び、代替画像としてテレビ電話をかけることができます。

**1** 待受画面で、◉74を押す。

- キャラ電一覧が表示されます。

次ページへ続く

キャラ電

**2** キャラ電を選び、[カメラ][スピーカー/電話]を押す。（キャラ電発信）




**3** [2]を押す。（直接入力）

電話帳を利用してかけるとき

- [1]を押し、相手の方を選び、[●]（決定）を押し、[i]（TV電話）を押します。

**4** 電話番号をダイヤルし、[i]（**TV**電話）を押す。

キャラ電設定

# キャラ電の設定を行う

キャラ電に関する設定を行います。テレビ電話代替画像や、照明、画面サイズを設定することができます。

## テレビ電話代替画像を設定する＜代替画像設定＞

キャラ電を、テレビ電話通話中の代替画像に設定することができます。

**1** 待受画面で、[●][7][4]を押し、代替画像に設定するキャラ電を選び、[●]を押す。

- キャラ電プレーヤが表示されます。

**2** [カメラ][1]を押す。（代替画像設定）




お知らせ

- キャラ電一覧画面で、キャラ電を選び、[カメラ][1]を押しても設定できます。
- 設定されたキャラ電には、「[キャラ電アイコン]」が表示されます。

## キャラ電の照明を設定する

キャラ電プレーヤ実行中の照明を設定することができます。
● お買い上げ時は、「照明設定に従う」に設定されています。（☞『基本編』P.176）

**1** 待受画面で、(●)(7)(4)を押し、キャラ電を選び、(●)を押す。

● キャラ電プレーヤが表示されます。

**2** (📷)(9)を押す。（再生中照明設定）




**3** (2)を押す。（常に**ON**）

照明設定のとおりにするとき
● (1)を押します。

お知らせ ● キャラ電一覧画面で、(📷)(8)を押しても設定できます。

## キャラ電の画面サイズを変更する

キャラ電の画面サイズを変更することができます。
● お買い上げ時は、「拡大」に設定されています。

**1** 待受画面で、(●)(7)(4)を押し、キャラ電を選び、(●)を押す。

● キャラ電プレーヤが表示されます。

**2** (●)（等倍）を押す。



等倍



拡大

● 等倍サイズに表示されます。
● (●)（拡大）を押すと、拡大サイズに戻ります。

キャラ電

# キャラ電を撮影する

キャラ電を画像として撮影することができます。
- マナーモード設定中、シャッター音は鳴りません。

## 静止画を撮る

キャラ電を撮影し、静止画として保存します。
- キャラ電で撮影した静止画はマルチメディアのイメージの「その他静止画」フォルダか本体保存先に指定したフォルダに保存されます。
- 撮影できるサイズは「TV電話：176×144」です。

**1** 待受画面で、●74を押し、キャラ電を選び、●を押す。
- キャラ電プレーヤが表示されます。

**2** 📷を2回押す。（キャラ電撮影）




**3** 2を押す。（静止画）




画質を変更するとき
- 📷2を押し、画質の種類を選び、●を押します。

キャラ電を切り替えるとき
- 📷3を押し、使用するキャラ電を選び、●を押します。

画面サイズを切り替えるとき
- 📷4を押し、「等倍」または「拡大」を選び、●を押します。

本体保存先を指定するとき
- 📷5を押し、保存先フォルダを選び、●を押します。

アクションを切り替えるとき
- ◯を押します。

アクション一覧からアクションを行うとき
- ◯を押し、アクションを選び、●を押します。

**4** ●（📷）を押す。
- 撮影したいアクションをさせた直後に●を押して撮影することができます。

**5** ●（保存）を押す。
- 静止画が保存されます。

## 動画を撮る

キャラ電を動画として撮影します。

- キャラ電撮影した動画はマルチメディアのｉモーションの「その他動画」フォルダか本体保存先に指定したフォルダに保存されます。
- 撮影できるサイズは「QCIF：176×144」です。

**1** 待受画面で、[●][7][4]を押し、キャラ電を選び、[●]を押す。

- キャラ電プレーヤが表示されます。

**2** [カメラ]を２回押す。（キャラ電撮影）




**3** [1]を押す。（動画）




画質を変更するとき
- [カメラ][2]を押し、画質の種類を選び、[●]を押します。

撮影種別を変更するとき
- [カメラ][3]を押し、[1]（映像＋音声）または[2]（映像のみ）を押します。

キャラ電を切り替えるとき
- [カメラ][4]を押し、使用するキャラ電を選び、[●]を押します。

画面サイズを切り替えるとき
- [カメラ][5]を押し、「等倍」または「拡大」を選び、[●]を押します。

本体保存先を指定するとき
- [カメラ][7]を押し、保存先フォルダを選び、[●]を押します。

**4** [●]を押す。（録画）

アクションを切り替えるとき
- [上]を押します。

アクション一覧からアクションを行うとき
- [下]を押し、アクションを選び、[●]を押します。
- アクション一覧表示中も録画は継続されていますが、録画残時間表示が更新されないことがありますのでご注意ください。
- アクション一覧を表示せずに、直接アクションの番号を押してアクションをさせることもできます。

**5** [●]を押す。（停止）




- 録画を停止します。
- 録画残時間表示が 00:00:00 になったときは、自動的に撮影は停止します。また、録画残時間表示は目安であり、撮影対象により00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。

キャラ電

次ページへ続く

**6** 1を押す。（保存）

- 動画が保存されます。

再生するとき

- 2を押します。

保存しないとき

- 3を押します。

# キャラ電を管理する

## リスト画面の表示方法を変更する＜表示切替＞

キャラ電一覧の表示方法を、「9分割表示」、「16分割表示」、「リスト表示」のいずれかに設定することができます。

- お買い上げ時は、「9分割表示」に設定されています。

**1** 待受画面で、●74を押す。

- キャラ電一覧が表示されます。

**2** 📷7を押す。（表示切替）

- 表示切替画面が表示されます。

**3** 表示方法を選び、●を押す。

- 表示方法が切り替わります。



9分割表示



16分割表示



リスト表示

## キャラ電を並び替える＜ソート＞

キャラ電一覧の表示順番を次のいずれかに変更することができます。

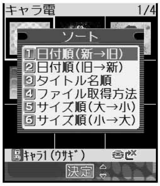
| | |
|---|---|
| 日付順（新→旧） | 作成した日付の新しい順 |
| 日付順（旧→新） | 作成した日付の古い順 |
| タイトル名順 | タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→半角カタカナ→全角数字→全角英大文字→全角英字小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字１→絵文字２）の順 |
| ファイル取得方法 | プリインストール→ダウンロード（ｉモード）の順 |
| サイズ順（大→小） | サイズの大きい順 |
| サイズ順（小→大） | サイズの小さい順 |

- お買い上げ時は、「日付順（新→旧）」に設定されています。

## 1 待受画面で、●74を押す。

- キャラ電一覧が表示されます。

## 2 📷6を押す。（ソート）




## 3 ソート方法を選び、●を押す。

- ソートされます。

# キャラ電を保護する

キャラ電を保護したり、保護されているキャラ電の保護を解除することができます。保護すると、まとめて削除することができなくなります。

## 1 待受画面で、●74を押す。

- キャラ電一覧が表示されます。

## 2 保護／解除したいキャラ電を選び、📷3を押す。（保護設定）

- 保護設定画面が表示されます。

## 3 1を押す。（ON:保護する）

- 保護されたキャラ電には、「🔒」が表示されます。

解除するとき

- 2を押します。

お知らせ

- 代替画像に設定したキャラ電は、自動的に保護設定されます。（代替画像への設定が解除された場合でも、保護設定の自動解除は行いません。）

## タイトルを変更する

キャラ電のタイトル名を変更することができます。

**1** 待受画面で、●74を押す。

- キャラ電一覧が表示されます。

**2** キャラ電を選び、📷5を押す。（タイトル編集）




オリジナルのタイトルがないとき

- 操作３の画面が表示されます。

**3** 1を押す。（直接入力）




- タイトル編集画面が表示されます。

元のタイトルに戻すとき

- 2を押します。

**4** タイトルを編集し、●を押す。

- CLRを１秒以上押すと、入力されているタイトル名が削除されます。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。

お知らせ ● 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）となります。

## キャラ電を削除する

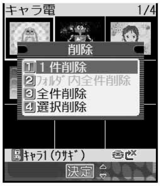
キャラ電は、次のいずれかの方法で削除することができます。

| | |
|---|---|
| 1件削除 | キャラ電を1件ずつ削除します。 |
| 全件削除 | キャラ電をすべて削除します。 |
| 選択削除 | 複数のキャラ電を選び、まとめて削除します。 |

**1** 待受画面で、◉⑦④を押す。

● キャラ電一覧が表示されます。

**2** 削除したいキャラ電を選び、📷②を押す。（削除）




**3** ①を押す。（1件削除）

すべてのキャラ電を削除するとき

● ③を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、◉を押します。

複数のキャラ電を選び、まとめて削除するとき

● ④を押し、削除したいキャラ電を選び、◉を押します。（「☑」が表示されます。選択を解除するときは、「☑」が表示されているキャラ電を選び、◉を押します。）
削除したいキャラ電をすべて選び、ⓘ（完了）を押します。

● 最大30件まで選択できます。

**4** 「はい」を選び、◉を押す。

● キャラ電が削除されます。

削除しないとき

●「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ

● 保護設定されたキャラ電を削除するときは、1件削除を行ってください。
● 全件削除を行うと、お買い上げ時に登録されているキャラ電も含めてすべて削除されます。
● お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除後にもう一度ご利用になる場合は、ｉMenu内のサイト「SH-MODE」からダウンロードすることができます。

## キャラ電の詳細情報を表示する

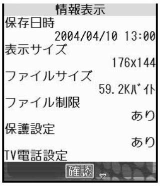
キャラ電の詳細情報を表示することができます。
表示される情報は次のとおりです。

- 保存日時
- ファイルサイズ
- 保護設定（あり／なし）
- ファイル名
- 撮影後ファイル制限（あり／なし）
- 表示サイズ
- ファイル制限（あり／なし）
- TV電話設定（ON／OFF）
- タイトル（オリジナル）
- 保存元

**1** 待受画面で、◉74を押す。

- キャラ電一覧が表示されます。

**2** キャラ電を選び、📷4を押す。（情報表示）




**3** 確認を終わるときは、◉（確認）を押す。



お知らせ

- 詳細情報に表示される撮影後ファイル制限とは、キャラ電撮影により作成された静止画・動画のｉモードメールへの添付、miniSDメモリーカードへの保存、編集などを規制するかどうかを表したものです。

# ｉモーションを取り込む

ｉモーションとは、映像や音声、音楽のデータです。ｉモーションはいろいろなｉモーション対応サイトやインターネットホームページからFOMA端末に取り込むことができます。取り込んだｉモーションは、その場で再生したり、FOMA端末に保存して楽しむことができます。ｉモーション対応サイトは、ｉMenuのメニューリストから探すこともできます。

- ｉモーションには、標準タイプとストリーミングタイプがあります。
  - ■ 標準タイプ（最大300Kバイト）
    FOMA端末に保存することができます。次の２つのタイプがあります。
    - ■ 取り込んだあとで再生するタイプ（最大300Kバイト）
    - ■ 取り込みながら再生可能なタイプ（最大300Kバイト）

    ｉモーションによっては、標準タイプでも保存できないものがあります。
  - ■ ストリーミングタイプ（最大２Mバイト）
    ストリーミングタイプとは、データを取り込みながら同時に再生する方式で、再生し終わったデータは破棄され、くり返し再生したり、FOMA端末に保存することはできません。なお、自動再生設定（☞P.108）を「OFF」に設定しても、ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生されます。
- 取得したｉモーションがどちらのタイプであるかは、サイトやインターネットホームページによって異なります。
- ｉモーションは最大100件まで保存することができます。（ｉモーションのサイズによって、保存できる件数が変わります。）

## サイトからｉモーションを取り込み再生する＜ｉモーションの取り込み＞

サイトやインターネットホームページからｉモーションを取り込みながら再生することができます。

**1** **サイトやインターネットホームページを表示中（☞P.33～P.34の操作１～３、P.43の操作１～２）に、ｉモーションを選び、◉を押す。**

- ｉモーションの取り込みが始まります。

取り込みを中止するとき
- 取り込み中にCLRを押します。

**2** **「はい」を選び、◉を押す。（ストリーミングタイプのとき）**

- 取り込みながら再生されます。

ストリーミングタイプ以外で、自動再生設定を「しない」に設定しているとき
- ｉモーションの画面が表示されます。
- 1を押すと再生し、2を押すと保存し、3を押すと情報が表示されます。
- 4を押すと「このｉモーションを保存しますか？」と表示されます。「はい」を選び、◉を押すと保存されます。「いいえ」を選び、◉を押すと元の画面に戻ります。

再生を中止するとき
- ⓘ（停止）を押します。

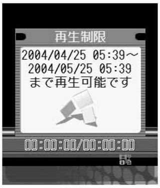
再生中に一時停止するとき
- ◉（一時停止）を押します。

次ページへ続く

**お知らせ**

- ｉモーションによっては、データ取り込み中の再生ができないものもあります。
- ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」に設定されているとき、ストリーミングタイプのｉモーションを取り込もうとすると、「このｉモーションを再生するためには、ｉモーションタイプ設定を変更してください。変更しますか？」と表示されます。「はい」を選び、⦿を押すと、ｉモーションタイプ設定が変更され、取り込むことができます。
- データを取り込みながら再生できるｉモーションの場合、電波状況等により再生ができなくなったときでも、ｉモーションの取得完了後に再生することができます。
- ｉモーションのデータ取り込み中に、電波環境により再生が停止したり、画像が乱れたりすることもあります。
- 長い期間電池パックを外していると、FOMA端末の日付時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限／再生期間が決められているｉモーションについては、再生をすることができません。
- ｉモーションによっては、データを取り込んでも正しく再生できないことがあります。
- ｉモーションは待受画面（☞『基本編』P.165）に設定することができます。（設定できないｉモーションもあります。）
- ｉモーションは着モーション（☞『基本編』P.158）に設定することができます。（設定できないｉモーションもあります。）

## 再生期間が設定されたｉモーション




再生期間が設定されているｉモーションを取り込み、再生しようとすると、左の画面が表示されます。

- 再生期間前には再生できません。
- 再生期間が過ぎているｉモーションを取り込もうとしたときは、「再生制限データに誤りがあるため取得出来ません」と表示されます。

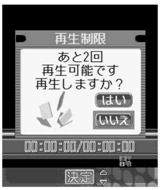
## 再生期限が設定されたｉモーション




再生期限が設定されているｉモーションを取り込み、再生しようとすると、左の画面が表示されます。

- 再生期限が過ぎているｉモーションを取り込もうとしたときは、「再生制限データに誤りがあるため取得出来ません」と表示されます。

## 再生回数が設定されたｉモーション




再生回数が設定されているｉモーションを取り込み、FOMA端末（本体）に保存してから再生しようとすると、左の画面が表示されます。

- 再生回数が０回のｉモーションを取り込もうとしたときは、「このデータは保存できません取得しますか？」と表示されます。取得するときは「はい」を選び、⦿を押します。

## ｉモーションを保存する

取り込んだｉモーションを保存しておくことができます。

● ｉモーションはマルチメディアのｉモーションの「その他動画」フォルダへ保存されます。

**1 取り込んだｉモーションを停止または一時停止中に、(カメラ)(1)を押す。**

お知らせ
● 保存したｉモーションは、ビデオプレーヤ（☞P.283）で再生することができます。
● ｉモーションによっては、取り込んだデータをFOMA端末に保存できない場合があります。

## テロップ中にリンクが設定されていたとき

ｉモーション再生中のテロップにリンクが設定されていた場合、Phone To機能、Mail To機能、Web To機能を利用できることがあります。また、表示される電話番号、メールアドレスは電話帳に登録することができます。

**1 取り込んだｉモーションを再生後、ダイヤル発信画面（Phone Toの場合）、メール作成画面（Mail Toの場合）、サイト接続画面（Web Toの場合）が表示される。**

**2 操作を選び、(●)を押す。**

● 以降の操作については、P.58～P.60を参照してください。

元の画面に戻るとき

● (CLR)を押します。

## ｉモーションの詳細情報を表示する

ｉモーションの詳細情報を表示することができます。

**1 取り込んだｉモーションを停止または一時停止中に、(カメラ)(9)を押す。**

● 詳細表示画面が表示されます。

ストリーミングタイプのｉモーションやデータを取り込みながら再生できるｉモーションのとき

● サイトやインターネットホームページからｉモーションを取り込み中（☞P.105）に、(●)（一時停止）を押し、(カメラ)(3)を押します。

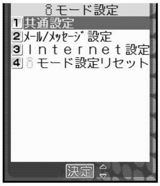
**2 確認を終わるときは、(●)（確認）を押す。**

ｉモーション

# ｉモーションを自動再生するかどうかを設定する

ｉモーションを取り込んだ際に、自動再生するかどうかを設定することができます。

## 1 待受画面で、(i)(9)を押す。




## 2 (3)(3)(1)を押す。（自動再生設定）

- 自動再生設定画面が表示されます。

## 3 (1)を押す。（する）

**自動再生しないとき**

- (2)を押します。

**お知らせ**

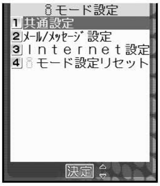
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生の設定にかかわらず、常に自動再生されます。
- 自動再生を「する」に設定しても、ｉモーションによっては自動再生されない場合があります。
- 自動再生を「しない」に設定すると、ｉモーションの取り込み完了後、再生や保存操作を選択する画面が表示されます。

# 取り込むｉモーションのタイプを設定する

ｉモーションを取り込むときに、標準タイプのｉモーションのみを取り込むか、標準タイプとストリーミングタイプ両方のｉモーションを取り込むかを設定することができます。

● お買い上げ時は、「標準タイプ」に設定されています。

## 1 待受画面で、ⓘ9を押す。




## 2 332を押す。（ｉモーションタイプ設定）

● ｉモーションタイプ設定画面が表示されます。

## 3 2を押す。（標準・ストリーミングタイプ）

**「標準タイプ」に設定するとき**

● 1を押します。

| お知らせ | |
|---|---|
| | ● ストリーミングタイプのｉモーションを取り込む場合は、ｉモーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定する必要があります。<br>● 「標準タイプ」に設定したまま、ストリーミングタイプのｉモーションを取り込もうとすると、「このｉモーションを再生するためには、ｉモーションタイプ設定を変更してください。変更しますか？」と表示されます。「はい」を選び、⦿を押すと、ｉモーションタイプ設定が変更され、取り込むことができます。 |

# メッセージR／Fとは

メッセージサービスを提供するサイトに申し込みいただくことにより、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のFOMA端末に届くサービスです。メッセージにはメッセージR（リクエスト）とメッセージF（フリー）があります。

| | |
|---|---|
| メッセージR（メッセージリクエスト） | メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるサービスです。 |
| メッセージF（メッセージフリー） | パケット通信料無料で届けられるメッセージです。 |

- メッセージR／Fの受信方法は（☞P.111）
- お客様のFOMA端末が、電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージR／Fはｉモードセンターに保管されます。

## メッセージフリー（メッセージF）の設定方法

「ｉMenu」→「8オプション設定」→「3メッセージ［F］設定」→「受信する」を選択後、ｉモードパスワード（4桁の数字）を入力し「決定」

お知らせ

- ｉモードセンターでのメッセージR／Fの保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管件数、最大保管期間を超えた場合は、最も古いメッセージから順に削除されます。

| 種　類 | 最大保管件数 | 最大保管期間 |
|---|---|---|
| メッセージR | 300件 | 72時間 |
| メッセージF | 300件 | 72時間 |

- ｉモードセンターに保管されたメッセージR／Fは、ｉモード問い合わせ（☞P.114）により受信できます。

# メッセージR／Fを受信したときは

FOMA端末がｉモード圏内にあるときは、ｉモードセンターからメッセージR／Fを自動的に受信します。

- メッセージR／Fはそれぞれ最大10〜50件まで保存することができます。（メッセージのサイズによって、保存できる件数が変わります。）
- FOMA端末が以下のようなときに送られてきたメッセージR／Fは、ｉモードセンターに保管されます。
  ・電源がOFF時　・セルフモード中　・圏外　・テレビ電話の通話中　・赤外線通信中
  ・保護や未読のメッセージR／Fがいっぱいで空き容量がないとき

お知らせ　マークの意味

| マーク | 意　味 |
|---|---|
| R／F | 未読メッセージR／Fがあります。<br>メッセージR／Fの確認について詳しくは、P.115を参照してください。 |
| R／F | FOMA端末の受信メッセージR／Fがいっぱいです。<br>未読メッセージの確認（☞P.115）、メッセージR／Fの保護解除（☞P.117）、不要なメッセージR／Fの削除（☞P.117）を行ってください。 |
| R／F | センターでメッセージR／Fをお預かりしています。<br>メッセージR／Fを受信したいときは、ｉモード問い合わせ（☞P.114）を行ってください。 |
| R／F | センターでお預かりしているメッセージR／Fがいっぱいです。<br>ｉモード問い合わせ（☞P.114）を行ってください。 |

RRRR：リクエスト、FFFF：フリーの意味です。

- メッセージR／Fを受信したときに、メモリの空き容量がない場合、保護されていない一番古い既読のメッセージR／Fから順に自動的に上書きされます。上書きされたくないメッセージR／Fを保護することができます。（☞P.117）
- ｉモードセンターでメッセージR／Fが保存されていても、「R／F」、「R／F」が表示されない場合があります。
- 「R／F」が表示された場合、ｉモードセンターのメッセージR／Fが上書きされることがあります。
- 通話中、ｉアプリ実行中、ｉモーション／メロディ再生中などにメッセージを受信した場合、メッセージ着信音は鳴りません。

## 新着メッセージR／Fを表示する

メッセージR／Fが届くと、最新の１件が自動的に表示されます。
ただし、メッセージ自動表示設定を「自動表示なし」に設定している場合、受信したメッセージR／Fは表示されません。

- 自動表示を行うメッセージの種類や、別の種類のメッセージR／Fを同時に受信したときの優先順位を設定することができます。（☞P.112）
- お買い上げ時は、「メッセージリクエスト優先」に設定されています。

**1** メッセージR／Fが届くと、自動的に受信する。（「R」／「F」点滅）

- メッセージR受信中は「R」が、メッセージF受信中は「F」が点滅します。
- 受信終了後、メッセージR／Fの受信結果が表示され、メッセージ着信音が鳴ります。（「R」／「F」点灯）

すぐにメッセージR／Fの内容を確認するとき

- 受信結果画面で、「メッセージリクエスト」または「メッセージフリー」を選び、◉を押したあと、確認したいメッセージR／Fを選び、◉を押します。

メッセージサービスを利用する

次ページへ続く

**2** 受信したメッセージR／Fを約15秒間表示し、自動的に待受画面に戻る。（自動表示を行うように設定している場合）

メッセージR／Fの表示を続けるとき

● メッセージR／Fを表示中に⊜を押して、スクロールなどの操作を行います。

お知らせ 着信音を止めるとき
● 次のボタンを押します。
CLR、PWR HLD.........着信音が止まり、受信結果画面が消えます。
その他のボタン....受信結果画面のまま着信音が止まります。
待受中以外の状態で受信したとき
● ディスプレイに「R／F」が表示されます。受信完了画面は表示されません。

## メッセージR／Fを自動的に表示する＜メッセージ自動表示設定＞

自動表示を行うメッセージの種類と、優先順位を設定することができます。設定できる内容は次のとおりです。

| | |
|---|---|
| メッセージリクエスト優先 | 未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージRを自動表示します。 |
| メッセージフリー優先 | 未読のメッセージR、メッセージFを同時に受信したときに、メッセージFを自動表示します。 |
| メッセージリクエストのみ | 未読のメッセージRのみ自動表示します。 |
| メッセージフリーのみ | 未読のメッセージFのみ自動表示します。 |
| 自動表示なし | 自動表示しません。 |

● お買い上げ時は、「メッセージリクエスト優先」に設定されています。

**1** 待受画面で、ⓘ 9 2 を押す。

● メール／メッセージ設定画面が表示されます。

**2** 5 を押す。（メッセージ自動表示設定）

● メッセージ自動表示画面が表示されます。

**3** 表示方法を選び、⦿を押す。

お知らせ
● 自動表示を行うように設定しているときは、次の場合に最新の未読メッセージR／Fを約15秒間表示します。
■ 受信結果画面から待受画面に戻るとき
● 次のような場合は、メッセージ自動表示の設定にかかわらず、自動表示されません。
■ オールロック中、メールのPIMロック中

# メッセージR／F着信時の動作を設定する

## メッセージR／Fの着信音量を設定する＜メッセージR／F着信音量選択＞

- お買い上げ時は、どちらも「LEVEL３」に設定されています。

**1** 待受画面で、●1112を押す。

- メール着信音量選択画面が表示されます。

**2** 2を押す。（メッセージ**R**着信音）

メッセージ**F**の着信音量を変更するとき
- 3を押します。

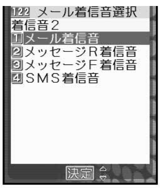
**3** 「**LEVEL**１」（音量１）～「**LEVEL**５」（音量５）または「**STEP**」（ステップ）を選び、●を押す。

着信音を鳴らさないとき
- 「SILENT」（サイレント）を選び、●を押します。

## メッセージR／Fの着信音を変更する＜メッセージR／F着信音選択＞

メッセージR／Fの着信音を変えることができます。
- ｉモードでダウンロードしたｉメロディ（☞P.56）、ｉモードメールで受信したメロディ（☞P.149）、miniSDメモリーカードから読み込んだメロディ（☞P.343）を着信音にすることもできます。
- お買い上げ時は、すべて「着信音２」に設定されています。

**1** 待受画面で、●122を押す。




**2** 2を押す。（メッセージ**R**着信音）

- メッセージR着信音画面が表示されます。

メッセージ**F**の着信音を変更するとき
- 3を押します。

**3** 1を押す。（メロディ）

着信音を鳴らさないとき
- 2を押します。

**4** フォルダを選び、●を押し、利用したい着信音を選ぶ。

- ●（確認）を押すと、着信音が再生されます。ⓘ（停止）を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

次ページへ続く ▶▶

メッセエイジサエビスを利用する

## 5 ⓘ（決定）を押す。

● メロディ再生中に◉を押しても、メロディを決定できます。

iモード問い合わせ

# メッセージR／Fがあるかどうかを問い合わせる

圏外時やセルフモード中など（詳しくは☞P.139）に送られてきたメッセージR／FはｉモードセンターにⅠ保管されています。
メッセージR／Fがｉモードセンターに保管されているかどうかを問い合わせ、保管されている場合は受信します。

● ｉモード問い合わせを行う種類（ｉモードメール、メッセージR／F）を設定することができます。（☞P.145）
● メール選択受信を「ON」に設定しているときも、ｉモード問い合わせを行うと、ｉモードメールやメッセージR／Fを受信します。
● お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせを行うように設定されています。
● SMSの問い合わせについて詳しくは、P.169を参照してください。

## 1 待受画面で、ⓘ4を押す。

● 問い合わせを開始します。
● ｉモード問い合わせ設定（☞P.145）の設定に従い、「ｉモードメール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順でｉモード問い合わせを行います。
（問い合わせをしているマーク（「✉」「R」「F」）が順次表示されます。）

### FOMA端末を閉じたままｉモード問い合わせを行うとき

● 待受画面で、◻（背面下ボタン）をすばやく２回押します。

### 受信を中止するとき

● 受信中に◉を押します。
● FOMA端末を閉じているときは、受信中に◻（背面下ボタン）を押します。
● 受信を中止したメッセージR／Fは、ｉモードセンターに保管されます。（「R／F」点灯）
● 受信を中止するタイミングにより、メッセージR／Fを受信してしまう場合もあります。

## 2 問い合わせ結果が表示され、新しく届いたメッセージR／Fがある場合は、メッセージR／F着信音が鳴る。

● ｉモード問い合わせが終了します。
● センターにメッセージR／Fが保管されていないときは、件数が「0」と表示されます。
● ｉモードメールとメッセージR／Fを同時に受信した場合は、最後に受信したメールまたはメッセージR／Fの着信音が鳴ります。

### 着信音を途中で止めるとき

● CLRを押します。
● 他のボタンでも止めることができます。詳しくは、P.141を参照してください。

## 3 受信結果画面で、「メッセージリクエスト」または「メッセージフリー」を選び、◉を押す。

● メッセージリクエストまたはメッセージフリーの一覧が表示されます。

### すぐに表示しないとき

● 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後にｉモードメニュー画面に戻ります。
● ｉモード問い合わせで受信したメッセージR／Fは、自動表示されません。

**4** 表示したいメッセージR／Fを選び、(●)を押す。

● メッセージR／Fの見かたについて、詳しくはP.116を参照してください。

お知らせ
● 待受画面で、(✉)(6)を押すか、(✉)を２回押しても、ｉモード問い合わせを行うことができます。

メッセージR／F

# メッセージBOXのメッセージR／Fを表示する

**1** 待受画面で、(i)(2)を押す。




**2** (1)を押す。（メッセージリクエスト）

● メッセージ一覧が表示されます。

メッセージフリーを表示するとき

● (2)を押します。

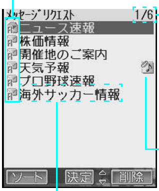
**3** 確認したいメッセージR／Fを選び、(●)を押す。

● メッセージ表示画面が表示されます。（☞P.116）

お知らせ
● 画像が正しく読み込めなかったときは、再読み込みを行うことができます。（☞P.39）
● 本文に挿入された画像については、画像を読み込まないように設定することもできます。（☞P.63）

# メッセージ一覧画面／表示画面の見かた

## メッセージ一覧画面の見かた



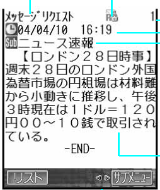

未読／保護マーク
　／ ：未読メッセージR／Fを表しています。
　／ ：保護されているメッセージR／Fを表しています。
　／ ：保護されていないメッセージR／Fを表しています。

メッセージR／Fの番号／メッセージR／F総数

メロディ／画像の有無
　メロディ／画像が添付されているメッセージには、「」／「」が表示されます。

題名
　メッセージR／Fの題名が表示されます。

## メッセージ表示画面の見かた




メッセージの種別

保護マーク
　保護されているときに表示されます。
　（メッセージFでは「」が表示されます。）

メッセージ番号

受信日時

題名

本文
　文末には「–END–」が表示されます。

画面操作

| | |
|---|---|
| | 画面が下にスクロールします。 |
| | 画面が上にスクロールします。 |
| | １画面単位で下にスクロールします。 |
| | １画面単位で上にスクロールします。 |
| #※ | １秒以上押すと、下に自動スクロールします。 |
| *※ | １秒以上押すと、上に自動スクロールします。 |
| | 次のメッセージ内容を表示します。 |
| | 前のメッセージ内容を表示します。 |

※ 自動スクロールを止めるときは、#または*を押します。

- メッセージR／Fにメロディが添付されているときは、本文の下の行に「」とメロディのタイトルが表示されます。
- メロディ自動再生が「ON」に設定されているときは、メロディが自動演奏されます。
- メッセージR／Fに画像が添付されているときは、本文の下に画像と種別マーク、ファイル名が表示されます。

## メッセージR／F内の画像を再読み込みする

メッセージR／Fに含まれる画像が正常に受信できなかったとき（「」が表示されたとき）、再びｉモードセンターに接続して、画像を読み込み直すことができます。

**1** メッセージ一覧（☞P.115の操作１～２）から再読み込みしたいメッセージR／Fを選び、●を押す。

**2** ⓜ1を押す。（再読み込み）

- 再読み込みを開始します。

再読み込みを中止するとき
- 接続中（「」点滅）にⓜを押します。

お知らせ
- 再読み込みを行っても、画像が正常に受信できない場合もあります。

## メッセージR／Fを保護する

受信したメッセージR／Fを保護したり、保護されているメッセージR／Fの保護を解除することができます。保護すると上書きできなくなります。
- 保存するメモリの空き容量がない場合、すでに読んだ同じ種類のメッセージのうち、古いものから順に自動的に削除されます。
- メッセージR／Fはそれぞれ25件まで保護することができます。（ただし、メッセージのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。）

**1** メッセージ一覧（☞P.115の操作１～２）から保護／解除したいメッセージR／Fを選び、●を押す。

- メッセージ表示画面が表示されます。

**2** ⓜ2を押す。（保護設定）

- 保護設定画面が表示されます。

**3** 1を押す。（ON：保護する）

- 保護されたメッセージR／Fには、「」や「」が表示されます。

解除するとき
- 2を押します。

## メッセージR／Fを削除する

メッセージR／Fは、次のいずれかの方法で削除することができます。

| | |
|---|---|
| １件削除 | メッセージR／Fを１件ずつ削除します。 |
| 全件削除 | すべてのメッセージR／Fを削除します。 |
| 選択削除 | 複数のメッセージR／Fを選び、まとめて削除します。 |

**1** メッセージ一覧（☞P.115の操作１～２）から削除したいメッセージR／Fを選び、ⓜを押す。

次ページへ続く

**2** (1)を押す。（１件削除）

すべてのメッセージR／Fを削除するとき
- (2)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押します。

複数のメッセージR／Fを選び、まとめて削除するとき
- (3)を押し、削除したいメッセージR／Fを選び、(●)を押します。（未読／保護マークが「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているメッセージを選び、(●)を押します。）
  削除したいメッセージR／Fをすべて選び、(i)（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

**3** 「はい」を選び、(●)を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

お知らせ
- 全件削除では、保護されていない既読のメッセージR／Fだけを削除します。保護されているメッセージR／Fや、未読メッセージR／Fは削除されません。
- メッセージ表示画面で、(◎)(4)（１件削除）を押しても、１件削除することができます。

## メッセージを並べ替える<ソート>

メッセージ一覧の表示順番を次のいずれかに変更することができます。

| | |
|---|---|
| 日付順（新→旧） | 受信した日時の新しい順 |
| 日付順（旧→新） | 受信した日時の古い順 |
| 題名順 | 題名が、半角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→カタカナ）→全角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→ひらがな→カタカナ→漢字→絵文字）の順（各文字種類内では、文字コード順） |
| 未読／保護／既読順 | 未読メッセージR／F→保護メッセージR／F→既読メッセージR／Fの順（各項目内では「日付順（新→旧）」） |

- お買い上げ時は、「日付順（新→旧）」に設定されています。
- メッセージ一覧以外の画面を表示すると、表示方法は、お買い上げ時の設定である「日付順（新→旧）」に戻ります。ただし、表示方法を変更した状態で、メッセージ表示画面を表示したあと、(CLR)を押してメッセージ一覧に戻った場合、表示方法は変更されたままです。

**1** メッセージ一覧（☞P.115の操作１～２）で、(i)（ソート）を押す。

**2** ソート方法を選び、(●)を押す。
- ソートされます。

メッセージサービスを利用する

# メール編

# FOMA端末のメール機能について

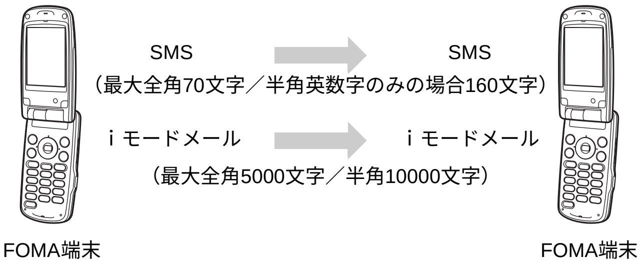
- FOMA端末はｉモードメールとSMS（ショートメッセージサービス）を送受信できるメール機能を持っています。ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。ｉモードメールの送信、受信方法について詳しくは、P.127、P.139を参照してください。
- ｉモードを契約しなくても、FOMA端末との間でSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。SMSの送信、受信方法について詳しくは、P.164、P.168を参照してください。

お知らせ
- 海外とのSMSの送受信はできません。

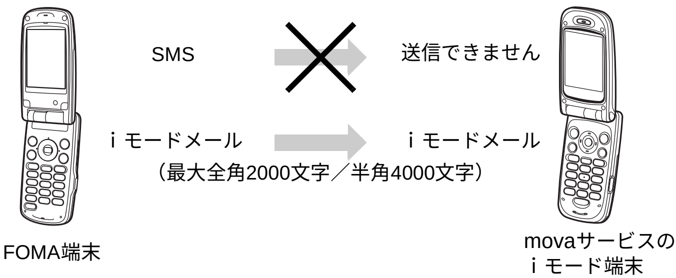
## メール機能の送受信について

３種類のメール機能で送受信できる相手は次のとおりです。

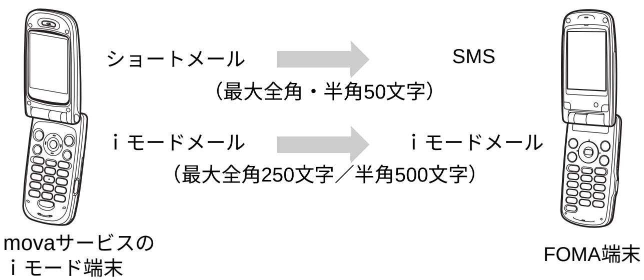
- FOMA端末→FOMA端末へ
  SMSは、相手がFOMA端末の場合のみ送受信できます。




- FOMA端末→movaサービスのｉモード端末へ
  FOMA端末からmovaサービスのｉモード端末へのメッセージ送信時は、ｉモードメールを利用します。




- movaサービスのｉモード端末→FOMA端末へ
  movaサービスのｉモード端末から送信したショートメール※は、FOMA端末ではSMSとして受信できます。



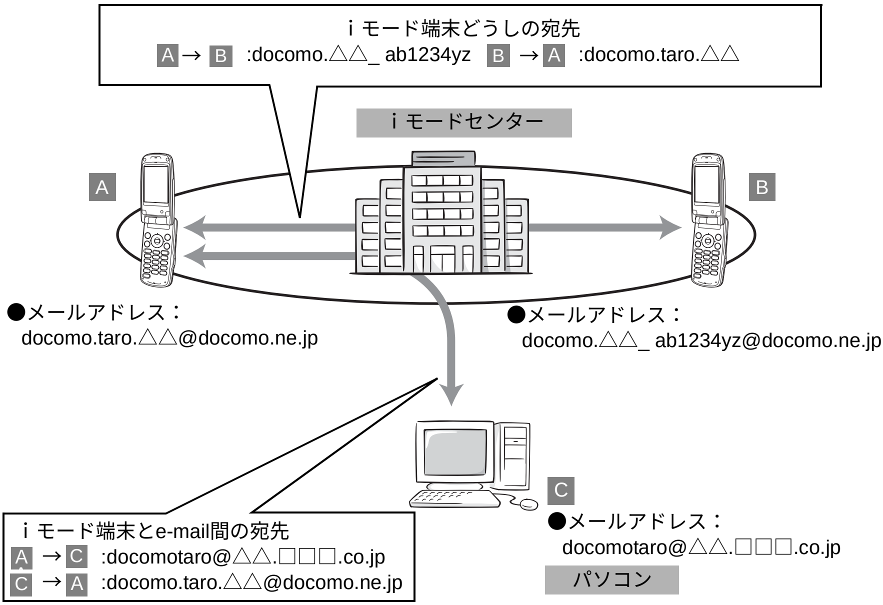

※ ショートメールとは、ドコモの携帯電話で文字メッセージをやりとりできるサービスです。FOMA端末からショートメールを送信することはできません。

# ｉモードメールとは

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークの前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモードご契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
例）abc1234~789xyz@docomo.ne.jp
〈お客様のメールアドレスの確認方法〉詳しくは☞**P.152**
「ｉMenu」➡「8オプション設定」➡「1メール設定」➡「アドレス確認」

- ｉモード端末（mova含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。




- メールの送信方法は☞P.127
- メールの受信方法は☞P.139

## メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。☞P.142

## メールアドレス変更

たとえば「docomo.taro_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更することができます。☞P.151

## シークレットコード登録

電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて４桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。☞P.153

次ページへ続く

## メールアドレスリセット
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にすることができます。☞P.154

## メールアドレス確認
現在設定されているメールアドレスを確認することができます。☞P.152

## メール受信／拒否設定
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限することができます。☞P.151

①ドメイン指定受信
- au・ボーダフォン・TU－KA・DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
- また上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。☞P.156〜P.157

※NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

②アドレス指定受信／拒否
- 受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。☞P.157〜P.158

③ｉモードメールのみ受信／拒否
- ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。☞P.159

④ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限
- １日に１台のｉモード端末（mova含む）から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。☞P.160

⑤未承諾広告※メール拒否
- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール表題部の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信／拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール件名欄の最前列に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています。）☞P.161

※「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

⑥**SMS**拒否
- すべてのSMSまたは非通知SMSのみを受信しないように設定したり、設定の状況を確認することができます。

## メール設定状況確認
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。☞P.162

## メールサイズ制限
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限することができます。☞P.155

## メール機能停止
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止を行うことができます。☞P.162

## 送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

| 項　目 | 全角文字<br>（漢字、ひらがな、絵文字など） | 半角文字<br>（英字、数字、カタカナなど） |
|---|---|---|
| 題名 | 15文字 | 30文字 |
| メールアドレス | ― | 50文字 |
| 本文 | 5000文字 | 10000文字 |

お知らせ

- ｉモードメールの本文は全角5000文字（10000バイト）まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- movaサービスへｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、ｉショット以外の添付ファイルを送信した場合、添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。正しく表示されない場合があります。
- FOMA端末からmova端末へｉショットを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角184文字までです。

## メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末がテレビ電話中、電源が入っていない、ｉモード圏外などで受信できないとき、またはメール選択受信ON時は、メールはｉモードセンターに保管されます。
ｉモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大３回まで再送します。その他設定により、ｉモードセンターでｉモードメールを選んで受信することができます。

お知らせ

- ｉモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

| | 最大保管件数 | 最大保管期間 |
|---|---|---|
| ｉモードメール | 最大1000件<br>（約２メガバイトまで） | 720時間 |

- 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではメールを受信せず送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には、「✉」が表示されます。☞P.139
  なお、メール選択受信ON時は、保管件数を超えても「✉」は表示されません。
- ｉモードセンターに保管されているメールは、ｉモード問い合わせ（☞P.144）やメール選択受信（☞P.142）により受信できます。また、新しいメールが届いたときは、保管されているほかのメール、メッセージも合わせて受信できます。
- ｉモード端末でメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはｉモード端末に保存されます。☞P.139
- 極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。

## こんなこともできます

### ファイル添付メール

■メロディ添付メール

自分で作ったメロディや、サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているメロディファイルは送信できません。）

- 送信するには☞P.136
- 受信したときは☞P.149

■画像添付メール

サイト、インターネットホームページ、または外部メモリから取得した静止画ファイルをｉモードメールに添付して送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません。ｉショット以外の添付ファイルをmova端末へ送信した場合は、添付ファイルは削除されます。）

- 送信するには☞P.136
- 受信したときは☞P.149

### ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画ファイルを添付ファイルとしてｉモード端末（mova含む）及びパソコンや他社携帯電話へ送受信できます。ただし、10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像をFOMA端末へ送信した場合また、mova端末へ送信した場合は、添付ファイル形式ではなく画像閲覧用URL及び画像の保存期限が自動的に付与されて送信され、そのURLを押下することで画像を取得できます。

10000バイトより大きく100Kバイト以下の画像を送信する場合は、送信先アドレスの@マークの後に「p.」を付与してください。

(例) 10000バイト以下の静止画像を添付する場合の送信先アドレス

docomo.taro.△△@docomo.ne.jp

10000バイトより大きい静止画像を添付する場合の送信先アドレス

docomo.taro.△△@p.docomo.ne.jp

mova端末へ送れるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

- 送信するには☞P.136
- 受信したときは☞P.149

### デコメール（デコレーションメール）

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります。（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります。）

デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、デコメールを閲覧できます。

- デコメール編集方法☞P.130
- デコメール送信方法☞P.130
- 対応機種…900iシリーズ、880iES（デコメール受信のみ対応）

### メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大５件）に送信できます。☞P.129

- 通信料は、１通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。）

### Cc、Bcc送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先をTo、Cc、Bccから選択できます。ただし、Toが１件もない場合は、メールを送信できません。☞P.127

> **迷惑メールを防ぐために**
>
> メールアドレス変更（☞P.151）やメールアドレス指定受信／拒否（☞P.157）等の利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

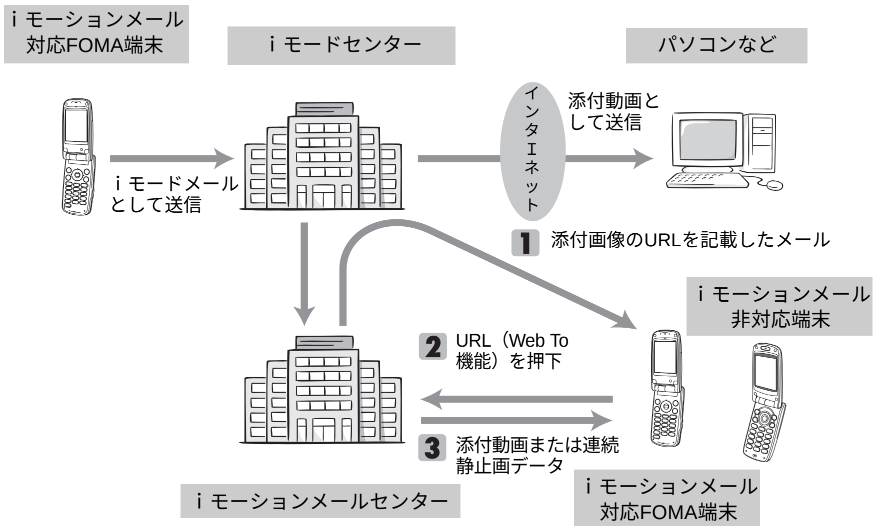
## ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメールとして送受信できます。（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません。）

- ｉモーションメールを送信するには☞P.136
- ｉモーションメールを受信したときは☞P.148

### サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます。（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます。）
ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを押下して動画を取りこむことができます。
ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は、ｉモーションが連続静止画に変換され、URLのついたメールとして受信されます。受信者は表示されているURLを押下し、連続静止画を取り込みます。




- ｉモーションメールセンターでは最大10日間まで画像が保管され、保管期間経過後、自動的に削除されます。

## SMS（ショートメッセージ）

ｉモードを契約しなくても、FOMA端末どうしでSMSの送受信（文字メッセージのやりとり）ができます。

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。
- 保管期間を過ぎたSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問い合わせ（☞P.169）により受信できます。
- FOMA端末でSMSを受信するとSMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。（☞P.168）FOMA端末が受信したSMSは、FOMAカードにコピーすることもできます。☞P.173

### SMSの宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

# メールメニューを表示する

ｉモードメールの作成、受信メールや送信メールの表示などは、メールメニューから行います。

## 1 待受画面で、◎を押す。




- メールメニューが表示されます。

| メニュー | 機　能 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ①受信BOX | 受信したメールの表示や返信、転送などを行います。 | P.140 |
| ②送信BOX | 送信したメールの表示や再送信などを行います。 | P.134 |
| ③未送信BOX | 未送信メールの編集や送信を行います。 | P.135 |
| ④新規メール作成 | 新規にメールを作成して送信や保存を行います。 | P.127 |
| ⑤新規SMS作成 | 新規にSMSを作成して送信や保存を行います。 | P.164、P.166 |
| ⑥ｉモード問い合わせ | ｉモードセンターにメールやメッセージR／Fが保管されていないか問い合わせをします。 | P.144 |
| ⑦SMS問い合わせ | SMSセンターにSMSが保管されていないか問い合わせをします。 | P.169 |
| ⑧メール選択受信 | ｉモードセンターで保管されているメールの内、受信したいメールのみを選んで受信します。 | P.142 |
| ⑨メール設定 | ｉモードメールやSMSに関係する各種機能を設定します。 | P.151 |

# iモードメールを作成して送信する

iモードメールを新規に作成して、送信します。
- iモード端末以外にiモードメールを送る場合は、題名や本文に半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されないことがあります。
- movaサービスのiモード端末へiモードメールを送信する場合は、本文は最大全角2000文字（半角4000文字）まで送信できます。
- iモードメールの送信先を「To」、「Cc」、「Bcc」に分けて送信することができます。ただし、宛先の「To」を設定せずに送信することはできません。

## 1 待受画面で、✉4を押す。




- 待受画面で、✉を１秒以上押してもメール作成画面が表示されます。

「未送信メールがいっぱいです」と表示されたとき
- 未送信メールと保護されている送信メールの合計が 100 件を超えたため、または送信メールを保存するメモリの空き容量がないため、iモードメール作成を行うことができません。
- 未送信メールは送信メールと合わせて最大 100 件まで保存することができます。
- 送信メールの保護を解除するか、未送信メールを削除してください。（☞P.186）

## 2 「宛先」の入力欄を選び、◉を押す。

- 入力方法選択画面が表示されます。

## 3 2を押し、「宛先」を入力する。（直接入力）

- 半角の英字、数字、一部の記号を最大50文字まで入力できます。
- iモード端末にiモードメールを送信する場合は、「@docomo.ne.jp」を省略できます。
- 記号変換、メールアドレス変換を利用できます。（☞『基本編』P.304、P.307）

電話帳から選ぶとき
- 1を押し、送信する相手の方を選び、◉を押します。（登録されている他のメールアドレスを選ぶときは、相手の方を選び、ⓘ（確認）を押し、メールアドレスを選び、◉を押します。）
- メールアドレスを登録されていない方は、「✉」「✉」「✉」「✉」が表示されていません。電話帳に登録されているメールアドレスのアイコンは最大３件まで表示されます。

送信アドレス履歴／受信アドレス履歴から選ぶとき
- 3（送信アドレス履歴）または 4（受信アドレス履歴）を押して、送信する相手の方を選び、◉を押します。

メーリングリストから選ぶとき
- 5を押し、送信するメーリングリストを選びます。
- あらかじめメーリングリストを登録しておいてください。（☞P.203）

## 4 ◉を押す。

- メール作成画面に戻ります。

複数の宛先に送信するとき
1 「同報」の入力欄を選び、◉を押す。
2 送信種別（To／Cc／Bcc）を選び、◉を押す。
3 操作３～４をくり返します。
- 最大４件まで宛先を追加することができます。

宛先を変更するとき
- 変更したい宛先を選び、◉を押し、送信種別を選び、◉を押し、入力方法を選び変更します。

宛先を削除するとき
- 削除したい宛先を選び、📷4を押し、「はい」を選び、◉を押します。

次ページへ続く

iモードメールとは

## 5 「題名」の入力欄や「本文」を選び、●を押し、入力し、●を押す。




- メール本文入力画面では、画面中央の文字入力エリアで文字を決定した後、●を押して本文のカーソル位置に入力します。（インライン入力ではありません。）
- 題名は最大全角15文字（半角30文字）まで、本文は最大全角5000文字（半角10000文字）まで入力できます。（ただし、movaサービスのｉモード端末に送信する場合は最大全角2000文字（半角4000文字）までしか届きません。）
- 以下の場合は、本文入力画面において全角5000文字（半角10000文字）以上のサイズとなり、入力可能な残バイト数はマイナス表示になります。マイナス表示となった場合は、10000バイト未満(残バイト数が0以上)になるように編集してください。
  - ■ お客様が文字入力行で入力確定した文字サイズと、すでに入力されているメール本文の合計サイズが10000バイト以上になる場合
  - ■ 貼り付けした文字数と、すでに入力されているメール本文の合計サイズが10000バイト以上になる場合
  - ■ すでにある程度の本文入力済みのｉモードメールを、装飾操作によりデコメールに変更した場合
- 改行「↲」は全角１文字、スペース（空白）は半角１文字としてカウントします。（題名に改行「↲」を入力することはできません。）
- 本文入力画面で、文末のときに◯を押すと「↲」（改行）されます。また、CLRを押すと「↲」は削除されます。
- 本文入力画面で、◎を２回押すとデコメールを作成できます。（☞P.130）
- 本文に何も入力されていない状態でCLRを押すと、メール作成画面に戻ります。（本文の内容はクリアされます）。

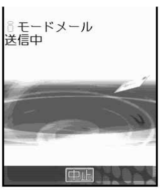
### 定型文を利用するとき

- ◎5を押します。定型文の種類の番号を押し、利用する定型文の番号を押します。
- 定型文について詳しくは、『基本編』P.338を参照してください。

### 署名を貼付するとき

- あらかじめ署名を登録しておきます。（☞P.202）
- メール本文入力中に◎を押し、「■署名貼付」を選び、●を押します。
- メール作成画面で◎3を押しても、署名を貼り付けることができます。
- 自動署名貼付が「ON」に設定されている場合、署名は、自動的に貼り付けられます。返信、引用返信、転送のときも自動的に貼り付けられます。
- 署名の文字数は、本文の文字数に含まれます。本文と署名の合計文字数が送信できる文字数を超えるときは、「署名を付けることができません」と表示され、貼り付けることができません。

## 6 ⓘ（送信）を押す。




- 送信が完了すると、「iモードメール送信しました」と表示され、●を押すと、メール作成前の画面に戻ります。

### 送信を中止するとき

- 送信中の画面でPWRまたは●（中止）を押します。
ただし、タイミングによってはｉモードメールが送信される場合があります。
送信を中止したｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。

iモードメールとは

**お知らせ**

- 「宛先」欄は「To」のみとなります。
- 画像やメロディなどを添付すると、本文に入力できる文字数が少なくなります。
- 「宛先」や「同報」欄にアドレスが入力されている状態でメーリングリスト（☞P.203）から宛先を指定することができます。上書きする場合は「はい」を選び、◉を押します。上書きしない場合は「いいえ」を選び、◉を押します。
- メーリングリストから宛先を選択すると、「宛先」欄や「同報」欄に「To」で入力されます。（「同報」欄は「Cc」、「Bcc」への変更も可能です。）
- 電波状況等により、送信できない場合があります。送信できなかったｉモードメールは、未送信メールとして保存されます。
- 送信できていても、電波状況等によっては、「送信できませんでした」とエラーメッセージが表示される場合があります。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信メールは、未送信メールと合わせて最大101件まで保存することができます。送信メールが100件または送信メールと未送信メールと合わせて101件以上保存されている状態で新しいｉモードメールを送信すると、保護されていない一番古い送信メールから順に自動的に上書きされます。（上書き確認のメッセージは表示されません）必要なｉモードメールは保護されることをおすすめします。
- メール履歴表示（☞『基本編』P.197）を「OFF」に設定しているときは、宛先入力で「送信アドレス履歴」、「受信アドレス履歴」を選ぶことができません。
- ダイヤル発信制限（☞『基本編』P.195）中は、電話帳に登録されている宛先以外へｉモードメールを送ることはできません。
- オールロック中、セルフモード中はｉモードメールを送ることはできません。
- メールのPIMロック中は、端末暗証番号（４〜８桁の数字）を入力するとPIMロックは一時解除され、ｉモードメールを送ることができます。

**編集中に電話がかかってくると**

- 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

**相手の方がシークレットコードを登録しているとき**

- 「@」の前に、相手の方のシークレットコード（４桁の数字）を入力します。
- 電話帳に相手の方のシークレットコードを登録しているときは、入力する必要はありません。（☞『基本編』P.112）
- 宛先が「携帯電話番号」または「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳にシークレットコードが設定されているかどうかを自動的に調べ、シークレットコードが設定されているときは、シークレットコードを付けて送信します。（☞『基本編』P.112）
- メールアドレスを「携帯電話番号+シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手の方にｉモードメール送信や返信ができない場合があります。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

## 同報送信について

FOMA端末では同じ内容のｉモードメールを複数の宛先に同時に送ることができます。最大５人の相手の方に送信できます。

- 「同報」の入力欄では送信種別（To／Cc／Bcc）を選ぶことができます。
  - ■ Cc　：「To」宛に送信したメールを第三者にも知らせるときに使います。
  - ■ Bcc　：「Cc」と同じように第三者に知らせるときに使いますが、「Bcc」で指定したアドレスは、「To」や「Cc」の相手には表示されません。
- メーリングリストにあらかじめよく送るグループを登録しておくこともできます。（☞P.203）
- 「To」と「Cc」に入力したメールアドレスは、受信側に表示されます。ただし、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては表示されない場合があります。
- 複数の宛先に送信しても、１件の送信メールとして保存されます。送信メール表示画面では、送信に成功した宛先がすべて表示されます。
- 送信に失敗した宛先があったときは、送信メール１件と未送信メール１件が保存されます。未送信メールには、送信されていない宛先がすべて表示されます。
- 同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定すると「重複するアドレスがあります」と表示され、送信できません。重複するアドレスを削除して送信してください。

# デコメールを作成して送信する

iモードメール作成時、本文の色や文字サイズを変更したり、画像を挿入する、背景に色を付けるなどの装飾を行うことができます。

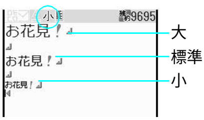
## 装飾の種類と効果

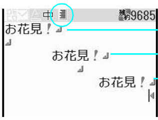
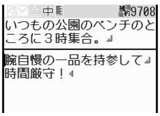
- 作成できるデコメールのサイズは、添付ファイルも含めて最大10000バイトです。
- パソコンなどから送信された装飾付きのメールを受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。




本文入力画面　　プレビュー画面

### パレットの番号と装飾の種類

| パレットの番号 | 装飾の種類 | 装飾の内容 | パレットの番号入力後の操作 |
|---|---|---|---|
| 1 | 文字色<br> | 文字に色をつけます。なお、絵文字に対して文字の色を設定すると、設定した色で表示されます。通常の絵文字色にしたいときは、「指定なし」に設定してください。 | 色を選び、◉を押す。 |
| 2 | 文字サイズ<br> | 文字の大きさを、大・標準・小のいずれかに変更できます。 | 文字サイズ（大・標準・小）を選び、◉を押す。 |
| 3 | 点滅<br> | 文字を点滅させて表示することができます。一定時間がたつと、点滅が自動的に停止します。 | 「開始」を選び、◉を押す。P.132の操作5を行ったあと、📷を2回押し、3を押す。「終了」を選び、◉を押す。 |
| 4 | テロップ<br> | 文字を流して表示すること（テロップ表示）ができます。一定時間がたつと、文字の流れが止まります。 | 「開始」を選び、◉を押す。P.132の操作5を行ったあと、📷を2回押し、4を押す。「終了」を選び、◉を押す。 |

| パレットの番号 | 装飾の種類 | 装飾の内容 | パレットの番号入力後の操作 |
|---|---|---|---|
| 5 | スウィング<br> | 文字を左右に揺らして表示すること（スウィング表示）ができます。一定時間がたつと、文字の揺れが止まります。 | 「開始」を選び、●を押す。P.132の操作５を行ったあと、◎を2回押し、5を押す。「終了」を選び、●を押す。 |
| 6 | 文字位置<br> | 文字の配置を、左寄せ・センタリング・右寄せのいずれかに変更できます。 | 文字位置（左寄せ、センタリング、右寄せ）を選び、●を押す。 |
| 7 | ライン挿入<br> | 本文中にライン（罫線）を挿入して表示することができます。なお、入力済みの文字を装飾するデコレーション変更時は、ライン挿入を行うことができません。 | １行分にラインが挿入されます。ラインの色は挿入した位置の文字色が反映されます。ラインの色（文字色）は変更できます。 |
| 8 | 画像挿入<br> | 本文中に画像を挿入して表示することができます。GIFアニメーションなど動きがある画像は、一定時間たつと止まります。なお、入力済みの文字を装飾するデコレーション変更時は、画像挿入を行うことができません。 | 画像を選び、●を押す。画像の位置は文字位置が反映されます。画像の位置（文字位置）は変更できます。 |
| 9 | 背景色<br> | メール本文の背景に色を付けることができます。なお、入力済みの文字を装飾するデコレーション変更時は、背景色を変更することができません。 | 背景の色を選び、●を押す。 |
| 0 | デコレーション変更 | 範囲を指定して装飾を行ったり、指定済みの装飾を変更したりします。 | 装飾する開始位置にカーソルを移動して●を押し、終了位置にカーソルを移動して●を押したあと、パレットの番号を押します。なお、このとき、7（ライン挿入）、8（画像挿入）、9（背景色）は選択できません。 |
| * | 元に戻す | 直前に行った編集を取り消します。 | |
| # | 全解除 | すべての装飾を解除します。挿入した画像も削除され、テキストメールに戻ります。 | |

**お知らせ**　**画像挿入について**

- 本文入力画面中に挿入できる画像数は、異なる画像で最大10個となります。同一画像は、続けて挿入した場合、10個以上の入力も可能です。ただし、一旦メール作成画面へ戻って再び本文入力画面に移行した場合、既に入力済みの画像に関しては、コピーし貼り付けした場合のみ同一画像として取り扱われます。
- デコメール本文に挿入する静止画を撮影する場合は、画質を「ｉモードメール用」に設定してください。（☞P.243）

iモードメールとは

## 装飾しながら本文を作成する

装飾が反映された状態で文字を入力します。

**1** iモードメールを作成し、「宛先」、「題名」を入力する。（☞**P.127**～**P.128**の操作１～５）




**2** 「本文」を選び、◉を押す。

- 本文入力画面が表示されます。
- 本文入力画面で、文末のときに○を押すと「↲」（改行）されます。また、CLRを押すと「↲」は削除されます。

**3** 📷を２回押す。（デコレーション）




- パレットが表示されます。
- パレット設定（☞P.133）を「OFF」に設定している場合、サブメニューが表示されます。

**4** 📷を押し、デコレーションの種類を選び、◉を押す。

- パレット画面で、パレットの番号（☞P.130～P.131）のボタンを押しても選択できます。
- 装飾の指定の操作方法については、P.130～P.131の表「パレットの番号と装飾の種類」を参照してください。

**5** パレット設定が「**ON**」のときは、装飾の指定後、◉（入力）を押す。




- 本文を入力すると、指定した装飾が反映された文字が入力されます。
- 本文入力前にカーソルを移動させると、指定した装飾はキャンセルされます。
- 本文入力画面でのバイト数表示は、入力できる文字数の目安です。
- ○で画面をスクロールすることができます。
- パレット設定が「OFF」のときは、操作４で本文入力画面が表示されます。

### 別の装飾に切り替えるとき

- 操作３～５をくり返します。

### 本文の変更をひとつ前の状態に戻すとき

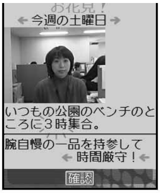
- 📷＊を押します。

### 装飾を全解除するとき

- 📷📷#を押します。
- 挿入した画像は削除されます。

iモードメールとは

## 6 📷を押し、「■プレビュー」を選び、◉を押す。




- プレビュー画面で表示されるバイト数表示は正確な値です。
- ◎で画面をスクロールすることができます。
- プレビュー画面では、受信した相手に表示されるメールと同じものを確認することができます。
- パレットが表示されているときは、ⓘ（プレビュー）を押します。
- ◉（確認）を押すと、本文入力画面に戻ります。パレット表示画面でⓘを押した場合は、パレット表示画面に戻ります。
- 続けて装飾をするときは、操作３～５を繰り返します。

**本文のみのサイズが10000バイトを超えているとき**

- 「最大サイズを超えています　超過分は表示できません」と表示され、超過しているデータは削除されてプレビュー表示されます。◉（確認）を押して本文入力画面に戻ると、プレビュー表示前のサイズに戻ります。

## 7 ◉を押し、ⓘ（送信）を押す。

- メール作成画面で表示されるバイト数表示は正確な値です。
- ｉモードメールが送信されます。

**本文のみのサイズが10000バイトを超えているとき**

- 「最大サイズを超えているため一部のデータが失われる可能性があります　編集終了しますか？」と表示されます。「はい」を選び、◉（確認）を押すと、メール作成画面が表示されますが、この時、超過しているデータが削除されることもあります。
- 編集し直すときは、「いいえ」を選び、◉を押すと本文入力画面に戻ります。10000バイト未満になるように編集してください。

**お知らせ**

- 受信したデコメールを引用返信、または転送した場合、装飾や挿入した画像も引用されます。
- デコメール対応FOMA端末以外から送信された装飾メールは装飾が正しく表示されないことがあります。
- 編集画面で装飾文字をコピーし、一旦メール作成画面へ戻って再び編集画面で貼り付けした場合、貼り付けられた文字列は装飾されません。
- 装飾文字が入力されると、状態アイコンが「㗊」に変わります。
- 編集画面中の残バイト数表示は、入力できる文字数の目安となります。

**パレットを表示しないように設定するとき**

1. P.132の操作２で「本文」を選び、◉📷を押す。
2. 「■パレット設定」を選び、◉を押す。
3. 「OFF」を選び、◉を押す。
   - パレットを表示させるときは、「ON」を選び、◉を押します。

## ■ 範囲を指定して装飾する

本文の一部を指定して装飾を行ったり、指定済みの装飾を変更することができます。

## 1 パレット表示画面（P.132の操作３）で、📷⓪を押す。（デコレーション変更）

- パレット表示画面で、⓪を押すだけでも操作することができます。

## 2 装飾開始位置にカーソルを移動し、◉を押す。

- 全ての文章を選択するときは、📷（全選択）を押します。
- 選択を取り消すときは、ⓘ（取消）を押します。

## 3 装飾終了位置にカーソルを移動し、◉を押す。

iモードメールとは

**4** パレットの番号（1～6）を押す。

- 指定した範囲が装飾されます。
- 1～6以外の装飾を選ぶことはできません。

同じ範囲を続けて装飾するとき

- 操作４をくり返します。

**5** ●（入力）を押す。

- 以降の操作については、P.132～P.133の操作５～７を参照してください。

ｉモードメール保存

# ｉモードメールを保存しておき、あとで送信する

ｉモードメールの作成中に操作を中断しなければならないときや、作成したｉモードメールを保存しておきたいときは、FOMA端末に一時保存しておくことができます。また、保存したｉモードメールを編集して送信することもできます。

- ｉモードメールの作成について、詳しくは、P.127～P.128を参照してください。

## ｉモードメールを保存する

**1** ｉモードメールの作成中（☞**P.127～P.128**の操作１～５）に、📷2を押す。（保存）




- 作成中のｉモードメールが、未送信メールとして保存されます。
- 通常のｉモードメールでは、本文サイズと添付ファイルを合わせて10000バイトまで保存できます。
- 大容量添付ファイル（静止画およびｉモーション）を添付する場合は、メール本文と合わせて112200バイトまで保存できます。ただし、デコメールに大容量添付ファイルを添付する際の最大保存サイズは、112000バイトとなります。

お知らせ

- メール作成中で宛先・題名・本文のいずれかが入力されている場合、PWR/HLDを押すと、終了確認画面が表示されます。「はい」を選び、●を押すと、メールの作成を中止することができます。ただし、作成を中止したメールは保存されません。

## 送信／保存したｉモードメールを編集・送信する

### 送信したｉモードメールを編集・再送する

**1** 待受画面で、✉2を押す。（送信**BOX**）




- 送信BOX一覧が表示されます。

ｉモードメールとは

**2** フォルダを選び、◉を押す。




- 送信メール一覧が表示されます。
- ⓘ（切替）を押すと、題名表示が名前表示、アドレス表示に切り替わります。

**3** 送信したいｉモードメールを選び、◉を押す。




メロディが添付されているとき
- メロディが再生されます。メロディ自動再生（☞P.150）を「自動再生しない」に設定しているときは、再生されません。
- メロディを止めるときは、◉を押します。他の画面に移動してもメロディは止まります。

画像が添付されているとき
- 本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されます。

**4** 📷 2 を押す。（編集）

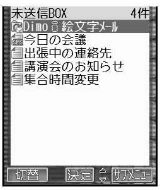
- メール作成画面が表示されます。
- 新規作成時と同様に編集することができます。
  詳しくは、P.127〜P.128の操作２〜５を参照してください。
- ｉモードメールが完成したら、ⓘを押し、送信します。

再送するとき
- 📷 1 を押します。

お知らせ　他の送信メールを確認／送信するとき
- 操作３のメール表示画面で、ⓘ（リスト）または CLR を押します。送信メール一覧画面に戻りますので、操作３〜４をくり返します。
- 操作３のメール表示画面で、◐を押すと、前または次のメール表示画面が表示されます。

## ■ 保存したｉモードメールを編集・送信する

**1** 待受画面で、✉ 3 を押す。（未送信**BOX**）




- 未送信BOX一覧が表示されます。
- ⓘ（切替）を押すと、題名表示が名前表示、アドレス表示に切り替わります。

ｉモードメールとは

次ページへ続く ▶▶

**2** 送信したいｉモードメールを選び、◉を押す。




- 新規作成時と同様に編集することができます。
  詳しくは、P.127〜P.128の操作２〜５を参照してください。

**3** ⓘ（送信）を押す。

- ｉモードメールが送信されます。
- 送信したｉモードメールは「送信トレイ」に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.200）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。

添付ファイル

# ｉモードメールで画像やメロディ、動画／ｉモーションを送る

FOMA端末で撮影した静止画や動画、サイトやインターネットホームページから取り込んだ画像、ｉモーションやメロディをｉモードメールに添付して送信することができます。

| 種　類 | | 通常添付ファイル | | 大容量添付ファイル | |
|---|---|---|---|---|---|
| データの種類 | | メロディ | 静止画 | 静止画 | 動画／ｉモーション |
| ファイル形式 | | SMF | GIF画像、JPEG画像 | JPEG画像 | Mobile MP４ |
| ファイルサイズ | | １〜10000バイト※３ | | 10001〜100K（102400）バイト※４ | １〜100K（102400）バイト※４ |
| 添付可能件数 | | 合計最大10個※５ | | どちらか1個 | |
| 送付先ごとの送付可否 | FOMA端末 | ○ | ○ | × | ○※２ |
| | movaサービスのｉモード端末 | × | ○※１ | × | × |
| | e-mail | ○ | ○ | ○ | ○ |

※１ movaサービスのｉモード端末へ送信する場合、自動的にｉショット送信（画像閲覧用URLと画像の保存期限が自動的に付与される）となります。なお、添付できるデータは、最大10000バイトまでのJPEG画像1個、本文は最大全角184文字までとなります。もし、この条件にあてはまらないファイルや、複数のファイルを添付した場合は、添付ファイルが削除され、本文のみが送信されます。

※２ 動画／ｉモーションをFOMA端末へ送信する場合、ｉモーションメール（動画閲覧用URLと動画保存期限が自動的に付与される）となります。

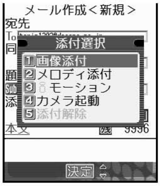
※３ 添付ファイルサイズと本文サイズの合計です。添付ファイルのサイズの分だけ、本文に入力できる文字数が少なくなります。

※４ 本文サイズは最大9800バイト（デコメールの場合は最大9600バイト）です。なお、1つのメールに大容量添付ファイルと通常添付ファイルを同時に添付することができます。通常添付ファイルサイズは、本文としてカウントされますので、本文と合わせて9800バイトにおさまるようにしてください。

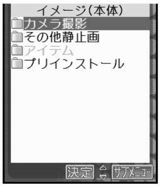
※５ 添付ファイルサイズが大きいと、添付可能件数が少なくなります。

## 1 ｉモードメールを作成する。（☞**P.127～P.128**の操作１～５）

## 2 ◎で「添付」の入力欄を選び、●を押す。




## 3 1を押す。（画像添付）




- マルチメディアのイメージのフォルダ一覧が表示されます。

**メロディを添付するとき**

- 2を押します。

**ｉモーションを添付するとき**

- 3を押します。

## 4 フォルダを選び、●を押し、添付したいファイルを選び、ｉ（決定）を押す。




- メール作成画面に戻ります。「添付」欄に選択したファイル名とファイルサイズが表示されます。
- 本文入力欄の上に表示される残バイト数表示は、添付ファイルのサイズを引いた値です。

**画像を確認するとき**

- 確認したい画像を選び、●（確認）を押します。

**メロディ・ｉモーションを確認するとき**

- 確認したいメロディまたはｉモーションを選び、●（確認）を押します。
- 再生を止めるときは、ｉ（停止）を押します。

## 5 ｉ（送信）を押す。

- ｉモードメールが送信されます。

**お知らせ**

- ｉモードメールに添付するための静止画を撮影する場合、画質を「ｉモードメール用」や「大容量添付メール用」に設定して撮影すると便利です。（☞P.243）
- Flash画像やフレーム、スタンプは添付することができません。
- 相手の方の機種が、FOMA SH900i以外の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- 送信する相手の方が、movaサービスのｉモード端末の場合、本文は最大全角2000文字まで届きます。
- ｉモードメール添付やFOMA端末外への出力を禁止されているファイルは送信することができません。
- FOMA端末で撮影した画像にファイル制限を設定している場合、添付して送ることができますが、受け取った方がそのファイルを外部へ送ることはできません。
- ｉモーションによっては、添付できないものもあります。
- FOMA端末にあらかじめ内蔵されているメロディは添付することができません。また、添付できない画像やメロディはタイトル名がグレーで表示されます。



次ページへ続く

**お知らせ**

**次の場合はメロディや静止画を添付することができません**

- メロディまたは静止画を添付すると、本文（添付したメロディ、画像を含む）のデータ量が全角5000文字（10000バイト）を超えてしまう場合。
- すでにメロディまたは画像が、合計で10個添付されている場合。

**次の場合は10000バイトを超える静止画またはｉモーションを添付することができません**

- 静止画またはｉモーションのデータ量が100Kバイト（102400バイト）を超える場合。
- 本文（添付したメロディ、画像を含む）の残りのデータ量が全角100文字（200バイト）未満の場合。ただし、デコメールの場合は、全角200文字（400バイト）未満の場合。
- すでに10000バイトを超える静止画、またはｉモーションが添付されている場合。
- 宛先にｉモードメールのメールアドレスが入力されている場合、10000バイトを超える静止画を添付すると送信できません。

**添付ファイルを確認する場合**

- メール作成画面で確認したいファイルが添付されている「添付」欄を選び、📷5（添付ファイル確認）を押します。

**貼付データについて**

- メールに貼付されたメロディ（MFi）、動画／ｉモーション・ｉアプリは、メールの返信や転送をする際に引用できません。また、データリンクソフト、赤外線通信での転送もできません。

## 添付ファイルを解除する

ｉモードメール作成中に添付ファイルを解除することができます。

**1** ｉモードメール作成中（☞P.137の操作１～４）に、「添付」欄の解除したいファイルを◯で選ぶ。

**2** 📷6を押す。（添付解除）




- 添付ファイルが解除されます。

## ｉモードメール作成中にカメラで撮影して添付する

ｉモードメール作成中にカメラを起動して、静止画を撮影することができます。

**1** ｉモードメール作成中（☞P.137の操作１～４）に、◯で「添付」の入力欄を選び、◉を押す。

- 添付選択画面が表示されます。

**2** 4を押す。（カメラ起動）

- 静止画撮影画面が表示されます。

**3** ◉またはシャッターを深く押す。

- 撮影した画像を確認するためのプレビュー画面が表示されます。

**撮影した静止画を削除してやり直すとき**

- CLRを押します。操作２の状態に戻ります。

## 4 ◉を押す。

● 撮影した画像がマルチメディアのイメージの「カメラ撮影」フォルダに保存され、メールに添付されます。

**お知らせ**

● 自動保存モード（☞P.241）を「ON」に設定している場合、撮影した画像の確認画面は表示されません。
● すでにファイルが添付されている場合、カメラ起動は選択することができません。

メール自動受信

# ｉモードメールを受信したときは

FOMA端末が圏内にあるときは、メール選択受信（☞P.142）が「OFF」に設定されている場合、ｉモードセンターからｉモードメールを自動的に受信します。

● 受信メールは最大10～1000件まで保存することができます。（受信メールのサイズによって、保存できる件数が変わります。）
● 保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない保存日時の一番古い既読メールに上書きされます。必要なｉモードメールは保護することをおすすめします。（上書き確認のメッセージは表示されません。）
● FOMA端末が次の状態のときに送られてきたｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。
・電源がOFF時　・セルフモード中　・圏外
・テレビ電話の通話中　・赤外線通信中　・メール選択受信ONのとき
・受信BOXが保護や未読のｉモードメールでいっぱいで空き容量がないとき

**お知らせ**

● 本文は最大全角5000文字（半角10000文字）まで受信できますが、それを超えた場合は文末に「/」または「//」が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。

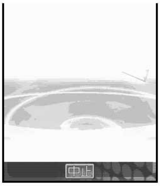
マークの意味

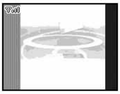
| マーク | 状　態 |
|---|---|
|  | 未読メールがあります。ｉモードメールの確認について詳しくは、P.140を参照してください。 |
|  | FOMA端末の受信メールがいっぱいです。未読メールの確認（☞P.140）、ｉモードメールの保護解除（☞P.186）、不要なメールの削除（☞P.187）を行ってください。 |
| （青色） | センターでメールをお預かりしています。（メール選択受信OFFのとき）ｉモードメールを受信したいときは、ｉモード問い合わせ（☞P.144）を行ってください。 |
| （緑色） | センターでメールをお預かりしています。（メール選択受信ONのとき）ｉモードメールを受信したいときは、選択受信（☞P.142）を行ってください。 |
|  | センターでお預かりしているｉモードメールがいっぱいです。ｉモード問い合わせ（☞P.144）を行ってください。 |
|  | メールのPIMロックが設定されています。ｉモードメールを確認したいときは、端末暗証番号の入力が必要です。（☞『基本編』P.194） |

● ｉモードセンターにｉモードメールが保管されていても、「」（青色）が表示されない場合があります。
● メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、「」（青色）や「」は表示されません。（☞P.142）
● 通話中、ｉアプリ実行中、ｉモーション／メロディ再生中などにメールを受信した場合、メール着信音は鳴りません。

## 新着ｉモードメールを表示する

### 1 ｉモードメールが届くと、自動的に受信する。（「✉」点滅）



- メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、自動的に受信することができません。

受信を中止するとき

- 受信中に◉を押します。
- 受信を中止したｉモードメールは、ｉモードセンターに保管されます。（「✉」（青色）点灯）
- 受信を中止するタイミングにより、ｉ モードメールを受信してしまう場合もあります。

### 2 受信終了後、ｉモードメールの受信結果が表示され、ｉモードメール着信音が鳴る。（「✉」点灯）







- 受信したｉモードメールは、「受信トレイ」に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.201）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。
- 複数のｉモードメール、メッセージR／Fを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメール、メッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。

### 3 受信結果画面で、「メール」を選び、◉を押す。




- 受信BOXのフォルダ一覧が表示されます。
- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。
- SMSを受信したときも、受信BOXに保存されます。

すぐに表示しないとき

- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。
- 未読のメッセージR／Fがあるときは、「メッセージ自動表示設定」（☞P.112）に従い、メッセージR／Fが自動表示されます。

### 4 フォルダを選び、◉を押し、メールを選び、◉を押す。

- 受信メールの見かたについて詳しくは、P.182を参照してください。

お知らせ

- ｉモードメールでは、メロディや動画、静止画を添付ファイルとして送受信できます。対応していない添付ファイルは、ｉモードセンターで削除します。添付ファイルを削除した場合は、本文に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。
- メロディ自動再生が「ON」に設定されているときは、メロディが再生されます。⦿を押すとメロディが止まります。また、他の画面に移動してもメロディは止まります。
- 画像が添付されているときは、本文の下に画像と添付種別マーク、ファイル名が表示されています。
- メロディとｉアプリの両方が貼り付けられている場合は、両方のデータが無効となります。
- 画像が貼付されているデコメール（☞P.130）の場合、添付ファイル受信（☞P.150）で画像を受信しないように設定しているときは、「▒」（画像取得失敗）が表示されます。
- To、Cc、Bccを設定できるFOMA端末やパソコンなどからｉモードメールが送信された場合、ご自分がTo、Cc、Bccのどれに当てはまるか、FOMA端末で確認することができます。（☞P.182）
- PIMロック中はｉモードメールやメッセージR／Fを受信しても、受信結果が表示されません。また、メール着信音も鳴りません。

FOMA端末を閉じたまま新着メールの内容を確認するとき

- サブディスプレイに受信結果画面が表示されているとき（操作２の状態）に、▯（背面中央ボタン）を押すと、最新の新着メールが表示されます。ただし、メッセージR／Fのみの受信で、メール受信が０件のときは表示されません。
- サブディスプレイに表示される内容は、送信元、日時、題名、本文です。
- ▯（背面中央ボタン）を押すと、ページ単位で下にスクロールされます。
- 一度に複数のｉモードメールを受信した場合、▯（背面上ボタン）を押すと１つ前の新着メール、▯（背面下ボタン）を押すと次の新着メールが表示されます。
- サブディスプレイで添付ファイルの内容を確認することはできません。
- サブディスプレイに新着メールが表示されている状態でFOMA端末を開くと、サブディスプレイに表示されていたｉモードメールが、メインディスプレイに表示されます。
- FOMA端末を閉じた状態でサブディスプレイに表示したメールも、受信メール一覧では未読のメールとして表示されます。ただし、サブディスプレイでメール本文表示中にFOMA端末を開くと、既読メールになります。
- デコメールの文字サイズ（小）の装飾は反映されません。
- サブディスプレイを待受画面に戻すには、▯（背面中央ボタン）を１秒以上押します。
- メールのPIMロック（☞『基本編』P.194）中や、相手表示設定（☞『基本編』P.180）が「OFF」に設定されているときは、サブディスプレイにｉモードメールの内容を表示することはできません。メール本文表示設定（☞『基本編』P.179）が「OFF」に設定されているときは、送信元、日時、題名が表示されます。

バイブレータで新着メールの有無を確認するとき

- 待受画面でシャッターを押すと、不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話の有無をバイブレータで確認することができます。いずれかがある場合は、「バイブパターン１」で２回振動します。何もない場合は、「バイブパターン２」で２回振動します。

着信音を止めるとき

- 次のボタンを押します。

  ⦿ ………………着信音が止まり、受信フォルダ一覧が表示されます。
  CLR、PWR……………着信音が止まり、待受画面または受信前の画面に戻ります。
  その他のボタン………受信結果画面のまま着信音が止まります。

待受中以外の状態で受信したとき

- ディスプレイに「✉」が表示されます。受信完了画面は表示されません。

# ｉモードメールを選択して受信する

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを、選んで受信することができます。
- ｉモードメールを選んで受信するときには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定してください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定しているときは、ｉモードメールを自動的に受信することはできません。

## ｉモードメールを選択受信するように設定する<メール選択受信設定>

選択受信を行うには、メール選択受信設定を「ON」に設定する必要があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定された場合でも、ｉモード問い合わせを利用するとメールを受信します。受信したくない場合には、問い合わせしたい項目からｉモードメールを外してご利用ください。（☞P.145）

**1** 待受画面で、✉96を押す。




**2** 1を押す。（**ON**：選択受信を行う）

### 選択受信しないとき
- 2を押します。

## ｉモードメールが届いたときは




メール選択受信設定を「ON」に設定しているときにｉモードセンターにｉモードメールが届くと、右のような画面が表示されます（待受画面のみ）。また、「✉」（緑色）が表示されます。
いずれかのボタンを押すと、元の画面に戻ります。
- 右の画面が表示されているときに、電話がかかってきて📞や📞を押しても、通話終了後、再び右の画面に戻ります。




サブディスプレイを待受画面に戻すには、いずれかのボタンを押します。
ｉモードメールを受信するには、待受画面に戻してから行ってください。

# ｉモードメールを選択受信する

## 1 待受画面で、✉8を押す。




- ｉモードセンターに接続され、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールのリストが表示されます。

**メール選択受信設定を「OFF」に設定しているとき**

- 「メール選択受信をご利用になる場合は「メール設定」から「メール選択受信設定」をONにしてください」と表示されます。◉を押すと、メール選択受信設定画面に戻ります。

## 2 ｉモードメールごとに「受信」、「削除」または「保留」を選び、◉を押す。




- 表示されていない部分を確認するときは、◉を押します。
- ファイルが添付されているときはサイズの右側に次のアイコンが表示されます。
  📷：画像ファイルが添付されています。
  ♪：メロディファイルが添付されています。
  🎥：ｉモーションが添付されています。
  （貼付のときは表示されません。）

**ｉモードセンターのｉモードメールをすべて削除するとき**

- メール選択受信画面の最下部にある「削除」を選び、◉を押します。確認画面表示後、「決定」を選び、◉を押すと、ｉモードセンターのｉモードメールがすべて削除されます。

## 3 受信／削除したいｉモードメールを選び終わったら、「受信／削除」を選び、◉を押す。

## 4 「決定」を選び、◉を押す。

**受信／削除したいｉモードメールを選び直すとき**

- 「キャンセル」を選び、◉を押します。

## 5 受信したｉモードメールを表示する。（**P.140**の操作３～４）

**お知らせ**

- ｉモードメニューリストからもメール選択受信を行うことができます。待受画面でⓘ◉を押し、「Menu」で3（メニューリスト）を押し、「メール選択受信」を選び、◉を押します。

# iモードメールがあるかどうかを問い合わせる

圏外時やセルフモード中など（iモードセンターに保管される場合について詳しくは、P.139を参照してください）に送られてきたiモードメールはiモードセンターに保管されています。iモードメールがiモードセンターに保管されているかどうかを問い合わせ、保管されている場合は受信します。

- iモード問い合わせを行う種類（iモードメール、メッセージR／F）を設定することができます。（☞P.145）
- メール選択受信を「ON」に設定していても、iモード問い合わせを行うと、iモードメールを受信します。
- iモード問い合わせを行ったあと、「i」が点滅している間に再びiモード問い合わせを行っても、問い合わせはされず、前回問い合わせした種類については前回の結果が表示されます。
- お買上げ時は、すべての種類の問い合わせを行うように設定されています。メッセージR／Fの配信を希望されない場合は、「OFF」に設定してご利用ください。（☞P.145）
- SMSの問い合わせについて詳しくは、P.169を参照してください。

## 1 待受画面で、(i)(6)を押す。

- 問い合わせを開始します。
- iモード問い合わせ設定（☞P.145）の設定に従い「iモードメール」→「メッセージR」→「メッセージF」の順でiモード問い合わせを行います。
  （問い合わせをしているマーク（「✉」「R」「F」）が順次表示されます。）

### FOMA端末を閉じたままiモード問い合わせを行うとき

- 待受画面で、□（背面下ボタン）をすばやく２回押します。

### 受信を中止するとき

- 受信中に◉を押します。
- FOMA端末を閉じているときは、受信中に□（背面下ボタン）を押します。
- 受信を中止したiモードメールは、iモードセンターに保管されます。（「✉」（青色）点灯）
- 受信を中止するタイミングにより、iモードメールを受信してしまう場合もあります。

## 2 問い合わせ結果が表示され、新しく届いたiモードメールがある場合は、iモードメール着信音が鳴る。

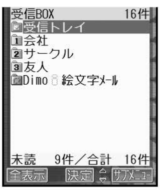



- iモード問い合わせが終了します。
- センターにiモードメールが保管されていないときは、件数が「0」と表示されます。
- iモードメールと一緒にメッセージR／Fを受信したときは、最後に受信したiモードメール、メッセージR／Fに設定されている着信音が鳴ります。

### 着信音を途中で止めるとき

- (CLR)を押します。
- 他のボタンでも止めることができます。（☞P.141）

## 3 受信結果画面で、「メール」を選び、◉を押す。




- 受信BOXのフォルダ一覧が表示されます。
- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。

### すぐに表示しないとき

- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後に元の画面に戻ります。
- iモード待機中の状態（「i」が点滅）のままです。
- iモード問い合わせで受信したiモードメールは、自動表示されません。

## 4 フォルダを選び、◉を押し、iモードメールを選び、◉を押す。

- 受信メールの見かたについて詳しくは、P.182を参照してください。

**お知らせ**

- 待受画面で✉を２回押しても、iモード問い合わせを行うことができます。
- iモードメニューで、4を押しても、iモード問い合わせを行うことができます。
- 問い合わせの結果、表示される画面上側のマークの意味について詳しくは、P.139を参照してください。
- 電波状況等により、エラーメッセージが表示され、問い合わせできない場合や中断される場合があります。

# iモード問い合わせの内容を設定する＜iモード問い合わせ設定＞

iモード問い合わせのときに、問い合わせを行うかどうかを種類別（iモードメール、メッセージR／F）に設定することができます。

- お買い上げ時は、すべての種類の問い合わせを行うように設定されています。

## 1 待受画面で、✉94を押す。




## 2 設定したい種類を選び、◉を押す。

## 3 1を押す。（ON：問い合わせを行う）

- 他の種類も設定するときは、操作２～３をくり返します。

**問い合わせをしないとき**

- 2を押します。

## 4 i（完了）を押す。

# ｉモードメールに返信する

ｉモードメールの返信方法には、受信メールの本文を引用して返信する方法と、本文を引用しないで返信する方法があります。

- 送信メールを保存するメモリの空き容量がない場合は、メールを返信することができません。
- SMSの返信について詳しくは、P.171を参照してください。

## 1 返信したいｉモードメールを表示する。（☞**P.140**の操作１～４）

## 2 [メール][1]（返信）または[メール][2]（引用返信）を押す。




- 受信メールの題名の先頭に「Re:」がついた題名が入力されています。

### 返信できないｉモードメールを選んだとき

- 「返信先が無効です」と表示されます。

### 「引用返信」を選んだとき

- 本文の先頭に「>」が挿入され、受信メールの内容が引用されます。

### デコメールのとき

- 装飾と挿入した画像が引用されます。

## 3 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 題名や本文を編集することができます。
- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

### 作成中のｉモードメールを保存するとき

- メール作成画面で[メール][2]を押すと、未送信メールとして保存されます。

**お知らせ**

- ｉモードメール作成中に[PWR/HLD]を押すと、終了確認画面が表示されます。「はい」を選び、[●]を押すと、ｉモードメールの作成を中止することができます。ただし、作成を中止したｉモードメールは保存されません。
- ｉモードメールの返信画面で未編集のまま[PWR/HLD]を押すと、終了確認画面は表示されません。
- 返信メールの題名は、受信メールの題名の先頭に「Re:」がついた題名となります。「Re:」を含めて全角15文字（半角30文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 「>」と本文と合わせて全角5000文字（半角10000文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 送信元のメールアドレスが50文字を超えているときや、送信元が「ｉモードメールplus」の「フレンドメール12」のときなどは返信することができません。返信できないｉモードメールには受信メール表示画面で「[返信不可]」が表示されています。
- 引用返信するｉモードメールに画像が表示されていても、作成した返信メールには引用されません。
- 引用返信するｉモードメールにメロディが貼付または添付されていても、作成した返信メールには、メロディは自動的に添付されません。
- 相手の方がシークレットコードを登録している場合、ｉモードメール送信時にメールアドレスにシークレットコードを付加する必要があります。（☞P.129）
- 本文にｉアプリToがある場合、引用返信してもｉアプリToは引用できません。
- ダイヤル発信制限（☞『基本編』P.195）設定中は、電話帳に登録していない宛先へは返信することができません。

# ｉモードメールを他の宛先に転送する

FOMA端末で受信したｉモードメールを他の相手の方に転送することができます。
- 送信メールを保存するメモリの空き容量がない場合は、ｉモードメールを転送することができません。
- SMSは転送することができません。

## 1 ｉモードメールを表示する。（☞P.140の操作１～４）

## 2 [📷][3]を押す。（転送）

- メール作成画面が表示されます。
- 受信メールの題名の先頭に「Fw:」がついた題名が入力されています。

デコメールのとき
- 装飾と挿入した画像が転送されます。

## 3 メールを作成し、送信する。

- 題名や本文を編集することができます。
- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

作成中のｉモードメールを保存するとき
- メール作成画面で[📷][2]を押すと、未送信メールとして保存されます。

お知らせ
- ｉモードメール作成中に[PWR HLD]を押すと、終了確認画面が表示されます。「はい」を選び、[●]を押すと、ｉモードメールの作成を中止することができます。ただし、作成を中止したｉモードメールは保存されません。
- ｉモードメールの転送画面で未編集のまま[PWR HLD]を押すと、終了確認画面は表示されません。
- 転送したｉモードメールの題名は、受信メールの題名の先頭に「Fw:」がついた題名になります。「Fw:」を含めて全角15文字（半角30文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 本文の編集後、全角5000文字（半角10000文字）を超えると、超えた部分が削除されます。
- 転送するｉモードメールにｉモーションを添付すると、本文に入力できる文字数が全角100文字（200バイト分）減ります（デコメールの場合は全角200文字（400バイト分））。すでにそれを超える文字が入力されていたときは、ｉモーションは添付できません。

転送するｉモードメールにメロディや画像が添付されていたとき
- メロディや画像も転送されます。ただし、メロディ添付のｉモードメールを転送した相手の方の機種がFOMA SH900i以外の場合、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- 転送するｉモードメールに、ｉアプリToやｉモードメール添付、FOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されているとき、それらのファイルは削除されます。
- メロディは最大10件添付できますが、添付するファイルサイズによっては、添付可能件数が少なくなります。

# ｉモーションメールを受信する

ｉモーションメールとして送られてきたｉモーションのファイルは、受信時にはFOMA端末に取り込まれていないため、ｉモーションメールセンターから取り込んでから再生します。

**1** ｉモーションが添付されている受信メールを表示する。（☞P.140の操作１～４）

**2** 本文中に表示されているURLを選び、◉を押す。

- ｉモーションが取り込まれ、完了後、再生を行います。ｉモーションによっては、取り込みながら自動的に再生を行い、再生が終ったときに、データ取得完了画面が表示されるものがあります。
- 再生回数が決められているｉモーションは、再生するときに残り回数が表示されます。再生するときは、「はい」を選び、◉を押します。
- 再生期限が決められているｉモーションは、再生するときに再生期限が表示されます。
- 再生期間が決められているｉモーションは、再生するときに再生期間が表示されます。

ｉモーションを保存するとき

- 取り込んだｉモーションを停止中または一時停止中に📷1を押す。

ｉモーション設定を「自動再生しない」に設定しているとき

- ｉモーションを取り込み完了後に、元の画面に戻ります。

お知らせ

- ｉモーションメールに添付されているｉモーションは、受信者のみがｉモーションメールセンターから取り込むことができます。
- ｉモーションメールに添付されているｉモーション取り込み開始直後に音声着信があった場合は、ｉモーション取り込みが中止されます。
- ｉモーションメールセンターには最大15件、10日間まで保存されます。
- 保管期間（10日間）を超えたｉモーションは自動的に削除されます。
- 15件を超えると、新しいｉモーションは受信せず、送信者にエラーメッセージを返します。
- FOMA端末でｉモーションを取り込むと、ｉモーションメールセンターのｉモーションは削除されます。
- ｉモーションメールに添付されているｉモーションをパソコンなどで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。詳しくは、ドコモのホームページを参照してください。
- ｉモーションによっては、データを取り込んでも正しく再生できないことがあります。
- データを取り込みながら再生できるｉモーションの場合、電波状況等により再生ができなくなった場合でも、ｉモーションの取得完了後に再生することができます。

# 添付ファイルを確認・保存する

ｉモードメールに添付されている、画像・動画・メロディファイルを確認・保存することができます。

- ファイルはそれぞれ、マルチメディアのイメージの「その他静止画」、ｉモーションの「その他動画」、メロディの「メロディ」フォルダに保存されます。

**1** ファイルが添付されている受信メールを表示する。（☞P.140の操作１～４）

**2** (📷)(7)を押す。（添付ファイル確認）

**3** (↕)で確認したいファイルを選び、(●)を押す。（確認）

- 添付ファイルが表示または再生されます。

添付ファイルを保存するとき

- (i)（保存）を押します。
- 「添付ファイルを保存しますか？」と表示されます。「はい」を選び、(●)を押します。

お知らせ

- ｉモードメールに添付された画像は、正しく表示されない場合があります。また、表示できる画像サイズは、横2048×縦2048ドットまでです。サイズを超えた場合、受信はできても表示することができません。

添付ファイル受信

# 添付ファイルを受信するかどうかを設定する

メールに添付されている画像やメロディファイルを受信するかどうかを設定することができます。

● お買い上げ時は、「画像とメロディ」を受信するに設定されています。

## 1 待受画面で、[✉][9][1]を押す。

● 添付ファイル受信設定画面が表示されます。

## 2 受信したい添付ファイルの種類を選び、◉を押す。

添付ファイルを受信しないとき

● [4]を押します。

お知らせ
● 添付ファイル受信を「受信しない」に設定すると、添付ファイルはｉモードセンターで削除されます。削除されたことは通知されませんので、ご注意ください。
● メール本文中に貼付されたMFi形式のメロディは、本設定にかかわらず受信します。

メロディ自動再生

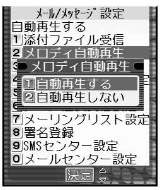
# メロディを自動再生するかどうかを設定する

メッセージR／Fや受信したｉモードメールに添付または貼付されているメロディを自動再生するかどうかを設定することができます。

| | |
|---|---|
| 自動再生する | 開封時に自動的に演奏します。 |
| 自動再生しない | 開封時に自動的に演奏しません。 |

● お買い上げ時は、「自動再生する」に設定されています。

## 1 待受画面で、[✉][9][2]を押す。




## 2 [1]を押す。（自動再生する）

自動再生しないとき

● [2]を押します。

お知らせ
● 「自動再生する」に設定した場合、マナーモード設定中は、メロディを再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選び◉を押すと再生されます。
● メッセージR／F受信では、添付ファイル受信設定にかかわらず、画像やメロディの再生をおこないます。

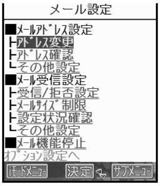
# ｉモードセンターのメール機能を設定する

メールアドレス変更やメールサイズ制限設定、メール受信拒否設定など、ｉモードセンターのメール機能を設定することができます。

**1** 待受画面で、ⓘ1を押す。

● ｉMenuが表示されます。

**2** 81を押す。（メール設定）



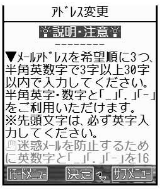

● メール設定画面が表示されます。

## メールアドレスを変更する

ｉモードメールのメールアドレスをお客様のお好みのメールアドレスに変更することができます。

● 「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、変更できるのは「@」より前の部分となります。変更するときは、「@」より前の部分（下線部分）だけを入力してください。なお、変更可能部分は、半角英数字および「_」（アンダーバー）、「.」（ピリオド）、「-」（ハイフン）の記号を使って、３文字以上30文字まで（先頭は必ず英字）の間で設定します。
● メールアドレス変更は、迷惑メールを防ぐ対策の１つです。

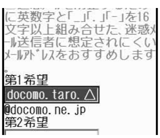
**1** メール設定画面で、「アドレス変更」を選び、◉を押す。




● ◯を押して画面をスクロールさせ、メールアドレス変更の手順を確認してください。

**2** 「第１希望」の入力欄を選び、◉を押す。

**3** 第１希望のメールアドレスを入力し、◉を押す。




● 英字を大文字で入力した場合には、自動的に小文字として認識されます。
● スペース（空白）はご利用になれません。
● 「.」をアドレス内で連続使用したり、アドレスの最後に設定すると、一部のプロバイダとｉモードメールを送受信できない場合があります。

ｉモードメールとは

次ページへ続く

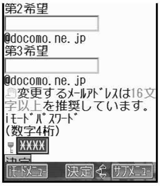
**4** 同様に「第２希望」、「第３希望」のメールアドレスを入力する。

- 第２希望、第３希望が不要の場合は、そのまま操作５に進みます。

**5** 「ｉモードパスワード」の入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**6** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。




- 入力したパスワードは、「＊」で表示されます。

**7** 「決定」を選び、◉を押す。

- アドレス変更が完了し、新しいメールアドレスが表示されます。

**お知らせ**

- メール機能を停止している場合は、ご利用になれません。
- メールアドレス変更について詳しくは、最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
- メールアドレスは、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- メールアドレスを変更することができるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。
- 変更が完了すると、変更前のメールアドレスではメールを受信できなくなり、ｉモードメールの送信者には宛先不明のエラーメッセージまたはエラーメールが返信されます。
- メールアドレスを変更するときに簡単なアドレス（名前など）にすると、間違いメールや迷惑メールが届くことがあります。英字や数字を組み合わせた簡単に想定できないメールアドレスに変更することをおすすめします。
- メールアドレスの変更を行っていても、SMSは受信します。
- メールアドレス変更前にｉモードセンターに保管されたｉモードメールは、メールアドレス変更後も受信可能です。

## メールアドレスを確認する

現在のメールアドレスを確認することができます。

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「アドレス確認」を選び、◉を押す。

- メールアドレスが表示されます。

## シークレットコードを登録する

お客様のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときにシークレットコードを登録すると、シークレットコードがついたｉモードメール以外は受信できなくなり、ｉモードメールの送信者には宛先不明のエラーメッセージまたはエラーメールが返信されます。

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「メールアドレス設定・その他設定」を選び、◉を押す。

**2** 「シークレットコード登録」を選び、◉を押す。

- シークレットコード登録画面が表示されます。

**3** 「シークレットコード」の入力欄を選び、◉を押す。

- シークレットコードの入力画面が表示されます。

**4** シークレットコードを入力し、◉を押す。

- 「0000」は設定できません。

**5** 「ｉモードパスワード」の入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**6** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

**7** 「決定」を選び、◉を押す。

- シークレットコード登録が完了し、新しいメールアドレスが表示されます。電話番号のあとの４桁の数字がお客様の設定されたシークレットコードとなります。

お知らせ

- メール機能を停止している場合は、ご利用になれません。
- シークレットコードを登録できるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。
- シークレットコード登録後のｉモードメール送信時にはシークレットコード部分は隠されるため、送信先にシークレットコードが表示されることはありません。
- 相手の方がシークレットコードを登録している場合、ｉモードメール送信時にメールアドレスにシークレットコードを付加する必要があります。（☞P.129）
- シークレットコードを解除する場合は、アドレスリセット（☞P.154）を行います。
- シークレットコードを登録していても、SMSは受信できます。
- メールアドレスを変更したときは、登録したシークレットコードが解除されます。
- シークレットコード登録前にｉモードセンターに保管されたｉモードメールは、シークレットコード登録後も受信可能です。
- ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。

## メールアドレスを電話番号にする<アドレスリセット>

メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更することができます。

**1** メール設定画面（☞**P.151**）で、「メールアドレス設定・その他設定」を選び、◉を押す。

**2** 「アドレスリセット」を選び、◉を押す。

- アドレスリセット画面が表示されます。

**3** 「ｉモードパスワード」の入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**4** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

**5** 「確認」を選び、◉を押す。

- 確認画面が表示されます。

**お知らせ**

- アドレスリセットを行うと、リセットする前のメールアドレス宛のｉモードメールは受信できません。
- アドレスリセットを行ったあと、それまで利用されていたメールアドレスに戻すことができなくなることがあります。
- メール機能を停止している場合は、ご利用になれません。
- アドレスリセットについて詳しくは、最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
- アドレスリセット前にｉモードセンターに保管されたｉモードメールは、アドレスリセット後も受信可能です。

## 受信するｉモードメールのサイズを制限する

受信するｉモードメールのデータサイズ（文字数）を制限することができます。

- 設定した文字数を超えたｉモードメールを受信したときは、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。超えた部分を確認することはできません。
- お買い上げ時は、「全角5000文字」に設定されています。

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「メールサイズ制限」を選び、◉を押す。

- 受信文字数設定画面が表示されます。

**2** 設定するメールサイズを選び、◉を押す。

**3** 「ｉモードパスワード」の入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**4** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

**5** 「決定」を選び、◉を押す。

- 設定の内容が表示されます。
- 設定が完了すると、指定したメールサイズを示す画面が表示されます。

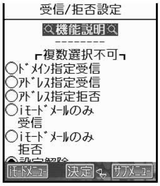
**お知らせ**

- メール機能を停止している場合は、ご利用になれません。
- メールサイズ制限を行うことができるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。
- 設定されたサイズ（文字数）を超えた場合、ｉモードメール本文に貼り付けられているメロディのデータやｉアプリToは、ｉモードセンターで削除されます。

## ドメインを指定してメールを受信する<ドメイン指定受信>

au・ボーダフォン・TU-KA・DDIポケットのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。
※「ドメイン」とは「□□□□@<u>△△△.ne.jp</u>」の下線部のような、メールアドレスの「@」よりうしろの部分のことです。
※ NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール、M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「受信／拒否設定」を選び、◉を押す。




**2** 「ドメイン指定受信」を選び、◉を押す。

- 「◉」が選ばれている状態です。

**3** 「次へ」を選び、◉を押し、受信したい携帯電話会社・**PHS**会社を選び、◉を押す。

- 「☒」が選ばれている状態です。
- 複数の携帯電話会社・PHS会社を選択できます。

**4** その他のドメインを指定する場合は、入力欄を選び、◉を押す。

**5** 指定するドメインを入力し、◉を押す。

- NTTドコモのPHS・アステルのドメイン受信設定は、「受信したいドメイン」を入力してください。

複数のドメインを入力するとき
- 操作４～５をくり返します。

**6** 「登録」を選び、◉を押す。

**7** 「ｉモードパスワード」の入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**8** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

## 9 「決定」を選び、◉を押す。

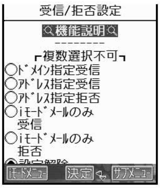
● 確認画面が表示されます。

お知らせ
- SMSからの送信を対象とした設定はできません。
- 未承諾広告※メール拒否と同時に設定できます。
- 日本語のドメインは設定できません。
- ドメインを指定する場合は、NTTドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール、M-stageビジュアルネットからのメールはすべて受信しますので、ドメインを指定する必要はありません。
「docomo.ne.jp」や「ezweb.ne.jp」のようなドメインを指定すると、携帯電話・PHSから送信したようにみえる迷惑メールが届いてしまいます。
- ドメインを指定する場合、指定したドメインで終わるメールのみ受信します。
- メールによる情報配信サービスなどへメールアドレスを登録し利用している場合は、ドメイン指定受信の設定にともないメールが届かなくなりますのでご注意ください。
- ｉモードメニューサイトの利用に際し、ご利用の内容確認などをｉモードメールで行う場合がありますので、これらのｉモードメールを受信するために、各サイトのドメインを指定してご利用ください。
- 設定が完了すると、拒否を設定したメールが受信できなくなり、ｉモードメールの送信者には宛先不明のエラーメッセージまたはエラーメールが返信されますのでご注意ください。ただし、設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。
- ドメイン指定受信を設定することができるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。

## アドレスを指定してメールを受信／拒否する<アドレス指定受信／拒否>

受信するすべてのメールのうち指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

## 1 メール設定画面（☞P.151）で、「受信／拒否設定」を選び、◉を押す。




## 2 「アドレス指定受信」または「アドレス指定拒否」を選び、◉を押す。

●「◉」が選ばれている状態です。

## 3 「次へ」を選び、◉を押し、入力欄を選び、◉を押す。

## 4 指定するメールアドレスを入力し、◉を押す。

● ｉモード端末どうしの場合、「@」以降の入力は必要ありません。

複数のメールアドレスやドメインを入力するとき

● 操作３～４をくり返します。

iモードメールとは

次ページへ続く ▶▶

## 5 「登録」を選び、◉を押す。

## 6 「ｉモードパスワード」の入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

## 7 ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「＊」で表示されます。

## 8 「決定」を選び、◉を押す。

- 確認画面が表示されます。

**お知らせ**

- SMSからの送信を対象とした設定はできません。
- ドメイン指定受信、アドレス指定受信、アドレス指定拒否、ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否は同時に設定することができません。
- 未承諾広告※メール拒否と同時に設定できます。
- ｉモード端末どうしの際は@マーク以降の記入の必要はありません。
- 日本語のアドレスやドメインは設定できません。
- ドメインのみを指定することはできません。
- メールによる情報配信サービスなどへメールアドレスを登録し利用している場合は、アドレス指定受信の設定にともないメールが届かなくなりますのでご注意ください。
- ｉモードメニューサイトのご利用に際し、利用の内容確認などをｉモードメールで行う場合がありますので、これらのｉモードメールを受信するために、各サイトのメールアドレスなどを指定してご利用ください。
- 設定が完了すると、拒否を設定したメールが受信できなくなり、ｉモードメールの送信者には宛先不明のエラーメッセージまたはエラーメールが返信されますのでご注意ください。ただし、設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。
- アドレス指定受信／拒否を設定することができるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。

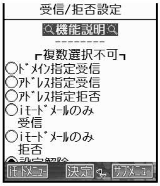
**迷惑メールを防ぐために**

- アドレス指定受信／拒否の利用は、迷惑メールを防ぐのに効果的です。

## ｉモードメールを受信／拒否する＜ｉモードメールのみ受信／拒否＞

ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）または拒否します。

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「受信／拒否設定」を選び、◉を押す。




**2** 「ｉモードメールのみ受信」または「ｉモードメールのみ拒否」を選び、◉を押す。

- 「◉」が選ばれている状態です。

**3** 「次へ」を選び、◉を押し、ｉモードパスワードの入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**4** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「＊」で表示されます。

**5** 「決定」を選び、◉を押す。

- 確認画面が表示されます。

**お知らせ**

- SMSからの送信を対象とした設定はできません。
- 「ｉモードどうしのメール」にはｉショットからのメールも含みます。
- ドメイン指定受信、アドレス指定受信、アドレス指定拒否、ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否は同時に設定することができません。
- 未承諾広告※メール拒否と同時に設定できます。
- メール機能を停止している場合は、ご利用になれません。
- メール受信拒否を設定することができるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。
- 「ｉモードメールのみ受信」を設定した場合、希望しているメール配信も届かなくなります。ドコモの一定額通知サービス・eビリング請求額お知らせメール、M-stageビジュアルネットからのメールが受信できなくなります。
- 「ｉモードメールのみ拒否」を設定した場合も、ｉモードメールplusのフレンドメール12からのメールは受信します。
- メール受信拒否の設定について詳しくは、最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
- 設定が完了すると、拒否を設定したメールが受信できなくなり、ｉモードメールの送信者には宛先不明のエラーメッセージまたはエラーメールが返信されますのでご注意ください。
- 設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。

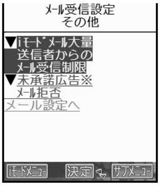
**現在のメール設定状況を確認するとき**

- 操作１のメール設定画面で、「設定状況確認」を選び、◉ を押すと、現在設定されているメール設定状況を確認することができます。

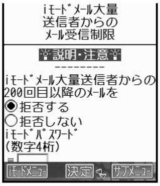
## 大量送信者からのｉモードメールを拒否する<ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限>

１日に１台のｉモード端末から送信される200通目以降のｉモードメールを拒否します。

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「メール受信設定・その他設定」を選び、◉を押す。




**2** 「ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限」を選び、◉を押す。




**3** 「拒否する」または「拒否しない」を選び、◉を押す。

- 「◉」が選ばれている状態です。

**4** ｉモードパスワードの入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**5** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

**6** 「決定」を選び、◉を押す。

- 確認画面が表示されます。

**お知らせ**

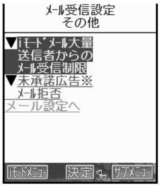
- SMSは受信拒否できません。
- ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限を行うことができるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。
- ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限の設定について詳しくは、最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
- 設定が完了すると、該当のメールが受信できなくなり、ｉモードメールの送信者には宛先不明のエラーメッセージまたはエラーメールが返信されますのでご注意ください。
- 設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。

## 未承諾広告※メールの受信を拒否する＜未承諾広告※メール拒否＞

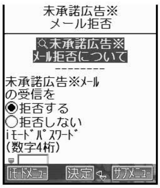
受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信されるメールを拒否することができます。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません。（送信者はメール表題部の最前部に未承諾広告※（全角６文字）と記載することが法律で義務づけられてます。）

- お買い上げ時は、「拒否する」に設定されています。
- 未承諾広告※メール拒否は、ドメイン指定受信など、他のメール受信／拒否設定機能と併せて設定することができます。
- ドメイン指定受信で設定したドメインからの未承諾広告※メールも拒否します。

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「メール受信設定・その他設定」を選び、◉を押す。




**2** 「未承諾広告※メール拒否」を選び、◉を押す。




**3** 「拒否する」または「拒否しない」を選び、◉を押す。

- 「◉」が選ばれている状態です。

**4** ｉモードパスワードの入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**5** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

**6** 「決定」を選び、◉を押す。

- 確認画面が表示されます。

**お知らせ**

- 未承諾広告※メール拒否について詳しくは、最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
- 未承諾広告※メール拒否を設定することができるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。
- 未承諾広告※メール拒否を「拒否しない」設定でご利用後「拒否する」に変更した場合、設定前にｉモードセンターに保管されたメールは、設定後も受信されます。

## 現在の設定状況を確認する

現在のメール設定状況の内容を確認します。

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「設定状況確認」を選び、◉を押す。

● 設定内容が表示されます。

## メール機能を停止する

メール機能を利用されないときは、ｉモードセンターでメール機能を停止することができます。メール機能を停止すると、FOMA端末でのｉモードメールの送受信を行うことはできず、相手の方には宛先不明のエラーメッセージまたはエラーメールが返送されます。

● メール機能を停止すると、メール機能停止前にお使いになられていたメールアドレスを再び使えない可能性があります。また、停止前に登録したシークレットコードは解除されます。
● メール機能を停止されている場合、メール受信／拒否設定はご利用になれません。

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「メール機能停止」を選び、◉を押す。

**2** 「ｉモードパスワード」の入力欄を選び、◉を押す。

● ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**3** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

● 入力したパスワードは、「＊」で表示されます。

**4** 「確認」を選び、◉を押す。

● 確認画面が表示されます。

お知らせ

● メール機能の停止ができるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。
● メール機能停止前にｉモードセンターで保管されているｉモードメールはそのまま保管されますので（受信時から720時間）、ｉモード問い合わせ（☞P.144）を行って受信してください。
● メール機能の停止について詳しくは、最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
● メール機能停止中にｉモードメールの送信やｉモード問い合わせを行った場合、センターとの通信を行うため、パケット通信料金がかかりますのでご注意ください。
● メール機能停止中はｉモードセンターで新しいｉモードメールは保管されません。
● メール機能停止中にｉモードメールの送信を行った場合、「送信できませんでした」などのエラーメッセージが表示され、送信することができません。

## メール機能を再開する

**1** メール設定画面（☞P.151）で、「ｉモードパスワード」の入力欄を選び、◉を押す。

- ｉモードパスワードの入力画面が表示されます。

**2** ｉモードパスワードを入力し、◉を押す。

- 入力したパスワードは、「¥」で表示されます。

**3** 「メール開始」を選び、◉を押す。

- 確認画面が表示されます。

お知らせ

- メール拒否の設定については、メール機能停止前の設定のままとなっています。
- メール機能を再開できるのは、お手持ちのFOMA端末からのみです。
- メール機能の再開について詳しくは、最新の『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。
- メール機能再開時には、メール機能停止前に利用されていたメールアドレスを再び使えない可能性がありますのでご注意ください。
- メール機能を再開後のメールアドレスは「携帯電話番号@docomo.ne.jp」となります。

# ショートメッセージ（SMS）を作成して送信する

SMSを新規に作成して、送信します。
- SMSの宛先には相手の方の電話番号を入力します。
- 海外とのSMSの送受信はできません。
- SMSの本文は最大全角70文字、半角英数字のみの場合は160文字まで送受信することができます。
- SMSの本文に半角カタカナや絵文字を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。

## 1 待受画面で、[メール][5]を押す。




## 2 「宛先」の入力欄を選び、[●]を押す。

- 入力方法選択画面が表示されます。

## 3 [2]を押し、「宛先」を入力する。（直接入力）

- 電話番号（最大20桁まで）を入力します。

**電話帳から選ぶとき**
- [1]を押し、送信する相手の方を選び、[●]を押します。

**送信アドレス履歴／受信アドレス履歴から選ぶとき**
- [3]（送信アドレス履歴）または[4]（受信アドレス履歴）を押して、送信する相手の方を選び、[●]を押します。

## 4 [●]を押す。

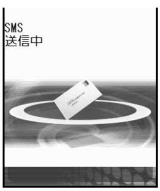
- SMS作成画面に戻ります。

## 5 「本文」を選び、[●]を押す。

## 6 本文を入力し、[●]を押す。

- 「本文」には全角70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで入力できます。
- 改行「↲」やスペース（空白）も文字と同じように文字数にカウントされます。

## 7 [i]（送信）を押す。




- 送信が完了すると、「送信完了しました」と表示されます。

**お知らせ**

- 電波状態によっては正しく送受信できません。電波状態のよいところへ移動して、操作を行ってください。送信できなかったSMSは、未送信SMSとして保存されます。
- 電波状況により、相手の方に文字が正しく表示されない場合があります。
- SMSは、ｉモード契約がなくても送信できます。
- FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末からのショートメールをSMSとして受信することができます。
- 送信SMSと未送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMA端末（本体）に保存することができます。
- SMSはFOMAカードにコピーすることもできます。（☞P.173）
- 送信SMSと受信SMSを合わせて最大20件まで、FOMAカードに保存することができます。未送信SMSをFOMAカードに保存することはできません。

**編集中に電話がかかってくると**

- 通話後、着信前の画面に戻り編集を続けることができます。

**編集中にｉモードメールやメッセージR／Fを受信すると**

- 受信結果は表示されず、編集を続けることができます。

**ダイヤル発信制限中は**

- ダイヤル発信制限（☞『基本編』P.195）中は、電話帳に登録されている宛先以外へSMSを送ることはできません。

**「184」／「186」／「#31#」／「¥31#」を付けたとき**

- 宛先の先頭に「184」／「186」／「#31#」／「¥31#」を付けると、送信できません。
- 「184」と「#31#」は発信者番号を相手の方に通知しないとき、「186」と「¥31#」は発信者番号を相手の方に通知するときに、相手の方の電話番号の前に付けてダイヤルする番号です。（☞『基本編』P.57）

# ショートメッセージ（SMS）を保存しておき、あとで送信する

SMSの作成中に操作を中断しなければならないときや、作成したSMSを保存しておきたいときは、FOMA端末に一時保存しておくことができます。また、保存したSMSを編集して送信することもできます。

- SMSの作成について詳しくは、P.164を参照してください。
- 未送信SMSと送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMA端末（本体）に保存することができます。

## 未送信SMSを保存する

**1 SMSの作成中（☞P.164の操作1～6）に、（保存）を押す。**




- 作成中のSMSが、未送信SMSとして保存されます。

**お知らせ**

- SMS作成中にを押すと、終了確認画面が表示されます。「はい」を選び、を押すと、SMSの作成を中止することができます。ただし、作成を中止したSMSは保存されません。
- 未送信SMSはFOMAカードにコピー（保存）できません。

## 送信／保存したSMSを編集・送信する

### ■ 送信したSMSを編集・再送する

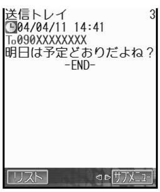
**1 待受画面で、2を押す。**

- 送信BOX一覧が表示されます。

**2 フォルダを選び、を押す。**

- 送信メール一覧が表示されます。
- （切替）を押すと、題名表示（SMSは本文先頭）が名前表示、アドレス表示（SMSは電話番号）に切り替わります。

**3 フォルダからSMSを選び、を押す。**




- SMSの内容が表示されます。

## 4 ⓜ2を押す。（編集）

- SMS作成画面が表示されます。
- 新規作成時と同様に編集することができます。
- 詳しくは、P.164の操作3～6を参照してください。
- SMSが完成したら、ⓘを押し、送信します。

**再送するとき**

- ⓜ1を押します。

# ■ 保存したSMSを編集・送信する

## 1 待受画面で、ⓜ3を押す。

- 未送信BOX一覧が表示されます。

## 2 送信したいSMSを選び、●を押す。




- SMSの内容が表示されます。
- 新規作成時と同様に編集することができます。
- 詳しくは、P.164の操作2～6を参照してください。

## 3 ⓘ（送信）を押す。

- SMSが送信されます。
- 送信したSMSは「送信トレイ」に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.200）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。

**お知らせ**

- FOMA 端末（本体）に保存した送信 SMS を、FOMA カードにコピーすることができます。（☞P.173）
- 送信SMSと受信SMSを合わせて最大20件まで、FOMAカードに保存することができます。

**miniSDメモリーカードについて**

- FOMA端末（本体）やFOMAカードに保存されているSMSをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.338）、miniSDメモリーカード内のSMSを表示する（☞P.344）ことができます。
- miniSDメモリーカードに保存されているSMSをFOMA端末（本体）にコピーする（☞P.343）ことができます。

# ショートメッセージ（SMS）を受信したときは

SMSが送られてきたときは自動的に受信します。

- 受信SMSは最大20件までFOMA端末（本体）に保存されます。

## 1 SMSが届くと、自動的に受信する。

## 2 受信完了後、SMSの受信結果が表示され、SMS着信音が鳴る。（「SMS」点灯）




- 受信したSMSは「受信トレイ」に保存されます。ただし、振分け条件設定（☞P.200）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。
- 未読のメールが保存されているフォルダは、ピンク色で表示されています。

**マークの意味**

SMS（赤色）：SMSを受信しました。
SMS（黒色）：FOMA端末（本体）のSMSがいっぱいです。
SMS（青色）：FOMAカードのSMSがいっぱいです。
SMS（黄色）：FOMA端末（本体）とFOMAカードのSMSがいっぱいです。

## 3 受信結果画面で、「メール」を選び、◉を押す。




- 受信BOX一覧が表示されます。

**すぐに表示しないとき**

- 受信結果画面で、何も操作せずにそのままにしておくと、約30秒後、自動的に受信前の画面に戻ります。

## 4 フォルダを選び、◉を押し、SMSを選び、◉を押す。

- 受信SMSの見かたについて詳しくは、P.181を参照してください。

**お知らせ**

- SMSを受信したときの着信音を、SMS着信音（☞P.198）でお好みの音に設定することができます。
- 保存するメモリの空き容量がない場合、保護されていない保存日時の一番古い既読SMSに上書きされます。（上書き確認のメッセージは表示されません。）
- FOMAカード内のSMSは上書きされません。
- FOMA端末（本体）に保存された受信SMSをFOMAカードにコピーすることができます。
- 受信SMSと送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMAカードに保存することができます。
- FOMAカードに送信SMSと受信SMSを合わせて20件保存している場合は、FOMA端末（本体）の保存件数が20件に達していなくても、新規にSMS受信することができません。「容量がいっぱいです。空きがないためこれ以上受信できません」と表示された場合は、FOMAカード内の送信SMSまたは受信SMSを削除してください。

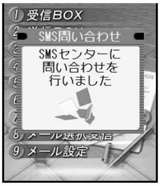
**待受中以外の状態で受信したとき**

- ディスプレイに「SMS」が表示されます。受信完了画面は表示されません。

# ショートメッセージ（SMS）があるかどうかを問い合わせる

通話中や電源が入っていないとき、圏外時などに送られてきたSMSはSMSセンターに保管されています。SMSセンターに保管されているかどうかを問い合わせ、保管されている場合は受信します。

## 1 待受画面で、Ⓜ7を押す。




- 左の画面が表示された後、センターにSMSが保管されていると、自動受信が始まります。

お知らせ

- 「圏外」が表示されているときは問い合わせできません。
- 「SMS（黒色）」（SMSフル）などのアイコンが表示されたときは、FOMA端末はそれ以上SMSを受信できません。不要なSMSを削除するか、保護を解除してください。読んだり、保護を解除したりしたSMSは、受信時に古いものから上書きされます。（☞P.168）
- 問い合わせを行ったあと、自動受信がすぐに始まらない場合があります。

# 受信したショートメッセージ（SMS）を見る

受信したSMSを表示することができます。

- 受信したSMSは「受信トレイ」に保存されます。ただし、振り分け条件設定（☞P.200）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。
- FOMAカードにコピーした受信SMSも「受信トレイ」に保存されます。

## 1 待受画面で、を押す。

- 受信BOX一覧で未読のｉモードメールやSMSがある場合は、そのフォルダはピンク色で表示されます。
- フォルダ一覧の見かた（☞P.177）

### 送信SMSを確認するとき

- 待受画面で、を押します。操作２では送信メール一覧が表示されます。

### 未送信SMSを確認するとき

- 待受画面で、を押します。このあと操作３へ進んでください。

## 2 フォルダを選び、を押す。

- 受信メール一覧が表示されます。
- メール一覧画面の見かた（☞P.181）

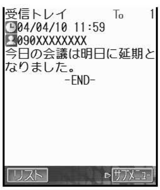
### FOMAカード内の受信SMSを確認するとき

- 「受信トレイ」を選び、を押します。
- 「受信トレイ」には、FOMA端末（本体）内とFOMAカード内の両方の受信SMSが一覧表示されます。マークで区別してください。

### FOMAカード内の送信SMSを確認するとき

- 「送信トレイ」を選び、を押します。

## 3 SMSを選び、を押す。




- SMSの内容が表示されます。
- 送信／受信メール一覧画面／表示画面の見かた（☞P.179〜P.182）

## 4 確認を終わるときは、を押す。

**お知らせ**

- 受信SMSは最大20件までFOMA端末（本体）に保存することができます。
- 受信SMSと送信SMSを合わせて最大20件まで、FOMAカードに保存することができます。
- 受信SMSを、自動的にフォルダに振り分けることができます。（☞P.200）

# 受信したショートメッセージ（SMS）に返信する

SMSに返信することができます。

**1** **返信したいSMSを表示する。（☞P.170の操作１～３）**

**2** **［カメラ］［1］を押す。（返信）**




**3** **「本文」を修正する。**

- 「本文」には全角70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで入力できます。

**4** **［i］（送信）を押す。**

- SMSが送信されます。
- 送信が完了すると、「送信完了しました」と表示されます。

**お知らせ**

- SMSは、引用返信することができません。
- 送信元が非通知設定／公衆電話／通知不可のSMSには返信できません。
- FOMAカード内のSMSに返信SMSを作成中に保存した場合、未送信SMSはFOMA端末（本体）に保存されます。

# ショートメッセージ（SMS）センターの設定を行う

SMSセンターの接続先を変更することができます。

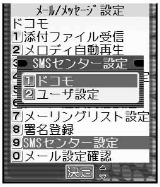
- お買い上げ時は、「ドコモ」（ドコモのSMSセンター）に設定されています。

| ※ 通常は設定を変更する必要はありません。 |
|---|

## 1 待受画面で、(✉)(9)を押す。

- メール設定メニューが表示されます。

## 2 (9)を押す。（SMSセンター設定）




## 3 (2)を押す。（ユーザー設定）




## 4 SMSセンターのアドレスを入力し、(●)を押す。

- アドレスは最大20桁まで入力できます。

## 5 (1)（International）または(2)（Unknown）を押す。

# ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）に保存されているSMSを、FOMAカードにコピーすることができます。
FOMAカードには、送信SMS、受信SMS合わせて最大20件まで保存することができます。
● あらかじめFOMAカードを挿入しておいてください。

## SMSをFOMAカードにコピーする

FOMA端末（本体）のSMSを、FOMAカードにコピーします。

**1** **待受画面で、✉1を押し、フォルダを選び、●を押す。**

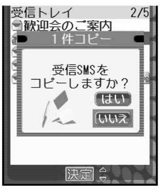
**2** **コピーしたいFOMA端末（本体）のSMSを選び、📷6を押す。（FOMAカードへコピー）**

- FOMA端末（本体）のSMSを選んだ場合、サブメニューに「FOMAカードへコピー」が表示されます。

### マークの意味

：FOMA端末（本体）の未読SMS
：FOMA端末（本体）の未読SMS（保護）
：FOMA端末（本体）の既読SMS
：FOMA端末（本体）の既読SMS（保護）
：FOMA端末（本体）の送信済みSMS
：FOMA端末（本体）の送信済みSMS（保護）
：FOMAカードの未読SMS
：FOMAカードの既読SMS
：FOMAカードの送信済みSMS

**3** **1を押す。（1件コピー）**




### SMSを選択してコピーするとき

- 2を押し、コピーしたいSMSを選び、●を押します。（マークが「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているSMSを選び、●を押します。）
  コピーしたいSMSをすべて選び、ⓘ（完了）を押します。

**4** **「はい」を選び、●を押す。**

- 受信SMSは「受信トレイ」に、送信SMSは「送信トレイ」にコピーされます。

### コピーしないとき

- 「いいえ」を選び、●を押します。

**お知らせ**

- 未送信SMSはFOMAカードにコピーできません。
- 上書きコピーはできません。
- FOMAカードの最大保存数（20件）を超えると、コピーが中止されます。
- FOMA端末（本体）のSMSを選択しないと、「FOMAカードへコピー」メニューを選択できません。

## FOMAカード内のSMSをFOMA端末（本体）にコピーする

FOMAカード内のSMSを、FOMA端末（本体）にコピーします。FOMAカード内の受信SMSをコピーする場合を例に説明します。

**1 待受画面で、◎1を押し、「受信トレイ」フォルダを選び、●を押す。**

**FOMAカード内の送信SMSをコピーするとき**

- 「送信トレイ」フォルダを選び、●を押します。

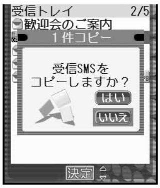
**2 FOMAカード内でコピーしたいSMSを選び、◎6を押す。（本体へコピー）**

- FOMAカードのSMSを選んだ場合、サブメニューに「本体へコピー」が表示されます。

**マークの意味**

- ：FOMAカードの未読SMS
- ：FOMAカードの既読SMS
- ：FOMAカードの送信済みSMS

**3 1を押す。（1件コピー）**




**SMSを選択してコピーするとき**

- 2を押し、コピーしたいSMSを選び、●を押します。（マークが「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているSMSを選び、●を押します。）
  コピーしたいSMSをすべて選び、◎（完了）を押します。

**4 「はい」を選び、●を押す。**

- 受信SMSは「受信トレイ」に、送信SMSは「送信トレイ」にコピーされます。

**コピーしないとき**

- 「いいえ」を選び、●を押します。

**お知らせ**

- 上書きコピーはできません。
- FOMA端末（本体）の最大保存数（20件）を超えると、コピーが中止されます。
- FOMAカード内のSMSを選択しないと、「本体へコピー」メニューは選択できません。

# ショートメッセージ（SMS）を削除する

FOMA端末（本体）またはFOMAカード内のSMSを削除することができます。受信SMSを例に説明します。

## 1 待受画面で、ⓂⒶを押し、フォルダを選び、◉を押す。

## 2 SMSを選び、◉を押す。

- FOMA端末（本体）のSMSとFOMAカード内のSMSはマークで区別します。

## 3 ⓂⒼを押す。（1件削除）

**送信SMSのとき**

- ⓂⒻを押します。

## 4 「はい」を選び、◉を押す。

**削除しないとき**

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

**お知らせ**

- 受信メール一覧画面、送信メール一覧画面から、SMSをまとめて削除することができます。（☞P.187〜P.189）

**メール一覧から1件削除するとき**

- 操作2でSMSを選んだあとⓂⒷⒶを押し、「はい」を選び、◉を押します。

# 送信／受信メールBOXのメールを表示する



送信／受信／未送信のｉモードメールやSMSを確認することができます。

- ｉモードメールとSMSの両方が受信BOX、送信BOXに保存され、同様に管理することができます。
- ｉモードメールでは最大全角5000文字の本文を送受信することができます。
- ｉモードメールの本文を、全角5000文字（半角10000文字）を超えて受信した場合、文末に「/」または「//」が表示され、超えた部分が自動的に削除されます。削除された部分を確認することはできません。
- 送信メールは、未送信メールと合わせてｉモードメールが最大101件、SMSは最大20件まで保存することができます。ただし、送信メール、未送信メールそれぞれの最大保存件数は100件です。
- 受信メールはｉモードメールが最大10～1000件、SMSは最大20件まで保存することができます。（受信メールのサイズによって、保存できる件数が異なります。）
- 送信／受信したｉモードメールとSMSは、フォルダで管理することができます。FOMA端末（本体）とFOMAカードのそれぞれに「受信トレイ」、「送信トレイ」フォルダがあります。FOMA端末（本体）には、自分でフォルダを作成することも可能です。
- 送信BOX一覧画面には「送信トレイ」フォルダ１つ表示されますが、この中には、FOMA端末（本体）の「送信トレイ」の中身とFOMAカードの「送信トレイ」の中身が混在して表示されます。受信BOX一覧画面の「受信トレイ」フォルダも同様です。

## 1 待受画面で、✉1を押す。（受信**BOX**）

- 受信BOX一覧で未読のｉモードメールまたはSMSがある場合は、そのフォルダはピンク色で表示されます。

**送信メールを確認するとき**

- 待受画面で、✉2を押します。操作２では送信メール一覧が表示されます。

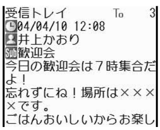
**未送信メールを確認するとき**

- 待受画面で、✉3を押します。このあと操作３へ進んでください。

## 2 フォルダを選び、●を押す。

- 受信メール一覧が表示されます。

## 3 ｉモードメールや**SMS**を選び、●を押す。




メール表示画面

- メールの内容が表示されます。

**未送信メールのとき**

- メール作成画面が表示されます。

## 4 確認を終わるときは、☎を押す。

お知らせ

他のメールを確認するとき

- メール表示画面で、(i)（リスト）または(CLR)を押します。メール一覧に戻ったら、操作3をくり返します。

画面操作について

- メール表示画面では、次のボタンで画面操作が行えます。

| | |
|---|---|
| ○ | 画面が下にスクロールします。 |
| ○ | 画面が上にスクロールします。 |
| ◎ | 1画面単位で下にスクロールします。 |
| ◎ | 1画面単位で上にスクロールします。 |
| #※ | 1秒以上押すと、下に自動スクロールします。 |
| *※ | 1秒以上押すと、上に自動スクロールします。 |
| ○ | 次のメール内容を表示します。 |
| ○ | 前のメール内容を表示します。 |

※自動スクロールを止めるときは、#、*またはダイヤルボタンを押します。

アシスタントビューを使う

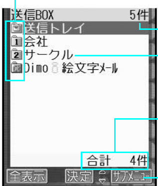
- 通話中などに(view)を押すと、メールを表示することができます。（☞P.19）

FOMA端末を閉じたままメールを表示するとき

- サブディスプレイの待受画面で ▯（背面中央ボタン）を押し、「メール」を選び、▯（背面中央ボタン）を押します。最新のメールが表示されます。▯（背面中央ボタン）を押すと、画面が下にスクロールします。次のメールを表示する場合は▯（背面下ボタン）、前のメールを表示する場合は▯（背面上ボタン）を押します。

# BOX一覧画面の見かた

## 送信BOX一覧画面




フォルダマーク
 1：作成されたフォルダ
 α：メール連動型ｉアプリのフォルダ

送信ｉモードメール、送信SMSの総件数

フォルダ名
 先頭から全角10文字（半角20文字）まで表示されます。

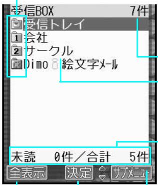
選択しているフォルダ内のｉモードメール、SMSの件数

(📷)を押すと、フォルダの作成／削除などができます。

(●)を押すと、選択されたフォルダに保存されている送信ｉモードメールと送信SMSの一覧が表示されます。

(i)を押すと、保存されているすべての送信ｉモードメール、送信SMSの一覧が表示されます。

## 受信BOX一覧画面




フォルダマーク
：作成されたフォルダ
：メール連動型ｉアプリのフォルダ
未読メールが保存されているときは、ピンク色で表示されます。

受信ｉモードメール、受信SMSの総件数

フォルダ名
先頭から全角10文字（半角20文字）まで表示されます。

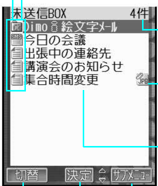
選択しているフォルダ内の未読ｉモードメールと未読SMSの件数／フォルダ内の全件数

を押すと、フォルダの作成／削除などができます。

を押すと、選択されたフォルダに保存されている受信ｉモードメールと受信SMSの一覧が表示されます。

を押すと、保存されているすべての受信ｉモードメール、受信SMSの一覧が表示されます。

## 未送信BOX一覧画面




フォルダマーク
：メール連動型ｉアプリのフォルダ

メールの種類
：未送信ｉモードメール
：未送信SMS

未送信ｉモードメールと未送信SMSの総件数

データが付いているとき
：メロディが添付されていることを表しています。
：画像が添付されていることを表しています。
：動画／ｉモーションが添付されていることを表しています。
（青色）　：JPEG画像が添付されていることを表しています。
（ピンク）：大容量JPEG画像が添付されていることを表しています。

題名（題名のないメールは「無題」と表示されます。）
メールの題名が表示されます。先頭から全角10文字（半角20文字）まで表示されます。

を押すと、削除ができます。

ｉモードメールまたはSMSでを押すと、選択された未送信ｉモードメールや未送信SMSの編集画面が表示されます。

を押すと、題名表示→名前表示（電話帳に登録されていない場合は、メールアドレス）→メールアドレス（SMSは電話番号）が順に切り替わります。

**お知らせ**

- メール連動型ｉアプリを削除する場合、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかしないかを選択することができます。ただし、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合はソフトもフォルダも削除できません。
- メール連動型ｉアプリのフォルダを選び、(メニュー)を押したあと、「ｉモードメール閲覧」を選び、(決定)を押すと、メール連動型ｉアプリを起動せずにフォルダ内のメール一覧を表示することができます。

**miniSDメモリーカードについて**

- miniSDメモリーカードに保存されているｉモードメールやSMSのデータをFOMA端末（本体）にコピーする（☞P.343）ことができます。
- FOMA端末（本体）に保存されているｉモードメールやSMSのデータをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞P.338）、miniSDメモリーカード内のｉモードメールやSMSを表示する（☞P.342）ことができます。

**赤外線通信について**

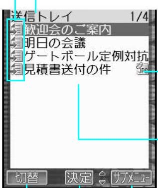
- FOMA端末（本体）に保存されているｉモードメールやSMSのデータを赤外線通信で送信したり（☞P.328）、受信する（☞P.327）ことができます。

**FOMAカードについて**

- FOMA端末（本体）に保存されているSMSのデータをFOMAカードにコピーしたり（☞P.173）、FOMAカード内のSMSを表示する（☞P.170）ことができます。

# 送信／受信メールの一覧画面／表示画面の見かた

## 送信メール一覧画面の見かた




メールの種類（保護の有無）
：送信済みｉモードメール　：送信済みｉモードメール（保護）
：送信済みSMS　：送信済みSMS（保護）
：FOMAカード送信済みSMS
：メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール
：メール連動型ｉアプリでの送信済みｉモードメール（保護）
「送信トレイ」フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の「送信トレイ」内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

フォルダ名
先頭から全角９文字（半角18文字）まで表示されます。

データが付いているとき
：メロディが添付されていることを表しています。
：画像が添付されていることを表しています。
：動画／ｉモーションが添付されていることを表しています。
（青色）：JPEG画像が添付されていることを表しています。
（ピンク）：大容量JPEG画像が添付されていることを表しています。

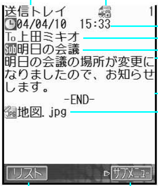
題名（題名のないメールは「無題」と表示されます。）
メールの題名が表示されます。先頭から全角10文字（半角20文字）まで表示されます。

(メニュー)を押すと、ｉモードメールの移動や削除ができます。

(決定)を押すと、選択されたｉモードメールやSMSの表示画面が表示されます。

(ｉ)を押すと、題名表示→名前表示（電話帳に登録されていない場合は、メールアドレス）→メールアドレス（SMSは電話番号）が順に切り替わります。

## 送信メール表示画面の見かた




フォルダ名
先頭から全角７文字（半角15文字）まで表示されます。（文字サイズが「標準」のときの表示文字数）

保護マーク
保護されているときに表示されます。

送信日時

宛先（送信先）

送信種別（To／Cc／Bcc）

題名

本文
文末には「- END -」が表示されます。

添付種別マーク／ファイル名
添付ファイルがあるときに表示されます。
：再生できない（壊れている）メロディが添付されていることを表しています。
：再生できない（壊れている）GIF 画像が添付されていることを表しています。
（青色）：再生できない（壊れている）JPEG画像が添付されていることを表しています。
（ピンク）：再生できない（壊れている）大容量JPEG画像が添付されていることを表しています。
：再生できない（壊れている）ｉモーションが添付されていることを表しています。
：無効なデータが貼付けられていることを表しています。

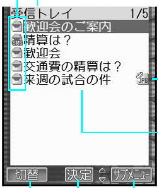
を押すと、編集や削除ができます。

を押すと、送信メール一覧画面に戻ります。

画面操作について詳しくは、P.177の「お知らせ」を参照してください。

● 宛先のメールアドレスが電話帳に登録されているときは、相手の方の名前が宛先の欄に表示されます。電話帳に登録されていない場合、電話番号またはメールアドレスが表示されます。ただし、電話帳のPIMロック中や、電話帳がシークレットデータ（『基本編』P.133）に設定されている場合、名前は表示されません。シークレットデータに設定した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード（『基本編』P.134）を「ON」に設定してください。

## 受信メール一覧画面の見かた




メールの種類（保護の有無）

：未読ｉモードメール　：未読ｉモードメール（保護）
：既読ｉモードメール　：既読ｉモードメール（保護）
：未読SMS　：未読SMS（保護）
：既読SMS　：既読SMS（保護）
：FOMAカード未読SMS
：FOMAカード既読SMS
：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール
：メール連動型ｉアプリでの未読ｉモードメール（保護）
：メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール
：メール連動型ｉアプリでの既読ｉモードメール（保護）
「受信トレイ」フォルダの場合、FOMA端末（本体）とFOMAカード両方の「受信トレイ」内のｉモードメールとSMSが混在表示されます。

フォルダ名

先頭から全角９文字（半角18文字）まで表示されます。

データが付いているとき

：メロディが添付または貼付されていることを表しています。
：画像が添付されていることを表しています。
：ｉアプリToの情報が付いていることを表しています。
：JPEG画像が添付されていることを表しています。

題名（題名のないメールは「無題」と表示されます。）

メールの題名が表示されます。先頭から全角10文字（半角20文字）まで表示されます。

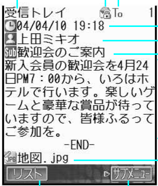
を押すと、ｉモードメールの移動や削除ができます。

を押すと、選択されたｉモードメールやSMSの表示画面が表示されます。

を押すと、題名表示→名前表示（電話帳に登録されていない場合は、メールアドレス）→メールアドレス（SMSは電話番号）が順に切り替わります。

- お買い上げ時は、ｉモードセンターで受信した日時の新しい順に表示されます。（表示方法を変更することもできます。☞P.190）
- SMSの場合は、相手の方によって、次のように表示されます。
  - ■ 相手の方の電話番号が通知され、かつ電話帳に登録されている場合……電話帳に登録されている名前
  - ■ 相手の方の電話番号が通知され、電話帳に登録されていない場合……「090（または080など）XXXXXXXX」
  - ■ 相手の方の電話番号が非通知の場合……「非通知設定」
  - ■ 相手の方が公衆電話を利用して送信した場合……「公衆電話」

## 受信メール表示画面の見かた




フォルダ名
　文字サイズ設定により表示されます。
　大きい文字：全角５文字（半角11文字）
　標準　　　：全角７文字（半角15文字）
　小さい文字：全角10文字（半角20文字）

保護マーク
　保護されているときに表示されます。

受信種別（To／Cc／Bcc）が表示されます。

受信日時（ｉモードセンターまたはSMSセンターで受信した日時が表示されます。）

送信元
　受信種別（To／Cc：同報が設定されている場合に表示されます。）

題名

本文
　文末には「- END -」が表示されます。また、受信可能文字数を超えた場合、「/」または「//」が挿入され、超えた部分が自動的に削除されます。

添付種別マーク／ファイル名
　添付ファイルがあるときに表示されます。
　：再生できない（壊れている）メロディが添付されていることを表しています。
　：再生できない（壊れている）GIF画像が添付されていることを表しています。
　：再生できない（壊れている）JPEG画像が添付されていることを表しています。
　：無効なデータが貼付けられていることを表しています。

を押すと、返信や削除ができます。

を押すと、受信メール一覧に戻ります。

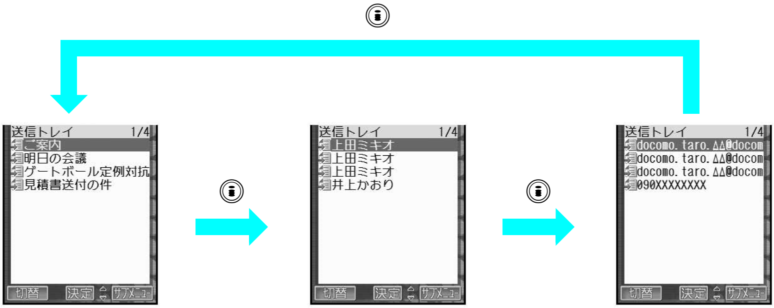
画面操作について詳しくは、P.177の「お知らせ」を参照してください。

- 送信元のメールアドレスが電話帳に登録されているときは、相手の方の名前が送信元の欄に表示されます。電話帳に登録されていない場合、電話番号またはメールアドレスが表示されます。ただし、電話帳のPIMロック中や、電話帳がシークレットデータに設定されている場合、名前は表示されません。シークレットデータ（『基本編』P.133）に設定した電話帳の名前を表示させるには、シークレットモード（『基本編』P.134）を「ON」に設定してください。
- 本文に画像が添付されているときは、画像が表示されます。

メールBOX

## メール表示の切り替えについて

メール一覧画面でⓘを押すと、以下の順で表示が切り替わります。




題名表示（SMSは本文先頭文字）

名前表示（電話帳に登録されていない場合は、メールアドレス）

メールアドレス表示（SMSは電話番号）

# フォルダを作成・編集・削除する

## フォルダを作成する

送信／受信したｉモードメールとSMSを、それぞれ最大10個（「送信トレイ」、「受信トレイ」、メール連動型ｉアプリフォルダを含まず）のフォルダに分けて管理することができます。作成したフォルダはフォルダ名を編集したり、削除することができます。（ただし、「送信トレイ」、「受信トレイ」は名前を編集したり、削除することはできません。）

- FOMAカードにフォルダを作成することはできません。

**1** 待受画面で、[メール][1]を押す。

- 受信BOX一覧が表示されます。

送信BOXを表示するとき

- [メール][2]を押します。

**2** [カメラ][1]を押す。（フォルダ新規作成）

- フォルダ名入力画面が表示されます。

**3** フォルダ名を入力し、●を押す。

- フォルダが作成されます。
- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

お知らせ

- メール連動型ｉアプリをダウンロードした場合、送信メールBOX、受信メールBOX、未送信メールBOXにメール連動型ｉアプリフォルダが自動的に作成されます。
- メール連動型ｉアプリフォルダのフォルダ名は、ダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名となり、変更することができません。

メールBOX

## フォルダ名を編集する

フォルダ名を変更することができます。
- 「送信トレイ」、「受信トレイ」、「メール連動型ｉアプリ」のフォルダ名は変更できません。

**1** 待受画面で、(メール)(1)を押す。
- 受信BOX一覧が表示されます。

送信BOXを表示するとき
- (メール)(2)を押します。

**2** フォルダを選び、(カメラ)(2)を押す。（フォルダ名編集）
- フォルダ名入力画面が表示されます。

**3** フォルダ名を編集し、(●)を押す。
- (CLR)を１秒以上押すと、入力されているフォルダ名が削除されます。
- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

## 作成したフォルダを削除する

作成したフォルダは、削除することができます。
- 「送信トレイ」、「受信トレイ」、「メール連動型ｉアプリ」のフォルダを削除することはできません。
- メールが保存されているフォルダを削除することもできます。
- フォルダを削除した場合、フォルダに保存されているメールも削除されます。（保護されているメールを除く）

**1** 待受画面で、(メール)(1)を押す。
- 受信BOX一覧が表示されます。

送信BOXを表示するとき
- (メール)(2)を押します。

**2** フォルダを選び、(カメラ)(5)を押す。（削除）

**3** 受信メールフォルダを削除するときは、(4)を押す。（フォルダ削除）
- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

送信メールフォルダを削除するとき
- (2)を押します。

**4** 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して(●)を押し、「はい」を選び、(●)を押す。
- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

フォルダ内に保護されているメールが保存されているとき
- 保護を解除して、やり直してください。

**お知らせ**
- メール連動型ｉアプリフォルダに対応したソフトがある場合､フォルダを削除することはできません｡ソフトを削除してからフォルダを削除してください｡また、対応したソフトがない場合、フォルダを削除することはできますが、送信メール、受信メール、未送信メール一覧内に作成されたメール連動型ｉアプリフォルダのうち、いずれかを削除すると、他のメール連動型ｉアプリフォルダもすべて削除されます。

## ■ フォルダの表示順を移動するとき

フォルダの位置を１つずつ上に移動させて、フォルダの順番を変えることができます。
- 「送信トレイ」､「受信トレイ」､「メール連動型ｉアプリ」のフォルダの位置は変えることができません。

**1** 待受画面で、[メール][1]を押す。
- 受信BOX一覧が表示されます。

送信BOXを表示するとき
- [メール][2]を押します。

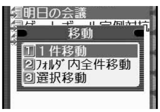
**2** フォルダを選び、[MENU][4]を押す。（フォルダ移動（↑））
- フォルダが１つ上に移動します。

## 送信／受信メールをフォルダに移動する<移動>

ｉモードメールやFOMA端末（本体）内のSMSを別のフォルダに移動させて、種類別に管理することができます。
- 送信したメールは「送信トレイ」に保存されます。また、受信したメールは「受信トレイ」に保存されます。
  ただし、振分け条件設定（☞P.200）の条件に合致していた場合は、設定されたフォルダに保存されます。
- 送信／受信したメールを、自動的にフォルダに振り分けることができます。（☞P.200）
- FOMAカード内のSMSは、FOMAカード内では移動することができません。

**1** メール一覧画面を表示する。（☞**P.176**の操作１～２）

**2** 移動したいメールを選び、[MENU][1]を押す。（移動）




**3** [1]を押す。（１件移動）
- 移動先選択画面が表示されます。

フォルダ内のすべてのメールを移動するとき
- [2]を押します。

フォルダ内で複数のメールを選び、まとめて移動するとき
- [3]を押し、移動したいメールを選び、[●]を押します。（マークが「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているメールを選び、[●]を押します。）
  移動したいメールをすべて選び、[i]（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

メールBOX

次ページへ続く

**4** 移動先のフォルダを選び、◉を押す。

お知らせ

- メール連動型ｉアプリをダウンロードするときに自動的に作成されるフォルダに、すでに受信しているｉアプリメールを手動で振り分けることもできます。

メール表示画面でフォルダに移動するとき

- 送信メール表示画面のときは📷4を、受信メール表示画面のときは📷5を押し、移動先のフォルダを選び、◉を押します。

## 送信／受信メールを保護する＜保護設定＞

ｉモードメールやSMSを保護したり、保護されているメールの保護を解除することができます。保護すると、上書きまたは削除されなくなります。

- 送信メールは未送信メールや送信SMS、未送信SMSと合わせて最大60件まで保護することができます。（ただし、送信メールのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。）
- 受信メールは受信SMSと合わせて最大510件まで保護することができます。（ただし、受信メールのサイズによって、保護できる件数が少なくなります。）
- FOMAカード内のSMSは保護することができません。保護されているSMSをFOMAカードにコピーすると、保護は解除されます。

**1** 保護／解除したいメールを表示する。（☞**P.176**の操作１～３）

**2** 受信メールのときは、📷を押し、「■保護設定」を選び、◉を押す。（保護設定）




送信メールのとき

- 📷0を押します。

**3** 1を押す。（**ON**：保護する）

- 保護されたメールには、「🔒」「🔒」「🔒」などが表示されます。詳しくは、P.179、P.181を参照してください。

解除するとき

- 2を押します。

# 送信／受信メールを削除する

ｉモードメールやSMSは次のいずれかの方法で削除することができます。

- 保護されているメールは、まとめて削除することができません。
- ｉアプリのソフトによっては、フォルダ内からｉアプリメールが自動的に削除されることがあります。

## メールの削除方法について

### [送信メール／未送信メール]

| 削除方法 | 説　明 | 操作できる画面 |
|---|---|---|
| 全件削除 | 保護されていないすべての送信メール／SMSや未送信メール／SMSをまとめて削除します。 | 送信BOX一覧<br>未送信BOX一覧 |
| フォルダ内全件削除 | フォルダ内の保護されていないすべての送信メール／SMSや未送信メール／SMSを削除します。 | 送信メール一覧<br>未送信BOXのｉアプリフォルダ内での一覧表示画面 |
| 選択削除 | 複数の送信メール／SMSや未送信メール／SMSをまとめて削除します。 | 送信メール一覧<br>未送信BOX一覧 |
| １件削除 | 送信メール／SMSや未送信メール／SMSを削除します。 | 送信メール一覧<br>送信メール表示画面<br>未送信BOX一覧 |

### [受信メール]

<table>
<tr><th>削除方法</th><th>説　明</th><th>操作できる画面</th></tr>
<tr><td>既読全件削除</td><td>「受信トレイ」を含む全フォルダ内の保護されていないすべての既読メール／SMSを削除します。</td><td rowspan="3">受信BOX一覧</td></tr>
<tr><td>未読全件削除</td><td>「受信トレイ」を含む全フォルダ内の保護されていないすべての未読メール／SMSを削除します。</td></tr>
<tr><td>全件削除</td><td>「受信トレイ」を含む全フォルダ内の保護されていない未読／既読メール／SMSを削除します。</td></tr>
<tr><td>フォルダ内既読削除</td><td>フォルダ内のすべての保護されていない既読メール／SMSを削除します。</td><td rowspan="4">受信メール一覧</td></tr>
<tr><td>フォルダ内未読削除</td><td>フォルダ内のすべての保護されていない未読メール／SMSを削除します。</td></tr>
<tr><td>フォルダ内全件削除</td><td>フォルダ内のすべての保護されていないメール／SMSをまとめて削除します。</td></tr>
<tr><td>選択削除</td><td>選んだ保護されていないメール／SMSをまとめて削除します。</td></tr>
<tr><td>１件削除</td><td>選んだメール／SMSを１件ずつ削除します。</td><td>受信メール一覧または受信メール表示画面</td></tr>
</table>

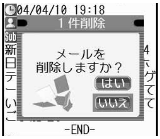
お知らせ
- フォルダごと削除することもできます。（☞P.184）

## メールを１件ずつ削除する

ｉモードメールやSMSを１件ずつ削除することができます。

**1** 削除したいメールを表示する。（☞**P.176**の操作１～３）

**2** 受信メールのときは、[MENU][6]を押す。（１件削除）




送信メールのとき

- [MENU][5]を押します。

**3** 「はい」を選び、[●]を押す。

削除しないとき

- 「いいえ」を選び、[●]を押します。

お知らせ

- 未送信メールは、未送信BOX一覧から削除します。

メール一覧から１件削除するとき

- メールを選び、[MENU][2][1]を押し、「はい」を選び、[●]を押します。

## すべてのメールを削除する

ｉモードメールとSMSをまとめて削除することができます。
送信メールとSMSの全件削除を行うときは送信BOX一覧で、フォルダ内全件削除を行うときは送信メール一覧で、以下の操作を行います。
未送信メールとSMSの全件削除を行うときは、未送信BOX一覧で、以下の操作を行います。
受信メールとSMSの既読全件削除、未読全件削除、全件削除を行うときは、受信BOX一覧（☞P.178）で、以下の操作を行います。
また、フォルダ内既読削除、フォルダ内未読削除、フォルダ内全件削除を行うときは、受信メール一覧（☞P.181）で以下の操作を行います。

- まとめて削除したとき、保護されているｉモードメールやSMS、FOMAカード内のSMSは削除されません。

**1** フォルダ一覧画面を表示する（☞**P.176**の操作１）、またはメール一覧画面を表示する（☞**P.176**の操作１～２）。

**2** フォルダ（またはメール）を選び、[MENU]を押す。

- サブメニュー画面が表示されます。

**3** フォルダのときは、[5]を押す。（削除）




メール一覧のとき

- [2]を押します。

**4** 削除方法を選び、◉を押す。

- 端末暗証番号入力画面が表示されます。
- 選択削除について詳しくは、次項「■メールを選んで削除する」を参照してください。

**5** 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押し、「はい」を選び、◉を押す。

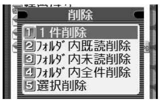
- 入力した端末暗証番号は、「✻」で表示されます。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、◉を押します。

## ■ メールを選んで削除する

**1** メール一覧画面を表示する。（☞P.176の操作１～２）

**2** 📷 2 を押す。（削除）




**3** 受信メールのときは、5 を押す。（選択削除）

送信／未送信メールのとき
- 3 を押します。

**4** 削除するメールを選び、◉を押す。

- マークが「☑」に変わります。（選択を解除するときは、「☑」が表示されているメールを選び、◉を押します。）この操作をくり返し、削除したいメールをすべて選択します。
- 最大50件まで選択することができます。

**5** 削除したいメールをすべて選択し、ⓘ（完了）を押す。

**6** 「はい」を選び、◉を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、◉を押します。

| お知らせ | ● 未送信BOX一覧のｉアプリフォルダ内のメールを削除するときは、未送信BOX一覧でｉアプリフォルダを選び、📷 3（ｉモードメール閲覧）を押し、そのあとメールを選び、📷 2（削除）を押します。 |
|---|---|

# 送信／受信メールを並べ替える<ソート>



メール一覧のｉモードメールとSMSの表示順番を次のいずれかに変更することができます。

### [送信メールの表示方法]

| | |
|---|---|
| 日付順（旧→新） | 送信した日時が古い順 |
| アドレス順 | 宛先のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順 |
| 題名順 | 題名によって、半角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→カタカナ）→全角文字（記号→数字→英字大文字→英字小文字→ひらがな→カタカナ→記号・特殊文字→漢字→絵文字）の順（各文字種類内では、文字コード順） |
| 保護メール優先※ | 保護メール→通常のメールの順 |
| 添付ありメール優先※ | 添付ありメール→添付なしメールの順 |

※各項目内は「日付（新→旧）」の順で表示されます。

### [受信メールの表示方法]

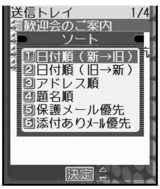
| | |
|---|---|
| 日付順（旧→新） | 受信した日時が古い順 |
| アドレス順 | 送信元のメールアドレスによって、数字→英字大文字→英字小文字の順 |
| 題名順 | 上記送信メールの「題名順」と同様 |
| 未読／保護／既読順※ | 未読保護メール→未読メール→既読保護メール→既読メールの順 |
| 添付ありメール優先※ | 添付ありメール→添付なしメールの順 |

※各項目内は「日付（新→旧）」の順で表示されます。

- 「受信トレイ」、「送信トレイ」の場合、ｉモードメール、FOMA端末（本体）のSMS、FOMAカードのSMSのすべてがソートされます。
- お買い上げ時は、送信／受信メールどちらも、送信（または受信）した日時が新しい順（「日付順（新→旧）」）に設定されています。

**1** メール一覧を表示する。（☞**P.176**の操作１～２）

**2** (📷)(3)を押す。（ソート）




**3** ソート方法を選び、(●)を押す。

- ソートされます。

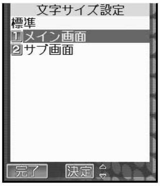
お知らせ
- メール一覧以外の画面を表示すると、変更した表示方法は、お買い上げ時の設定である、「日付順（新→旧）」に戻ります。ただし、表示方法を変更した状態でメール表示画面を確認したあと、(CLR)を押し、メール一覧に戻った場合は、変更した状態が保持されています。

## メールの文字サイズを切り替える＜文字サイズ設定＞

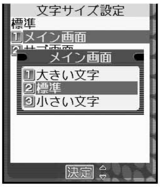
メインディスプレイに表示されるメールやSMSの文字の大きさを「大きい文字」、「標準」、「小さい文字」に設定することができます。また、サブディスプレイに表示される受信メール／SMSの文字の大きさを「大きい文字」、「標準」に設定することができます。

- メール作成画面やリスト画面では文字サイズは変わりません。
- お買い上げ時は、どちらも「標準」に設定されています。

**1** 待受画面で、(メール)(9)(3)を押す。




**2** (1)を押す。（メイン画面）




サブディスプレイの文字サイズを変更するとき

- (2)を押します。

**3** 文字サイズを選び、(●)を押す。

**4** (i)（完了）を押す。

お知らせ

- デコメールの本文は、文字サイズ設定に関係なく装飾された文字の大きさで表示されます。
- パソコンなどから受信したHTML形式のメール本文の表示文字サイズは変更できません。

メインディスプレイのメール表示画面で文字サイズを切り替えるとき

- メール表示画面で、(カメラ)を押し、「文字サイズ設定」を選び、(●)を押します。設定したい文字サイズの番号を押します。

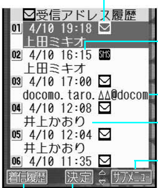
メールBOX

# メールの履歴を利用する

FOMA端末は、送受信したメール（ｉモードメール、SMS）の履歴を、最新のものから送信／受信それぞれに各30件まで記憶しています。これらの履歴を利用して、メールを送信したり、相手の方のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録することができます。
- 記憶できる件数を超えたときは、古い履歴から順に削除されます。
- 同じ相手の方と複数回送受信したときは、それぞれ別の履歴として記憶されます。

## 受信／送信アドレス履歴一覧画面の見かた

ここでは、受信アドレス履歴一覧画面で説明しています。




履歴の種類

| | |
|---|---|
| ：ｉモードメール | |
| SMS：SMS | |
| ：返信できないメールまたは発信者番号非通知の SMS（受信アドレス履歴）／送信を失敗したメール（送信アドレス履歴） | |

受信日時（受信アドレス履歴）／送信日時（送信アドレス履歴）

相手の方のメールアドレスまたは電話番号

相手の方の名前
（電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。）

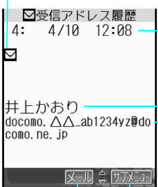
サブメニュー表示

受信アドレス履歴／送信アドレス履歴詳細画面表示（●を押すと表示されます。）

着信履歴表示（送信アドレス履歴の場合は、リダイヤル表示）

## 受信／送信アドレス履歴詳細画面の見かた

ここでは、受信アドレス履歴詳細画面で説明しています。




履歴の種類

| | |
|---|---|
| ：ｉモードメール | |
| SMS：SMS | |
| ：返信できないメールまたは発信者番号非通知の SMS（受信アドレス履歴）／送信を失敗したメール（送信アドレス履歴） | |

受信日時（受信アドレス履歴）／送信日時（送信アドレス履歴）

相手の方の名前
（電話帳に同じメールアドレスや電話番号が登録されているときに表示されます。）

相手の方のメールアドレスまたは電話番号

サブメニュー表示

メール作成画面表示（●を押すと表示されます。）

**お知らせ** メール作成画面から表示するとき
- メール作成画面で「宛先」の入力欄を選び、●3（送信アドレス履歴）または●4（受信アドレス履歴）を押します。
- 受信アドレス履歴、送信アドレス履歴を表示しないように設定することができます。
（☞『基本編』P.197）

# 受信アドレス履歴を利用する

## ■受信アドレス履歴を利用してメールを送信する

**1** 待受画面で、◐（→□）ⓘを押す。




- 受信アドレス履歴一覧画面が表示されます。
- 日時の左側に表示される数字が小さいほど、最近着信したメールの履歴です。
- メール受信履歴表示を「OFF」に設定しているときは、「受信アドレス履歴表示OFF設定中」と表示されます。
- 受信アドレス履歴がないときは、「受信アドレス履歴はありません」と表示されます。

**2** 履歴を選び、◉を押す。

- 受信アドレス履歴詳細画面が表示されます。

確認を終わるとき

- ☎を押します。

**3** ◉を押す。




- ｉモードメールの履歴を選んで操作した場合は、ｉモードメール作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の方のメールアドレスが入力されています。以降の操作については、P.128の操作５～６を参照してください。
- SMS の履歴を選んで操作した場合は、SMS 作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の方の電話番号が入力されています。以降の操作については、P.164の操作５～７を参照してください。

## ■受信アドレス履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録する

**1** 受信アドレス履歴詳細画面を表示する。（☞前項「■受信アドレス履歴を利用してメールを送信する」の操作１～２）

- 受信アドレス履歴詳細画面が表示されます。

**2** 📷1を押す。（電話帳登録）




- 受信アドレス履歴一覧画面で電話帳に登録する履歴を選び、📷1を押しても登録できます。
- ｉモードメールの履歴を選んで操作を行うと、電話帳にメールアドレスが登録されます。
- SMSの履歴を選んで操作を行うと、電話帳に電話番号が登録されます。

次ページへ続く

## 3 1を押す。（本体新規）

- 電話帳の新規登録画面が表示されます。（メールアドレスまたは電話番号が入力されています。）
- 以降の操作については、『基本編』P.108～P.110を参照してください。

**FOMA端末（本体）電話帳に追加登録するとき**

- 2を押します。
- メールアドレスまたは電話番号を追加する電話帳を選び、電話帳修正の操作を行ってください。

**FOMAカード電話帳に新しく登録するとき**

- 3を押します。
- 以降の操作については、『基本編』P.117～P.119を参照してください。

**FOMAカード電話帳に追加登録するとき**

- 4を押します。

# 送信アドレス履歴を利用する

## 送信アドレス履歴を利用してメールを送信する

## 1 待受画面で、◐（□）ⓘを押す。




- 送信アドレス履歴一覧画面が表示されます。
- 日時の左側に表示される数字が小さいほど、最近送信したメールの履歴です。
- メール送信履歴表示を「OFF」に設定しているときは、「送信アドレス履歴表示OFF設定中」と表示されます。
- 送信アドレス履歴がないときは、「送信アドレス履歴はありません」と表示されます。

## 2 履歴を選び、◉を押す。

- 送信アドレス履歴詳細画面が表示されます。

**確認を終わるとき**

- ☎を押します。

## 3 ◉を押す。




- ｉモードメールの履歴を選んで操作した場合は、ｉモードメール作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の方のメールアドレスが入力されています。以降の操作については、P.128の操作５～６を参照してください。
- SMS の履歴を選んで操作した場合は、SMS 作成画面が表示されます。宛先欄には、相手の方の電話番号が入力されています。以降の操作については、P.164の操作５～７を参照してください。

**お知らせ**

- 送信アドレス履歴のメールアドレスや電話番号を電話帳に登録することもできます。操作方法は、受信アドレス履歴の場合と同様です。（☞P.193）

## メールの履歴を削除する

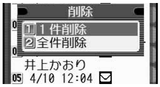
ｉモードメールやSMSの履歴は、次のいずれかの方法で削除することができます。

| | |
|---|---|
| １件削除 | 受信アドレス履歴または送信アドレス履歴を１件ずつ削除します。 |
| 全件削除 | すべての受信アドレス履歴、または送信アドレス履歴を削除します。 |

**1** 受信アドレス履歴のときは、待受画面で、◐（→□）ⓘを押す。

送信アドレス履歴のときは
- 待受画面で、◑（□）ⓘを押します。

**2** 履歴を選び、📷2を押す。（削除）




**3** 1を押す。（１件削除）

すべての履歴を削除するとき
- 2を押します。

**4** 「はい」を選び、⦿を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、⦿を押します。

# こんなこともできます

送信、受信メールの内容をコピーしたり、送信元や宛先、メール本文中の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録することができます。

## 本文などをコピーする

送信メールの宛先や受信メールの送信元、題名、本文をコピーすることができます。

**1** 内容をコピーしたいメールを表示する。（☞**P.176**の操作１～３）

**2** 受信メールのときは、📷4を押す。（コピー）

- コピー元指定画面が表示されます。

送信メールのとき
- 📷3を押します。

メールBOX

## 3 コピーする項目を選び、◉を押す。

アドレスをコピーするとき
- 1を押します。
- アドレスが複数あるときは、アドレスを選び、◉を押します。
- 内容がコピーされ、メールの画面に戻ります。

「題名」をコピーするとき
- 2を押します。
- このあと、コピー範囲の指定画面が表示されます。
  ✥と◉でコピー範囲を指定してください。

「本文」をコピーするとき
- 3を押します。
- このあと、コピー範囲の指定画面が表示されます。
  ✥と◉でコピー範囲を指定してください。

# 電話番号やアドレスを電話帳に登録する

受信メールの送信元や宛先、送信メールの宛先のメールアドレスまたは電話番号を電話帳に登録することができます。また、受信メールの本文に書かれたメールアドレスを電話帳に登録することができます。
- 電話帳に登録するには新しく電話帳を作成して登録する「新規」と、既存の電話帳にメールアドレスを追加する「追加」があります。
- 受信SMSの場合、送信元の電話番号が電話帳の電話番号欄に登録されます。
- 相手の方のメールアドレスが半角50文字を超える受信メールの場合などは、電話帳に登録することはできません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳を登録できません。
- すでに電話帳が750件登録されている場合、新規の電話帳は登録できません。
- 「iモードメールPlus」の「フレンドメール12」のメールアドレスは登録できません。

## ■ 送信元／宛先のメールアドレスを電話帳に登録する

## 1 メールを表示する。（☞P.176の操作１～３）

## 2 受信メールのときは、📷9を押す。（アドレス登録）




- 電話帳のPIMロック中は、「端末暗証番号は？」と表示されます。端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、◉を押すと、電話帳に登録することができます。

送信メールのとき
- 📷7を押します。

## 3 1を押す。（本体新規）

- FOMA端末（本体）電話帳に新規電話帳データとして登録することができます。
- 電話帳の新規登録画面が表示されます。送信元または宛先のメールアドレスが入力されています。
- 以降の操作については、『基本編』P.108～P.110を参照してください。

**FOMA端末（本体）の電話帳に追加登録するとき**
- 2を押します。
- 電話帳検索画面が表示されます。

**FOMAカード電話帳に新規登録するとき**
- 3を押します。
- 以降の操作については、『基本編』P.117～P.119を参照してください。

**FOMAカード電話帳に追加登録するとき**
- 4を押します。

お知らせ
- 宛先が複数存在する場合があります。この場合、操作２のあと、アドレス選択画面が表示されます。登録したい宛先を選び、●を押します。
- 電話帳の操作中に、ｉモードメールやSMSを受信し、その受信メールのアドレスまたは電話番号を電話帳に登録することはできません。

## ■ メール本文の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する

## 1 メールを表示する。（☞P.176の操作１～３）

## 2 登録したい電話番号やメールアドレスを選び、📷0を押す。（電話帳登録）

- 電話帳登録画面が表示されます。

## 3 1を押す。（本体新規）

- FOMA端末（本体）電話帳に新規電話帳データとして登録することができます。
- 電話帳の新規登録画面が表示されます。選択したメールアドレスや電話番号が入力されています。
- 以降の操作については、『基本編』P.108～P.110を参照してください。

**FOMA端末（本体）の電話帳に追加登録するとき**
- 2を押します。
- 電話帳検索画面が表示されます。

**FOMAカード電話帳に新規登録するとき**
- 3を押します。
- 以降の操作については、『基本編』P.117～P.119を参照してください。

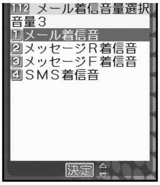
**FOMAカード電話帳に追加登録するとき**
- 4を押します。

# メールの着信時の動作を設定する

## ｉモードメールやSMSの着信音量を設定する<メール着信音量選択>

● お買い上げ時は、どちらも「LEVEL３」に設定されています。

**1** 待受画面で、●1 1 2を押す。




**2** 1を押す。（メール着信音）

● メール着信音画面が表示されます。

メッセージRの着信音量を変更するとき

● 2を押します。

メッセージFの着信音量を変更するとき

● 3を押します。

SMSの着信音量を変更するとき

● 4を押します。

**3** 「**LEVEL**１」（音量１）～「**LEVEL**５」（音量５）または「**STEP**」（ステップ）を選び、●を押す。

着信音を鳴らさないとき

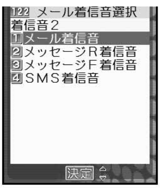
●「SILENT」（サイレント）を選び、●を押します。

## ｉモードメールやSMSの着信音を変更する<メール着信音選択>

ｉモードメールやメッセージR／F、SMSの着信音を変えることができます。

● ｉモードでダウンロードしたｉメロディ（☞P.56）、ｉモードメールに添付されてきたメロディ（☞P.149）、miniSDメモリーカードから読み込んだメロディ（☞P.337）を着信音に設定することもできます。
● お買い上げ時は、すべて「着信音２」に設定されています。

**1** 待受画面で、●1 2 2を押す。



## 2 [1]を押す。（メール着信音）

- メール着信音画面が表示されます。

メッセージRの着信音を変更するとき
- [2]を押します。

メッセージFの着信音を変更するとき
- [3]を押します。

SMSの着信音を変更するとき
- [4]を押します。

## 3 [1]を押す。（メロディ）

- マルチメディアのメロディのフォルダ一覧が表示されます。

着信音を鳴らさないとき
- [2]を押します。

## 4 フォルダを選び、[●]を押す。

- 選んだフォルダ内のデータが表示されます。

## 5 利用したい着信音を選ぶ。

- [●]（確認）を押すと、着信音が再生されます。[i]（停止）を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

## 6 [i]（決定）を押す。

お知らせ
- 複数のメール着信音が設定されているとき、メール着信音は次の優先順位で鳴ります。

| | 優先順位（高→低） |
|---|---|
| メール着信音 | 指定メール着信音→グループのメール着信音→メール着信音 |

- メールやSMSの着信音にｉモーションを設定することはできません。

# メールの着信音を鳴らす時間を設定する<メール着信鳴動時間設定>

メール着信音を鳴らす時間を、１～30秒の間でお好みで設定したり、鳴らないように設定することができます。
- お買い上げ時は、「３秒」に設定されています。

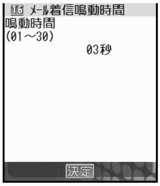
## 1 待受画面で、[●][1][6]を押す。






次ページへ続く

**2** [1]を押す。（**ON**：着信音を鳴らす）




鳴らさないときは
- [2]を押します。

**3** 着信音を鳴らす時間（２桁：**01～30**秒）を入力し、[●]を押す。

お知らせ
- 通話中、ｉアプリ実行中、ｉモーション／メロディ再生中などにメッセージを受信した場合、メール着信音は鳴りません。

メール振分設定

# メールを自動的にフォルダに振り分ける

フォルダに振分け条件を設定し、設定した条件に合ったｉモードメールやSMSを自動的に振り分けることができます。
- 「送信トレイ」や「受信トレイ」、未送信BOXのメール連動型ｉアプリフォルダに振分け条件を設定することはできません。
- SMSをFOMAカードへ振り分けることはできません。
- １つのフォルダに５つまで振分け条件を設定することができます。
- 通常のメールを、メール連動型 ｉアプリフォルダに振り分けることもできます。このときメール連動型ｉアプリの振分け条件が優先されます。

## 振分け条件について

振分け条件として設定できるのは、次の５つです。

| | |
|---|---|
| グループで振分け | FOMA端末（本体）電話帳に設定されているグループで振り分けます。「グループ振分」に設定されていて同じ電話番号または、同じメールアドレスが複数のグループに登録されている場合は50音順で先になるグループ名の条件が優先されます。 |
| アドレスで振分け | メールアドレスで振り分けます。※ |
| 題名で振分け | 題名に含まれている文字列で振り分けます。 |
| 電話帳登録なし | FOMA端末（本体）電話帳に登録されていない相手の方からのメールを振り分けます。送信メールは、すべての宛先（宛先追加で増したすべての宛先）が電話帳に登録されていない場合のみ振り分けます。 |
| すべての受信（送信）メール | すべての受信メール（または送信メール）を振り分けます。 |

- 複数のフォルダの振分け条件に合致した場合、「フォルダ１」が最も優先順位が高く、「フォルダ０」が最も優先順位が低くなります。
- シークレットデータに設定した電話帳データは、登録されていないのと同じ扱いになります。「グループで振分け」では振分け対象外になり、「電話帳登録なし」では振分け対象になりますので、ご注意ください。「グループで振分け」の対象にするには、シークレットモードを「ON」に設定してください。
- 電話帳PIMロック中は、「グループで振分け」は振り分け対象外となりますので、ご注意ください。
- 「電話番号@docomo.ne.jp」のアドレスを指定するときは、電話番号のみ登録してください。

※ 受信メールはFrom、To、Cc、送信メールはTo、Cc、Bccのアドレスが振り分け条件の対象となり、画面上で上にあるフォルダから優先的に振り分けられます。受信メールを送信元（From）だけで振り分けたい場合は、「グループで振分け」をお使いください。

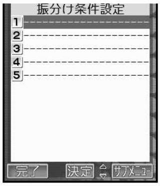
## フォルダに振分け条件を設定する

**1** 待受画面で、[メール][1]を押す。

- 受信BOX一覧が表示されます。

送信BOX一覧を表示するとき
- [メール][2]を押します。

**2** フォルダを選び、[カメラ][3]を押す。（振分け条件設定）




- 上にあるフォルダに設定されている条件ほど優先度が高くなります。

**3** 条件を設定する番号を押す。

- すでに条件が設定されている番号を選ぶと、振分け条件を編集することができます。

メール連動型ｉアプリフォルダに設定するとき
- 「メールはソフトで利用されます。設定しますか？」と表示されます。「はい」を選び、[●]を押すと、操作４に進みます。以降は通常のフォルダの場合と同様です。「いいえ」を選び、[●]を押すと、操作２の画面に戻ります。

**4** グループで振り分けるときは、[1]を押し、設定したいグループを選び、[●]を押す。（グループで振分け）

- グループ名が表示されます。

メールアドレスで振り分けるとき
- [2]を押し、入力方法を選択し、[●]を押します。メールアドレスを選択（または入力）し、[●]を押します。
- 半角20文字分まで表示されます。

題名に含まれる文字列で振り分けるとき
- [3]を押し、設定する文字列を入力し、[●]を押します。
- 最大全角15文字（半角30文字）まで入力でき、入力した文字列の先頭から全角10文字分（半角20文字分）が表示されます。

FOMA端末（本体）の電話帳に登録していない相手の方からのメールを振り分けるとき
- [4]を押します。

すべての送信（受信）メールを振り分けるとき
- [5]を押し、「はい」を選び、[●]を押します。
- 「全ての送信（受信）メール」が「1」に設定されます。
- 「いいえ」を選び、[●]を押すと、指定した番号に設定されます。

**5** 複数の振分け条件を設定するときは、操作３〜４をくり返す。

**6** [i]（完了）を押す。

お知らせ
- FOMAカード電話帳に登録してある相手の方からのメールは、「電話帳登録なし」のメールとして振り分けられます。

メール機能を設定する

メール機能を設定する

## 設定した振分け条件を削除する

振分け条件を削除することができます。

| | |
|---|---|
| 1件削除 | 振分け条件を1件ずつ削除します。 |
| 全件削除 | すべての振分け条件を削除します。 |

**1** 待受画面で、1を押し、フォルダを選び、3を押す。

- 振分け条件設定が表示されます。

**2** 振分け条件を選び、1を押す。（1件削除）

すべての振分け条件を削除するとき
- 2を押します。

**3** 「はい」を選び、●を押す。

**4** （完了）を押す。

署名登録

# ｉモードメールに署名を付ける

署名を利用して自分の名前や電話番号、メールアドレスなどを伝えることができます。

- ｉモードメール作成時に、署名を自動的に貼付するように設定することもできます。
- お買い上げ時は、自動署名貼付設定は「ON」に設定されています。
- 署名は1件のみ登録できます。
- SMSには署名が貼付されません。

**1** 待受画面で、98を押す。

- 署名登録画面が表示されます。

すでに署名が登録されているとき
- 現在登録されている署名が表示されます。

**2** 署名を入力し、●を押す。




- 改行（↲）も入力できます。
- 最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。

**3** 1を押す。（**ON**：署名を自動貼付する）

- 新規メール作成時には、あらかじめ署名が「本文」に入力されます。

署名を自動的に貼付しないとき

- 2を押します。

お知らせ

署名を削除したいとき

- 操作１を行ったあと、CLRを１秒以上押し、登録されている署名を削除し●を押します。

作成中のｉモードメールに署名をあとから貼付するとき

- 署名の文字数は、本文の文字数に含まれます。本文と署名の合計文字数が、送信できる文字数を超えるときは、「署名を付けることができません」と表示され、貼り付けできません。署名の貼付方法について詳しくは、P.128「署名を貼付するとき」を参照してください。

メーリングリスト設定

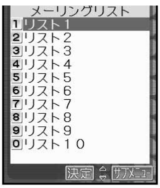
# メーリングリストを作成する

複数の宛先をメーリングリストに登録することにより、簡単な操作で複数の宛先を指定することができます。宛先を１件ずつ指定する同報送信の操作とは異なり、一度に複数の宛先を指定することができます。

- １つのメーリングリストにつき、最大５件のメールアドレスを登録できます。
- メーリングリストは、最大10件まで登録できます。
- 通信料は、１通のみ送信した場合と同じです。（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます。）

## メーリングリストにアドレスを登録する

**1** 待受画面で、メール 9 7を押す。




**2** 登録したいメーリングリストの番号を押す。

- リスト画面が表示されます。

**3** 登録したいメールアドレスの番号を押す。




次ページへ続く

**4** 入力方法を選び、(●)を押し、登録したいメールアドレスを選択（または入力）する。

すでに登録されている番号を選んだとき
- 入力方法選択画面で(2)（直接入力）以外を押すと、「上書きしますか？」と表示されます。「はい」を選び、(●)を押すと、メールアドレスを選択できます。「いいえ」を選び、(●)を押すと、操作２の画面に戻ります。
- (2)（直接入力）を押したときは、通常の方法で入力できます。

**5** (●)を押す。




- メールアドレスを追加して登録するときは、操作３～５をくり返します。

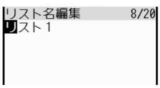
**6** ⓘ（完了）を押す。

## メーリングリストのリスト名を編集する

**1** 待受画面で、(✉)(9)(7)を押す。

- メーリングリスト画面が表示されます。

**2** メーリングリストを選び、(📷)(1)を押す。（リスト名編集）




リスト名をリセットするとき
- (📷)(2)を押します。「はい」を選び、(●)を押すと、リスト名がお買い上げ時のリスト名（「リスト１」～「リスト10」）に戻ります。

**3** リスト名を編集し、(●)を押す。

- (CLR)を１秒以上押すと、入力されているリスト名が削除されます。
- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力することができます。

## メーリングリストに登録されているメールアドレスを削除する

メーリングリストに登録されているメールアドレスは、次のいずれかの方法で削除することができます。

| | |
|---|---|
| 1件削除 | メールアドレスを1件ずつ削除します。 |
| リスト内全件削除 | 選んだメーリングリスト内のすべてのメールアドレスを削除します。 |

**1** 待受画面で、(メール)(9)(7)を押し、メーリングリストを選び、(●)を押す。

- メーリングリストに登録されているメールアドレスが表示されます。

**2** メールアドレスを選び、(カメラ)を押す。

**3** (1)を押す。（1件削除）

すべてのメールアドレスを削除するとき

- (2)を押します。

**4** 「はい」を選び、(●)を押す。

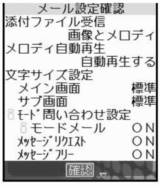
**5** (i)（完了）を押す。

メール設定確認

# メールの設定状況を確認する

メールの設定状況を確認することができます。

**1** 待受画面で、(メール)(9)(0)を押す。




**2** (上下)で確認する。

**3** 確認を終わるときは、(●)（確認）を押す。

メール設定リセット

# メールの設定をリセットする

メールの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

**1** 待受画面で、(メール)(9)(＊)を押す。

- メール設定リセット画面が表示されます。

**2** 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

**3** 「はい」を選び、(●)を押す。

リセットしないとき

- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

お知らせ ● 署名登録、メーリングリスト設定、SMSセンター設定の内容はリセットされません。

# マルチメディア編

# カメラをご利用になる前に

## カメラのはたらき

FOMA端末はメインカメラ（外部）とサブカメラ（内部）の２つのカメラを搭載しています。カメラを利用すると、静止画や動画を撮影することができます。ご自分の側を撮影するときはサブカメラを、他の人や風景を撮影するときはメインカメラを利用すると便利です。また、テレビ電話時に、サブカメラを利用してご自分側の映像を相手の方に送信したり、メインカメラに切り替えてFOMA端末の外側の状況などを相手の方に送信することができます。

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。




### ■ 静止画および動画を撮影することができます

横1224×縦1632ドットの静止画、および横320×縦240ドットの動画を撮影することができます。動画撮影時には、「映像＋音声」、「映像のみの録画」、「音声のみの録音」を選択することができます。また、文字を撮影して読み取ったり（OCR）、バーコード（JANコード／QRコード）を読み取ることもできます。

### ■ 撮影した画像をいろいろな用途に利用できます

撮影した画像をｉモードメールを利用して送信したり、電話帳に登録、FOMA端末の待受画面に設定することができます。
撮影した動画をｉモーションメールで送信することもできます。

### ■ 撮影場所や被写体に応じた方法で撮影できます

室内など光量が少ない場所では、ピクチャーライトを利用すると便利です。また、明るさやシーン別撮影の設定を切り替えたり、セルフタイマーでの撮影を行うこともできます。

### ■ サブディスプレイをファインダーとして利用できます

メインディスプレイだけでなく、サブディスプレイもファインダーとして利用することができます。

### ■ AFモード切替やフォーカスロックで撮影できます

オートフォーカス機能を搭載し、シャッター全押し時のピントの自動調整が可能です。また、シャッター半押しによるフォーカスロックや、AFモード切替による、接写撮影、人物撮影、風景撮影など、さまざまな撮影シーンに対応できます。マニュアルフォーカスに切り替えると、手動でピント合わせを行うこともできます。ノイズキャンセラにより音声ノイズを少なくすることもできます。

### ■ 画質・サイズの設定やフレーム付画像の撮影、連続撮影も可能です

撮影する画像の利用方法に応じて、画質やサイズを設定することができます。また、フレームを付けたり、ベストショットを撮るための連写、明るさやピクチャーライトの色を変えて９枚撮影するブラケット連写、連続撮影した５枚の静止画を重ね合わせて合成した１枚の静止画を作成するオーバーラップ連写、４枚の静止画を連続して撮影し１枚の静止画にする４コマ分割撮影などを行うこともできます。

## 撮影した画像を編集前と編集後を比較しながら、連続で編集することもできます

撮影した画像の色あいやタッチを変えたり、フレームを挿入したり、２枚の静止画を１枚のパノラマ画像に合成することができます。

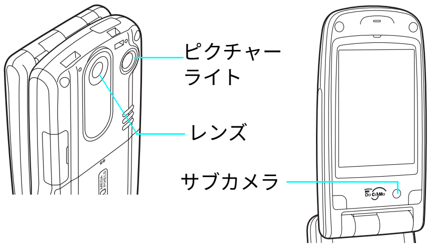
- 人物を撮影したときに、フェイスエフェクトで顔などを変化させて楽しむこともできます。
- 撮影した画像データのサイズを修正し、ｉモードメールを利用して送信することもできます。

お知らせ
- カメラ画像にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集をくり返し行う場合、保存を行ってから再び編集を行うと、画質が劣化することがあります。

# カメラのご使用について

### [撮影前にレンズをきれいにしておいてください]

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなります。また、画像がぼやけたり、強い光源からすじを引くことなどがあります。
  撮影前に、やわらかい布でふいてください。




### [充電中は撮影しないでください]

- 充電中に撮影すると、ピクチャーライトの赤い光が写ることがあります。
- 充電中でも、電池残量が少ないと、画像が暗くなったり、画像が乱れることがあります。

### [レンズ部に力をかけないでください]

- FOMA端末を閉じるときにレンズ部に力がかからないように注意してください。故障の原因となります。

### [メインカメラは**CCD**カメラ、サブカメラは**CMOS**カメラを使用しています]

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- FOMA端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、登録したときは、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源をじかに撮影しようとすると、画像が暗くなったり画像が乱れることがありますのでご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CCD（撮影素子）の性能を損なう場合がありますのでご注意ください。

### [用途に合わせて画質を設定してください]

- 画質を最優先して撮影したいときには、「FINE」または「SUPER FINE」に設定して、撮影してください。データ量が多くなりますが画質がよくなります。
  また、「SUPER FINE」は画像サイズが「XGA：768×1024（横×縦）」、「SXGA：960×1280（横×縦）」、「2M記録：1224×1632（横×縦）」の場合でminiSDメモリーカードに保存するときしか設定できません。保存枚数は減り、ｉモードメールに添付して送信する場合の送信時間が長くなったり、送信時に縮小されたりします。用途に合わせて設定してください。（☞P.243）

## 撮影時の留意事項

- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- 太陽やランプなどの強い光源をじかに撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れることがありますのでご注意ください。
- 撮影時は、カメラに指や髪、ストラップなどがかからないようにしてください。
- カメラ撮影中は電池の消耗が早いため、撮影が終わったらを押してカメラモードを終了させることをおすすめします。
- 静止画撮影のプレビュー画面や動画の録画中画面で、音声電話着信・テレビ電話着信・アラーム通知があった場合は、撮影が中止されてそれらの画面に切り替わります。その後、切り替わった画面を終了させるとカメラの画面に戻り、着信前に撮影したデータを保存することができます。
- セルフタイマー実行中に、音声電話着信・テレビ電話着信・アラーム通知があったときは、セルフタイマーは中止されます。
- シャッター音の音量を変えることはできません。また、マナーモードやドライブモード設定中やイヤホンマイク接続中でも鳴ります。
- 撮影時は、ピクチャーライトを点灯させて撮影することができます。
- 撮影時にFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。なるべく動かないようにしっかりと固定して撮影するか、セルフタイマーを使って撮影してください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、FOMA端末に表示される画像の動きが遅くなることがあります。
- 室内で撮影する場合、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生する場合があります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさ切替で調整することにより、画面のちらつきや濃淡を軽減することができる場合があります。
- メインカメラからサブカメラに切り替えた直後は、明るさや色あいなどが最適に表示されるまでに時間がかかることがあります。

## 著作権・肖像権について

- お客様が FOMA 端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変等すると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットのホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。
  なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、ご利用になれませんのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

**お知らせ**

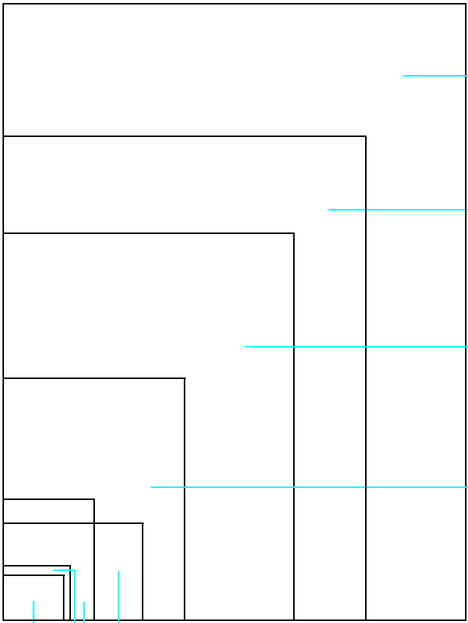
- 連続カメラ撮影によりFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 電池残量が少ないと、画面が暗くなったり、画面が乱れることがあります。
- メインカメラを使用中に、メインカメラの周辺の温度が高くなると「ただいまカメラを使用できません」と表示され、カメラが終了します。

## 撮影サイズについて

［静止画モード］

FOMA端末で撮影（保存）できる静止画の撮影サイズ（画像サイズ）は次のとおりです。

※ 本書でのサイズ名：●●×●●形式のサイズ表記はすべて横×縦です。



**2M記録：1224×1632**
FOMA端末で撮影できる最も大きなサイズです。パソコンでの表示やプリントに適したサイズです。※1

**SXGA：960×1280**
パソコンでの表示やプリントに適したサイズです。※1

**XGA：768×1024**
パソコンでの表示やプリントに適したサイズです。※1

**VGA：480×640**
パソコンでの表示に適したサイズです。

**CIF：352×288**
パソコンで見るのに適したサイズです。

メイン待受：**240×320**
FOMA端末のメインディスプレイと同じサイズです。待受画面に設定する静止画を撮影するときなどに便利です。

**TV**電話：**176×144**
テレビ電話の親画面のサイズです。代替画像用の静止画を撮影するときなどに便利です。

サブ待受：**160×120**
FOMA端末のサブディスプレイと同じサイズです。サブディスプレイの待受画面に設定する静止画を撮影するときなどに便利です。

※1 カメラまたはマルチメディアから、ｉ モードメールに撮影画像を添付して通常メールで送信する場合、画像のファイルサイズが9000バイトを超えると、自動的に9000バイト以下に縮小されます。また、「CIF：352×288」より大きい画像は「メイン待受：240×320」に縮小されます。（☞P.245）

カメラまたはマルチメディアからｉモードメールに撮影画像を添付して大容量添付メールで送信する場合、画像のファイルサイズが100Kバイトを超えると自動的に100Kバイト以下に縮小されます。

## 撮影／保存できる目安

- 撮影枚数は、同じ画像サイズ、画質で撮影して、FOMA端末（本体）に保存をしたときの目安です。マルチメディアのイメージの「カメラ撮影」フォルダにｉモードからダウンロードした静止画などが保存されている場合、撮影できる静止画枚数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる静止画枚数が少なくなることがあります。
  FOMA端末（本体）への各画質別の撮影枚数の目安は、次のとおりです。付属の16MバイトのminiSDメモリーカード（試供品）への各画質別の撮影枚数の目安については、P.423を参照してください。

| | ECONOMY | NORMAL | FINE | ｉモードメール用 | 大容量添付メール用 |
|---|---|---|---|---|---|
| サブ待受：160×120 | 約250枚 | 約90枚 | 約70枚 | 約250枚 | 約70枚 |
| TV電話：176×144 | 約150枚 | 約70枚 | 約40枚 | 約150枚 | 約40枚 |
| メイン待受：240×320 | 約150枚 | 約50枚 | 約15枚 | 約150枚 | 約15枚 |
| CIF：352×288 | 約150枚 | 約35枚 | 約15枚 | 約150枚 | 約15枚 |
| VGA：480×640 | 約35枚 | 約20枚 | 約15枚 | ― | 約15枚 |
| XGA：768×1024 | 約15枚 | 約7枚 | 約5枚 | ― | 約15枚 |
| SXGA：960×1280 | 約15枚 | 約6枚 | 約4枚 | ― | 約15枚 |
| 2M記録：1224×1632 | 約15枚 | 約5枚 | 約3枚 | ― | 約15枚 |

お知らせ

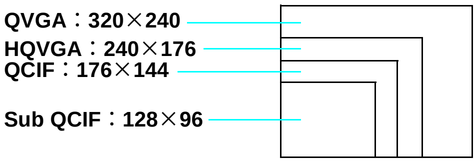
- 静止画の撮影サイズの設定方法については、P.243を参照してください。
- 撮影した静止画の画像サイズを修正するときは、P.263を参照してください。
- お買い上げ時は、「メイン待受：240×320」に設定されています。
- パソコンをお持ちの場合、FOMA端末（本体）に保存した静止画はminiSDメモリーカード（☞P.332）またはデータリンクソフト（☞P.404）を経由してパソコンに転送し、保存することができます。

タイトルについて

- 撮影（保存）した静止画には、自動的に撮影日時をもとにしたタイトル名が付けられます。
  例：2004年4月21日午後1時5分7秒に撮影した場合→「040421_130507」
- 連続撮影を行った場合、末尾に連番（「01」、「02」…）が付きます。
- タイトルの編集については、P.273を参照してください。

### ［動画モード］

FOMA端末で撮影（保存）できる動画の画像サイズは次のとおりです。
※ 本書でのサイズ名：●●×●●形式のサイズ表記はすべて横×縦です。




- カメラで撮影した動画は、マルチメディアのｉモーションのフォルダ、またはminiSDメモリーカードに保存されます。
- FOMA端末（本体）に動画を保存する場合、「ｉモーションメール用」の長さの録画となります。
- 撮影時間は、ｉモーション用の長さで撮影した場合の目安です。お買い上げ時の状態で撮影し、FOMA端末（本体）に保存した場合、ｉモーション用の長さで撮影した動画を約15件登録できます。FOMA端末（本体）に他の動画が保存されている場合、撮影できる時間や件数は少なくなります。また、撮影環境や被写体などの条件により、撮影できる時間が少なくなることがあります。
  FOMA端末（本体）への各画質別の撮影時間の目安は、次のとおりです。付属の16MバイトのminiSDメモリーカード（試供品）への各画質別の撮影時間の目安については、P.423を参照してください。

| | ECONOMY | NORMAL | FINE |
|---|---|---|---|
| Sub QCIF：128×96 | 約29秒 | 約19秒 | 約14秒 |
| QCIF：176×144 | 約24秒 | 約15秒 | 約10秒 |

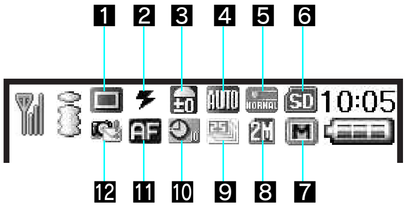
お知らせ

- 動画の画像サイズの設定方法については、P.243を参照してください。
- パソコンをお持ちの場合、保存した動画はminiSDメモリーカード（☞P.332）またはデータリンクソフト（☞P.404）を経由してパソコンに転送し、保存することができます。
- HQVGA、QVGAサイズの動画はminiSDメモリーカードにのみ保存可能です。

# カメラモードでのマークについて

カメラモードでは、メインディスプレイおよびサブディスプレイに次のようなマークが表示されます。

## ［静止画モード］




**1** モード表示（☞P.231）
カメラモードを表示します。
：静止画モード

**2** ピクチャーライト表示（☞P.231）
ピクチャーライトの状態を表示します。
：ピクチャーライト点灯
：ピクチャーライト「AUTO」

**3** 画像の明るさ表示（☞P.234）
画像の明るさを表示します。
暗い←標準→明るい

**4** シーン別撮影表示（☞P.236）
シーン別撮影の設定状態を表示します。
：オート
：夜景
：スポーツ
：文字

**5** 画質（☞P.243）
画質の設定状態を表示します。
（赤色）：ECONOMY
（赤色）：NORMAL
（赤色）：FINE
（赤色）：SUPER FINE
（青色）：ｉモードメール用
（青色）：大容量添付メール用

**6** miniSDメモリーカード表示
保存先を表示します。
（グレー）：本体へ保存
（ピンク）：miniSDメモリーカードへ保存

**7** メモリ警告表示
メモリの空きがないときに表示します。
表示は目安です。マークが表示されていても保存できることがあります。
：イメージのメモリの空き容量が 6K バイト未満になったとき、または静止画の保存件数が300件に達したときに表示されます。
：ｉモーションのメモリの空き容量が10Kバイト未満になったとき、または動画／ｉモーションの保存件数が100件に達したときに表示されます。
：イメージとｉモーションのメモリの空き容量について、上記の両方の状態が重なったときに表示されます。

**8** 画像サイズ表示（☞P.243）
画像サイズの設定状態を表示します。
：サブ待受：160×120
：TV電話：176×144
：メイン待受：240×320
：CIF：352×288
：VGA：480×640
：XGA：768×1024
：SXGA：960×1280
：2M記録：1224×1632

**9** 連続撮影表示（☞P.223）
連続撮影の設定状態を表示します。
：通常連写（25枚用）
：通常連写（９枚用）
：通常連写（６枚用）
：ブラケット連写（９枚）
：オーバーラップ連写（５枚）
：４コマ分割連写（４枚）
：連写枚数共通（1〜25枚）
〜

**10** セルフタイマー表示（☞P.232）
セルフタイマーの設定状態を表示します。
：５秒
：10秒

**11** AFモード／フォーカスロック表示
AFモードやフォーカスロックの状態を表示します。
：標準
：接写
：人物
：風景
：マニュアルフォーカス
●（緑色）：フォーカスロックされたときに表示されます。
●（赤色）：フォーカスを合わせているときに表示されます。

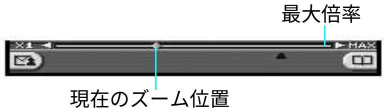
**12** 撮影中着信表示
撮影中のメール着信を表示します。
：撮影中、ｉモードメールが着信したとき。
：撮影中、SMSが着信したとき。

カメラ機能を利用する

次ページへ続く

## [ズーム利用時]

カメラモードでⓘを押すと右の画面が表示され、ズームが利用できます。（☞P.233）

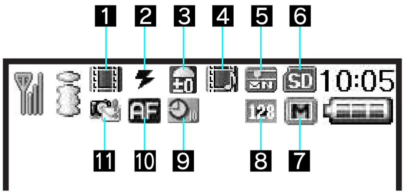



## [マニュアルフォーカス利用時]

撮影画面で◎⑤を押すとAFモード切替画面になり、マニュアルフォーカスを選ぶと右の画面が表示され、ⓘでマニュアルフォーカスが利用できます。（☞P.235）




## [動画モード]




**1** モード表示（☞P.231）
カメラモードを表示します。
：動画モード

**2** ピクチャーライト表示（☞P.231）
ピクチャーライトの状態を表示します。
：ピクチャーライト点灯

**3** 画像の明るさ表示（☞P.234）
画像の明るさを表示します。
暗い←標準→明るい

**4** 動画撮影種別表示（☞P.236）
動画の種類別を表示します。
：映像のみ
：映像+音声
：音声のみ

**5** 画質表示／ファイルサイズ制限表示（☞P.243）
画質の設定状態を表示します。
（青色）：ECONOMY（ｉモーションメール用）
（青色）：NORMAL（ｉモーションメール用）
（青色）：FINE（ｉモーションメール用）
（赤色）：ECONOMY（制限なし）
（赤色）：NORMAL（制限なし）
（赤色）：FINE（制限なし）

**6** miniSDメモリーカード表示
保存先を表示します。
（グレー）：本体へ保存
（赤色）：miniSDメモリーカードへ保存

**7** メモリ警告表示
メモリの空きがないときに表示します。
：イメージのメモリの空き容量が 6K バイト未満になったとき、または静止画の保存件数が300件に達したときに表示されます。
：ｉモーションのメモリの空き容量が10Kバイト未満になったとき、または動画／ｉモーションの保存件数が100件に達したときに表示されます。
：イメージとｉモーションのメモリの空き容量について、上記の両方の状態が重なったときに表示されます。

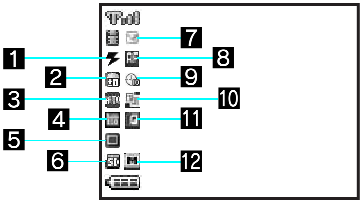
**8** 画像サイズ表示（☞P.243）
画像サイズを表示します。
：Sub QCIF：128×96
：QCIF：176×144
：HQVGA：240×176
：QVGA：320×240

**9** セルフタイマー表示（☞P.232）
セルフタイマーの設定状態を表示します。
：5秒
：10秒

**10** AFモード／フォーカスロック表示
AFモードやフォーカスロックの状態を表示します。
：標準
：接写
：人物
：風景
：マニュアルフォーカス
●（緑色）：フォーカスロックされたときに表示されます。
●（赤色）：フォーカスを合わせているときに表示されます。

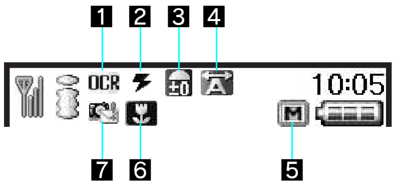
**11** 撮影中着信表示
撮影中のメール着信を表示します。
：撮影中、ｉモードメールが着信したとき。
：撮影中、SMSが着信したとき。

## ［サブディスプレイ］




1 ピクチャーライト表示
2 画像の明るさ表示
3 シーン別撮影／動画撮影種別表示
4 画質表示／ファイルサイズ制限表示
5 モード表示
6 miniSDメモリーカード表示
7 撮影中着信表示
8 AFモード／フォーカスロック表示
9 セルフタイマー表示
10 連続撮影表示
11 画像サイズ表示
12 メモリ警告表示

## ［文字読み取りモード］




1 モード表示（☞P.231）
カメラモードを表示します。
OCR：文字読み取りモードのときに表示されます。

2 ピクチャーライト表示（☞P.231）
ピクチャーライトの状態を表示します。
：ピクチャーライト点灯時に表示されます。

3 画像の明るさ表示（☞P.234）
画像の明るさを表示します。
暗い←標準→明るい

4 反転モード表示（☞P.250）
反転モードの状態を表示します。
：「自動」のときに表示されます。
：「通常文字」のときに表示されます。
：「反転文字」のときに表示されます。

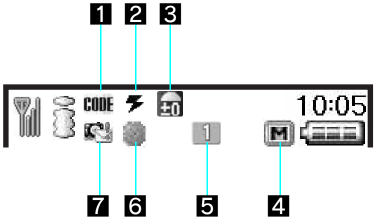
5 メモリ警告表示
：
静止画／動画モードに対する警告のため、文字読み取りモード／バーコードリーダーでは表示されていても読み取りできます。

6 AFモード表示
AFモードの状態を表示します。
AF：標準
：接写

7 撮影中着信表示
撮影中のメール着信を表示します。
：撮影中、ｉモードメールが着信したとき
：撮影中、SMSが着信したとき

カメラ機能を利用する

［バーコードリーダー］




1 モード表示（☞P.231）
カメラモードを表示します。
CODE：バーコードリーダーのときに表示されます。

2 ピクチャーライト表示（☞P.231）
ピクチャーライトの状態を表示します。
⚡：ピクチャーライト点灯時に表示されます。

3 画像の明るさ表示（☞P.234）
画像の明るさを表示します。
-2 -1 ±0 +1 +2
暗い←標準→明るい

4 メモリ警告表示
M M M：
静止画／動画モードに対する警告のため、文字読み取りモード／バーコードリーダーでは表示されていても読み取りできます。

5 コード連結番号表示（☞P.246）
1～16：連結QRコードを読み取るときに、何枚目を読み取っているかを表示します。

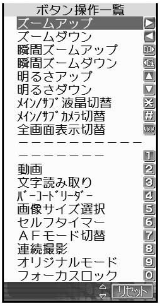
6 フォーカスロック表示
フォーカスロックの状態を表示します。
●（緑色）：フォーカスロックされたときに表示されます。
●（赤色）：フォーカスを合わせているときに表示されます。

7 撮影中着信表示
撮影中のメール着信を表示します。
：撮影中、ｉモードメールが着信したとき
SMS：撮影中、SMSが着信したとき

## ボタン操作一覧を表示して、ワンタッチ操作を確認する<ボタン操作一覧>

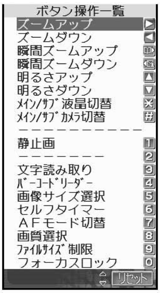
静止画や動画の撮影、文字読み取り、バーコードリーダーは、FOMA端末のカメラモードで行います。
各カメラモードの画面で◎を押し、サブメニューを表示させます。次に◯で「ボタン操作一覧」を選び、●を押すと、操作を一覧で表示することができます。
各カメラモード中に操作項目に割り当てられたボタンでワンタッチ操作を行うことができます。

## [静止画モード]




| ボタン | 操　作 | 参照ページ |
|---|---|---|
| | ズームアップ | P.233 |
| | ズームダウン | P.233 |
| | 瞬間ズームアップ | P.233 |
| | 瞬間ズームダウン | P.233 |
| | 明るさアップ | P.234 |
| | 明るさダウン | P.234 |
| * | メイン／サブ液晶切替 | P.231 |
| # | メイン／サブカメラ切替 | P.232 |
| view | 全画面表示切替 | P.242 |
| 2 | 動画 | P.227 |
| 3 | 文字読み取り | P.249 |
| 4 | バーコードリーダー | P.246 |
| 5 | 画像サイズ選択 | P.243 |
| 6 | セルフタイマー | P.232 |
| 7 | AFモード切替 | P.235 |
| 8 | 連続撮影 | P.223 |
| 9 | オリジナルモード | P.240 |
| 0 | フォーカスロック | P.238 |

## [動画モード]

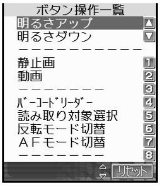



| ボタン | 操　作 | 参照ページ |
|---|---|---|
| | ズームアップ | P.233 |
| | ズームダウン | P.233 |
| | 瞬間ズームアップ | P.233 |
| | 瞬間ズームダウン | P.233 |
| | 明るさアップ | P.234 |
| | 明るさダウン | P.234 |
| * | メイン／サブ液晶切替 | P.231 |
| # | メイン／サブカメラ切替 | P.232 |
| 1 | 静止画 | P.219 |
| 3 | 文字読み取り | P.249 |
| 4 | バーコードリーダー | P.246 |
| 5 | 画像サイズ選択 | P.243 |
| 6 | セルフタイマー | P.232 |
| 7 | AFモード切替 | P.235 |
| 8 | 画質選択 | P.243 |
| 9 | ファイルサイズ制限 | P.244 |
| 0 | フォーカスロック | P.238 |

カメラ機能を利用する

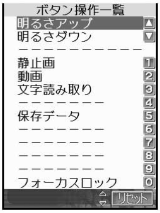
次ページへ続く

## [文字読み取りモード]




| ボタン | 操　作 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ▲ | 明るさアップ | P.234 |
| ▼ | 明るさダウン | P.234 |
| 1 | 静止画 | P.219 |
| 2 | 動画 | P.227 |
| 4 | バーコードリーダー | P.246 |
| 5 | 読み取り対象選択 | P.250 |
| 6 | 反転モード切替 | P.250 |
| 7 | AFモード切替 | P.235 |

## [バーコードリーダーモード]




| ボタン | 操　作 | 参照ページ |
|---|---|---|
| ▲ | 明るさアップ | P.234 |
| ▼ | 明るさダウン | P.234 |
| 1 | 静止画 | P.219 |
| 2 | 動画 | P.227 |
| 3 | 文字読み取り | P.249 |
| 5 | 保存データ | P.248 |
| 0 | フォーカスロック | P.238 |

- 各ボタンに割り当てる操作を変更することができます。ボタン操作一覧画面で▲▼で割り当てるボタンを選び、i（カスタム）を押し、サブメニューから割り当てる機能を選び、i（登録）を押します。（ボタンの割り当てを変更できない場合は、「カスタム」が表示されません。）
- 各ボタンに割り当てた操作を初期化することができます。ボタン操作一覧画面で📷（リセット）を押すと、ボタン操作初期化の確認画面が表示されますので、「はい」を選び、●を押します。初期化を中止する場合は、「いいえ」を選び、●を押します。

**お知らせ**　**FOMA端末を閉じているとき**

- サブディスプレイの静止画撮影画面または動画撮影画面で、▯（背面中央ボタン）を押し、「ボタン操作一覧」を選び、▯（背面中央ボタン）を押します。
- 本取扱説明書では、操作方法およびボタン操作一覧の内容を工場出荷時の設定で記述しております。

# 静止画を撮影する

FOMA端末で静止画を撮影することができます。

● 撮影した静止画はマルチメディアのイメージまたはminiSDメモリーカードに保存されます。

## メインディスプレイを見ながら撮る

FOMA端末を開いて撮影します。

**1** 待受画面で、📷を押してカメラを起動する。




静止画撮影画面

- 静止画撮影画面になります。カメラからの画像がメインディスプレイに表示されます。
- 画像サイズが「サブ待受：160×120」のときは、サブディスプレイに待受画面設定できるように横長画面として保存するために、プレビュー画面では画像が90度左に回転して表示されます。
- 撮影前に被写体や目的、周りの環境に応じて、次の操作を行うことができます。
  - ■ 画像サイズを設定する（☞P.243）
  - ■ 明るさを調節する（☞P.234）
  - ■ ピクチャーライトを利用する（☞P.231）
  - ■ ズームを利用する（☞P.233）
  - ■ ボタン操作一覧を表示して、ワンタッチ操作を確認する（☞P.216）
  - ■ 保存先をminiSDメモリーカードに切り替える（☞P.239）
  - ■ 画質を設定する（☞P.243）
  - ■ AFモードを設定する（☞P.235）
  - ■ 連続撮影を設定する（☞P.223）
  - ■ フレームを重ねて撮影する（☞P.234）
  - ■ シーン別に設定をする（☞P.236）
  - ■ セルフタイマーを使って撮影する（☞P.232）
  - ■ 保存先フォルダを指定する（☞P.240）
  - ■ オリジナルモードを設定する（☞P.240）
  - ■ 自動保存モードを設定する（☞P.241）
  - ■ 全画面表示切替（☞P.242）

**2** ●またはシャッターを押す。

- カメラシャッター音が鳴り、撮影した静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- オートフォーカスで撮影する場合は、シャッターを押してから撮影されるまでに時間がかかります。
- カメラシャッター音は、マナーモード設定中でも鳴ります。
- カメラシャッター音は、変更することができます。（☞『基本編』P.164）
- プレビュー画面でⓘを押すと、撮影した静止画をｉモードメールで送信することができます。（☞P.136）

**フォーカスロックをかけて撮影するとき**

- 0を押し、フォーカスロックをかけてから●を押して撮影します。（☞P.238）または、シャッターを半押ししてフォーカスロックをかけてから、シャッターを深く押し込んで撮影します。

**自動保存モード（☞P.241）が「ON」に設定されているとき**

- 撮影した静止画がマルチメディアのイメージの「カメラ撮影」フォルダか、本体保存先指定（☞P.240）で指定したフォルダ、あるいはmini SDメモリーカードに自動的に保存されます。



次ページへ続く

**3** [●]（保存）を押す。

- 撮影した静止画がマルチメディアのイメージの「カメラ撮影」フォルダに保存されます。（静止画の保存には時間がかかる場合があります。）
- 保存中にFOMA端末を閉じたり、開いたりしても、保存は継続されます。
- カメラモードを終了するときは、[PWR HLD]を押します。

メモリの空き容量がない、または最大保存件数（☞P.212）を超えたとき

- FOMA 端末（本体）のメモリが一杯の場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存することができます。（☞P.274）
- miniSDメモリーカードのメモリが一杯の場合は、保存先をminiSDメモリーカードに設定しても、自動的に保存先がFOMA端末（本体）に切り替わります。

撮影した静止画を削除してやり直すとき

- [CLR]を押します。

保存する前に撮影した静止画を編集／利用するとき

- [カメラ]を押します。
- 撮影した静止画を利用して、画像編集、画面設定や全画面表示切替を行うことができます。画像編集についてはP.260～P.271を、画面設定については『基本編』P.165を、全画面表示切替についてはP.242を参照してください。

メインディスプレイの表示どおりに保存するとき（サブカメラ撮影の場合）

- メインディスプレイには鏡と同じ向き（鏡像）で表示されますが、[●]（保存）を押すと正像（左右反転表示）で保存されます。保存する前に「正像で確認」と「鏡像で保存」を選択することができます。
- [カメラ][3]を押すと、鏡像のまま保存されます。ただし、フレームを設定して撮影した場合は（☞P.234）、鏡像のまま保存することはできません。
- [カメラ][2]を押すと正像が表示され、[●]を押すと保存されます。

保存先フォルダ指定が設定されているとき

- 設定されているフォルダに保存されます。（☞P.240）

miniSDメモリーカードに保存するとき

- 撮影前に保存先を切り替えておきます。（☞P.239）

## 自分を撮影するとき

**1** FOMA端末を開き、待受画面で、[カメラ]を押してカメラを起動し、[#]を押す。

- サブカメラに切り替わります。

**2** メインディスプレイで画像を確認し、[●]またはシャッターを深く押す。




- メインディスプレイでは、鏡像で表示されます。撮影したプレビュー画面も鏡像で表示されます。
- 保存する前に[カメラ][2]を押すと、正像で確認することができます。

自動保存モード（☞P.241）が「ON」に設定されているとき

- 撮影した静止画が自動的に保存されます。（プレビュー画面は表示されません。）
- 撮影操作や自動保存については、P.219「メインディスプレイを見ながら撮る」の操作を参照してください。

メインカメラで撮影するとき

- FOMA端末を開き、待受画面で、[カメラ]を押してカメラを起動し、[*]を押します。
- サブディスプレイがファインダーになります。
  サブディスプレイでは、鏡像で表示されます。撮影したプレビュー画面は正像で表示されます。
- 背面ボタンは使用できません。撮影後は[*]を押し、メインディスプレイで操作してください。

## 3 ◉（保存）を押す。

- 保存については、P.220「メインディスプレイを見ながら撮る」の操作３を参照してください。

**お知らせ**

- 撮影中にアラーム時刻やスケジュールのアラームが動作した場合は、撮影を中断しますが、動作終了後◉を押すと撮影を行うことができます。

**静止画保存中に音声電話やテレビ電話がかかってくると**

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。
- 「はい」を選び、◉を押すと、プレビュー画面に戻ります。
- 「いいえ」を選び、◉を押すと、静止画は削除され、待受画面に戻ります。

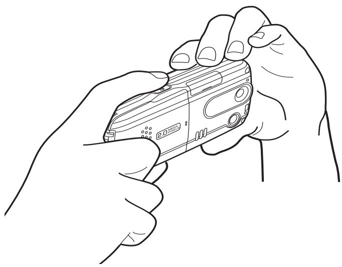



**自動終了について**

- カメラモードで、約３分間何も操作しないでおくと、自動的にカメラモードが終了し、待受画面に戻ります。未保存の静止画がある場合は、保存確認画面が表示されます。

## サブディスプレイを見ながら撮る

FOMA端末を折りたたんだまま、下図のように持って撮影してください。



## 1 待受画面で、シャッターを１秒以上深く押してカメラを起動する。



- FOMA端末を横方向にお持ちください。
- 静止画撮影画面になります。カメラからの画像がサブディスプレイに表示されます。
- ズームを利用したり、メニューに移行することができます。（☞P.231～P.242）
- 待受画面で▯（背面中央ボタン）を押してメニューを表示し、「カメラ」を選択し、▯（背面中央ボタン）を押しても静止画撮影画面が表示されます。
- カレンダーが表示されている場合 ▯（背面中央ボタン）を押してもメニューを表示できません。◺（背面上ボタン）を押してカレンダー表示を消してから操作してください。
- メインディスプレイが待受画面以外になっている場合は、カメラを起動できません。



次ページへ続く ▶▶

## 2 シャッターを押す。

- カメラシャッター音が鳴り、撮影した静止画を確認するためのプレビュー画面が表示されます。
- オートフォーカスで撮影する場合は、シャッターを押してから撮影されるまでに時間がかかります。
- カメラシャッター音は、マナーモード設定中でも鳴ります。
- カメラシャッター音は、変更することができます。（☞『基本編』P.164）
- FOMA端末を開くとメインディスプレイに表示されます。FOMA端末を閉じるか、(＊)を押すと、サブディスプレイに表示されます。
- ▱（背面下ボタン）を押して、待受画面に設定することができます。ただし、静止画の保存先がminiSDメモリーカードに設定されている場合、サブディスプレイの待受画面に設定できません。（☞『基本編』P.166）

**フォーカスロックをかけて撮影するとき**

- シャッターを半押しして、フォーカスロックをかけてから（☞P.238）、シャッターを深く押し込んで撮影します。

**自動保存モード（☞P.241）が「ON」に設定されているとき**

- 撮影した静止画が自動的に保存されます。（プレビュー画面は表示されません。）

## 3 0（背面中央ボタン）を押す。




- 保存の確認画面が表示されます。
- このあとFOMA端末を開いたときは、FOMA端末を開いて撮影したときの撮影後と同じ状態になります。以降は、P.220「メインディスプレイを見ながら撮る」の操作3と同様です。

## 4 「はい」を選び、0（背面中央ボタン）を押す。

- 撮影した静止画がマルチメディアのイメージの「カメラ撮影」フォルダに保存されます。（静止画の保存には時間がかかる場合があります。）
- シャッターを押しても保存できます。
- 保存中にFOMA端末を開いたり、閉じたりしても、保存は継続されます。
- カメラモードを終了するときは、保存後の静止画撮影画面で、0（背面中央ボタン）を1秒以上押します。

**メモリの空き容量がない、または最大保存件数（☞P.212）を超えたとき**

- FOMA 端末（本体）に保存する場合は、不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存することができます。（☞P.274）「メイン画面で操作してください」と表示されたときは、端末を開いて操作してください。
- miniSD メモリーカードに保存する場合は、「miniSD のメモリがいっぱいです」というメッセージが表示され、撮影前に自動的に保存先がFOMA端末（本体）に切り替わります。

**撮影した静止画を削除してやり直すとき**

- 「いいえ」を選び、0（背面中央ボタン）を押します。

**保存先フォルダ指定が設定されているとき**

- 設定されているフォルダに保存されます。（☞P.240）

**miniSDメモリーカードに保存するとき**

- 撮影前に保存先を切り替えておきます。（☞P.239）

お知らせ

- 撮影中にアラーム時刻やスケジュールのアラームが動作した場合、撮影は中断します。FOMA端末を開いて⦿を押し、FOMA端末を閉じるとサブディスプレイから撮影を行うことができます。
- 撮影サイズを「サブ待受：160×120」以外に設定した場合，サブディスプレイに表示される撮影画面の領域は、「TV電話：176×144」より小さくなります。

メニュー操作でカメラモードを終了するとき

1. 静止画撮影画面で▯（背面中央ボタン）を押す。
2. 「9撮影終了」を選び、▯（背面中央ボタン）を押すと、カメラモードを終了します。

静止画保存中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後にFOMA端末を閉じると、保存確認画面が表示されます。
- 「はい」を選び、▯（背面中央ボタン）を押すと、プレビュー画面に戻ります。
- 「いいえ」を選び、▯（背面中央ボタン）を押すと、静止画は削除され、待受画面に戻ります。

自動終了について

- カメラモードで、約３分間何も操作しないでおくと、カメラモードが自動的に終了し、待受画面に戻ります。未保存の静止画がある場合は、保存確認画面が表示されます。

カメラ機能を利用する

## 連続撮影する<連続撮影>

複数の静止画を連続して撮影することができます。連続撮影には、連続して撮影した静止画を１枚ずつの静止画として保存する「連写」と、明るさやピクチャーライトの色を変えて、連続して９種類の撮影ができる「ブラケット連写」、連続で撮影した５枚を重ね合わせて１枚に合成する「オーバーラップ連写」、連続して撮影した４枚を１枚の静止画内に分割して配置する「４コマ分割」があります。
「連写」と「４コマ分割」には、それぞれ次のようなパターンがあります。

### 連写

- 連写枚数は最大25枚ですが、撮影サイズにより異なります。撮影サイズごとの連写枚数は次のとおりです。

| | サブ待受：160×120 | TV電話：176×144 | メイン待受：240×320 | CIF：352×288 | VGA：480×640 |
|---|---|---|---|---|---|
| 最大連写枚数 | 25枚 | 25枚 | ９枚 | ９枚 | ６枚 |

- 画像サイズが「XGA：768×1024」、「SXGA：960×1280」、「2M記録：1224×1632」の場合、連写撮影はできません。
- 画像サイズが「CIF：352×288」、「VGA：480×640」の場合、高速連写撮影はできません。
- 画像サイズが「VGA：480×640」の場合、フレーム撮影（☞P.234）と連写撮影を組み合わせることはできません。
- 高速連写できる画像サイズは「サブ待受：160×120」、「TV電話：176×144」、「メイン待受：240×320」です。

| | |
|---|---|
| 高速 | 静止画を約0.1秒間隔で自動的に撮影します。 |
| 標準 | 静止画を約0.2秒間隔で自動的に撮影します。 |
| マニュアル | 自分のシャッター操作で静止画を連続して撮影します。 |

## ブラケット

９枚の静止画を明るさやピクチャーライトの色を変えて連続して撮影します。

- 画像サイズが「CIF：352×288」、「VGA：480×640」、「XGA：768×1024」、「SXGA：960×1280」、「2M記録：1224×1632」の場合、ブラケット連写撮影はできません。
- サブカメラ撮影時は、ブラケット連写撮影はできません。


画像の明るさ（-2）


画像の明るさ（-1）


画像の明るさ（±0）





画像の明るさ（+1）


画像の明るさ（+2）


ピクチャーライトの色（ホワイト）


ピクチャーライトの色（イエロー）

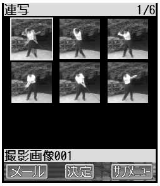

ピクチャーライトの色（レッド）


ピクチャーライトの色（パープル）

## オーバーラップ

| | |
|---|---|
| 高速オーバーラップ | ５枚の静止画を約0.1秒間隔で撮影し、自動で５枚を合成した６枚目画像を新たに作成します。 |
| 標準オーバーラップ | ５枚の静止画を約0.2秒間隔で撮影し、自動で５枚を合成した６枚目画像を新たに作成します。 |
| マニュアルオーバーラップ | ５枚の静止画を自分のシャッター操作で撮影し、自動で５枚を合成した６枚目画像を新たに作成します。 |

- 画像サイズが「XGA：768×1024」、「SXGA：960×1280」、「2M記録：1224×1632」の場合、オーバーラップ連写はできません。
- 画像サイズが「CIF：352×288」、「VGA：480×640」の場合、高速オーバーラップ連写はできません。
- オーバーラップ連写は、撮影中にカメラを動かすと正しく撮影できません。
両手でFOMA端末をしっかり持って手ぶれがおきないように撮影してください。
- サブカメラ撮影時は、オーバーラップ連写撮影はできません。






合成





- 撮影後は、５枚を重ね合わせた画像が１枚目に、重ねる前の画像が２～６枚目に表示されます。

## ４コマ分割

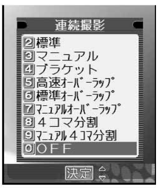
| | |
|---|---|
| ４コマ分割 | ４枚の静止画を約２秒間隔で撮影し、１枚の静止画内に４分割で配置します。 |
| マニュアル4コマ分割 | ４枚の静止画を自分のシャッター操作で撮影し、１枚の静止画内に４分割で配置します。 |

- 画像サイズが「XGA：768×1024」、「SXGA：960×1280」、「2M記録：1224×1632」の場合、４コマ分割はできません。

## 連続撮影する

撮影サイズによっては、連続撮影がグレー表示になり撮影できない、またはフレームを付けた状態で連続撮影ができない場合があります。

### 1 静止画撮影画面（☞**P.219**）で、[カメラ]キー[6]キーを押す。




- [8]キーを押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作：☞P.216～P.218）ただし、ワンタッチ操作のボタンは変更することができます。（☞P.218）

### 2 連続撮影の種類を選び、[決定]キーを押す。

**連続撮影を解除するとき**

- [0]キーを押します。

次ページへ続く

## 3 ◉またはシャッターを押す。

- １枚目が撮影され、以降自動的に撮影されます。
- 全枚数撮影すると、撮影画像一覧画面が表示されます。

連続撮影中に撮影を中断するとき

- CLRを押すと、それまで撮影した画像が表示されます。📷1（全件保存）または📷3（1件保存）を押すと画像を保存できます。（高速オーバーラップ、標準オーバーラップ、４コマ分割、マニュアル４コマ分割撮影時は、中断される前に撮影した画像は保存できません。マニュアル連写、マニュアルオーバーラップ連写時は、最後に撮影した１枚が削除されます。）
- マニュアル連写中に📷を押すと、それまで撮影した画像が表示され、📷1（全件保存）または📷3（1件保存）を押すと画像を保存できます。マニュアルオーバーラップ、マニュアル４コマ分割撮影中に📷を押すと、撮影を中断し、マニュアルオーバーラップ、マニュアル４コマ分割撮影画面に戻ります。

連続撮影中に撮影をやり直すとき

- FOMA端末をゆっくり開閉します。１枚目からの撮影になります。マニュアル連写、マニュアルオーバーラップ連写中は、CLRを押すと最後に撮影した１枚が無効になります。

マニュアル撮影に設定しているとき

- 連続撮影枚数まで、◉またはシャッターを押します。

自動保存モード（☞P.241）が「ON」に設定されているとき

- 自動的に一括保存されます。（撮影画像一覧画面は表示されません。）

## 4 📷1を押す。（全件保存）

- 保存が終わると連続撮影は解除されます。

撮影した静止画の中から1件選んで保存するとき

- 静止画を選び、📷3を押します。
- 他の静止画を追加保存するときは、◀▶で静止画を選び、📷3（1件保存）を押します。削除するときは、📷4またはCLRを押します。
- 連続撮影した静止画の保存と削除が終わると、静止画撮影画面に戻ります。

連続撮影した画像を連結して１枚の画像として保存するとき

- 📷5を押します。
- 画像連結保存をすると、１枚ずつの保存ができなくなりますので、ご注意ください。
- １枚の画像として保存するため、現在の画質設定に関わらず、一定の画質で保存されます。

撮影したすべての静止画を削除するとき

- 📷2を押します。

撮影した静止画を１件ずつ削除するとき

- 静止画を選び、📷4を押します。

４コマ分割撮影を保存するとき

- ◉を押すと、撮影した静止画が保存されます。

連続撮影の種類を変更するとき

- 操作１～２を行ってください。

お知らせ

- 「保存中」と表示中に、PWR/HLDまたは◉を押すと終了確認画面が表示され「はい」を選ぶと以降の静止画は保存されません。
- 連続撮影を設定しているときに、撮影サイズを変更すると、連続撮影は解除されます。
- 連続撮影を設定しているときに、サブカメラに切り替えると、連続撮影は解除されます。
- カメラ設定保持が「ON」に設定されているときでも、カメラモードを終了すると、連続撮影は解除されます。

連続撮影時のご注意

- 電池残量が少ないと、画面が暗くなったり、画面が乱れることがあります。
- オートでの連続撮影中は、◀▶によるズームの利用や、▲▼による明るさを調整できません。
- オーバーラップ撮影中は、マニュアルでもズーム操作できません。
- 連続撮影中に着信やアラーム動作があったりすると、撮影中の静止画は保護され、連続撮影は中止されます。オーバーラップ、４コマ分割、マニュアル４コマ分割は、保護されません。また、連続撮影中にPWR/HLDを押しても連続撮影を中止することはできますが、撮影中の静止画は保護されません。
- 電池残量が少なくなっている場合に、ピクチャーライトが強く発光しないことがあります。
- 画像連結保存は25連写の場合のみ保存できます。また、画像連結保存したあとは静止画撮影画面に戻りますので、個々の撮影画像の保存はできません。画像連結保存中に着信やアラーム動作があったりすると、連結保存画像が保護されない場合があります。

# 動画を撮影する

FOMA端末で動画を撮影（録画）することができます。

- 撮影した動画はマルチメディアのｉモーションまたはminiSDメモリーカードに保存されます。
- FOMA端末（本体）に動画を保存する場合は、「ｉモーションメール用」の長さの録画となります。
- 電池残量が少ない場合は撮影できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- 本FOMA端末で録画した「QCIF：176×144」、「Sub QCIF：128×96」サイズの動画（Mobile MP4）は、ｉモーションメール送信をすることができます。ファイルサイズ制限を「ｉモーションメール用」に設定してから録画を行ってください。（☞P.136、P.244）
- 撮影した動画を着モーション（☞『基本編』P.158）に使用する場合は、本体に録画してください。

## メインディスプレイを見ながら撮る

FOMA端末を開いて撮影します。

**1** 待受画面で、(カメラ)を押してカメラを起動し、(カメラ)(1)を押す。

**2** (2)を押す。（動画）




動画撮影画面

- 動画モードになります。
- 撮影前に被写体や目的、周りの環境に応じて、次の操作を行うことができます。
  - ■ サブディスプレイに画像を表示する（☞P.231）
  - ■ 画像サイズを設定する（☞P.243）
  - ■ 画質を設定する（☞P.243）
  - ■ 明るさを調節する（☞P.234）
  - ■ ピクチャーライトを利用する（☞P.231）
  - ■ ズームを利用する（☞P.233）
  - ■ ボタン操作一覧を表示してワンタッチ操作を確認する（☞P.216）
  - ■ AFモードを設定する（☞P.235）
  - ■ セルフタイマーを使って撮影する（☞P.232）
  - ■ ファイルサイズ制限を設定する（☞P.244）
  - ■ 撮影種別を選択する（☞P.236）
  - ■ バックライトの点灯時間の設定をする（☞P.237）
  - ■ 保存先をminiSDメモリーカードに切り替える（☞P.239）
  - ■ 保存先フォルダを指定する（☞P.240）
  - ■ ノイズキャンセラを設定する（☞P.237）

**3** (●)またはシャッターを押す。

- 中央の被写体に自動的にピントを合わせて撮影します。
- カメラ録画開始音が鳴り、撮影が開始されます。
- カメラ録画開始音は、マナーモード設定中でも鳴ります。
- 撮影を開始すると、ピクチャーライトが自動的に点灯します。撮影を終了すると、自動的に消灯します。（撮影中に消灯させることはできません。）

### フォーカスロックをかけて撮影するとき

- (0)を押し、フォーカスロックをかけてから(●)を押して撮影します。（☞P.238）または、シャッターを半押ししてフォーカスロックをかけてから、シャッターを深く押し込んで撮影します。録画中にフォーカスロックをかけることもできます。

### メインカメラとサブカメラを切り替えるとき

- (#)を押します。

次ページへ続く

## 4 撮影を止めるときは、●またはシャッターを押す。

- 残時間表示が00:00:00になったとき（撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に撮影が停止します。操作５に進みます。

## 5 1を押す。（保存）

- 撮影した動画がマルチメディアのｉモーションの「カメラ撮影」フォルダに保存されます。
- カメラモードを終了するときは、PWRを押します。

**撮影した動画を再生するとき**
- 2を押します。

**撮影した動画を削除するとき**
- 3を押し、「はい」を選び、●を押します。

**ｉモーションメールを送信するとき**
- ⓘを押します。メール作成画面が表示されます。

**保存先フォルダ指定が設定されているとき**
- 設定されているフォルダに保存されます。（☞P.240）

**miniSDメモリーカードに保存するとき**
- 撮影前に保存先を切り替えておきます。（☞P.239）
- miniSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をminiSDメモリーカードに設定して録画を開始すると「録画処理に失敗しました」と表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。次に動画モードを起動したときは、保存先がFOMA端末（本体）に変更されています。

**FOMA端末（本体）に保存する場合に、メモリの空き容量がないとき**
- 不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存することができます。（☞P.297）

**お知らせ**

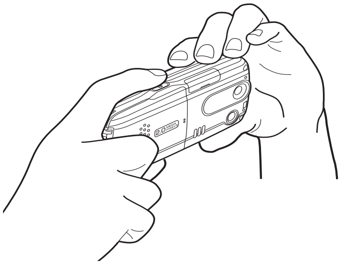
- 録画残時間表示は目安であり、撮影対象により、00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。
- 撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影が自動的に停止し保存の確認画面が表示されます。背面のボタンの操作で撮影した動画を保存／取消できます。保存／取消の方法については、P.230の操作６を参照してください。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合がありますので、ご注意ください。

**保存確認画面表示中に音声電話やテレビ電話がかかってくると**
- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。
- 「保存」を選び、●を押すと、動画が保存されます。その後、動画撮影画面に戻ります。
- 「取消」を選び、●を押すと、動画は削除されます。その後、動画撮影画面に戻ります。

**自動終了について**
- 動画撮影画面で、約３分間何も操作しないでおくと、カメラモードが自動的に終了し、待受画面に戻ります。
- 撮影中に着信を受けたくないときは、セルフモードに設定することをおすすめします。

## サブディスプレイを見ながら撮る

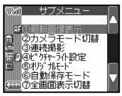
FOMA端末を折りたたんだまま、下図のように持って撮影してください。



**1** 待受画面で、シャッターを１秒以上深く押してカメラを起動する。

- FOMA端末を横方向にお持ちください。
- 静止画撮影画面になります。カメラからの画像がサブディスプレイに表示されます。

**2** （背面中央ボタン）を押す。




- カメラメニューが表示されます。

**3** （背面上ボタン）または（背面下ボタン）を押して「❷カメラモード切替」を選び、（背面中央ボタン）を押す。




- 動画モードになります。
- ピクチャーライト、ズームを利用することができます。

**フォーカスロックをかけて撮影するとき**

- シャッターを半押しして、フォーカスロックをかけてから、シャッターを深く押し込んで撮影します。

**miniSDメモリーカードに保存するとき**

- 撮影前に保存先を切り替えておきます。（☞P.239）

**4** シャッターを深く押す。

- カメラ録画開始音が鳴り、撮影が開始されます。
- カメラ録画開始音は、マナーモード設定中でも鳴ります。
- 撮影を開始すると、ピクチャーライトが自動的に点灯します。撮影を終了すると、自動的に消灯します。（撮影中に消灯させることはできません。）

**撮影中にフォーカスをあわせるとき**

- シャッターを１秒以上半押しします。

**5** 撮影を止めるときは、シャッターを深く押す。

- 残時間表示が00:00:00になったとき（撮影中にファイルサイズが制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に撮影が停止します。操作６に進みます。



次ページへ続く

## 6 「①保存」を選び、▯（背面中央ボタン）を押す。

- 撮影した動画がマルチメディアのｉモーションの「カメラ撮影」フォルダに保存されます。
- カメラモードを終了するときは、保存終了後の動画撮影画面で ▯（背面中央ボタン）を１秒以上押します。

### 撮影した動画を削除するとき

- 「②取消」を選び、▯（背面中央ボタン）を押し、「はい」を選び、▯（背面中央ボタン）押します。

### 保存先フォルダ指定が設定されているとき

- 設定されているフォルダに保存されます。（☞P.240）

### miniSDメモリーカードに保存するとき

- 撮影前に保存先を切り替えておきます。（☞P.239）
- miniSDメモリーカードに空き容量がない場合、保存先をminiSDメモリーカードに設定して録画を開始すると「録画処理に失敗しました」と表示され、カメラモードは終了し待受画面に戻ります。次に動画モードを起動したときは、保存先がFOMA端末（本体）に変更されています。

### FOMA端末（本体）に保存する場合に、メモリの空き容量がないとき

- 不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存することができます。（☞P.297）FOMA端末を開いて操作してください。

**お知らせ**

- 録画残時間表示は目安であり、撮影対象により、00:00:00より以前に撮影が自動的に停止する場合もあります。
- 撮影中にFOMA端末を開くと、撮影が自動的に停止し保存の確認画面が表示されます。前面のボタン操作で撮影した動画を保存／再生／取消できます。保存／再生／取消の方法については、P.228の操作５を参照してください。
- 動画撮影中にボタン操作を行うと、操作音が録音される場合がありますので、ご注意ください。

保存確認画面表示中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

- 着信画面が表示され、電話に出ることができます。通話終了後に保存確認画面が表示されます。
- 「保存」を選び、⦿を押すと、動画が保存されます。その後、動画撮影画面に戻ります。
- 「取消」を選び、⦿を押すと、動画は削除されます。その後、動画撮影画面に戻ります。

自動終了について

- 動画撮影画面で、約３分間何も操作しないでおくと、カメラモードが自動的に終了し、待受画面に戻ります。
- 撮影中に着信を受けたくないときは、セルフモードに設定することをおすすめします。

# 撮影時の設定を変える

## カメラを切り替える<カメラモード切替>

**1** 撮影画面で、Ⓞ1を押し、カメラモードの番号を選び、●を押す。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 静止画モード | 3 | 文字読み取りモード |
| 2 | 動画モード | 4 | バーコードリーダー |

● 電池残量が不足しているときに動画モードに切り替えようとした場合は、「電池残量が足りません」と表示され、動画モードを起動できません。十分充電してから、やり直してください。

お知らせ
● ボイスレコーダーとして起動（☞P.253）した場合、カメラモードを切り替えることはできません。

FOMA端末を閉じているときは
● カメラモード中に ▯（背面中央ボタン）を押し、「カメラモード切替」を選び、▯（背面中央ボタン）を押すと、静止画モードと動画モードが切り替わります。

## サブディスプレイに画像を表示する<ファインダー切替>

サブディスプレイをファインダーとして利用することもできます。
● 静止画モード、動画モードの場合のみ切り替えできます。

**1** **FOMA**端末を開いた静止画撮影画面（☞**P.219**）または動画撮影画面（☞**P.227**）で**FOMA**端末を閉じるか、＊を押す。

● FOMA端末を開くか、もう一度＊を押すと、画像がメインディスプレイに切り替わります。
● ボイスレコーダーとして起動した場合、＊でディスプレイを切り替えることはできません。
● サブカメラに切り替わっている場合は、＊でディスプレイを切り替えることはできません。

## ピクチャーライトを利用する<ピクチャーライト>

**1** **FOMA**端末を開いた静止画撮影画面（☞**P.219**）または動画撮影画面（☞**P.227**）でⓘ（ライト）を押す。

● ⓘ（ライト）ボタンを押すごとにピクチャーライトの設定が「ON」→「AUTO」（静止画モードのみ）→「OFF」→「ON」…の順に切り替わります。
（ディスプレイのマークで確認できます。）（☞P.213）
● FOMA端末を閉じているときは、▯（背面中央ボタン）を押し、「ピクチャーライト設定」を選び、▯（背面中央ボタン）を押します。この操作をくり返すごとにピクチャーライトの設定が「ON」→「AUTO」（静止画モードのみ）→「OFF」→「ON」…の順に切り替わります。
● 「AUTO」は静止画モードのみで利用できます。
● 「AUTO」を選ぶと、静止画モード時にまわりの明るさに応じてピクチャーライトが自動的に点灯（発光）します。点灯したピクチャーライトを消すには、ⓘ（ライト）を押してください。
● ピクチャーライトの色を設定しておくこともできます。（☞P.237）
● カメラ設定保持が「OFF」に設定されている場合（☞P.242）、カメラモードを終了するとピクチャーライトの色設定はホワイトに戻ります。
● 静止画モードでAFモードが「接写」に設定されている場合、ピクチャーライトは強く発光しません。

## メインカメラとサブカメラを切り替える

**1** FOMA端末を開いた静止画撮影画面（☞P.219）または動画撮影画面（☞P.227）で#を押す。

お知らせ

メインカメラ

- 他の人や動物、風景などを撮影するときに使うと便利です。また、文字読み取り（OCR）やバーコードリーダーを利用するときに使います。ディスプレイには、自分が見たとおりに表示されます。（ディスプレイに表示された向きで撮影されます。）

サブカメラ

- ご自分を撮影するときに使うと便利です。メインディスプレイには鏡像表示されます。（ディスプレイ表示とは左右が逆に撮影されます）。

## セルフタイマーを使って撮影する<セルフタイマー>

セルフタイマーを使って撮影することができます。ご自分も入った画像を撮影するときなどに便利です。
セルフタイマー設定中に、●またはシャッターを押すと、セルフタイマーが動作します。セルフタイマー動作中は、セルフタイマー音とともにピクチャーライトが点滅し、セルフタイマー音が鳴りはじめてから、約10秒後または約５秒後に撮影されます。

- お買い上げ時は、「５秒」に設定されています。

**1** 静止画撮影画面（☞P.219）で、📷9を押す。




セルフタイマーで動画を撮影するとき

- 動画撮影画面（☞P.227）で📷8を押します。

**2** 1を押す。（ON：設定する）

- 「⏲5」または「⏲10」が点灯します。

セルフタイマーを解除するとき

- 2を押します。（「⏲5」または「⏲10」消灯）

時間を変更するとき

- 3を押し、1（５秒）または2（10秒）を押します。

**3** ●またはシャッターを押す。

- タイマー音が鳴り、セルフタイマーが動作します。
  （「⏲5」または「⏲10」とピクチャーライトが点滅）

タイマー動作中は

- 時間を10秒に設定したとき（静止画モード）
  ０秒、２秒、４秒、５秒、６秒、８秒目にカウント音が鳴ります。
- 時間を10秒に設定したとき（動画モード）
  ０秒、２秒、４秒、６秒、７秒、８秒、９秒目にカウント音が鳴ります。
- 時間を５秒に設定したとき
  １秒ごとにカウント音が鳴ります。

撮影を中止するとき

- CLRを押します。このとき、セルフタイマーは設定されたままです。

**4** 約10秒後または約５秒後に、自動的に撮影される。

- カメラシャッター音が鳴ります。
- 静止画モードの場合、撮影後もセルフタイマーは解除されません。セルフタイマーを解除する場合は、操作2で2を押してください。

お知らせ
- カメラモードを終了すると、セルフタイマーが解除されます。セルフタイマーは、カメラ設定保持が「ON」の場合でも解除されます。

セルフタイマー動作中のご注意
- セルフタイマー動作中に、●を押す（FOMA端末を閉じているときはシャッターを押す）と、その時点で撮影されます。
- 着信やアラーム動作があったり、PWR/HLDを押したりすると、撮影は中止されます。
- 静止画モードでは、セルフタイマー動作中は、◐◑によるズームの利用や、◒◓による明るさの調整はできません。
- セルフタイマー動作中にファインダーを切り替える（FOMA端末の開閉または＊を押す）またはCLRを押すとセルフタイマーは中断されますが、設定は保持されます。

## デジタルズームを利用する<ズーム切替>

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）で、◐または◑を押す。

- ズームバーが表示されます。
- 動画撮影画面（☞P.227）の場合は、すでにズームバーが表示されています。
- ◑を押すとズームアップ（被写体が大きくなる）します。◐を押すとズームダウン（被写体が小さくなる）します。◑を押し続けると徐々にズームアップ、◐を押し続けると徐々にズームダウンします。
- ⓒを押すと最大倍率になります。このときさらにⓒや◑を押すと2倍に拡大されます。（静止画モードのみ）ⓜを押すと等倍（元の大きさ）になります。
- FOMA端末を閉じているときは、▯（背面上ボタン）を押すとズームアップ、▯（背面下ボタン）を押すとズームダウンします。▯（背面上ボタン）を押し続けると徐々にズームアップ、▯（背面下ボタン）を押し続けると徐々にズームダウンします。
- ズームできる範囲（倍率）は撮影サイズによって異なります。

### メインカメラで撮影時

| カメラモード | 撮影サイズ | | ズームの段階（最大倍率） | |
|---|---|---|---|---|
| 静　止　画 | サブ待受： | 160×120 | 25段階 | （約20.4倍） |
| | TV電話： | 176×144 | 21段階 | （約13.9倍） |
| | メイン待受： | 240×320 | 18段階 | （約10.2倍） |
| | CIF： | 352×288 | 14段階 | （約6.95倍） |
| | VGA： | 480×640 | 9段階 | （約4.1倍） |
| | XGA： | 768×1024 | 6段階 | （約3.19倍） |
| | SXGA： | 960×1280 | 4段階 | （約2.55倍） |
| 動　　画 | Sub QCIF： | 128×96 | 16段階 | （約4.66倍） |
| | QCIF： | 176×144 | 13段階 | （約3.4倍） |
| | HQVGA： | 240×176 | 10段階 | （約2.5倍） |
| | QVGA： | 320×240 | 14段階 | （約3.82倍） |

### サブカメラで撮影時

| カメラモード | 撮影サイズ | | ズームの段階（最大倍率） | |
|---|---|---|---|---|
| 静　止　画 | TV電話： | 176×144 | 2段階 | （約2.0倍） |
| 動　　画 | Sub QCIF： | 128×96 | 2段階 | （約2.0倍） |
| | QCIF： | 176×144 | 2段階 | （約2.0倍） |

- 撮影サイズ変更、メイン／サブカメラ切替またはカメラモードを終了すると、等倍に戻ります。



次ページへ続く

**お知らせ**

**撮影時のご注意**

- 充電を行いながら撮影をしないでください。（☞P.209）
- 目にピクチャーライトを近づけた状態で使用しないでください。
- 手ぶれに注意してください。撮影サイズが大きくなったり、撮影画質が高画質になるほど、手ぶれしやすくなります。撮影するときにFOMA端末が動くと、画像がぶれる原因となります。FOMA端末が動かないようしっかり持って撮影するか、セルフタイマー（☞P.232）で撮影してください。
- 撮影する場所に応じて、明るさを設定してください。（☞P.234）
また、暗い場所ではピクチャーライトを補助光としてご利用ください。（☞P.231、P.237）

**撮影・編集の前に**

- メモリ警告表示が表示された場合、マルチメディアのイメージやｉモーションの画像を削除し、メモリを確保してから撮影または画像の編集をしてください。
  - Ⓜ：イメージのメモリの空き容量が6Kバイト未満になったとき、または静止画の保存件数が300件に達したときに表示されます。
  - Ⓜ：ｉモーションのメモリの空き容量が10Kバイト未満になったとき、または動画／ｉモーションの保存件数が100件に達したときに表示されます。
  - Ⓜ：イメージとｉモーションのメモリの空き容量について、上記の両方の状態が重なったときに表示されます。
- miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったときは、「miniSDのメモリがいっぱいです」と表示されます。miniSDメモリーカード内のイメージまたはｉモーションの画像を削除し、空き容量を確保してから撮影または画像の編集をしてください。

## 明るさを設定する＜明るさ切替＞

明るさを５段階で調整することができます。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）または動画撮影画面（☞**P.227**）で、◯（明るくなる）◯（暗くなる）を押して調整する。

- ディスプレイのマークで確認できます。（☞P.213）
- カメラモードを終了すると、「±0」（標準）に戻ります。
- サブカメラも同じ方法で調整することができます。

## フレームを重ねて撮影する＜フレーム撮影＞

撮影する静止画にフレームを設定し、フレーム付きで撮影することができます。

- 連続撮影でも利用できます。（それぞれの静止画にフレームが付きます。）
- カメラ撮影時にフレームを付けられるサイズは、「サブ待受：160×120」、「TV電話：176×144」、「メイン待受：240×320」、「CIF：352×288」、「VGA：480×640」です。撮影後に画像編集機能でフレームを付けられる撮影サイズと同じです。
- ４コマ分割、マニュアル４コマ分割以外の連続撮影の場合、「VGA：480×640」にフレームを付けることはできません。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）で、◎7を押す。



**2** 1を押す。（プリインストールフレーム）




- フレーム一覧が表示されます。

サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画を利用するとき
- 2を押します。

フレームを解除するとき
- 3を押します。

**3** フレームを選び、◉を押す。
- 選択したフレームが画面に表示されます。

**4** ◉を押す。
- 選択したフレームと被写体の合成された画面が表示されます。

**5** ◉またはシャッターを押す。
- フレーム付きの静止画が撮影されます。

お知らせ
- フレーム撮影を設定しているときに撮影サイズを変更すると、フレーム撮影は解除されます。
- フレーム撮影を設定しているときにメインカメラをサブカメラに切り替えると、フレーム撮影は解除されます。

## AFモードを設定する＜AFモード切替＞

被写体に合わせて、AF（オートフォーカス）モードを切り替えることができます。
- AFモード切替の状態は、カメラモードが終了するまで記憶されます。
- お買い上げ時は、「標準」に設定されています。

| | |
|---|---|
| 標準 | 中央の被写体に自動的にピントを合わせます。 |
| 接写 | 近距離（約10～20cm）の撮影に適したモードです。 |
| 人物 | 人物を撮影するときに適したモードです。 |
| 風景 | 景色を撮影するときに適したモードです。 |
| マニュアルフォーカス | 手動でピントを合わせることができます。 |

**1** 静止画撮影画面（☞P.219）または動画撮影画面（☞P.227）で、📷5を押す。
- AFモード切替画面が表示されます。

**2** AFモードを選び、◉を押す。

マニュアルフォーカスを設定するとき
- 5を押します。
- フォーカス調整バーが表示されたら、◐か◑を押してピントを調整し、◉を押します。
- ◉を押したあと、もう一度マニュアルフォーカスでピントを調整したいときは、AFモード切替画面で再び5を押してください。

カメラ機能を利用する

次ページへ続く ▶▶

**お知らせ**
- ボイスレコーダーとして起動（☞P.253）、または動画撮影種別が「音声のみ」の場合、AFモードを切り替えできません。
- カメラ設定保持が「OFF」に設定されている場合（☞P.242）、カメラモードを終了すると、AFモードは「標準」になります。

## 映像と音声の組み合わせを設定する＜撮影種別選択＞

動画撮影の種類を「映像＋音声」、「映像のみ」、「音声のみ」に設定することができます。
- お買い上げ時は、「映像＋音声」に設定されています。

**1** 動画撮影画面（☞**P.227**）で、ⓒ7を押す。



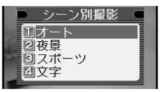

**2** 設定する撮影種別を選び、●を押す。

**お知らせ**
- 「音声のみ」に設定後、他の撮影種別に設定すると画像サイズが「176×144」に変更されます。
- 撮影を終了すると、「映像+音声」に戻ります。
- ボイスレコーダーとして起動（☞P.253）した場合、撮影種別を選択できません。

## 撮影環境や被写体に応じた設定を行う＜シーン別撮影＞

自然な色合いやピントで撮影できるよう、静止画撮影時は撮影環境や被写体に応じて「オート」（自動）、「夜景」、「スポーツ」、「文字」を設定することができます。
- サブカメラで撮影するときは、設定できません。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）で、ⓒ8を押す。




| | |
|---|---|
| オート | 周りの環境に応じて自動的に調整します。 |
| 夜景 | 夜景など光の少ない場所を撮影する場合に適した設定です。 |
| スポーツ | スポーツなど動きの多い被写体を撮影する場合に適した設定です。 |
| 文字 | 白と黒などコントラストの激しい被写体を撮影する場合に適した設定です。 |

**2** シーンを選び、●を押す。

- 設定したシーンに応じてマークが表示されます。（☞P.213）

**お知らせ**
- カメラモードを終了すると、「オート」に戻ります。
- 夜景など光の少ない場所を撮影する場合は、手ぶれに注意して撮影してください。

カメラ機能を利用する

## 撮影時のバックライトの点灯時間を設定する＜点灯時間設定＞

動画撮影時、バックライトの点灯時間を設定することができます。
- お買い上げ時は、「照明設定に従う」に設定されています。

**1** 動画撮影画面（☞**P.227**）で、(📷)(9)を押す。

- 点灯時間設定画面が表示されます。

**2** (2)を押す。（常に**ON**）

- 常時点灯します。（ただし、ファインダー以外の画面ではバックライトの点灯時間は照明時間設定に従います。）

照明設定に従うとき
- (1)を押します。
- 照明時間設定に従ってバックライトが点灯します。（☞『基本編』P.176）

## ピクチャーライトの色を設定する＜ピクチャーライト色変更＞

静止画撮影時や動画撮影時のピクチャーライトの色をそれぞれ設定することができます。
- ピクチャーライトの点灯方法については、P.231を参照してください。
- お買い上げ時は、「ホワイト」に設定されています。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）または動画撮影画面（☞**P.227**）で、(📷)(0)を押す。（ピクチャーライト色変更）




**2** ピクチャーライトの色を選び、(●)を押す。

- 選択された色でピクチャーライトが点灯します。

お知らせ
- カメラ設定保持（☞P.242）が「OFF」の場合、カメラモード終了時にピクチャーライトの色は「ホワイト」に戻ります。カメラ設定保持が「ON」の場合、ここで設定した内容が保持されます。
- ピクチャーライトは、暗い場所での撮影を補助するものであり、通常のカメラのストロボのような光量はありませんので、ご注意ください。
- ピクチャーライトは、色あいが個々に多少異なる場合がありますが、故障ではありません。補助光としてお使いください。

## 音声のノイズを少なくする＜ノイズキャンセラ＞

動画撮影画面で、音声用のノイズキャンセラを設定することができます。
- お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

**1** 動画撮影画面（☞**P.227**）で、(📷)(＊)を押す。






次ページへ続く

## 2 (1)を押す。（ON：設定する）

● ノイズキャンセラが設定されます。

ノイズキャンセラを設定しないとき
● (2)を押します。

お知らせ
● 動画撮影種別（☞P.236）が「映像のみ」の場合、ノイズキャンセラを設定できません。
● ノイズキャンセラでは、通話を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

# フォーカスロックで撮影する<フォーカスロック>

ピントを合わせた状態でフォーカスをロックして、構図を変えて撮影できます。

## 1 静止画撮影画面（☞**P.219**）または動画撮影画面（☞**P.227**）で被写体にピントを合わせて、(0)を押すか、シャッターを半押ししたまま構図を変える。

● フォーカスがロックされます。
　■ ●（赤色）. . . . . . .フォーカスを合わせているとき
　■ ●（緑色）. . . . . . .フォーカスがロックされたとき
● フォーカスがロックされると音が鳴ります。（静止画撮影時のみ）
● 静止画モード、動画モード、バーコードリーダーモードのときは、(0)を押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作：☞P.216〜P.218）ただし、ワンタッチ操作のボタンは変更することができます。（☞P.218）

フォーカスロックをやり直すとき
● (0)を押した場合は、(0)を押すとフォーカスロックが解除されますので、再度(0)を押し直します。
● シャッターを半押しした場合、シャッターから指を離し、もう一度半押しします。

## 2 (●)を押すか、シャッターを深く押す。

● (0)でフォーカスロックした場合は、(●)を押すと撮影されます。シャッターの半押しでフォーカスロックした場合は、シャッターを深く押すと撮影されます。
● 被写体との距離は変えないでください。

お知らせ
AFモード切替がマニュアルフォーカス以外のとき
● フォーカスがロックされていない状態で(●)を押した場合は、押した時点で自動的にオートフォーカスが作動します。
● フォーカスがすでにロックされている状態で(●)を押した場合、オートフォーカスは作動しません。
● 動画撮影中にシャッターを１秒以上半押しすると、再度フォーカスロックが行われます。撮影中に被写体との距離が変化してピントが合わなくなったときにご使用ください。ただし、フォーカスロックするときに雑音が入ることがありますのでご注意ください。

## miniSDメモリーカードに保存する<本体⇔miniSD切替>

撮影した静止画や動画をminiSDメモリーカードに保存することができます。
- あらかじめFOMA端末のminiSDメモリースロットにminiSDメモリーカードを装着しておいてください。（☞P.333）
- お買い上げ時は、FOMA端末（本体）に設定されています。

### 1 miniSDメモリーカードを装着し、静止画撮影画面（☞P.219）で、📷#を押す。

- 「#本体⇔miniSD切替」がグレー表示になっている場合、miniSDメモリーカードが装着されていません。
- 保存先が変更され、静止画撮影画面に戻ります。
  設定内容に応じてminiSDメモリーカードマークの色が変わります。
  - SD（グレー）……保存先がFOMA端末（本体）のとき
  - SD（ピンク）……保存先がminiSDメモリーカードのとき
- miniSD メモリーカードに保存できる動画の長さは miniSD メモリーカードのメモリにより異なります。映像が含まれる動画の場合、最大の長さは約１時間です。

**動画撮影画面（☞P.227）で設定するとき**
- 📷#（本体⇔miniSD切替）を押します。

**FOMA端末（本体）に保存するとき**
- miniSDメモリーカードに保存するように設定されているときに、操作１を行います。
- FOMA端末（本体）に動画を保存する場合、「ｉモーションメール用」の長さの録画となります。

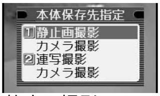
**お知らせ**
- 保存先をminiSDメモリーカードにしてカメラ設定保持を「ON」に設定しても、カメラを起動したときにminiSDメモリーカードが挿入されていない場合、自動的に保存先はFOMA端末（本体）に切り替わります。
- カメラ設定保持（☞P.242）が「OFF」の場合、カメラモード終了時に保存先はFOMA端末（本体）に戻ります。カメラ設定保持が「ON」の場合、ここで設定した内容が保持されます。
- miniSDメモリーカードに保存した静止画の確認については、P.342を参照してください。
- 保存先フォルダの静止画が400枚より多くなると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに静止画が保存されます。
- 保存先がminiSDメモリーカードに設定されている場合、撮影画像は「カメラフォルダxxx」（フォルダが複数ある場合は「xxx」の数字が最も大きなフォルダ）に保存されます。
- 撮影画像を miniSD メモリーカードに保存するときは、DCF1.0準拠（ExifVer.2.2、JPEG準拠）の形式で保存されます。
- 「DCF」とは、（社）電子情報産業技術協会（JEITA）で主として、デジタルカメラなどの画像ファイル等を、関連機器間で便宜に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。ただし、「DCF規格」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
- 「Exif」とは、（社）電子情報産業技術協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマットです。
- 静止画モードでは、保存先がminiSDメモリーカードに設定されていても、miniSDメモリーカードの空き容量が不足した場合、自動的に保存先がFOMA端末（本体）に切り替わります。

## 保存先フォルダを指定する＜本体保存先指定＞

撮影した静止画や動画をFOMA端末（本体）に保存するときのフォルダを指定することができます。

- お買い上げ時は、静止画撮影、連写撮影ともに保存先はマルチメディアのイメージの「カメラ撮影」フォルダ、動画撮影はマルチメディアのｉモーションの「カメラ撮影」フォルダに設定されています。
- 保存先フォルダを指定する場合は、あらかじめフォルダを作成してください。（☞P.276）

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）または動画撮影画面（☞**P.227**）で、📷を押し、「■本体保存先指定」を選び、●を押す。




静止画撮影画面で本体保存先指定を選んだ場合

**2** 1を押す。（静止画撮影）

### 連写撮影の保存先を変更するとき

- 2を押し、1（既存フォルダ選択）または2（自動フォルダ作成）を押します。
- 「既存フォルダ選択」を選んだ場合、保存するフォルダを選び、●を押します。
- 「自動フォルダ作成」を選んだ場合、連写撮影するたびに新規フォルダを作成し、その中に保存します。すでにフォルダが20個作成されているときは、撮影した画像はカメラ撮影フォルダに保存されます。

**3** 保存するフォルダを選び、●を押す。

### 動画の保存先を変更するとき

- 保存するフォルダを選び、●を押します。

**お知らせ**

- カメラ設定保持（☞P.242）が「OFF」の場合、カメラモード終了時に本体保存先はどちらも「カメラ撮影」フォルダに戻ります。カメラ設定保持が「ON」の場合、ここで設定した内容が保持されます。
- 撮影した画像をminiSDメモリーカードに保存するときは、フォルダを指定できません。

## オリジナルモードを保存する＜オリジナルモード＞

静止画撮影時の設定をお好みに合わせて、２種類まで設定することができます。設定したオリジナルモードを呼び出すと、お好みの設定に切り替えることができます。

- オリジナルモードに登録できる項目は、画像サイズ、画質、ピクチャーライトの「ON」／「AUTO」／「OFF」の設定、ピクチャーライトの色、保存先（本体保存先指定を含む）、AFモード切替、連続撮影、シーン別撮影、セルフタイマーです。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）で、登録したい設定を選択したあと、📷＊を押す。

- オリジナルモード画面が表示されます。

**2** 3を押す。（設定１へ保存）

設定２へ保存するとき
- 4を押します。

設定を呼び出すとき
- 1（設定１を呼出）または2（設定２を呼出）を押します。
- FOMA端末を閉じているときは、▯（背面中央ボタン）を押し、「オリジナルモード」を選び、▯（背面中央ボタン）を押すと「設定１」が呼び出されます。もう一度同じ操作をくり返すと「設定２」が呼び出されます。

保存内容を確認するとき
- 5を押します。
- 設定１の登録内容が表示されます。
- 設定２に切り替えるときは、i（切替）を押します。
- お買い上げ時は、次のとおり設定されています。

| | 設定１ | 設定２ |
|---|---|---|
| 画像サイズ | ２M記録：1224×1632 | メイン待受：240×320 |
| 画質 | SUPER FINE | NORMAL |
| AFモード | 標準 | 人物 |
| ピクチャーライト | OFF | OFF |
| ピクチャーライト色 | ホワイト | ホワイト |
| 保存先 | miniSDメモリーカード | 本体<br>● 静止画撮影：「カメラ撮影」フォルダ<br>● 連写撮影：「カメラ撮影」フォルダ |

お知らせ
- カメラ設定保持（☞P.242）を「ON」に設定すると、現在の設定内容は次回、カメラモード起動時に自動的に引き継がれます。設定を使い分けるときに、オリジナルモードをお使いください。

## 自動保存モードを設定する＜自動保存モード＞

撮影した静止画を自動的に保存するように設定することができます。
- 撮影した静止画はminiSDメモリーカードか、本体保存先指定（☞P.240）で指定したフォルダに自動的に保存されます。
- miniSDメモリーカードに保存するときは、撮影前に保存先を切り替えておきます。（☞P.239）
- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）で、📷を押し、「■自動保存モード」を選び、●を押す。




**2** 1を押す。（**ON**：自動保存する）

自動保存しないとき
- 2を押します。

次ページへ続く

お知らせ
- カメラ設定保持（☞P.242）が「OFF」の場合、カメラモード終了時に自動保存モードは「OFF」に戻ります。カメラ設定保持が「ON」の場合、ここで設定した内容が保持されます。
- 自動保存モードを「ON」に設定すると、撮影後のプレビュー画面は表示されません。
また、静止画保存前の編集などの操作はできなくなります。

## 画像をディスプレイいっぱいに表示する<全画面表示切替>

カメラモードで表示されるマークを消し、静止画をメインディスプレイやサブディスプレイいっぱいに表示することができます。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）で、◎を押し、「■全画面表示切替」を選び、◉を押す。

- 撮影サイズが「TV電話：176×144」または「CIF：352×288」の場合、全画面表示を行うことはできません。
- 静止画撮影画面やプレビュー画面では、view を押しても切り替えることができます。
- 全画面表示を解除するには、もう一度同じ操作を行います。

お知らせ
- カメラモードを終了すると、全画面表示は解除されます。

## 撮影の設定を初期状態に戻さないようにする<カメラ設定保持>

カメラ設定保持機能を「ON」に設定すると、カメラモードを終了したときに、静止画撮影、動画撮影の各設定を記憶しておくことができ、次回カメラモードにしたときも同じ状態で利用することができます。設定を記憶できる項目は次のとおりです。

- 静止画撮影
画像サイズ、画質、セルフタイマーの時間設定、ピクチャーライトの色設定、本体⇔miniSD切替、自動保存モード、FOMA端末（本体）の保存先指定、AFモード切替
- 動画撮影
画像サイズ、画質、AFモード切替、ファイルサイズ制限、点灯時間設定、ノイズキャンセラ設定、本体⇔miniSD切替、セルフタイマーの時間設定、FOMA端末（本体）の保存先指定、ピクチャーライトの色設定
- お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）または動画撮影画面（☞**P.227**）で、◎を押し、「■カメラ設定保持」を選び、◉を押す。

**2** 1を押す。（**ON**：設定を保持する）

初期状態に戻すとき
- 2を押します。

お知らせ
- カメラ設定保持が「OFF」の場合、カメラモード終了時に画質は、静止画・動画ともに「NORMAL」に戻ります。カメラ設定保持が「ON」の場合、ここで設定した内容が保持されます。
- 静止画撮影で、2とおりの設定を使い分けたいときは、オリジナルモード（☞P.240）のご利用をおすすめします。

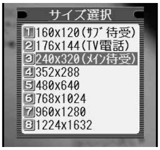
# 画像サイズや画質などを設定する

画像サイズや画質を目的に合わせて変更することができます。
- 画像サイズを変更した場合、フレーム撮影、連続撮影の設定は「OFF」になります。

## 画像サイズを設定する<画像サイズ選択>

静止画や動画の画像サイズを設定することができます。
- 各サイズについて詳しくは、P.211を参照してください。
- お買い上げ時は、静止画は「メイン待受：240×320」、動画は「QCIF：176×144」に設定されています。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）または動画撮影画面（☞**P.227**）で、📷3を押す。



静止画撮影画面

- 静止画撮影画面または動画撮影画面で5を押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作：☞P.216〜P.218）ただし、ワンタッチ操作のボタンは変更することができます。（☞P.218）

**2** サイズを選び、●を押す。

- 設定したサイズに応じたマークが表示されます。（☞P.213〜P.214）

**お知らせ**
- カメラ設定保持（☞P.242）が「OFF」に設定されている場合、静止画撮影終了時に撮影サイズは「メイン待受：240×320」に、動画撮影終了時に撮影サイズは「QCIF：176×144」にそれぞれ戻ります。カメラ設定保持が「ON」に設定されている場合、ここで設定した内容が保持されます。
- 動画撮影の場合、画像サイズを「HQVGA：240×176」または「QVGA：320×240」にして録画する場合は、保存先をminiSDメモリーカードに設定する必要があります。（☞P.239）
- 画像をｉモードメールに添付して送信する場合、画像サイズや画質により通信料金は異なります。
- ボイスレコーダーとして起動（☞P.253）、または動画撮影種別（☞P.236）が「音声のみ」の場合、画像サイズを選択できません。
- サブカメラ撮影時は、画像サイズを「VGA：480×640」、「XGA：768×1024」、「SXGA：960×1280」、「2M記録：1224×1632」に設定できません。

## 画質を設定する<画質選択>

静止画や動画の画質を設定することができます。
静止画には、「ECONOMY」、「NORMAL」、「FINE」、「SUPER FINE」、「ｉモードメール用」、「大容量添付メール用」を設定することができます。動画には、「ECONOMY」、「NORMAL」、「FINE」を設定することができます。
「ECONOMY」→「NORMAL」→「FINE」…の順に画質がきれいになりますが、データ量が多くなり登録できる枚数、撮影できる時間は少なくなります。
- 画像サイズが「VGA：480×640」、「XGA：768×1024」、「SXGA：960×1280」、「2M記録：1224×1632」のときは画質を「ｉモードメール用」に設定することはできません。
- 「SUPER FINE」に設定することができるのは、画像サイズが「XGA：768×1024」、「SXGA：960×1280」、「2M記録：1224×1632」の場合です。ただし、保存先がminiSDメモリーカードになっていないときは「SUPER FINE」に設定することができません。
- 保存先をminiSDメモリーカードに設定している場合、動画撮影で画像サイズが「QVGA：320×240」の場合、画質は「FINE」以外を選択できません。また、保存先がFOMA端末（本体）に設定されている場合は、画面サイズや画質を選択することはできません。
- ｉモードメールに添付する場合は、「ｉモードメール用」を選択してください。ｉモードメールに添付可能なサイズで「ECONOMY」に近い画質で撮影します。

次ページへ続く

- ｉモードメールの大容量添付ファイルとして添付する場合は、「大容量添付メール用」を選択してください。大容量メールに添付可能なサイズでできるだけ高画質になるように撮影します。
- 静止画の画質に「ｉモードメール用」「大容量添付メール用」を選択した場合、FOMA端末（本体）に保存します。保存先をminiSDメモリーカードに切り替えると画質は「NORMAL」に戻ります。
- お買い上げ時は、静止画・動画ともに「NORMAL」に設定されています。
- 各画質の撮影枚数、撮影時間の目安について詳しくは、P.212を参照してください。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）または動画撮影画面（☞**P.227**）で、📷4を押す。



静止画撮影画面

- 動画の場合、8を押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作☞P.216〜P.218）

**2** 画質を選び、●を押す。

- 設定した画質に応じてマークが表示されます。（☞P.213〜P.214）

**お知らせ**

- 画質を優先して撮影したいときは、「FINE」または「SUPER FINE」に設定してください。
- 「FINE」や「SUPER FINE」で撮影した静止画を通常メールでｉモードメール送信する場合、ファイルサイズが10000バイトを超えるときは9000バイト以下になるように圧縮されます。また、「CIF：352×288」より大きい画像は「メイン待受：240×320」に縮小されます。通信料金は、送信する画像のサイズや画質により異なります。
- ボイスレコーダーとして起動（☞P.253）、または動画撮影種別（☞P.236）が「音声のみ」の場合、画質を選択できません。

## ファイルサイズ制限を設定する<ファイルサイズ制限>

動画を撮影する前に、保存するファイルサイズを制限しておくことができます。

- ｉモーションメールで送信する場合は、「ｉモーションメール用」を選択してください。メール添付可能なサイズで録画することができます。
- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「Sub QCIF：128×96」のときのみ、「ｉモーションメール用」に設定できます。
- 保存先がFOMA端末（本体）に設定されているときは、「制限なし」を選択することができません。あらかじめ保存先をminiSDメモリーカードに設定してください。（☞P.239）
- お買い上げ時は、「ｉモーションメール用」に設定されています。

**1** 動画撮影画面（☞**P.227**）で、📷6を押す。（ファイルサイズ制限）




**2** 設定するファイルサイズを選び、●を押す。

お知らせ

- 画像サイズを「HQVGA：240×176」または「QVGA：320×240」にして録画する場合は、「ｉモーションメール用」に設定できません。また、保存先をminiSDメモリーカードに設定する必要があります。（☞P.239）
- ファイルサイズ制限を「制限なし」に設定した場合、録画可能時間は最大約１時間になります。（撮影種別設定が「音声のみ」の場合を除く）

メール送信

# 撮影後すぐに静止画または動画を送る

静止画または動画撮影後、保存前のプレビュー画面から、撮影した静止画や動画を添付してｉモードメールを送ることができます。

- 静止画の場合、２つの送信方法があります。（☞P.136）
  - ■ 通常メール
    静止画をｉモードメールに添付してFOMA端末やパソコンなどのe-mailに送信することができます。静止画のファイルサイズが10000バイトを超える場合、9000バイト以下になるように圧縮されます。「CIF：352×288」より大きい画像は、「メイン待受：240×320」に縮小されます。
  - ■ 大容量添付メール
    静止画をｉモードメールに添付してパソコンなどのe-mailに送信することができます。（ｉモード端末には送信できません。）100Kバイト以下の静止画は圧縮せずに送ります。静止画のファイルサイズが100Kバイトを超える場合、100Kバイト以下になるように圧縮されます。
- 撮影した動画はｉモーションメールとして送信します。
- 撮影した動画は、95Kバイトを超えると送信することはできません。

**1** 静止画プレビュー画面（☞**P.219**の操作２）または動画プレビュー画面（☞**P.228**の操作５）で、ⓘ（メール）を押す。



静止画の場合

画質選択で「ｉモードメール用」が設定されているか、撮影した静止画のファイルサイズが10000バイト以下の場合
- 操作３に進みます。

動画の場合
- 操作２のメール作成画面が表示されます。

**2** 静止画の場合、1を押す。（通常メール）



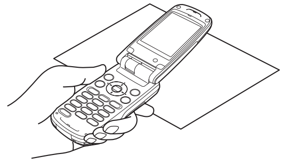

大容量添付メールとして送信する場合
- 2を押します。
- メール作成画面が表示され、画像サイズを圧縮した画像が添付されます。

動画の場合
- 操作３に進みます。

**3** ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

# バーコードリーダーを利用する



バーコード（JANコード、QRコード）をカメラを利用して読み取ることにより、Phone To、Mail To、Web To、ブックマーク登録、FOMA端末（本体）電話帳登録、文字表示、ｉアプリToができます。また、読み取った文字のコピーや貼り付け、メロディの再生や保存、画像の表示や保存を行うこともできます。

- JANコードとQRコード以外のバーコード・二次元コードは読み取ることができません。
- QRコードの連結機能（連結QRコード）に対応しています。

## バーコード（JANコード、QRコード）から文字を読み取って利用する

バーコード（JANコード、QRコード）から読み取った文字を利用して、ｉモード接続、ｉモードメール作成、音声電話やテレビ電話の発信、ｉアプリの起動などを行うことができます。

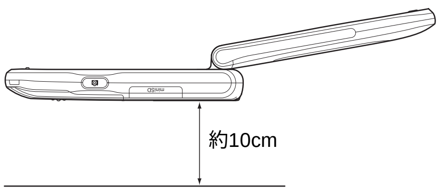
- バーコードリーダーは、AFモードの接写撮影で行います。（☞P.235）
  接写撮影の焦点距離は約10cmです。
- バーコードの種類やサイズによっては、読み取れないことがあります。
- 読み取ったメールアドレスや電話番号をFOMAカード電話帳に直接登録することはできません。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、QRコードのバージョンによっては読み取れない場合があります。

**1** 静止画撮影画面（☞**P.219**）で、[カメラ][1]を押す。（カメラモード切替）

- カメラモード切替画面が表示されます。

**2** [4]を押す。（バーコードリーダー）

- バーコードリーダーモードになります。
- バーコード（JANコード、QRコード）の認識は、真正面から焦点距離約10cmを守って、バーコード／QRコードおよび本FOMA端末をなるべく動かさずに行うと認識しやすくなります。
- 待受画面で、[●][9][6]を押してもバーコードリーダーを起動できます。




**3** 読み取るバーコード（**JAN**コード、**QR**コード）を、メインディスプレイの中央に表示する。




- 被写体がJANコードかQRコードかは、FOMA端末が自動的に判断します。
- 画像が暗い場合は、[i]（ライト）を押し、ピクチャーライトを点灯してください。
- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明がじかに反射しないように角度を調節してください。

## 4 ◉を押す。




- （0 わをん）を押して、フォーカスロックをかけることができます。認識しにくいコードでも認識できることがあります。焦点が合ったときは「ピッピッ」と鳴ります。
- バーコード（JANコード、QRコード）の読み取りが開始されます。読み取りが完了すると、完了音が鳴り、読み取り結果が表示されます。
- 読み取りを開始してから 1 分経過しても読み取れなかったときは、エラー音（ピッピッピッ）が鳴って「読み取りできませんでした」と表示され、操作３の画面に戻ります。

## 5 読み取った文字を選択し、◉を押す。

- 読み取った文字が青く表示されているときは、文字を選択することができます。
- 読み取った文字の内容に応じて、ｉモード接続確認画面（URLのとき）、メール作成画面（メールアドレスのとき）、電話発信画面（電話番号のとき）が表示されます。
- 電話帳データやメールデータ、ブックマークデータ、ｉアプリデータの場合は、電話帳登録確認画面やメール作成確認画面、Bookmark登録確認画面、ｉアプリ起動確認画面が表示されます。
- 読み取った内容によっては、◉を押しても表示が変わらないことがあります。

### 読み取った文字の一部をコピーするとき

- 文字の読み取り後の画面で、ⓘまたは📷（4 たちつてと）を押します。
- このあと、コピーする文字列の最初の文字と最後の文字で◉を押します。

**お知らせ**

- ｉモードメニュー画面（☞P.33）で、📷を押してもバーコードリーダーを起動できます。
- サイトを表示中（☞P.33〜P.34の操作１〜３）に、📷を２回押してもバーコードリーダーを起動できます。接続を終了することなく、読み取ったURLに接続できます。ただし、この場合はURL以外の認識結果を利用することはできません。
- マナーモード設定中は、フォーカスロック音、読み取り完了音、エラー音は鳴りません。

**JANコードとは**

- 幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。
- 右図を読取ると「4942857113464」と表示されます。

**QRコードとは**

- 縦・横方向でデータを表現している二次元コードの１つです。データとは、英数字・文字列（漢字・カナ・絵文字）です。
- 右図を読取ると「FOMA SH900i」と表示されます。

**連結QRコードについて**

- QRコードには、連結QRコードといういくつか（最大16個）のQRコードをつなげて1つのデータとなるものがあります。連結QRコードを読み取った場合、操作4のあとで右の画面が表示されます。（　）には残り個数／全連結数が表示されています。「はい」を選び、◉を押すと次のQRコードの読み取り画面に進みます。次のQRコードをメインディスプレイの中央に表示させると、自動的に次のQRコードを読み取ります。操作をくり返し、すべての連結QRコードを読み取ると読み取り結果が表示されます。




## QRコードから画像やメロディを読み取って再生する

## 1 P.246〜P.247の操作１〜４を行い、QRコードを読み取る。

- 読み取ったデータの種類が表示されます。

次ページへ続く

**2** ◉を押す。

**3** (1)を押す。（表示）

- 画像が表示されます。
- ファイル形式によっては表示できないものもあります。

メロディを再生するとき
- (1)（再生）を押します。
- ファイル形式によっては再生できないものもあります。

メロディや画像を保存するとき
- (2)を押します。
- メロディの場合は、マルチメディアのイメージの「メロディ」フォルダに保存されます。
- 画像の場合は、マルチメディアのイメージの「その他静止画」フォルダに保存されます。



## 読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

- 読み取ったメールアドレスや電話番号をFOMA端末（本体）電話帳に登録することができます。
- FOMAカード電話帳に直接登録することはできません。
- URLをブックマークに登録することもできます。
- 読み取った文字（60Kバイト以下のデータ）を、メモとして５件まで保存することができます。

**1** バーコードを読み取り、読み取り結果画面（☞**P.246～P.247**の操作１～４）で、(📷)を押す。

- サブメニュー画面が表示されます。

**2** (1)を押す。（電話帳新規登録）

**FOMA**端末（本体）電話帳に追加するとき
- (2)を押します。

ブックマークに登録するとき（**URL**のみ）
- (3)を押します。

コピーするとき
- (4)を押します。

保存するとき
- (5)を押します。

**3** 「はい」を選び、◉を押す。

- FOMA端末（本体）電話帳に新規電話帳データとして登録することができます。
- 電話帳の新規登録画面が表示されます。読み取った文字が各項目に入力されています。
- このあと、電話帳登録の操作を行ってください。（☞『基本編』P.108～P.111）
- あらかじめテレビ電話用電話番号としてバーコードに設定されているときは、テレビ電話用電話番号として登録されます。

**FOMA**端末（本体）電話帳に追加するとき（操作２で(2)を押したとき）
- 電話帳の検索画面が表示されます。
- このあと、メールアドレスまたは電話番号を追加する電話帳を選び、◉を押し、電話帳修正の操作を行ってください。（☞『基本編』P.128）
- 選んだ電話帳に読み取った文字を追加できないとき（すでに電話番号やメールアドレスが３件登録されているときなど）は、「電話帳に登録できません」と表示されます。

ブックマークに登録するとき（操作２で(3)を押したとき）
- Bookmark登録画面が表示されます。（☞P.45）
- このあと、「はい」を選び、◉を押します。

# 文字を読み取る



紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号などをFOMA端末で撮影し、FOMA端末で扱える文字に変換することができます。
読み取った文字を利用して、サイトやインターネットホームページに接続したり、iモードメールを送信したり、音声電話やテレビ電話をかけることができます。また、FOMA端末（本体）電話帳やブックマークに登録することもできます。

- 読み取れる文字は、次のものです。URL、メールアドレス、電話番号、英語名などのデータタイプは、読み取った文字によって自動的に識別されます。漢字やひらがななど、全角の文字は認識できません。

| | |
|---|---|
| URL | 半角英字、半角数字、半角記号[. -（ハイフン）_ : / ~] |
| メールアドレス | 半角英字、半角数字、半角記号[. @ -（ハイフン）_ : ] |
| 電話番号 | 半角数字、半角記号[-（ハイフン）+ P # ＊] |
| 英語名 | 半角英字、半角数字、半角記号[ -（ハイフン）/ ? ! @ + ＊ ' ( ) , . & ] |

- 読み取ったメールアドレスや電話番号を FOMA カード電話帳に直接登録することはできません。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射、文字サイズによっては、正しく読み取れない場合があります。

## 文字を読み取って利用する

データタイプ（URL、メールアドレス、電話番号、英語名）を自動的に識別して、文字を読み取り、iモード接続、iモードメール作成、音声電話やテレビ電話の発信、電話帳の登録などを行うことができます。

- 文字の読み取り時、AFモードが「接写」に設定されています。

**1** 静止画撮影画面（☞P.219）で、[カメラ][1]を押す。（カメラモード切替）

- カメラモード切替画面が表示されます。

**2** [3]を押す。（文字読み取り）




- 文字読み取りモードになります。

次ページへ続く

## 3 読み取る文字をメインディスプレイの中央に表示する。




- 画面が暗い場合はⓘ（ライト）を押し、ピクチャーライトを点灯してください。
- 光沢のある用紙の場合は、読み取りにくいことがあります。照明がじかに反射しないように角度を調節してください。
- メインディスプレイの［　］枠内の中央に入るように調整してください。［　］の端の文字は読み取りにくい場合があります。
- 真正面から焦点距離約10cmを守って、読み取り文字および本FOMA端末を水平にして、なるべく動かさずに行うと認識しやすくなります。表示される文字は小さくて見づらくなりますが、被写体表示の下にあるバーが最も青い色になるように、撮影する印刷物などとの距離を調整してください。
- 一度の操作で読み取る文字数は、60文字以内を目安にしてください。

オートフォーカスで読み取りたいとき
- ◎4を押し、AFモードを「標準」に切り替えます。
- 大きな文字を読み取るときに使用します。
- 名刺など小さな文字を読み取るときは、「接写」のままご使用ください。

反転文字（黒地に白の文字）を読み取るとき
- ◎3を押し、反転モードの種類を選び、●を押します。
- お買い上げ時は、「自動」に設定されています。うまく読み取れないときは、「通常文字」または「反転文字」に設定してください。

読み取り対象のデータタイプを選ぶとき
- ◎2を押し、データタイプを選び、●を押します。

ボタン操作一覧を確認するとき
- ◎5を押します。詳しくはP.218を参照してください。

## 4 ●を押す。

- 静止画として撮影され、読み取る内容が表示されます。

複数の行を撮影したとき
- ◯で読み取る行を指定します。（文字の読み取りは、１行単位で行います。）

## 5 ●（読取）を押す。

- 文字の読み取りが開始されます。
- 読み取りが完了すると、文字読み取りの候補選択画面になり、読み取った文字の内容が表示されます。

読み取り結果を修正するとき
- １文字ずつの修正候補が、画面下部に表示されます。◯で修正する文字を選び、◯で候補を選びます。修正候補がない場合は、ダイヤルボタンで文字を入力してください。
- 文字を１文字ずつ削除するときは、CLRを押します。

読み取った文字を削除して、読み取りをやり直すとき

1 ⓘ（再読取）を押す。
2 「はい」を選び、●を押す。

## 6 ●を押す。

- 文字読み取り結果が表示されます。

### 読み取った文字を削除して読み取りをやり直すとき

1 ⓘ（再読取）を押す。
2「はい」を選び、●を押す。

### 続けて文字を読み取るとき

- 📷1を押します。
- 文字読み取り画面が表示されます。
- 先に読み取った文字につなげて、１つの文として利用することができます。数行に分かれているURLやメールアドレスを読み取るときなどに便利です。最大256文字まで読み取ることができます。

### 読み取りを追加するとき

- 📷2を押します。
- 文字読み取り画面が表示されます。
- 最大３回に分けて読み取った文字を、１つのグループとして関連づけます。電話帳の項目を続けて読み取り、まとめて電話帳に登録するときなどに便利です。３回合計で最大508文字まで読み取ることができます。

### 読み取った文字を編集するとき

- 📷6を押します。

### 読み取った文字をすべてコピーするとき

- 📷7を押します。
- 他の画面に貼り付けて使用することができます。

### 読み取った文字を削除するとき

- 📷8を押します。

### 読み取り結果のデータタイプを変更するとき

- 読み取り結果がURL、メールアドレス、英語名のときは、◐で読み取り結果のデータタイプを変更することができます。

## 7 ●を押し、「はい」を選び、●を押す。

- 読み取った文字のデータタイプに応じて、ｉモード接続確認画面（URLのとき）、メール作成画面（メールアドレスのとき）、電話発信画面（電話番号のとき）、電話帳登録画面（英語名のとき）が表示されます。

**お知らせ**

- 読み取る文字のデータタイプが、「電話番号」の場合、（　）は - （ハイフン）となります。また、電話帳に登録するときや電話をかけるときには、- （ハイフン）は削除されます。
- 読み取る文字のデータタイプが「URL」の場合、対象のURLの「http://」が一部省略されていても、読み取り結果に追加されます。

## 読み取った文字を電話帳やブックマークに登録する

読み取った文字は、認識したデータタイプに応じて、FOMA端末（本体）電話帳の各項目やブックマークに登録することができます。
- FOMAカード電話帳に直接登録することはできません。
- 認識したデータタイプに応じて、電話帳の項目に登録されます。

| データタイプ | 電話帳の項目 |
|---|---|
| URL | メモ |
| メールアドレス | メールアドレス |
| 電話番号 | 電話番号 |
| 英語名 | 「姓」と「姓フリガナ」（双方に同じ英語名が登録されます。） |

**1** **P.249～P.251**操作１～６を行い、文字の読み取り後の画面で、[カメラ]を押す。
- サブメニュー画面が表示されます。

**2** [3]を押す。（電話帳新規登録）

**FOMA端末（本体）電話帳に追加登録するとき**
- [4]を押します。
- 「英語名」は追加登録することはできません。

**URLをブックマークに登録するとき**
- [5]を押します。

**全コピーするとき**
- [7]を押します。

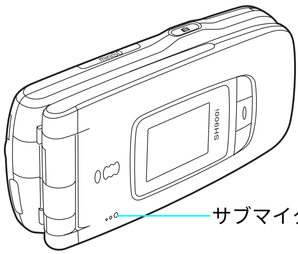
**削除するとき**
- [8]を押します。

**3** 「はい」を選び、[●]を押す。
- FOMA端末（本体）電話帳に新規電話帳データとして登録することができます。
- 電話帳の新規登録画面が表示されます。読み取った文字が各項目に入力されています。
- このあと、電話帳登録の操作を行ってください。（☞『基本編』P.108～P.111）

**FOMA端末（本体）電話帳に追加するとき（操作２で[4]を押したとき）**
- 電話帳の検索画面が表示されます。
- このあと、メールアドレスまたは電話番号、メモを追加する電話帳を選び、[●]を押し、電話帳修正の操作を行ってください。（☞『基本編』P.128）
- 選んだ電話帳に読み取った文字を追加できないとき（すでに電話番号やメールアドレスが３件登録されているときなど）は、「電話帳に登録できません」と表示されます。

**ブックマークに登録するとき（操作２で[5]を押したとき）**
- Bookmark登録画面が表示されます。（☞P.45）
- このあと、「はい」を選び、[●]を押します。

# FOMA端末を閉じたままボイスレコーダーとして使う




FOMA端末を閉じたまま、サブマイクを使って音声を録音することができます。
ボイスレコーダーは、動画撮影機能を利用したもので、「音声のみ」(=画像なし)の動画データとして保存されます。

- 開いて使用する場合は、ボイスレコーダーの起動後にFOMA端末を開いてください。
- 録音データは、マルチメディアのｉモーションの「カメラ撮影」フォルダ、またはminiSDメモリーカードの「ボイスメモ」フォルダに、音声のみの動画データとして、ｉモーションと合わせて最大100件保存できます。(録音時間により保存件数は変わります。)
- 録音時間の目安は、FOMA端末（本体）に保存する場合、約57秒です。また、付属の16MバイトのminiSDメモリーカード（試供品）に保存する場合、最大約2時間です。
- 録音距離は、1.5m以内をおすすめします。
- 起動時の保存先は「本体」に設定されています。
- 設定を変更してもボイスレコーダーを終了すると、お買い上げ時の設定に戻ります。(保存先「本体」／ファイルサイズ制限「ｉモーションメール用」／セルフタイマー「OFF」／点灯時間設定「照明設定に従う」／ピクチャーライト色変更「ホワイト」／ノイズキャンセラ「ON」／本体保存先「カメラ撮影」)

**1** **FOMA端末を閉じた状態で、0（背面中央ボタン）を押す。**




**2** 「ボイスレコーダー」を選び、0（背面中央ボタン）を押す。

- ボイスレコーダーが起動します。

**3** シャッターまたは0（背面中央ボタン）を押す。

- 録音が開始されます。
- 録音を開始すると、ピクチャーライトが自動的に点灯します。録音を終了すると自動的に消灯します。(録音中に消灯させることはできません。)
- ピクチャーライトの色は、お買い上げ時は、「ホワイト」に設定されていますが、変更することができます。操作方法は動画撮影と同じです。(☞P.237) FOMA端末を開いて操作してください。

**4** 録音を止めるときは、シャッターを押す。

- 保存画面が表示されます。
- 0（背面中央ボタン）を押しても、録音終了できます。
- 録音残り時間が「0」になった場合も、録音終了します。

**5** 「①保存」を選び、0（背面中央ボタン）を押す。

保存しないとき

- 「②取消」を選び、0（背面中央ボタン）を押し、「はい」を選び0（背面中央ボタン）を押します。

保存先フォルダ指定が設定されているとき

- 設定されているフォルダに保存されます。(☞P.240)

miniSDメモリーカードに保存するとき

- 撮影前に保存先を切り替えておきます。(☞P.239)



次ページへ続く

お知らせ
- 録音中にFOMA端末を開くと、録音が自動的に停止し、保存の確認画面が表示されます。保存の方法については、「FOMA端末を開いて録音する」の操作４を参照してください。
- 録音中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。
- 録音した音声は、ビデオプレーヤ（☞P.283）で再生することができます。

## FOMA端末を開いて録音する

- FOMA端末を開いた状態でボイスレコーダーを直接起動することはできません。ボイスレコーダーは、動画撮影機能を利用したもので、「音声のみ」（=画像なし）の動画データとして保存されます。

### 1 P.253の操作１～２を行い、FOMA端末を開く。

- 録音前に、次のことが行えます。操作方法は、動画撮影と同じです。
  - ■ ファイルサイズ制限を設定する。（☞P.244）
  - ■ 保存先をminiSDメモリーカードに切り替える。（☞P.239）
  - ■ FOMA端末（本体）の保存先フォルダを指定する。（☞P.240）
  - ■ セルフタイマーを設定する。（☞P.232）
  - ■ 点灯時間を設定する。（☞P.237）
  - ■ ピクチャーライトの色を設定する。（☞P.237）
  - ■ ノイズキャンセラを設定する。（☞P.237）
  - ■ ボタン操作一覧を設定する。（☞P.216）

### 2 ◉（録音）を押す。

- 録音が開始されます。（FOMA端末を開いても、サブマイクで録音されます。）

### 3 録音を止めるときは、◉を押す。

- 残時間表示が00:00:00になったとき（録音中にファイルサイズ制限に達したときや、miniSDメモリーカードの空き容量がなくなったとき）は、自動的に録音が停止します。操作４に進みます。

### 4 1（保存）を押す。

- 録音した音声がマルチメディアのｉモーションの「カメラ撮影」フォルダに保存されます。

録音した音声を再生するとき
- 2を押します。

録音した音声を削除するとき
- 3を押し、「はい」を選び、◉を押します。

保存先フォルダ指定が設定されているとき
- 設定されているフォルダに保存されます。（☞P.240）

miniSDメモリーカードに保存するとき
- 録音前に保存先を切り替えておきます。（☞P.239）

FOMA端末（本体）に保存する場合に、メモリの空き容量がないとき
- 不要なファイルを選択削除し、メモリの空き容量を増やして保存することができます。（☞P.297）

お知らせ
- 録音した音声は、ビデオプレーヤ（☞P.283）で再生することができます。

# 保存した静止画を表示する

FOMA端末で撮影した静止画や、サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画は、マルチメディアのイメージに保存され、イメージビューアで再生することができます。

## 1 待受画面で、●71を押す。




- マルチメディアのイメージのフォルダ一覧が表示されます。
- 待受画面で📷を１秒以上押しても表示することができます。

## 2 フォルダを選び、●を押す。




「カメラ撮影」フォルダを選んだ場合

- 静止画の画像一覧が表示されます。
- 静止画撮影画面（☞P.219）で📷2を押しても表示することができます。

### 画像一覧表示を切り替えるとき

- 📷9を押し、2（16分割表示）または3（リスト表示）に切り替えることができます。９分割表示にするときは、1（９分割表示）を押します。

### 次のページを表示するとき

- 🖹を押します。

### 前のページを表示するとき

- ✉を押します。

### miniSDメモリーカード内の静止画を確認するとき

- 📷#を押します。
  再び、FOMA端末内の静止画を確認するときは、📷#を押します。

## 3 静止画を選び、●を押す。




- ◐で、前後の画像も表示できます。

### メインディスプレイサイズに合わせて表示するとき

- 静止画がメインディスプレイより小さいときや大きいときは、●を押すと、「等倍」、「縮小」、「拡大」表示を切り替えることができます。（静止画のサイズ自体は変更されません。）
- 静止画のサイズが「240×252」より小さい場合、「等倍」、「拡大」表示を切り替えることができます。「240×252」より大きい場合、「等倍」、「縮小」表示を切り替えることができます。
- GIFアニメーションやFlash画像は「拡大」、「縮小」表示できません。

### 静止画を全画面に表示するとき

- viewまたは📷2を押します。
- 全画面表示を解除するには、●を押します。
- ◐で、前後の画像も表示できます。



次ページへ続く

**お知らせ**

- メモリがいっぱいになると、データをそれ以上保存できなくなります。ただし、カメラで撮影した静止画や、画像編集した静止画、ダウンロードした画像をFOMA端末（本体）に保存するときは、不要なファイルを１件ずつ削除し、メモリの空き容量を増やして保存することができます。（☞P.274）
  カメラ撮影や静止画の編集、サイトから静止画をダウンロードするときは、メモリの使用状況を確認してください。
- 画像の保存件数が多くなると、画像の表示、保存が遅くなる場合があります。
- 画像の一覧画面で画像を選択したとき、待受画面やピクチャーコールなどの画面設定画像や所有者画像、スケジュールなどに設定している場合は「 」、他のFOMA端末などに送信できない場合は「 」が表示されます。
- 保存したGIFアニメーションは、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。

**FOMA端末を閉じたまま静止画を表示するとき**

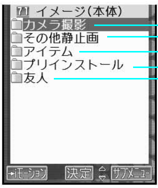
- サブディスプレイの静止画撮影画面（☞P.221）で、◎（背面中央ボタン）を押し、「1最新画像表示」を選び、◎（背面中央ボタン）を押すと、直前に撮影した画像を1枚のみ表示することができます。
- ◎（背面中央ボタン）を押し、「9撮影終了」を選び、◎（背面中央ボタン）を押すと、待受画面に戻ります。

**マルチメディアのイメージに保存した静止画は、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.332）やデータリンクソフト（☞P.404）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。**

- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、マルチメディアのイメージに登録してある静止画が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■ イメージフォルダ一覧画面の見かた

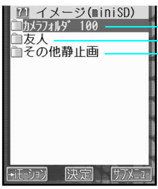
### ［FOMA端末（本体）］




- カメラ撮影：FOMA端末で撮影した静止画用フォルダ
- その他静止画：サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した静止画用フォルダ
- アイテム：サイトやインターネットホームページから入手したフレームの画像用フォルダ
- プリインストール：あらかじめFOMA端末に内蔵されている静止画用フォルダ
- 友人：お客様が作成できるフォルダ

### [miniSDメモリーカード]

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、イメージフォルダ一覧画面で◎#を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。




- カメラフォルダ：FOMA端末で撮影した静止画や、DCF準拠のJPEG、GIFアニメーション以外のGIF画像フォルダ。静止画撮影やFOMA端末（本体）から静止画をコピーしてファイル数が400になると、カメラフォルダXXX（XXXは任意の数字）という名前のフォルダが自動的に作成されます。
- 友人：お客様が作成できるフォルダ
- その他静止画：FOMA端末（本体）からコピーしたGIFアニメーションやDCFに準拠していないJPEG画像が保存されます。

## 静止画情報マークの見かた

| | JPEG | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 画像の種類とサイズ | Sub QCIF：128×96 | サブ待受：160×120 | TV電話：176×144 | メイン待受：240×320 | CIF：352×288 | VGA：480×640 | XGA：768×1024 |
| 保護設定なし | 128 | 160 | 176 | 240 | 352 | 480 | 768 |
| 保護設定あり | 128 | 160 | 176 | 240 | 352 | 480 | 768 |

| | JPEG | | | GIF画像・フレーム | Flash画像 |
|---|---|---|---|---|---|
| 画像の種類とサイズ | SXGA：960×1280 | 2M記録：1224×1632 | その他 | | |
| 保護設定なし | 960 | 1224 | JPG | GIF | |
| 保護設定あり | 960 | 1224 | | GIF | |

- FOMAカード動作制限機能が設定された静止画には、「」（保護設定なし）、「」（保護設定あり）が表示されます。
- 待受画面やピクチャーコールなどの画面設定画像や所有者画像、スケジュールなどに設定した静止画には、「」が表示されます。
- メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されている静止画には、「」が表示されます。
- ｉモードなどでダウンロードした静止画には「」が、miniSDメモリーカードやバーコードリーダーで取得した静止画には「」が表示されます。ただし、フレーム画像は取得元に関わらず「」が表示されます。
- カメラ撮影した静止画には「」が表示されます。
- キャラ電撮影した静止画には「」が表示されます。
- 本FOMA端末で撮影できる撮影サイズ、撮影枚数などについては、P.212を参照してください。
- 静止画の保護設定を変更することもできます。（☞P.275）

## ズームを利用するとき

「1ズーム」がグレー表示の場合は、利用できません。

**1** 静止画を表示（☞**P.255**の操作1～3）し、📷1を押す。

- ズーム画面が表示されます。

**2** 📷（拡大）を押す。

- 静止画が拡大表示（ズームアップ）されます。
- ◎で、表示位置が移動します。
- ●を押すと、元の画面表示に戻ります。

拡大した静止画表示を縮小（ズームダウン）するとき

- ⓘ（縮小）を押します。

## ライトアップするとき

静止画を表示中にディスプレイの照明の明るさを最大にして、ライトアップすることができます。

**1** 静止画を表示（☞**P.255**の操作1～3）する。

イメージビュエア

## 2 ⓒを押し、「■ライトアップ」を選び、◉を押す。

- 静止画がライトアップされます。
- もう一度操作２を行うか、再生中照明設定（☞P.280）を「照明設定に従う」に設定しているときは照明時間設定（☞『基本編』P.176）で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- 再生中照明設定を「常にON」に設定しているときは、Flash画像の表示を終了するまでライトアップされます。
- #を１秒以上押しても、ライトアップされます。

お知らせ
- ライトアップ時は、メインディスプレイの明るさの設定（☞『基本編』P.177）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

# Flash画像を再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたFlash画像は、マルチメディアのイメージの「その他静止画」フォルダに保存され、再生することができます。

## 1 待受画面で、◉71を押す。

- マルチメディアのイメージのフォルダ一覧が表示されます。
- ダウンロードしたFlash画像は、マルチメディアのイメージの「その他静止画」フォルダに保存されています。

## 2 Flash画像が保存されているフォルダを選び、◉を押す。

- 画像一覧が表示されます。
- Flash画像は、画像情報マーク欄に「▣」「🔒」が表示されます。

## 3 再生したいFlash画像を選び、◉を押す。

- Flash画像が再生されます。

再生を始めからやり直すとき
- 一時停止中にⓒ1（リトライ）を押します。

お知らせ
- 保存したFlash画像は、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。

## ■ 再生時の照明を設定する

Flash画像再生中の照明を設定します。
- お買い上げ時は、「照明設定に従う」に設定されています。（☞『基本編』P.176）

## 1 Flash画像の一時停止中（☞P.38）に、ⓒ8を押す。

## 2 2を押す。（常にON）

- 再生終了後は、照明設定に従います。

照明設定に従うとき
- 1を押します。
- 照明時間設定に従ってバックライトが点灯します。（☞『基本編』P.176）

イメエジビュエア

# 静止画を利用する

## 静止画を添付してｉモードメールを送信する

マルチメディアのイメージから静止画を選択し、ｉモードメールに添付して送信することができます。

- 送信できる静止画のファイルサイズは最大100Kバイト（102400バイト）です。
- 送信できる静止画は、ｉモードメールに添付されてきた静止画、FOMA端末で撮影した静止画のうちメール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されていないものです。
- ファイル制限されている静止画でも、本FOMA端末で撮影した静止画やminiSDメモリーカードで取得した静止画は送信できます。

**1** 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 静止画一覧が表示されます。

**2** 添付したい静止画を選び、ｉ（メール）を押す。




**10000バイトを超える静止画のとき**

- 通常メールと大容量添付メールの選択画面が表示されます。
- 通常メールを選び、●を押すと、静止画は9000バイト以下になるように圧縮されます。
- 大容量添付メールを選び、●を押すと、静止画は100Kバイト以下になるように圧縮されます。

**3** ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

**お知らせ**

- 10000バイトを超える静止画は、ｉモード端末には送信できません。e-mailには100Kバイトまで送信できます。

## 静止画を各種機能に設定する＜画面設定＞

マルチメディアのイメージに保存されている静止画を、待受画面や電話発着信、メール送受信画面などに設定することができます。

- フレームは画面設定できません。
- Flash画像は、メイン待受画面にのみ設定できます。
- JPEG画像とGIFアニメーション、一部のGIF画像は、ポップアップウィンドウやお知らせウィンドウに設定することはできません。また、一部のJPEG画像とGIFアニメーションや一部のGIF画像を、背景パターンに設定することはできません。
- JPEG画像は、メール送受信画面に設定することはできません。

**1** 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 静止画一覧が表示されます。

**2** 設定したい静止画を選び、📷5を押す。（画面設定）

**3** 画面設定の種類を選び、●を押す。

- 画面の種類によっては、さらに項目を選びます。

# 詳細情報を表示する

静止画の詳細情報を表示することができます。
表示される情報は次のとおりです。

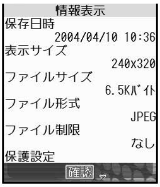
- 保存日時
- ファイルサイズ
- ファイル制限（あり／なし）
- 画面設定※
- スケジュール／ToDo設定※
- 伝言メモ設定※
- ファイル名
- 保存元
- 表示サイズ（Flash画像を除く）
- ファイル形式（Flash画像を除く）
- 保護設定（あり／なし）※
- 電話帳設定※
- TV電話設定※
- 所有者情報設定※
- 撮影日時（JPEG画像のみ）

※ miniSDメモリーカードの情報表示では表示されません。

**1** 待受画面で、◉⑦①を押し、フォルダを選び、◉を押す。

- 静止画一覧が表示されます。

**2** 表示したい静止画を選び、📷⑦を押す。（情報表示）




**3** 確認を終わるときは、◉（確認）を押す。



# 静止画を編集する

画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集することができます。

- 静止画にフレームやマーカースタンプを貼り付けるなどの画像編集をくり返し行う場合、保存を行ってから再び編集を行うと、画質が劣化することがあります。
- 画像編集を行うことによって、データの容量が増加する場合があります。
- 編集後の画像をｉモードメールに添付して送信することができます。（☞P.262）

## 編集画面を表示する

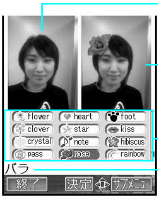
**1** 待受画面で、◉⑦①を押し、フォルダを選び、◉を押す。

- 静止画一覧が表示されます。

イメージビューア

## 2 静止画を選び、[カメラ][カメラ]を押す。（画像編集）

- 画像編集画面が表示されます。
- 静止画表示画面（☞P.255 の操作１～３）で[カメラ][カメラ]（画像編集）を押しても表示することができます。
- カメラ撮影後の静止画プレビュー画面（☞P.219の操作１～２）で、[カメラ][カメラ]（画像編集）を押しても表示することができます。




元の静止画
編集後の静止画
編集種別ボタン
編集名

**■編集種別ボタン**

編集種別ボタンを使うと、直接編集メニューを呼び出すことができます。

| | | |
|---|---|---|
| **rotate** | **resize** | **correct** |
| 画像回転 | 画像サイズ変更 | 画像補正 |
| **effect** | **effects** | **stamp** |
| 画像エフェクト | フェイスエフェクト | フェイススタンプ |
| **stamp** | **stamp** | **panorama** |
| 画像スタンプ | 文字スタンプ | パノラマ合成 |
| **1-scr** | **save** | **cancel** |
| １画面表示 | 保存 | 取消 |

- 編集種別ボタンは機能や画面によって異なります。

## ■ 編集画面でのボタン操作

編集画面での操作方法には、次の３とおりの方法があります。

- [カメラ]を押し、編集種別を選択する。
- [方向キー]で編集種別ボタンを選択する。
- ダイヤルボタン（[0]～[9]、[＊]、[＃]）を押して選択する。
  （編集種別ボタンの並びは、ダイヤルボタンの並びに対応しています。）
  - ■ 画像編集後、続けて編集の種類を選ぶと、同じ静止画を連続で編集することができます。
  - ■ 編集の種類がグレー表示になっている場合は、操作できません。

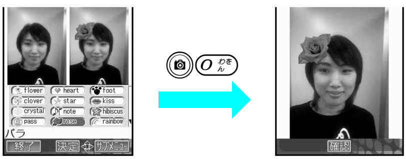
## ■ 直前の操作を取り消す

[カメラ][＃]を押し、「はい」を選び、[決定]を押すと、直前に編集した静止画が編集前に戻ります。

- 取消は１回のみ可能です。続けて取消操作を行うと、静止画が編集前の状態に戻ります。

## ■ １画面で表示する

[カメラ][0]を押すと、編集した静止画を１画面で表示できます。




**フェイススタンプ、画像スタンプ、画像エフェクト、フェイスエフェクトの編集画面のとき**

- [カメラ][0][0]を押します。

**お知らせ**
- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、静止画を再び表示したときは、編集中の静止画と異なって見える場合があります。

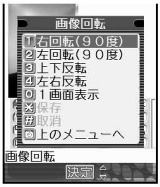
## 静止画を回転する<画像回転>

静止画を右左に90°ずつ回転、または上下／左右に反転することができます。

- サイトやインターネットホームページからのダウンロードや、データリンクソフトを使って取り込んだ静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は回転できません。

### 1 編集画面を表示する。（☞P.260～P.261「編集画面を表示する」の操作１～２）

### 2 [カメラ][1]を押す。（画像回転）




画像回転の種類

右回転（90度）　左回転（90度）
上下反転　左右反転

### 3 回転の種類を選び、[●]を押す。

- 「回転処理中」と表示され、処理後の静止画が表示されます。

### 4 [i]（終了）を押す。

保存せずに別の編集を行うとき

- [カメラ]を押し、別の編集種別の番号を押します。

保存して、続けて編集するとき

- [カメラ][＊][1]を押します。

### 5 「はい」を選び、[●]を押す。

静止画を保存しないとき

- 「いいえ」を選び、[●]を押します。

### 6 [1]を押す。（OK）

- 静止画が保存されます。

保存を中止するとき

- 保存中に[●]（中止）を押します。

タイトルを変更するとき

- [2]を押し、タイトルを入力し、[●]を押します。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
- [1]を押すと、保存されます。

保存するフォルダを変更するとき

- [3]を押し、保存するフォルダを選び、[●]を押します。
- [1]を押すと、保存されます。

ｉモードメールに添付して送信するとき

- [4]を押し、ｉモードメールを作成し、送信します。
- 静止画サイズが100Kバイト以下の場合のみ、メール作成を選択できます。
- 静止画は自動的に保存されます。
- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

## 静止画のサイズを変更する<画像サイズ変更>

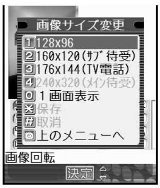
ｉモードメール送信用や待受画面設定用など、目的や用途に応じて静止画のサイズを変更したり、切り出したりすることができます。

| 変更前の静止画サイズ | 変更後の静止画サイズ |
|---|---|
| サブ待受：160×120 | Sub QCIF：128×96、サブ待受：160×120 |
| TV電話：176×144 | Sub QCIF：128×96、サブ待受：160×120、TV電話：176×144 |
| メイン待受：240×320<br>CIF：352×288<br>VGA：480×640<br>XGA：768×1024<br>SXGA：960×1280<br>2M記録：1224×1632 | Sub QCIF：128×96、メイン待受：240×320、<br>サブ待受：160×120、TV電話：176×144 |

- カメラ撮影サイズ以外の静止画のサイズも変更することができます。

**1** 編集画面を表示する。（☞**P.260**～**P.261**「編集画面を表示する」の操作１～２）

**2** 2を押す。（画像サイズ変更）




- 元の静止画サイズによっては、修正できないサイズもあります。修正できないサイズは、グレー表示されています。

**3** 修正後の画像サイズの種類を選び、を押す。

- 画像サイズ変更画面が表示されます。
- 「画像展開中」と表示され、修正後の静止画が表示されます。
- 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りない場合は、静止画を中央にして、上下に余白が付きます。

**4** で切り出し部分を指定し、を押す。

- 静止画を、を押して拡大したり、を押して縮小したりして、画像の一部を切り出すことができます。

**5** （決定）を押す。

**6** 静止画を保存する。（☞**P.262**の操作４～６）

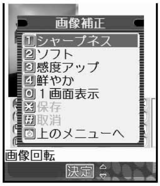
イメージビューア

## 静止画を補正する＜画像補正＞

静止画にシャープネスや、ソフトなど補正をかけることができます。
- ダウンロードやデータリンクソフトを使って取り込んだ静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画は補正できません。

**1** 編集画面を表示する。（☞P.260～P.261「編集画面を表示する」の操作１～２）

**2** Ⓜ③を押す。（画像補正）




補正の種類

| | |
|---|---|
| シャープネス | エッジを強調する |
| ソフト | エッジをぼかす |
| 感度アップ | 明るさ、およびコントラストをアップする |
| 鮮やか | 色彩度をアップする |

**3** 補正の種類を選び、◉を押す。

- 「画像補正処理中」と表示され、補正後の静止画が右の画面に表示されます。

**4** 静止画を保存する。（P.262の操作４～６）

イメエジビュエア

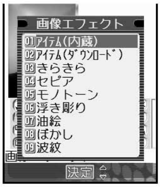
お知らせ
- 色の変化が少ないものなど、静止画によっては効果が表れにくいものもあります。

## いろいろな効果をかける<画像エフェクト>

静止画の色あいやタッチを変えたり、フレームを付けたりすることができます。
- ダウンロードやデータリンクソフトを使って取り込んだ静止画など、画像によっては操作できない場合があります。
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画に画像エフェクトを行うことはできません。

**1** 編集画面を表示する。（☞**P.260**～**P.261**「編集画面を表示する」の操作１～２）

**2** 📷4を押す。（画像エフェクト）




エフェクトの種類

| | |
|---|---|
| アイテム（内蔵） | あらかじめ登録されているフレーム |
| アイテム（ダウンロード） | ダウンロードしたフレーム |
| きらきら | 光輝部を十字に輝かせる効果を表現 |
| セピア | セピア色で濃淡を表現 |
| モノトーン | モノトーンで濃淡を表現 |
| 浮き彫り | メタル系シルバー色で立体感を表現 |
| 油絵 | 油絵タッチで表現 |
| ぼかし | 画像をぼかす |
| 波紋 | 波紋効果を付ける |
| 魚眼 | 魚眼レンズでの効果を表現 |

**3** エフェクトの種類を選び、●を押す。

- 「エフェクト処理中」と表示されたあと、装飾された静止画が右画面に表示されます。

「アイテム（内蔵）」または「アイテム（ダウンロード）」を選んだとき
- フレームの選択画面が表示されます。フレームを選び、●（確認）を押し、●（決定）を押します。

**4** 静止画を保存する。（**P.262**の操作４～６）

お知らせ
- 静止画によっては効果が表れにくいものや効果がですぎるものもあります。
- 画像サイズ変更した静止画にフレームを付けることはできますが、画質が劣化することがあります。

## 顔を装飾する<フェイスエフェクト>

人物の顔の静止画に喜怒哀楽の表情を付けたりすることができます。
- フェイスエフェクトを使っての画像編集、または編集後の静止画をｉモードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイスエフェクトには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイスエフェクトは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に、次のような静止画の場合はご注意ください。
  ピントが合っていない／首を傾げている／暗い／目が髪で隠れている／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしているなど
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画にフェイスエフェクトを行うことはできません。

**1** 編集画面を表示する。（☞**P.260**～**P.261**「編集画面を表示する」の操作１～２）

**2** [カメラ][5]を押す。（フェイスエフェクト）




エフェクトの種類

| | |
|---|---|
| ほっそり | ふっくら |
| 目ぱっちり | 微笑む |
| 怒る | 悲しむ |
| シワ隠し | 色白 |
| くしゃ顔 | 左右対称顔（右） |
| 左右対称顔（左） | 位置修正 |

**3** エフェクトの種類を選び、[●]を押す。
- 顔の輪郭情報を自動抽出し、「エフェクト処理中」と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。

各部の輪郭を手動で設定するとき
- [1][2]（位置修正）を押します。詳しくは、次項「■各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

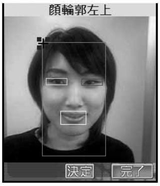
**4** 静止画を保存する。（☞**P.262**の操作４～６）

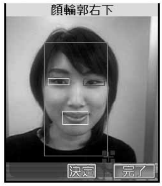
お知らせ
- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できない場合があります。[カメラ][#]（取消）を押し確認画面が表示されたら、「はい」を選び、[●]を押します。[カメラ][5][1][2]（位置修正）を選び、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、次項「■各部の輪郭情報を手動で設定する」を参照してください。

### ■各部の輪郭情報を手動で設定する

顔の輪郭、画面上の右の目の輪郭、画面上の左の目の輪郭、口の輪郭を順番に設定してエフェクトをかけます。
各部分の輪郭を設定するには[方向キー]で「+」カーソルを移動させます。
- 「+」カーソルは画像エリア内のみで移動します。
- 顔の輪郭は赤色、画面上の右の目の輪郭は青色、画面上の左の目の輪郭は緑色、口の輪郭は黄色の枠で示されます。

**1** **P.266**の操作３で「位置修正」を選び、◉を押し、顔の輪郭を指定する。

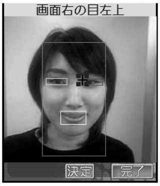


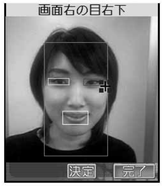




✣で輪郭の左上に「+」カーソルを合わせ、◉を押す。

✣で輪郭の右下に「+」カーソルを合わせ、◉を押す。

**2** 画面上の右の目の輪郭を指定する。

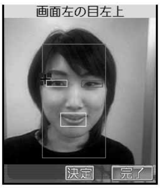


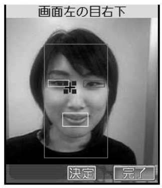




✣で輪郭の左上に「+」カーソルを合わせ、◉を押す。

✣で輪郭の右下に「+」カーソルを合わせ、◉を押す。

**3** 画面上の左の目の輪郭を指定する。




✣で輪郭の左上に「+」カーソルを合わせ、◉を押す。

✣で輪郭の右下に「+」カーソルを合わせ、◉を押す。

**4** 口の輪郭を指定する。







✣で輪郭の左上に「+」カーソルを合わせ、◉を押す。

✣で輪郭の右下に「+」カーソルを合わせます。



次ページへ続く

## 5 修正が完了したら、◎（完了）を押す。

## 6 静止画を保存する。（☞P.262の操作４～６）

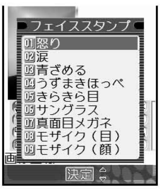
お知らせ
- ◎を押し続けると「+」カーソルを連続して移動させることができます。
- 設定した顔の輪郭情報は、編集した画像を保存したときに、保存されます。次回画像編集を行うときは、この輪郭情報を元に画像編集が行われます。

# 顔スタンプを貼り付ける<フェイススタンプ>

顔の各部に涙やサングラス、うずまきほっぺなど、装飾用の静止画を貼り付けることができます。
- フェイススタンプを使っての画像編集、または編集後の画像を ｉ モードメールで送信したり、待受画面に設定する場合は、人格権および肖像権を尊重し、他の方の中傷にならないようにご配慮ください。
- フェイススタンプには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- フェイススタンプは、顔の輪郭情報を自動抽出し、その情報を元にエフェクトをかけます。そのため、静止画内の顔の位置情報や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。特に次のような静止画の場合はご注意ください。
  ピントが合っていない／首を傾げている／暗い／目が髪で隠れている／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしているなど
- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画にフェイススタンプを貼り付けることはできません。

## 1 編集画面を表示する。（☞P.260～P.261「編集画面を表示する」の操作１～２）

## 2 ◎6を押す。（フェイススタンプ）




フェイススタンプの種類

| | |
|---|---|
| 怒り | 涙 |
| 青ざめる | うずまきほっぺ |
| きらきら目 | サングラス |
| 真面目メガネ | モザイク（目） |
| モザイク（顔） | 位置修正 |

## 3 スタンプの種類を選び、◉を押す。

- 顔の輪郭情報を自動抽出し、「エフェクト処理中」と表示され、処理後の静止画が右画面に表示されます。

各部の輪郭を手動で設定するとき
- 1 0（位置修正）を押します。詳しくは、P.266を参照してください。

## 4 静止画を保存する。（P.262の操作４～６）

イメージビューア

**お知らせ**

- 顔の輪郭情報が正しく自動抽出できない場合があります。（取消）を押し確認画面が表示されたら、「はい」を選び、を押します。（位置修正）を選び、輪郭情報を手動で設定してください。詳しくは、P.266を参照してください。

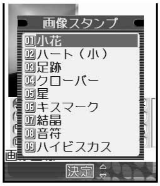
## 画像スタンプを貼り付ける＜画像スタンプ＞

静止画に星や花、キスマークなど、あらかじめ登録されている画像スタンプを貼り付けることができます。

- 「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画に画像スタンプを貼り付けることはできません。

**1** 編集画面を表示する。（☞P.260～P.261「編集画面を表示する」の操作１～２）

**2** を押す。（画像スタンプ）




**画像スタンプの種類**

| | |
|---|---|
| 小花 | ハート（小） |
| 足跡 | クローバー |
| 星 | キスマーク |
| 結晶 | 音符 |
| ハイビスカス | 合格 |
| バラ | 虹 |
| 吹き出し | 流れ星 |
| ハート（大） | |

**3** 画像スタンプの種類を選び、を押す。

- 画像スタンプが表示されます。
- で、画像スタンプの貼り付け位置を調整することができます。

**画像スタンプを選び直すとき**

- を押します。を押す前に選んでいたスタンプは削除されます。

**4** （貼付）を押す。

- 続けて同じ画像スタンプを貼り付けるときは、貼り付け位置を調整してを押します。

**5** （完了）を押す。

**6** 静止画を保存する。（☞P.262の操作４～６）

イメージビューア

## 文字スタンプを貼り付ける＜文字スタンプ＞

静止画に入力した文字や、日付を貼り付けることができます。
●「VGA：480×640」より大きいサイズの静止画に文字スタンプを貼り付けることはできません。

**1** 編集画面を表示する。（☞P.260～P.261「編集画面を表示する」の操作１～２）

**2** ⓐ⑧を押す。（文字スタンプ）




文字スタンプの種類
フリーワード
日付

**3** ①を押し、貼り付けたい文字を入力する。




● 全角11文字(半角22文字)まで入力できます。文字が画面の幅を超える場合は、途中まで入力されます。（改行はできません。）
● 入力した文字はオレンジ色で表示されます。

日付を貼り付けるとき
● ②を押します。

**4** ●を押す。

● 入力した文字、または日付が表示されます。
● ◎で、文字の貼り付け位置を調節することができます。

文字サイズを変更するとき
● ⓘ（サイズ）を押すたびに文字サイズが、20ドット→24ドット→48ドット→12ドット→20ドットの順に変更されます。
● 文字サイズを変更すると文字の貼り付け位置は中央に戻ります。

**5** ●を押す。

**6** 静止画を保存する。（☞P.262の操作４～６）

イメージビューア

## ２枚の静止画を1枚の画像に合成する<パノラマ合成>

２枚の静止画を合成して、１枚のパノラマ画像を作成することができます。

- 色味が異なる２枚の静止画をパノラマ合成すると、うまく合成されない場合があります。
- 「メイン待受：240×320」サイズの静止画のみ合成を行うことができます。



１枚目静止画　２枚目静止画　パノラマ画像

**1** １枚目（向かって左側）の静止画の編集画面を表示する。（☞**P.260**～**P.261**「編集画面を表示する」の操作１～２）

**2** 📷９を押す。（パノラマ合成）




合成の種類

| | |
|---|---|
| 標準 | パノラマ合成の標準モードです。近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらを合成するにも適しています。 |
| 近景 | 近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。近距離で撮影した画像を合成するのに適しています。 |
| ドキュメント | 看板や時刻表など文字のある画像を合成するのに適しています。 |

**3** 合成の種類を選び、⦿を押す。

- マルチメディアのイメージのフォルダ一覧画面が表示されます。

合成モードを選び直すとき

- CLRを押します。操作２の画面に戻ります。

**4** フォルダを選び、⦿を押し、合成する２枚目（向かって右側）の静止画を選び、(決定）を押す。

- 「画像合成中」と表示され、合成した静止画が表示されます。
- 📷（入替）を押して、左右の画像を入れ替えることができます。

**5** ⦿を押す。

合成する静止画を選び直すとき

- CLRを押し、静止画を選びます。

**6** 静止画を保存する。（☞**P.262**の操作４～６）

# スライドショーで静止画を見る

指定したフォルダ内のすべての静止画を、スライドショーとして連続表示して楽しむことができます。

**1** 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、📷5を押す。

- 「画像展開中」と表示され、スライドショーが開始されます。
- 再生を中止するときは、CLRを押します。

## スライドショー動作時にBGMを流す

スライドショー動作時にBGMを流すことができます。BGMの音色や音量を設定することができます。

- お買い上げ時は、音色は「陽気なセニョリータ」、音量は「SILENT」に設定されています。

**1** 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、📷4を押す。




**2** 1を押し、フォルダを選び、●を押す。（**BGM**音色）

BGMの音量を変更するとき

- 2を押し、音量を選び、●を押します。

**3** 音色を選び、●（決定）を押す。

## スライドショーの再生間隔や効果を変更する

スライドショー動作時の再生間隔（スピード）や効果を設定することができます。
● お買い上げ時は、再生間隔は「普通」、効果は「OFF」に設定されています。

**1** 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、📷4を押す。

● スライドショー設定画面が表示されます。

**2** 3を押し、再生間隔を選び、●を押す。（再生間隔）

| | |
|---|---|
| もっと速く | 静止画を表示後すぐに次の静止画を再生します。 |
| 速く | 静止画を約３秒間表示してから次の静止画を再生します。 |
| 普通 | 静止画を約５秒間表示してから次の静止画を再生します。 |
| ゆっくり | 静止画を約10秒間表示してから次の静止画を再生します。 |

● 再生間隔は、静止画の大きさにより表示時間が異なる場合があります。

**3** 4を押し、効果の種類を選び、●を押す。（効果設定）

| | |
|---|---|
| ワイプ↓ | 静止画に重ねて、上から下に次の静止画を表示します。 |
| ワイプ↑ | 静止画に重ねて、下から上に次の静止画を表示します。 |
| ワイプ→ | 静止画に重ねて、左から右に次の静止画を表示します。 |
| ワイプ← | 静止画に重ねて、右から左に次の静止画を表示します。 |
| ミックスワイプ | 上下左右からランダムに次の静止画を表示します。 |

効果を設定しないとき
● 1を押します。

タイトル編集

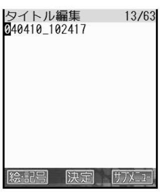
# タイトルを変更する

静止画のタイトル名を変更することができます。

**1** 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、●を押す。

● 静止画一覧が表示されます。

**2** 静止画を選び、📷1を押す。（タイトル編集）




イメージビューア

次ページへ続く

## 3 タイトルを編集し、●を押す。

- CLRを１秒以上押すと、入力されているタイトルが削除されます。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。

**お知らせ**

- FOMA端末で撮影した静止画には、タイトル名とファイル名が付きます。
  タイトル名は静止画一覧などで表示される名前であり、上記の操作でご自分で編集することができます。また、ファイル名は静止画をｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）となります。
- ファイル名を変更することもできます。（☞P.278）

削除

# 静止画を削除する

静止画は次のいずれかの方法で削除することができます。

| | |
|---|---|
| １件削除 | 静止画を１件ずつ削除します。 |
| フォルダ内全件削除 | フォルダ内のすべての静止画を削除します。 |
| 全件削除 | すべての静止画を削除します。 |
| 選択削除 | 複数の静止画を選び、まとめて削除します。 |

- 保護された静止画は、１件削除以外では削除できません。

## 1 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 静止画一覧が表示されます。

**miniSDメモリーカード内の静止画を削除するとき**

- 待受画面で●71を押し、📷#を押します。
- フォルダを選び、●を押します。

## 2 静止画を選び、📷2を押す。（削除）

- 削除画面が表示されます。

## 3 1を押す。（１件削除）




**フォルダ内のすべての静止画を削除するとき**

- 2を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押します。

**すべての静止画を削除するとき**

- 3を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押します。

**複数の静止画を選び、まとめて削除するとき**

- 4を押し、削除したい静止画を選び、●を押します。（「☑」が表示されます。選択を解除するときは、「☑」が表示されている静止画を選び、●を押します。）
  削除したい静止画をすべて選び、i（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

## 4 「はい」を選び、●を押す。

削除しないとき
● 「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ
● フォルダごと静止画を削除する方法については、P.276「フォルダを削除する」を参照してください。
● あらかじめFOMA端末に登録されている静止画は削除できません。
● ピクチャーコールや各種機能に設定している静止画を削除するときは、1件削除を行います。
● 保護設定された静止画を削除するときは、1件削除を行います。

保護設定

# 静止画を保護する

静止画を保護したり、保護されている静止画の保護を解除することができます。保護すると、まとめて削除することができなくなります。
● FOMA端末（本体）の静止画のみ保護設定できます。

## 1 待受画面で、●7 1を押し、フォルダを選び、●を押す。

● 静止画一覧が表示されます。

## 2 保護／解除したい静止画を選び、📷3を押す。（保護設定）

● 保護設定画面が表示されます。

## 3 1を押す。（ON：保護する）

保護を解除するとき
● 2を押します。

お知らせ
● メイン／サブ待受画面、メイン／サブ発着信画面、メイン／サブメール送受信画面、ピクチャーコール、背景パターン、スケジュール、通話時表示に設定した静止画は、自動的に保護設定されます。

イメエジビュエア

# フォルダを作成・編集・削除する

## フォルダを作成する

マルチメディアのイメージに最大20個のフォルダを作成することができます。

**1** 待受画面で、●7 1を押す。

● イメージのフォルダ一覧が表示されます。

**2** 📷1を押す。（フォルダ新規作成）

● フォルダ名入力画面が表示されます。

**3** フォルダ名を入力し、●を押す。

● フォルダが作成されます。
● 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

**お知らせ**

● 作成したフォルダの静止画一覧を表示するときに、端末暗証番号の入力が必要になるよう設定できます。
1 イメージフォルダ一覧画面で、設定したいフォルダを選び📷を押し、「■フォルダセキュリティ」を選び●を押す。
2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し●を押し、1を押す。設定を解除するときは、2を押す。

## フォルダ名を編集する

フォルダ名を変更することができます。
● 自分で作成したフォルダ以外は変更できません。

**1** 待受画面で、●7 1を押す。

● イメージのフォルダ一覧が表示されます。

**2** フォルダを選び、📷2を押す。（フォルダ名編集）

● フォルダ名編集画面が表示されます。

**3** フォルダ名を編集し、●を押す。

● 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
● CLRを１秒以上押すと、入力されているフォルダ名が削除されます。

## フォルダを削除する

作成したフォルダは、削除することができます。
● 自分で作成したフォルダ以外は削除することができません。
● 静止画が保存されているフォルダを削除することもできます。

**1** 待受画面で、●7 1を押す。

● イメージのフォルダ一覧が表示されます。

**2** フォルダを選び、📷3を押す。（削除）

**3** 3を押す。（フォルダ削除）

● 端末暗証番号入力画面が表示されます。

**4** 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押し、「はい」を選び、◉を押す。

フォルダ内に保護されている静止画が保存されているとき

- 保護を解除して、やり直してください。

## 静止画を別のフォルダに移動する<移動>

静止画を別のフォルダに移動させて、管理することができます。

- あらかじめフォルダを作成しておいてください。（☞P.276）

**1** 待受画面で、◉⑦①を押し、フォルダを選び、◉を押す。

- 静止画一覧が表示されます。

**2** 静止画を選び、📷④を押す。（移動）




**3** ①を押す。（１件移動）

フォルダ内のすべての静止画を移動するとき

- ②を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、◉を押します。

複数の静止画を選び、移動するとき

- ③を押し、移動したい静止画を選び、◉を押します。（「☑」が表示されます。選択を解除するときは、「☑」が表示されている静止画を選び、◉を押します。）
  移動したい静止画をすべて選び、ⓘ（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

**4** 移動先のフォルダを選び、◉を押す。

- 静止画が移動します。

お知らせ

- miniSDメモリーカードのメモリがいっぱいになったときは、miniSDメモリーカード内で別のフォルダに移動することはできません。
- 移動先フォルダの静止画が300枚を超えると、超えた分の静止画は移動できません。

ファイル名編集

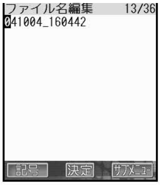
# ファイル名を変更する

静止画のファイル名を変更することができます。

**1** 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 静止画一覧が表示されます。

**2** 静止画を選び、📷6を押す。（ファイル名編集）




**3** ファイル名を編集し、●を押す。

- CLRを１秒以上押すと、入力されているファイル名が削除されます。
- 最大半角36文字まで入力できます。

**お知らせ**

- FOMA端末で撮影した静止画には、タイトル名とファイル名が付きます。
  タイトル名は静止画一覧などで表示される名前で、ファイル名は静止画をｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたファイルや、ｉモードメールに添付されているファイル、ｉアプリから保存したファイルで、ファイル制限が「あり」のファイルや、テレビ電話中に撮影した「静止画メモ」、miniSDメモリーカードに保存されている静止画のファイル名は編集できません。
- タイトル名を変更することもできます。（☞P.273）

ソート

# 静止画を並べ替える

静止画一覧の表示順番を、次のいずれかに変更することができます。

| | |
|---|---|
| 日付順（新→旧） | 保存した日付の新しい順 |
| 日付順（旧→新） | 保存した日付の古い順 |
| タイトル名順 | タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→半角カタカナ→全角数字→全角英大文字→全角英字小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字１→絵文字２）の順 |
| ファイル取得方法 | ファイルによって、カメラ撮影画像→ダウンロード（ｉモード／ｉモードメール／ｉアプリ）→miniSDメモリーカード／赤外線／USB→テレビ電話→キャラ電から取得の順 |
| サイズ順（大→小） | サイズの大きい順 |
| サイズ順（小→大） | サイズの小さい順 |

- お買い上げ時は、「日付順（新→旧）」に設定されています。

**1** 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 静止画一覧が表示されます。

**2** [📷][8]を押す。（ソート）

- ソート画面が表示されます。

**3** ソート方法を選び、[●]を押す。

- ソートされます。

表示切替

# リスト画面の表示方法を変更する

マルチメディアのイメージの静止画一覧の表示方法を、「９分割表示」、「16分割表示」、「リスト表示」のいずれかに設定することができます。

- お買い上げ時は、「９分割表示」に設定されています。

**1** 待受画面で、[●][7][1]を押し、フォルダを選び、[●]を押す。

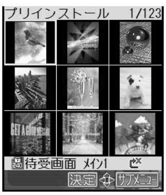
- 静止画一覧が表示されます。

**2** [📷][9]を押す。（表示切替）

- 表示切替画面が表示されます。

**3** 表示方法を選び、[●]を押す。

- 表示方法が切り替わります。



９分割表示



16分割表示



リスト表示

**お知らせ**

- 静止画のタイトル名は、最大全角31文字（半角63文字）まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）となります。
- ９分割表示や16分割表示では、動画／ｉモーションの種類が次のいずれかに該当する場合は、画像の代わりに「♪」「iM」が表示されます。
  - ■ 音声のみまたはテキストのみのデータ
  - ■ 画像サイズが非対応のデータ
  - ■ 画像ファイル形式が非対応のデータ

再生中照明設定

# 再生時の照明を設定する

Flashなど静止画以外を再生中の照明を設定します。

- お買い上げ時は、「照明設定に従う」に設定されています。（☞『基本編』P.176）

**1** 待受画面で、●71を押し、📷6を押す。




**2** 2を押す。（常に**ON**）

- 再生終了後は、照明設定に従います。

照明設定に従うとき

- 1を押します。
- 照明時間設定に従ってバックライトが点灯します。（☞『基本編』P.176）

ファイル制限設定

# 静止画の**FOMA**端末外への出力を制限する

静止画のメール添付やFOMA端末外への出力ができないように、設定することができます。

- FOMA端末で撮影した静止画をファイル制限設定すると、お客様がｉモードメールに添付して送信することはできますが、受け取った相手の方がさらに他の方に送信することはできなくなります。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画や、ｉモードメールに添付されている静止画、テレビ電話中に撮影した「静止画メモ」、ｉアプリから保存した静止画のファイル制限設定を変更することはできません。
- SH900iにて撮影、または画像編集で作成した静止画のみ設定を変更することができます。

**1** 待受画面で、●71を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 静止画一覧が表示されます。

**2** 静止画を選び、📷を押す。

**3** 「■ファイル制限設定」を選び、●を押す。



**4** ②を押す。（あり）

制限を解除するとき
- ①を押します。

プリント指定（**DPOF**）

# 静止画のプリントを指定する

DPOF（ディーポフ：「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。FOMA端末で撮影したminiSDメモリーカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントを行うことができます。

- サイトやインターネットホームページからダウンロードした静止画はプリントできません。ただし、JPEG画像でminiSDメモリーカードにコピーすることができる静止画の場合は、プリントできます。
- プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の取扱説明書を参照してください。
- DPOF対象となるフォルダ
  - ■ 撮影静止画用フォルダ／ユーザー作成フォルダ（☞P.337）
  - ■ 他の機器で作成したDCF準拠フォルダ（☞P.239）
- DPOF対象となるファイル
  - ■ 上記フォルダに保存されている静止画（DCF準拠JPEG）
- FOMA端末（本体）の静止画は指定できません。

**1** 待受画面で、●⑦⑤を押す。

- miniSDメモリーカード内でプリント可能な静止画のフォルダ一覧が表示されます。

すでに他の機器で設定した**DPOF**があるとき
- クリアしなければ、新たにDPOFを設定できません。
- 確認画面が表示されます。「はい」を選び、●を押します。
- クリアしないときは、「いいえ」を選び、●を押します。

イメエジビュエア

次ページへ続く

## 2 フォルダを選び、◉を押す。




次のページを表示するとき
- ⓘを押します。

前のページを表示するとき
- ✉を押します。

すべての静止画を同じ枚数ずつプリントするとき
- フォルダを選び、📷1（枚数一括指定）を押し、1（全ての画像）を押し、プリント枚数を入力して◉を押します。操作５に進みます。

「VGA：480×640」以上の静止画を同じ枚数ずつプリントするとき
- フォルダを選び、📷12を押します。操作４に進みます。

「XGA：768×1024」以上の静止画を同じ枚数ずつプリントするとき
- フォルダを選び、📷13を押します。操作４に進みます。

日付を付けるとき
- フォルダを選び、📷3を押し、1（ON）を押します。

インデックスプリントが必要なとき
- 枚数一括指定でプリント枚数を設定したあと、フォルダを選び、📷4を押し、1（ON）を押します。

プリント指定状態を確認するとき
- フォルダを選び、📷5を押します。
- 枚数一括指定をしている場合、枚数は概算が表示されます。

## 3 静止画を選び、📷1を押す。（個別枚数指定）

## 4 ダイヤルボタンでプリント枚数（１～**99**）を入力し、◉を押す。

続けて他の静止画を指定するとき
- 操作３～４をくり返します。

## 5 プリントする静止画と枚数の指定が終わったら、ⓘ（完了）を押す。

## 6 「はい」を選び、◉を押す。

プリント指定をやり直すとき
- 「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ
- 他の機器でminiSDメモリーカードに保存したDCF準拠以外の静止画は、印刷指定できない場合があります。

イメエジビュエア

# 動画／ｉモーションを再生する

FOMA端末で撮影した動画やボイスレコーダーで録音した音声、サイトやインターネットホームページから取得したｉモーションは、マルチメディアのｉモーションに保存され、ビデオプレーヤで再生することができます。

## 1 待受画面で、⦿ 7 2 を押す。




- 動画／ｉモーションのフォルダ一覧が表示されます。
- 待受画面で、(カメラ)を１秒以上押したあと、(i)を押しても表示することができます。

### フォルダ内の動画／ｉモーションを連続再生するとき

- フォルダを選び、(カメラ) 4 を押します。
- 再生回数制限がかかっている動画／ｉモーションや再生できない動画／ｉモーションはスキップされます。
- 連続再生が開始される前の３秒間にいずれかのボタンを押すと、連続再生は終了します。（ただし、＊／＃／(音)／(電源)／CLR／view／(メール)／(iアプリ)／(カメラ)／(i)／◁／▷／⦿のボタンを１秒以上押すと再生は継続されます。）

## 2 フォルダを選び、⦿を押す。




- 動画／ｉモーションの画像一覧が表示されます。
- 動画撮影画面（☞P.227、P.254）などで、(カメラ) 2 を押しても表示することができます。

### 画像一覧表示を切り替えるとき

- (カメラ) 9 を押し、2（16分割表示）または 3（リスト表示）に切り替えることができます。９分割表示にするときは、1（９分割表示）を押します。

### 次のページ／前のページを表示するとき

- 次のページは(iアプリ)、前のページは(メール)を押します。

### mini SDメモリーカード内の動画／ｉモーションを確認するとき

- (カメラ) ＃ を押します。再び、FOMA端末（本体）の動画／ｉモーションを確認するときは、(カメラ) ＃ を押します。

## 3 再生したい動画／ｉモーションを選び、⦿を押す。

- 再生中に⦿を押すと、一時停止します。
- 音声のみの動画／ｉモーションの場合、画面には固定のアニメーションが表示されます。

### マナーモードを設定しているとき

- 「マナーモードです　音声を再生しますか？」と表示されます。「はい」を選び、⦿を押します。
- 映像のみの場合は表示されません。

### 再生中にできること

| | |
|---|---|
| 音量を調節する※ | ▽（小）または△（大）を押します。 |
| 早送りする | ▷を押し続けます。ボタンから指を離した時点で、再生します。 |
| 早戻しする | ◁を押し続けます。ボタンから指を離した時点で、再生します。 |
| 一時停止する | ⦿を押します。もう一度⦿を押すと、続きを再生します。 |
| 次の動画／ｉモーションを再生する | ▷を押します。 |
| 前の動画／ｉモーションを再生する | ◁を押します。先頭に戻ったときは先頭でもう一度◁を押します。 |

※ 音量調節は一時的なものです。ビデオプレーヤ終了時に、「音量３」に戻ります。

- 一時停止中に▷を押すとコマ送り、◁を押すとコマ戻しをすることができます。

次ページへ続く

● 再生可能な動画／ｉモーションの種類は次のとおりです。動画／ｉモーションの種類は情報表示（☞P.288）で確認することができます。

| ファイル形式 | | 符号化方式 |
|---|---|---|
| MP4 | 画像 | MPEG-4、H.263（最大 384kbps，15fps） |
| | 音声 | AMR（8kHz，4.75〜12.2kbps）、AAC（8kHz/16kHz，8〜80kbps） |
| ASF | 画像 | MPEG-4（最大 384kbps，15fps） |
| | 音声 | G.726（8kHz，16〜32kbps） |

### 再生状態のマークの見かた

| | | |
|---|---|---|
| トラック情報表示 | 映像＋音声＋テキスト | |
| | 映像＋音声 | |
| | 映像＋テキスト | |
| | 音声＋テキスト | |
| | 映像のみ | |
| | 音声のみ | |
| | テキストのみ | |
| バッファリング中表示 | 標準タイプ・ストリーミングタイプ | |
| ダウンロード未完了 | | |
| リピート再生 | | |
| 再生中照明設定 | | |
| 拡大再生中表示 | | |

● 画面右下に、映像のない動画／ｉモーションの場合は「」、音声のない動画／ｉモーションの場合は「」が表示されます。

ビデオプレイヤ

**お知らせ**

● 再生中に一時停止をしたり、アラーム動作があった場合、再生を再開するときに一時停止した位置とは少しずれた位置から再生されることがあります。
● 動画／ｉモーションを一時停止してサブメニューを選んだ場合、メニューや再生中のデータによっては少し戻った位置から再生を開始することがあります。
● 外部機器で miniSD メモリーカードに保存した動画も FOMA 端末で再生することができます。（☞P.405）

**再生中にFOMA端末を閉じたとき**

● 再生が停止し、サブディスプレイには待受画面が表示されます。もう一度FOMA端末を開くとメインディスプレイには停止中の画面が表示され、⦿を押すと最初から再生が開始されます。

**マルチメディアのｉモーションに保存した動画／ｉモーションは、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.332）やデータリンクソフト（☞P.404）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。**

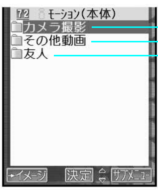
● FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、マルチメディアのｉモーションに登録してある動画／ｉモーションが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

**動画／ｉモーションを再生中に音声電話やテレビ電話がかかってくると**

● 着信画面が表示され、電話に出ることができます。再生中は中止されます。通話終了後、動画／ｉモーション一覧に戻ります。なお、miniSDメモリーカードに保存されたASFファイルの場合は、通話終了後、再生を中止したところから再生を開始できます。

## ｉモーションフォルダ一覧画面の見かた

**[FOMA端末（本体）]**



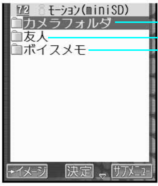

FOMA端末で撮影した動画用フォルダ

サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールで入手した動画／ｉモーション用フォルダ

お客様が作成できるフォルダ

**[miniSDメモリーカード]**

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、ｉモーション画面で◎#を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。




FOMA端末で撮影した動画用フォルダ

お客様が作成できるフォルダ

撮影種別を音声のみ、保存先をminiSDメモリーカードに設定して撮影した動画用フォルダ

- 「ボイスメモ」フォルダに保存された動画は、別のフォルダに移動できません。
- 「ボイスメモ」フォルダのフォルダ名変更、フォルダ削除はできません。
- 「ボイスメモ」フォルダに保存された動画にはタイトル名がないため、タイトル編集はできません。
- 「ボイスメモ」フォルダには最大100件まで保存でき、VOICE001～VOICE100までのファイル名が付きます。ファイル形式はMP4です。

## 動画／ｉモーション情報マークの見かた

| | Mobile MP4 | | MP4 | | ASF |
|---|---|---|---|---|---|
| | 再生制限なし | 再生制限あり | 再生制限なし | 再生制限あり | － |
| 保護設定なし |  |  |  |  |  |
| 保護設定あり |  |  |  |  |  |
| 撮影画像 |  | － | － | － | － |

- FOMAカード動作制限機能が設定されたｉモーションには、「」（保護設定なし）、「」（保護設定あり）が表示されます。
- メイン待受画面、ピクチャーコールや着信音、指定着信音に設定した動画／ｉモーションには、「」が表示されます。
- ファイル制限されている動画／ｉモーションには、「」が表示されます。
- ｉモードなどでダウンロードした動画／ｉモーションには「」が、miniSDメモリーカードで取得した動画／ｉモーションには「」が表示されます。
- カメラ撮影した動画には「」が表示されます。
- キャラ電撮影した動画には「」が表示されます。

## くり返し再生する＜リピート再生＞

動画／ｉモーションをくり返し再生することができます。

**1** 動画／ｉモーションの再生中（☞**P.283**の操作１～３）に、●を押す。

- 一時停止します。

**2** ◎1を押す。（リピート再生）




- 再生が開始されます。
- 再生が終わると、３秒後にリピート再生します。
- もう一度、再生中に●を押し、◎1を押すと通常の再生に戻ります。

**再生を中止するとき**

- CLRを押すと、動画／ｉモーション一覧に戻ります。

ビデオプレイヤ

次ページへ続く

お知らせ
- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生することができません。
- リピート再生が開始される前の３秒間にいずれかのボタンを押すと、リピート再生は終了します。（ただし、[＊]／[＃]／[音]／[PWR]／[CLR]／[view]／[メール]／[iアプリ]／[カメラ]／[i]／[◐]／[◑]／[◉]のボタンを１秒以上押すと再生は継続されます。）

## 再生サイズを切り替える<表示サイズ切替>

動画／ｉモーションの再生サイズを切り替えることができます。
- 画像サイズが「Sub-QCIF：128×96」とテロップなしの「QCIF：176×144」の場合、表示サイズを「拡大」に切り替えることができます。それ以外の画像サイズの場合、「表示サイズ切替」を選ぶことができません。
- 電源をOFFにしても、再生サイズの設定は保持されます。
- お買い上げ時は、「等倍」に設定されています。

**1** 動画／ｉモーションの再生中（☞P.283の操作１～３）に、[◉]を押す。
- 一時停止します。

**2** [カメラ][２]を押す。（表示サイズ切替）




**3** [２]（拡大）を押す。

等倍にするとき
- [１]（等倍）を押します。

## ライトアップするとき

動画／ｉモーションを再生中にディスプレイの照明の明るさを最大にして、ライトアップすることができます。

**1** 動画／ｉモーションの再生中（☞P.283の操作１～３）に、[＃]を１秒以上押す。
- 動画／ｉモーションがライトアップされます。
- もう一度同じ操作を行うと、ライトアップは解除されます。再生中照明設定（☞P.302）を「照明設定に従う」に設定しているときは照明時間設定（☞『基本編』P.176）で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- 再生中照明設定を「常にON」に設定しているときは、動画／ｉモーションを終了するまでライトアップされます。

お知らせ
- ライトアップ時は、メインディスプレイの明るさの設定（☞『基本編』P.177）にかかわらず、最大の明るさで表示されます。

ビデオプレイヤ

# 動画／ｉモーションを利用する

## 動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを送信する<ｉモーションメール>

動画／ｉモーションを、ｉモードメールに添付して送信することができます。
- 送信できる動画／ｉモーションのファイルサイズは最大100Kバイト（102400バイト）です。
- 送信できる動画／ｉモーションのファイル形式は、Mobile MP4です。

**1** 待受画面で、●72を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

**2** 添付したい動画／ｉモーションを選び、iを押す。




- メール作成画面が表示されます。選択した動画／ｉモーションが添付されます。

**3** ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

## 動画／ｉモーションを待受画面に表示する

動画／ｉモーションを、待受画面に設定することができます。
- 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像、ｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。

**1** 待受画面で、●72を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

**2** 動画／ｉモーションを選び、📷5を押す。（待受画面に設定)




- 映像のない動画／ｉモーションやファイル形式がASFの動画／ｉモーションを待受画面に設定することはできません。

**3** 1を押す。（等倍）

拡大表示するとき
- 2を押します。
- 画像サイズが「Sub QCIF：128×96」以外のときは、拡大表示をすることができません。

お知らせ
- 動画／ｉモーションを着モーションに設定する場合については、『基本編』P.158～P.159を参照してください。
- ｉモーションによっては、待受画面に設定できないものがあります。
- ｉモーション待受画面から、Phone To機能、Mail To機能、Web To機能はご利用になれません。
- 動画／ｉモーションの音量はオープン音の音量で設定できます。

情報表示

# 詳細情報を表示する

動画／ｉモーションの詳細情報を表示することができます。
表示される情報は次のとおりです。

- 保存日時
- 表示サイズ
- ファイル形式
- 保護設定（あり／なし）※1
- 画面設定※1
- ファイル名
- 再生回数制限（MobileMP4／MP4）※2
- 再生期間制限（MobileMP4／MP4）※2
- 保存元
- 作成者
- 説明
- 作成日時
- ファイルサイズ
- ファイル制限（あり／なし）
- 音色設定※1
- 電話帳設定※1
- タイトル（オリジナル）
- 再生期限制限（MobileMP4／MP4）※2
- 音（AAC／AMR／G.726）☞P.284※3
- 着信音設定（可／不可、MobileMP4／MP4）
- コピーライト

※1 miniSDメモリーカードの情報表示では、表示されません。
※2 再生制限がない場合は表示されません。
※3 音声のない動画／ｉモーションは、表示されません。

**1** 動画／ｉモーションの再生中（☞**P.283**の操作１～３）に、◉を押す。

- 一時停止します。

**2** [📷][9]を押す。（情報表示）




**3** 確認を終わるときは、◉（確認）を押す。

映像編集

# 動画を編集する

## 動画の始点と終点を指定して切り取る<映像カッター（手動）>

撮影した動画の一部を始点と終点を指定して切り取り、新しい動画として保存します。

- SH900iで撮影した動画以外は編集できません。
- ３秒未満の動画は切り取りできません。

**1** 動画の再生中（☞**P.283**の操作１～３）に、◉を押す。

- 一時停止します。

## 2 📷を押し、📷3を押す。（映像カッター（手動））




## 3 1を押す。（部分切り出し）

- 始点と、終点を指定して切り取ります。

始点を指定して、ファイルの最後までを切り取るとき

- 2を押します。

終点を指定して、ファイルの最初から切り取るとき

- 3を押します。
- ◀▶を押してコマ送り／戻しをすることができます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。

## 4 i（始点）を押す。

- この位置が切り取る始点になります。
- ◀▶を押してコマ送り／戻しをすることができます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。

## 5 i（終点）を押す。

- この位置が終点になります。
- 終点を始点と同じ位置、または始点より前の位置に指定することはできません。

## 6 ●（確認）を押す。




編集を中止するとき

- CLRを押し、「はい」を選び、●を押します。

## 7 1を押す。（保存）




切り取った動画を再生するとき

- 2を押します。

切り取った動画を保存しないとき

- 3を押します。

ビデオプレイヤ

次ページへ続く ▶▶

## 8 1を押す。（OK）

- 選択した範囲が新しい動画として保存されます。

保存を中止するとき

- 保存中に◉（中止）を押します。

タイトルを変更するとき

- 2を押し、タイトルを入力し、◉を押します。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
- 1を押すと、保存されます。

保存するフォルダを変更するとき

- 3を押し、保存するフォルダを選び、◉を押します。
- 1を押すと、保存されます。
- miniSDメモリーカード内の動画の場合、フォルダを変更できません。

ｉモードメールに添付して送信するとき

- 4を押し、ｉモードメールを作成し、送信します。
- 切り取った動画のサイズが100Kバイト以下の場合のみ、メール作成を選択できます。
- 動画は自動的に保存されます。
- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

# 動画からメール用に切り出す＜映像カッター（メール用）＞

ｉモードメール添付用に、動画を切り出して、新しい動画として保存します。

- SH900iで撮影した動画以外は編集できません。
- 動画の先頭または指定した位置から、約95Kバイトまでを自動的に切り出します。
- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「Sub QCIF：128×96」のときのみ切り出しが可能です。
- 切り出す前の動画のサイズが100Kバイト（102400バイト）以下の場合、切り出しをすることはできません。

## 1 動画の再生中（☞P.283の操作１～３）に、◉を押す。

- 一時停止します。

## 2 📷を押し、📷2を押す。（映像カッター（メール用））




## 3 1を押す。（自動）

- 動画の先頭から約95Kバイトが自動的に切り出されます。

始点を指定して切り出すとき

- 2を押すと、ファイルの最初で一時停止します。
- ◀▶を押してコマ送り／戻しをすることができます。1秒以上押すと、早送り／早戻しします。
- ⓘ（始点）を押します。指定した部分から約95Kバイトが新しい動画として保存されます。

ビデオプレイヤ

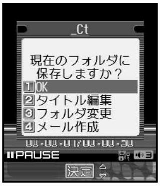
## 4 ◉（確認）を押す。




編集を中止するとき

- CLRを押し、「はい」を選び、◉を押します。

## 5 1を押す。（保存）




切り出した動画を再生するとき

- 2を押します。

切り出した動画を保存しないとき

- 3を押します。

## 6 1を押す。（OK）

- 選択した範囲が新しい動画として保存されます。

保存を中止するとき

- 保存中に◉（中止）を押します。

タイトルを変更するとき

- 2を押し、タイトルを入力し、◉を押します。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
- 1を押すと、保存されます。

保存するフォルダを変更するとき

- 3を押し、保存するフォルダを選び、◉を押します。
- 1を押すと、保存されます。

ｉモードメールに添付して送信するとき

- 4を押し、ｉモードメールを作成し、送信します。
- 動画は自動的に保存されます。
- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

ビデオプレーヤ

## 動画を静止画として保存する＜静止画キャプチャ＞

動画の一場面を、静止画として保存することができます。保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。また、ｉモードメールに添付して送信することもできます。

- SH900iで撮影した動画以外は編集できません。
- 静止画キャプチャした静止画は、マルチメディアのイメージの「その他静止画」フォルダに保存されます。

**1** 動画の再生中（☞**P.283**の操作１～３）に、静止画として保存したい場面で●を押す。

- 一時停止中に◐を押して、コマ送り／戻しをすることができます。画面の調整をしてください。

**2** 📷を押し、📷1を押す。（静止画キャプチャ）




**3** 1を押す。（**OK**）

- 動画の一場面が静止画として保存されます。

## 動画のテロップを編集する＜テロップ編集＞

動画を再生中に、テロップを付けたいところで一時停止をして、１ファイルにつき、最大５個のテロップを付けることができます。
文字の色やサイズを変更したり、背景に色を付けるなどの装飾を行うことができます。

- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「Sub QCIF：128×96」のときのみテロップ編集が可能です。
- SH900iで撮影した動画以外は編集できません。
- １秒未満のデータ、100K バイト以上のデータや映像のないデータは、テロップ編集はできません。

**1** 動画の再生中（☞**P.283**の操作１～３）に、●を押す。

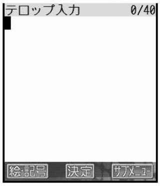
- 一時停止します。

**2** 📷を押し、📷4を押す。（テロップ編集）




- ファイルの最初で一時停止します。

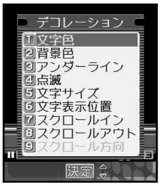
## 3 ●（再生）を押し、テロップを入れたい場面で●（一時停止）を押し、◎（始点）を押す。




## 4 テキストを入力する。

- 最大全角20文字（半角40文字、絵文字、改行も含む）まで入力できます。

## 5 ●を押し、📷を２回押す。




- デコレーションメニュー画面が表示されます。

## 6 デコレーションの種類を選び、●を押す。

- 次のボタンを押しても選択できます。

パレットの番号と装飾の種類

| パレットの番号 | 装飾の種類 | パレット番号入力後の操作 |
|---|---|---|
| 1 | 文字色 | 色を選び、●を押す。 |
| 2 | 背景色 | 背景の色を選び、●を押す。 |
| 3 | アンダーライン | 1（引く）または2（引かない）を押す。 |
| 4 | 点滅 | 1（する）または2（しない）を押す。 |
| 5 | 文字サイズ | 1（文字→小）または2（文字→大）を押す。 |
| 6 | 文字表示位置 | 1（左）、2（中央）、3（右）のいずれかを押す。 |
| 7 | スクロールイン | 1（する）または2（しない）を押す。 |
| 8 | スクロールアウト | 1（する）または2（しない）を押す。 |
| 9 | スクロール方向 | 1（←（右から左））、2（→（左から右））、3（↑（下から上））、4（↓（上から下））のいずれかを押す。 |

- 入力した文字に装飾が反映されます。



次ページへ続く

## 7 ◎1を押す。（編集完了）

再び、文字を編集するとき
- ◎2を押し、操作４～６をくり返します。

装飾を削除するとき
- ◎3を押し、「はい」を選び、●を押します。

テロップを削除するとき
- ◎4を押し、「はい」を選び、●を押します。

他のところにテロップを付けるとき
- 操作３～６をくり返します。

## 8 1を押す。（保存）




再生するとき
- 2を押します。

保存しないとき
- 3を押します。

再びテロップ編集するとき
- 4を押します。

## 9 1を押す。（**OK**）

- テロップの付いた動画が保存されます。

保存を中止するとき
- 保存中に●（中止）を押します。

タイトルを変更するとき
- 2を押し、タイトルを入力し、●を押します。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
- 1を押すと、保存されます。

保存するフォルダを変更するとき
- 3を押し、保存するフォルダを選び、●を押します。
- 1を押すと、保存されます。

ｉモードメールに添付して送信するとき
- 4を押し、ｉモードメールを作成し、送信します。
- 編集した動画のサイズが100Kバイト以下の場合のみ、メール作成を選択できます。
- 動画は自動的に保存されます。
- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

# 動画のアフレコを編集する＜アフレコ編集＞

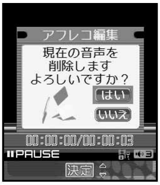
動画に音声を付けることができます。動画を再生しながら吹き込みます。音声は送話口から録音されます。
- 画像サイズが「QCIF：176×144」または「Sub QCIF：128×96」のときのみアフレコ編集が可能です。
- SH900iで撮影した動画以外は編集できません。
- １秒未満のデータ、100K バイト以上のデータや映像のないデータは、アフレコ編集はできません。
- イヤホンマイク接続時には、イヤホンマイクから録音できます。

## 1 動画の再生中（☞**P.283**の操作１～３）に、●を押す。

- 一時停止します。

ビデオプレイヤ

## 2 📷を押し、📷5を押す。（アフレコ編集）




- 映像のみで撮影した動画のときは、操作４に進みます。

## 3 「はい」を選び、●を押す。




- ファイルの最初で一時停止します。
- ファイルの途中からアフレコ編集を開始することはできません。

## 4 ●（録音）を押す。

- 映像に合わせて音声を吹き込みます。
- 録音中に一時停止、早送り、早戻し、コマ送り、コマ戻しはできません。

## 5 録音が終了したら●（完了）を押す。




**100Kバイト（102400バイト）を超えるとき**

- 「ｉモーションメールで送れるサイズに変更しますか？」と表示されます。「はい」を選び、●を押すと、サイズが変更されます。

## 6 1を押す。（保存）




**再生するとき**

- 2を押します。

**保存しないとき**

- 3を押します。

ビデオプレイヤ

## 7 1を押す。（OK）

- アフレコが付いた動画が保存されます。

保存を中止するとき
- 保存中に◉（中止）を押します。

タイトルを変更するとき
- 2を押し、タイトルを入力し、◉を押します。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。
- 1を押すと、保存されます。

保存するフォルダを変更するとき
- 3を押し、保存するフォルダを選び、◉を押します。
- 1を押すと、保存されます。

ｉモードメールに添付して送信するとき
- 4を押し、ｉモードメールを作成し、送信します。
- 編集した動画のサイズが100Kバイト以下の場合のみ、メール作成を選択できます。
- 動画は自動的に保存されます。
- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

タイトル編集

# タイトルを変更する

動画／ｉモーションのタイトル名を変更することができます。
- miniSD メモリーカードの「ボイスメモ」フォルダ内の動画にはタイトル名がないため、タイトル編集はできません。

## 1 待受画面で、◉72を押し、フォルダを選び、◉を押す。

- 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

## 2 動画／ｉモーションを選び、📷1を押す。（タイトル編集）




オリジナルのタイトルがないとき
- 操作３の画面が表示されます。

## 3 1を押す。（直接入力）

- タイトル編集画面が表示されます。

元のタイトルに戻すとき
- 2を押します。

## 4 タイトルを編集し、◉を押す。

- CLRを１秒以上押すと、入力されているタイトル名が削除されます。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。

ビデオプレイヤ

お知らせ
- FOMA端末で撮影した動画には、タイトル名とファイル名が付きます。タイトル名は動画／ｉモーション一覧で表示される名前で、ファイル名は動画／ｉモーションをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）となります。
- ファイル名を変更することもできます。（☞P.300）

動画／ｉモーション削除

# 動画／ｉモーションを削除する

動画／ｉモーションは次のいずれかの方法で削除することができます。

| | |
|---|---|
| １件削除 | 動画／ｉモーションを１件ずつ削除します。 |
| フォルダ内全件削除 | フォルダ内のすべての動画／ｉモーションを削除します。 |
| 全件削除 | すべての動画／ｉモーションを削除します。ただし、miniSDメモリーカードに保存されている動画／ｉモーションは、全件削除することはできません。 |
| 選択削除 | 複数の動画／ｉモーションを選び、まとめて削除します。 |
| フォルダ削除 | 動画／ｉモーションをフォルダごと削除します。（☞P.299） |

**1** 待受画面で、⦿72を押し、フォルダを選び、⦿を押す。

- 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

**2** 動画／ｉモーションを選び、📷2を押す。（削除）




**3** 1を押す。（１件削除）

フォルダ内のすべての動画／ｉモーションを削除するとき
- 2を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、⦿を押します。

すべての動画／ｉモーションを削除するとき
- 3を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、⦿を押します。

複数の動画／ｉモーションをまとめて削除するとき
- 4を押し、削除したい動画／ｉモーションを選び、⦿を押します。（「☑」が表示されます。選択を解除するときは、「☑」が表示されている動画／ｉモーションを選び、⦿を押します。）
  削除したい動画／ｉモーションをすべて選び、ⓘ（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

**4** 「はい」を選び、⦿を押す。

- 動画／ｉモーションが削除されます。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、⦿を押します。

お知らせ
- 保護された動画／ｉモーションを削除するときは、１件削除を行います。

ビデオプレーヤ

# 動画／ｉモーションを保護する

動画／ｉモーションを保護したり、保護されている動画／ｉモーションの保護を解除することができます。保護すると、まとめて削除することができなくなります。
● FOMA端末（本体）の動画／ｉモーションのみ保護設定できます。

**1** 待受画面で、●72を押し、フォルダを選び、●を押す。

● 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

**2** 保護／解除したい動画／ｉモーションを選び、📷3を押す。（保護設定）




**3** 1を押す。（**ON**：保護する）

保護を解除するとき
● 2を押します。

| お知らせ | ● メイン待受、着信音、ピクチャーコールに設定した動画／ｉモーションは、自動的に保護設定されます。（画面や音設定への設定が解除された場合でも、保護設定の自動解除は行いません。） |
|---|---|

# フォルダを作成・編集・削除する

## フォルダを作成する

マルチメディアのｉモーションに最大20個のフォルダを作成することができます。

**1** 待受画面で、●72を押す。

● ｉモーションのフォルダ一覧が表示されます。

**2** 📷1を押す。（フォルダ新規作成）

● フォルダ名入力画面が表示されます。

**3** フォルダ名を入力し、●を押す。

● フォルダが作成されます。
● 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

| お知らせ | ● 作成したフォルダの動画／ｉモーション一覧を表示するときに、端末暗証番号の入力が必要になるよう設定できます。<br>1 ｉモーションフォルダ一覧画面で、設定したいフォルダを選び、📷7を押す。<br>2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し●を押し、1を押す。設定を解除するときは、2を押す。 |
|---|---|

ビデオプレイヤ

## フォルダ名を編集する

フォルダ名を変更することができます。

- 自分で作成したフォルダ以外は変更できません。
- miniSDメモリーカードの場合、自動で作成された「カメラフォルダ」も、フォルダ名を変更することができます。

**1** 待受画面で、◉72を押す。

- ｉモーションのフォルダ一覧が表示されます。

**2** フォルダを選び、(カメラ)2を押す。（フォルダ名編集）

- フォルダ名編集画面が表示されます。

**3** フォルダ名を編集し、◉を押す。

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。
- CLRを１秒以上押すと、入力されているフォルダ名が削除されます。

## フォルダを削除する

作成したフォルダは、削除することができます。

- 自分で作成したフォルダ以外は削除することができません。
- 動画／ｉモーションが保存されているフォルダを削除することもできます。

**1** 待受画面で、◉72を押す。

- ｉモーションのフォルダ一覧が表示されます。

**2** フォルダを選び、(カメラ)3を押す。（削除）

**3** 3を押す。（フォルダ削除）

- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

**4** 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力して◉を押し、「はい」を選び、◉を押す。

フォルダ内に保護されている動画／ｉモーションが保存されているとき

- 保護を解除して、やり直してください。

## 別のフォルダに移動する＜移動＞

動画／ｉモーションを別のフォルダに移動させて、管理することができます。

- あらかじめフォルダを作成しておいてください。（☞P.298）

**1** 待受画面で、◉72を押し、フォルダを選び、◉を押す。

- 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

ビデオプレーヤ

次ページへ続く

**2** 動画／ｉモーションを選び、(カメラ)(4)を押す。（移動）




**3** (1)を押す。（１件移動）

フォルダ内のすべての動画／ｉモーションを移動するとき

- (2)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押します。

複数の動画／ｉモーションを選び、まとめて移動するとき

- (3)を押し、移動したい動画／ｉモーションを選び、(●)を押します。（「☑」が表示されます。選択を解除するときは、「☑」が表示されている動画／ｉモーションを選び、(●)を押します。）
  移動したい動画／ｉモーションをすべて選び、(i)（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

**4** 移動先のフォルダを選び、(●)を押す。

- 動画／ｉモーションが移動します。

お知らせ

- miniSDメモリーカード内の「ボイスメモ」フォルダ内のデータは移動できません。
- miniSDメモリーカードのメモリがいっぱいになったときは、miniSDメモリーカード内で別のフォルダに移動することはできませんので、不要な動画／ｉモーションを削除してください。

ビデオプレイヤ

ファイル名編集

# ファイル名を変更する

動画／ｉモーションのファイル名を変更することができます。

**1** 待受画面で、(●)(7)(2)を押し、フォルダを選び、(●)を押す。

- 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

**2** 動画／ｉモーションを選び、(カメラ)(6)を押す。（ファイル名編集）

- ファイル名の編集画面が表示されます。

**3** ファイル名を編集し、(●)を押す。

- (CLR)を１秒以上押すと、入力されているファイル名が削除されます。
- 最大半角36文字まで入力できます。

お知らせ

- FOMA端末で撮影した動画には、タイトル名とファイル名が付きます。
  タイトル名は動画／ｉモーション一覧で表示される名前で、ファイル名は動画／ｉモーションをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたファイルや、ｉモードメールに添付されているファイル、ｉアプリから保存したファイルで、ファイル制限が「あり」のファイルのファイル名は編集できません。
- miniSDメモリーカード内の動画／ｉモーションのファイル名は変更できません。
- タイトル名を変更することもできます。（☞P.296）

# リスト画面の表示方法を変更する

マルチメディアのｉモーションの動画／ｉモーション一覧の表示方法を、「９分割表示」、「16分割表示」、「リスト表示」のいずれかに設定することができます。
● お買い上げ時は、「９分割表示」に設定されています。

**1** 待受画面で、●72を押し、フォルダを選び、●を押す。

● 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

**2** 📷9を押す。（表示切替）

● 表示切替画面が表示されます。

**3** 表示方法を選び、●を押す。

● 表示方法が切り替わります。



９分割表示



16分割表示



リスト表示

● ９分割表示や16分割表示では、動画／ｉモーションの種類が次のいずれかに該当する場合は、画像の代わりに「♪」「📷」が表示されます。
■ 音声のみまたはテキストのみのデータ
■ 画像サイズが非対応のデータ
■ 画像ファイル形式が非対応のデータ

お知らせ
● 動画／ｉモーションのタイトル名は、最大全角31文字（半角63文字）まで入力できますが、各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）となります。



# 動画／ｉモーションを並べ替える

動画／ｉモーション一覧の表示順番を、次のいずれかに変更することができます。

| | |
|---|---|
| 日付順（新→旧） | 保存した日付の新しい順 |
| 日付順（旧→新） | 保存した日付の古い順 |
| タイトル名順 | タイトルによって、（半角数字→半角英大文字→半角英小文字→半角カタカナ→全角数字→全角英大文字→全角英字小文字→ひらがな→全角カタカナ→漢字→絵文字１→絵文字２）の順 |
| ファイル取得方法 | カメラ撮影画像→ダウンロード（ｉモード／ｉモードメール／ｉアプリ）→miniSDメモリーカード／赤外線／USB→キャラ電から取得の順 |
| サイズ順（大→小） | サイズの大きい順 |
| サイズ順（小→大） | サイズの小さい順 |

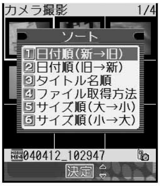
● お買い上げ時は、「日付順（新→旧）」に設定されています。

次ページへ続く

**1** 待受画面で、●72を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

**2** 📷8を押す。（ソート）




**3** ソート方法を選び、●を押す。

- ソートされます。

お知らせ
- ビデオプレーヤを終了しても、表示順番は変更されたままとなります。



再生中照明設定

# 再生時の照明を設定する

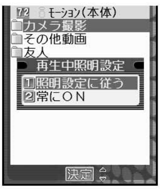
動画／ｉモーションを再生中の照明を設定します。

- お買い上げ時は、「照明設定に従う」に設定されています。（☞『基本編』P.176）

**1** 待受画面で、●72を押す。

- 動画／ｉモーションフォルダ一覧が表示されます。

**2** 📷5を押す。（再生中照明設定）




**3** 2を押す。（常に**ON**）

- 再生終了後は、照明設定に従います。

照明設定に従うとき

- 1を押します。
- 照明時間設定に従ってバックライトが点灯します。（☞『基本編』P.176）

# 動画のFOMA端末外への出力を制限する

本FOMA端末で撮影した動画のメール添付やFOMA端末外への出力ができないように、設定することができます。

- FOMA端末で撮影した動画をファイル制限設定すると、お客様がｉモードメールに添付して送信することはできますが、受け取った相手の方がさらに他の方に送信することはできなくなります。
- SH900iで撮影、または映像編集で作成した動画のみ設定を変更することができます。
- SH900iで撮影した動画であっても、サイトやインターネットホームページから取り込んだｉモーションや、ｉモーションメールの本文中に表示されているURLから取得したｉモーションのファイル制限設定を変更することはできません。

**1** 待受画面で、●7 2を押し、フォルダを選び、●を押す。

- 動画／ｉモーション一覧が表示されます。

**2** 動画／ｉモーションを選び、📷を押す。

**3** 「■ファイル制限設定」を選び、●を押す。（ファイル制限設定）




**4** 2を押す。（あり）

制限を解除するとき

- 1を押します。

# メロディを再生する

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたｉメロディやメッセージR／Fやｉモードメールに添付されているメロディは、マルチメディアのメロディに保存され、メロディプレーヤで再生することができます。

## 1 待受画面で、◉73を押す。




● メロディのフォルダ一覧が表示されます。

## 2 フォルダを選び、◉を押す。




● メロディ一覧が表示されます。

**次のページを表示するとき**

● 表示しているリストの一番下のメロディにカーソルがあるときに、Ⓥを押します。

**前のページを表示するとき**

● 表示しているリストの一番上のメロディにカーソルがあるときに、Ⓥを押します。

**miniSDメモリーカード内のメロディを確認するとき**

● ◎#を押します。再び、FOMA端末（本体）のメロディを確認するときは、◎#を押します。

## 3 再生したいメロディを選び、◉を押す。




● 選んだメロディが再生されます。
● 再生中に◉を押すと、停止し、メロディ一覧画面に戻ります。

**マナーモードを設定しているとき**

●「マナーモード中です　メロディを再生しますか？」と表示されます。「はい」を選び、◉を押します。

**再生中にできること**

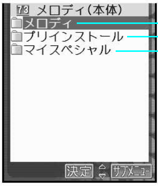
| | |
|---|---|
| 音量を調節する | ◎1（音量変更）を押し、Ⓞで調整し、◉を押します。 |
| イコライザを設定する | ◎2（イコライザ設定）を押し、曲調を選び、◉を押します。 |

**お知らせ**

● 一部再生できないメロディがありますので、ご了承ください。
マルチメディアのメロディに保存したメロディは、パソコンをお持ちの場合、miniSDメモリーカード（☞P.332）やデータリンクソフト（☞P.404）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。
● FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、マルチメディアのメロディに登録してあるメロディが消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
● メロディを着信音に設定することができます。（☞P.307）
● FOMA端末（本体）とminiSDメモリーカードの、どちらのメロディを参照しているかは、待受画面に戻っても記憶しています。

## メロディフォルダ一覧画面の見かた

### [FOMA端末（本体）]




- メロディ：サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールでダウンロードしたメロディ用フォルダ
- プリインストール：あらかじめFOMA端末に内蔵されているメロディ用フォルダ
- マイスペシャル：お客様が作成できるフォルダ

### [miniSDメモリーカード]

miniSDメモリーカードを挿入しているとき、メロディ画面で◎#を押すと、miniSDメモリーカード内のフォルダが表示されます。




- メロディ：あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
- お好み：お客様が作成できるフォルダ

## メロディマークの見かた

| | SMF | MFi |
|---|---|---|
| 保護設定なし |  |  |
| 保護設定あり |  |  |

- FOMAカード動作制限機能が設定されたメロディには、「」（保護設定なし）、「」（保護設定あり）が表示されます。
- 着信音などに設定したメロディには、「」が表示されます。
- ｉモードなどでダウンロードしたメロディには「」が、miniSDメモリーカードやバーコードリーダーで取得したメロディには「」が表示されます。
- メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているメロディには、「」が表示されます。

## 音量を変更する

メロディ再生時の音量を変更することができます。
- お買い上げ時は、「LEVEL３」に設定されています。

**1** 待受画面で、[●][7][3]を押し、フォルダを選び、[●]を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

**2** [カメラ][7]を押す。（音量変更）




**3** 「LEVEL１」（音量１）～「LEVEL５」（音量５）を選び、[●]を押す。

# メロディを利用する

## メロディを添付してｉモードメールを送信する

マルチメディアのメロディからメロディ（SMF）を選択し、ｉモードメールに添付して送信することができます。
- 送信できるメロディのサイズは最大10000バイトです。これを超えるサイズは添付できません。

**1** 待受画面で、[●][7][3]を押し、フォルダを選び、[●]を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

**2** 添付したいメロディを選び、[i]（メール）を押す。

- メール作成画面が表示されます。選択したメロディファイルが添付されます。

**3** ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、P.127～P.128の操作２～６を参照してください。

**お知らせ**
- 送信する相手の方の機種がFOMA SH900i以外の場合、正しく再生できないことがあります。
- ファイル形式がMFiのメロディや、再配布不可のSMFのメロディは、ｉモードメールに添付できません。

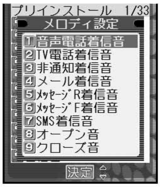
## メロディを着信音などに設定する＜メロディ設定＞

マルチメディアのメロディに保存されているメロディは、着信音などに設定することができます。

**1** 待受画面で、●73を押し、フォルダを選び、●を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

**2** メロディを選び、📷6を押す。（メロディ設定）




**3** 設定する項目を選び、●を押す。

## メロディの演奏部分を指定する＜開始位置選択＞

ｉモードでダウンロードしたメロディやｉモードメールで受信したメロディを着信音にしたとき、メロディの着信音に設定できる部分だけを演奏することができます。

- 演奏部分の指定は、あらかじめ指定されている部分が決まっており、ご自身で変更はできません。
- 演奏部分を指定ができないメロディもあります。
- miniSDメモリーカードに保存されたメロディの開始位置を指定することはできません。

**1** 待受画面で、●73を押し、フォルダを選び、●を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

**2** 演奏部分を指定するメロディを選び、📷1を押す。（開始位置選択）

- 開始位置選択画面が表示されます。
- 演奏部分を指定できないメロディの場合、「❶開始位置選択」はグレーで表示されます。

**3** 1を押す。（フルコーラス再生）

メロディを一部演奏するとき

- 2を押します。

メロディプレーヤ

# 詳細情報を表示する

メロディの詳細情報を表示することができます。
表示される情報は次のとおりです。

- 保存日時
- 作成日時（MFiのみ）
- ファイルサイズ
- ファイル形式
- ファイル制限（あり／なし）
- 保護設定（あり／なし）
- 音色設定
- 電話帳設定
- スケジュール／ToDo設定
- デイリーアラーム設定
- スライドショー設定
- ファイル名
- タイトル（オリジナル）
- 保存元

※ プリインストールフォルダのメロディは詳細情報を表示できません。

**1** 待受画面で、●73を押し、フォルダを選び、●を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

**2** メロディを選び、📷9を押す。（情報表示）




**3** 確認を終わるときは、●（確認）を押す。



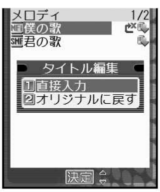
# タイトルを変更する

メロディのタイトル名を変更することができます。

**1** 待受画面で、●73を押し、フォルダを選び、●を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

**2** メロディを選び、📷2を押す。（タイトル編集）




オリジナルのタイトルがないとき

- 操作３の画面が表示されます。

## 3 [1]を押す。（直接入力）




- タイトル編集画面が表示されます。

**元のタイトルに戻すとき**

- [2]を押します。

## 4 タイトルを編集し、[●]を押す。

- [CLR]を１秒以上押すと、入力されているタイトルが削除されます。
- 最大全角31文字（半角63文字）まで入力できます。

**お知らせ**

- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディや、ｉモードメールに添付されているメロディには、タイトル名とファイル名が付きます。タイトル名はメロディ一覧などで表示される名前で、ファイル名はメロディをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- 各表示画面でのタイトル表示は、最大全角７文字（半角14文字）となります。
- ファイル名を変更することもできます。（☞P.313）

削除

# メロディを削除する

メロディは次のいずれかの方法で削除することができます。

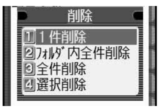
| | |
|---|---|
| １件削除 | メロディを１件ずつ削除します。 |
| フォルダ内全件削除 | フォルダ内のすべてのメロディを削除します。 |
| 全件削除 | すべてのメロディを削除します。 |
| 選択削除 | 複数のメロディを選び、まとめて削除します。 |

- 保護されたメロディは、１件削除以外の方法では削除できません。

## 1 待受画面で、[●][7][3]を押し、フォルダを選び、[●]を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

## 2 メロディを選び、[📷][3]を押す。（削除）




メロディプレイヤ

次ページへ続く

**3** 1を押す。（1件削除）

フォルダ内のすべてのメロディを削除するとき
- 2を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押します。

すべてのメロディを削除するとき
- 3を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押します。

選んだ複数のメロディをまとめて削除するとき
- 4を押し、削除したいメロディを選び、●を押します。（マークが「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているメロディを選び、●を押します。）削除したいメロディをすべて選び、i（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

**4** 「はい」を選び、●を押す。
- メロディが削除されます。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ
- 保護されたメロディを削除するときは、1件削除を行います。

保護設定

# メロディを保護する

メロディを保護したり、保護されているメロディの保護を解除することができます。保護すると、まとめて削除することができなくなります。
- FOMA端末（本体）のメロディのみ保護設定できます。

**1** 待受画面で、●73を押し、フォルダを選び、●を押す。
- メロディ一覧が表示されます。

**2** 保護／解除したいメロディを選び、📷4を押す。（保護設定）




**3** 1を押す。（ON：保護する）

保護を解除するとき
- 2を押します。

お知らせ
- 着信音、アラーム音、効果音に設定したメロディは、自動的に保護設定されます。（音設定への設定が解除された場合でも、保護設定の自動解除は行ないません。）

# フォルダを作成・編集・削除する

## フォルダを作成する

マルチメディアのメロディに最大20個のフォルダを作成することができます。

**1** 待受画面で、◉7 3を押す。

- メロディのフォルダ一覧が表示されます。

**2** 📷1を押す。（フォルダ新規作成）

- フォルダ名入力画面が表示されます。

**3** フォルダ名を入力し、◉を押す。

- フォルダが作成されます。
- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

お知らせ
- 作成したフォルダのメロディ一覧を表示するときに、端末暗証番号の入力が必要になるよう設定できます。
  1 メロディフォルダ一覧画面で、設定したいフォルダを選び、📷5を押す。
  2 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し◉を押し、1を押す。設定を解除するときは、2を押す。

## フォルダ名を編集する

- 自分で作成したフォルダ以外は変更できません。

**1** 待受画面で、◉7 3を押す。

- メロディのフォルダ一覧が表示されます。

**2** フォルダを選び、📷2を押す。（フォルダ名編集）

- フォルダ名編集画面が表示されます。

**3** フォルダ名を編集し、◉を押す。

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

## フォルダを削除する

- 自分で作成したフォルダ以外は削除することができません。
- メロディが保存されているフォルダを削除することもできます。

**1** 待受画面で、◉7 3を押す。

- メロディのフォルダ一覧が表示されます。

**2** フォルダを選び、📷3を押す。（削除）

**3** 3を押す。（フォルダ削除）

- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

次ページへ続く

4 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力して◉を押し、「はい」を選び、◉を押す。

フォルダ内に保護されているメロディが保存されているとき
- 保護を解除して、やり直してください。

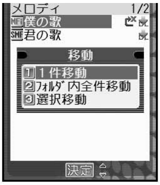
## 別のフォルダに移動する＜移動＞

メロディを別のフォルダに移動させて、管理することができます。
- あらかじめフォルダを作成しておいてください。（☞P.311）

1 待受画面で、◉7 3を押し、フォルダを選び、◉を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

2 メロディを選び、📷5を押す。（移動）




3 1を押す。（1件移動）

フォルダ内のすべてのメロディを移動するとき
- 2を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、◉を押します。

複数のメロディを選び、まとめて移動するとき
- 3を押し、移動したいメロディを選び、◉を押します。（「☑」が表示されます。選択を解除するときは、「☑」が表示されているメロディを選び、◉を押します。）
  移動したいメロディをすべて選び、ⓘ（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

4 移動先のフォルダを選び、◉を押す。

- メロディが移動します。

メロディプレイヤ

# ファイル名を変更する

メロディのファイル名を変更することができます。

## 1 待受画面で、●7 3を押し、フォルダを選び、●を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

## 2 メロディを選び、📷8を押す。(ファイル名編集)

- ファイル名の編集画面が表示されます。

## 3 ファイル名を編集し、●を押す。

- CLRを１秒以上押すと、入力されているファイル名が削除されます。
- 最大半角36文字まで入力できます。

お知らせ

- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディや、ｉモードメールに添付されているメロディには、タイトル名とファイル名が付きます。タイトル名はメロディ一覧などで表示される名前で、ファイル名はメロディをｉモードメールに添付して送信するときに使用される名前です。
- サイトやインターネットホームページからダウンロードしたファイルや、ｉモードメールに添付されているファイル、ｉアプリから保存したファイルで、ファイル制限が「あり」のファイルのファイル名は編集できません。
- タイトル名を変更することもできます。(☞P.308)

# Word、Excel、PDFファイルなどを表示する

miniSDメモリーカード内のMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイルや画像ファイルなどをFOMA端末のメインディスプレイに表示することができます。

- 表示できるファイルの種類（拡張子※）
  Microsoft Word（.doc）、Microsoft Excel（.xls）、Microsoft Power Point（.ppt）、PDF（.pdf）、Plain Text（.txt）、JPEG（.jpg、.jpeg）、GIF（.gif）、PNG（.png）、BMP（.bmp）
- 閲覧するファイルはあらかじめminiSDメモリーカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダに置いてください。（☞P.337）
- 操作の前にFOMA端末のminiSDメモリーカードスロットにminiSDメモリーカードをセットしておいてください。

※ パソコンでは、ファイルの種類を識別するために、ファイル名の末尾に、「.doc」や「.xls」など拡張子と呼ばれる英数字をつけています。（パソコンの設定によっては、表示されない場合があります。）詳しくは、ご使用のパソコンやソフトウェアに付属の取扱説明書などをご覧ください。

## 1 待受画面で、◉94を押す。

- ドキュメントビューアのフォルダ一覧が表示されます。

## 2 フォルダを選び、◉を押す。




- ファイル一覧が表示されます。

**次のページを表示するとき**

- 📖を押します。

**前のページを表示するとき**

- ✉を押します。

**静止画を画像一覧表示するとき**

- ドキュメントフォルダ以外の静止画を画像一覧表示することができます。
- 📷4を押し、1（9分割表示）または2（16分割表示）を押します。リスト表示にするときは3（リスト表示）を押します。

## 3 表示したいファイルを選び、◉を押す。




**上下左右にスクロールするとき**

- ✥を押します。

**次のページを表示するとき**

- 📖を押します。

**前のページを表示するとき**

- ✉を押します。

**お知らせ**

- ドキュメントビューアはPicsel Poweredにより実現しています。Picsel, Picsel Powered and the Picsel cube logo are trademarks or registered trademarks of Picsel Technologies Ltd and/or its affiliates.
- マルチメディアのPIMロック中（☞『基本編』P.194）は、ドキュメントフォルダ以外のファイルは表示できません。

**ドキュメントビューア利用時のご注意**

- ファイル内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なる場合があります。
  - ■ ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかる場合があります。また、すべてを表示できない場合もあります。
  - ■ ドキュメントビューアが対応しているフォントの種類はパソコンなどと異なっておりますので、フォントの種類によって正しく表示されない場合があります。
  - ■ ファイル名が拡張子を含めて半角64文字以上のファイルは表示されません。
  - ■ Microsoft Excelのワークシートの１つセルに表示される数値は最大整数値：15桁、小数値：30桁まで表示できます。有効桁数の関係により、パソコンなどと異なって表示される場合があります。また、元号は表示できません。

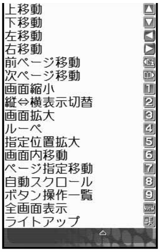
**お知らせ**

- ファイル一覧に表示できるのは、1フォルダ255ファイルまでです。
- ドキュメントビューアで表示されるファイルの詳細については、http://k-tai.sharp.co.jp/products/sh900i.shtmlをご覧ください。

## ボタン操作一覧を表示して、ワンタッチ操作を確認する＜ボタン操作一覧＞

内容表示画面でのワンタッチ操作を一覧で表示することができます。

### 1 内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、(カメラ)(9)を押す。




| ボタン | 操　作 | 参照ページ |
|---|---|---|
| (上)(下)(左)(右) | 上下左右スクロール | P.314 |
| (メール) | 前ページ表示 | P.314 |
| (iアプリ) | 次ページ表示 | P.314 |
| (決定)（標準） | ページ全体表示 | P.315 |
| (i)（切出） | 表示イメージをJPEGファイルにしてカメラフォルダに保存 | P.318 |
| (1) | 画面縮小※1 | P.315 |
| (2) | 縦⇔横表示切替 | P.316 |
| (3) | 画面拡大※2 | P.315 |
| (4) | ルーペ | P.316 |
| (5) | 指定位置拡大 | P.316 |
| (6) | 画面内移動 | P.317 |
| (7) | ページ指定移動 | P.317 |
| (8) | 自動スクロール | P.318 |
| (9) | ボタン操作一覧 | P.315 |
| (view) | 全画面表示 | P.318 |
| (#)（1秒以上） | ライトアップ | P.319 |

※1 ボタンを押すたびに小さくなります。
※2 ボタンを押すたびに大きくなります。

## 画面拡大／画面縮小する

拡大／縮小表示を行います。操作をするたびに1段階ずつ拡大／縮小されます。

### 1 内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、(カメラ)(3)を押す。

- さらに拡大するときは、同じ操作をくり返します。

**縮小して表示するとき**

- (カメラ)(1)を押します。
- さらに縮小するときは、同じ操作をくり返します。
- (3)（画面拡大）／(1)（画面縮小）を押すだけでも操作することができます。（☞P.315「ワンタッチ操作」）

**全体を表示するとき**

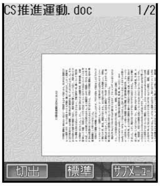
- (決定)（標準）を押します。

ドキュメントビューア

## 縦表示／横表示を切り替える

画面表示の縦／横を切り替えることができます。

**1** **内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、Ⓜ②を押す。**




- ②を押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作☞P.315）
- もう一度Ⓜ②を押すと、元の表示に戻ります。

## ルーペで拡大して表示する

文字を判別するなど拡大して表示したい部分にカーソルを合わせると、画面下部に拡大して表示することができます。カーソルの移動に合わせて画面下部の表示も変わります。

**1** **内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、Ⓜ④を押す。**

- ルーペ画面が表示されます。
- ④を押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作☞P.315）

**2** **Ⓞで「🔍」カーソルを移動する。**




- 拡大したい部分にカーソルを合わせます。
- カーソル位置が大きく拡大して表示されます。

**次のページを表示するとき**

- Ⓢを押します。

**前のページを表示するとき**

- Ⓜを押します。

**ルーペ表示部分を拡大／縮小するとき**

- ③（拡大）／①（縮小）を押します。

**3** **●を押す。**

- ルーペが終了します。

## 指定した部分を拡大して表示する＜指定位置拡大＞

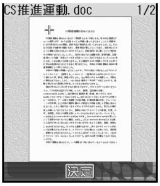
カーソルを合わせた部分を中心に縦横４倍に拡大して表示することができます。

**1** **内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、Ⓜ⑤を押す。**

- ⑤を押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作☞P.315）

ドキュメントビューア

**2** **[方向キー]で「＋」カーソルを移動する。**




**3** **[決定キー]を押す。**

- カーソル位置を中心に拡大されます。

## ページの端や中央を表示する＜画面内移動＞

表示中のページ（文書）の左上、右上、左下、右下や中央を表示することができます。

**1** **内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、[カメラキー][6]を押す。**

- [6]を押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作☞P.315）

**2** **移動方向を選び、[決定キー]を押す。**




左上を選んだ場合

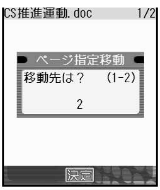
## 指定したページを表示する＜ページ指定移動＞

文書中のページを指定して表示することができます。

**1** **内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、[カメラキー][7]を押す。**

- [7]を押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作☞P.315）

**2** **移動先のページ番号を押す。**




**3** **[決定キー]を押す。**

## 自動スクロールする

画面を右方向へ自動スクロールすることができます。横表示のときは、文書に対して右方向にスクロールすることができます。

**1 内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、8を押す。**

- 自動スクロールを開始します。
- 8を押すだけでも操作することができます。（ワンタッチ操作☞P.315）
- 文書全体が表示されている場合や文書の右下部分が表示されているなど、スクロールする範囲がない場合は、自動スクロールはできません。

**上下に移動したいとき**

- を押します。

**スクロールの速度を調整するとき**

- 速度は３段階で調整できます。速くするときは、遅くするときはを押します。

**2 を押す。**

- 自動スクロールが終了します。
- 8を押しても終了できます。

## 文書をメインディスプレイいっぱいに表示する

メインディスプレイに表示されているマークやガイド表示を消し、文書をメインディスプレイいっぱいに表示することができます。

**1 内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、viewを押す。（全画面表示）**

- CLRを押すと、元の画面に戻ります。
- を押すと、上下左右に移動することができます。
- 1／3を押すと、画面が拡大／縮小します。
- 2を押すと、縦横が切り替わります。
- を押すと、切り出しを行うことができます。
- を押すと、前のページを表示することができます。
- を押すと、次のページを表示することができます。
- を押すと、全体を表示することができます。

## 表示イメージを静止画として保存する

表示されている文書のイメージを「メイン待受：240×320」のサイズで、静止画として、miniSDメモリーカードに保存することができます。
静止画にすると、ｉモードメールに添付して送信することができます。

**1 内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、（切出）を押す。**



## 2 「はい」を選び、◉を押す。

- miniSDメモリーカードに静止画が保存されます。

**保存しないとき**

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

**お知らせ**
- miniSDメモリーカードの空き容量がないときは、切り出しできません。

## ライトアップする

ドキュメントビューアを表示中に、ディスプレイの照明の明るさを最大にして、ライトアップすることができます。

## 1 内容表示画面（☞P.314の操作1～3）で、📷を押し、「ライトアップ」を選び、◉を押す。

- ライトアップされます。
- もう一度操作１を行うか、照明設定で設定した時間が経過すると、バックライトが消灯します。
- #を１秒以上押しても操作することができます。（ワンタッチ操作☞P.315）

情報表示

# 詳細情報を表示する

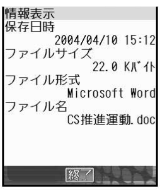
文書の詳細情報を表示することができます。
表示される情報は次のとおりです。

- 保存日時
- ファイル形式
- ファイルサイズ
- ファイル名

## 1 待受画面で、◉94を押し、フォルダを選び、◉を押す。

- ファイル一覧が表示されます。

## 2 ファイルを選び、📷2を押す。（情報表示）




## 3 確認を終わるときは、◉（終了）を押す。

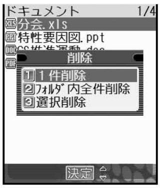
# ファイルを削除する

ドキュメントビューア起動中に、miniSDメモリーカード内の文書ファイルや画像ファイルを次の方法で削除することができます。
- 「ドキュメント」フォルダ以外のデータはこの操作では削除できません。イメージビューアから操作してください。

## 1 待受画面で、●⑨④を押し、ドキュメントフォルダを選び、●を押す。

- ファイル一覧が表示されます。

## 2 ファイルを選び、📷①を押す。（削除）




## 3 ①を押す。（1件削除）

**フォルダ内のすべてのファイルを削除するとき**
- ②を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押します。

**選んだ複数のファイルをまとめて削除するとき**
- ③を押し、削除したいファイルを選び、●を押します。（マークが「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているファイルを選び、●を押します。）
削除したいファイルをすべて選び、i（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

## 4 「はい」を選び、●を押す。

**削除しないとき**
- 「いいえ」を選び、●を押します。

# ファイルを並べ替える

ファイル一覧の表示順番を次のいずれかに変更することができます。

| | |
|---|---|
| 日付順（新→旧） | 保存した日付の新しい順 |
| 日付順（旧→新） | 保存した日付の古い順 |
| サイズ順（大→小） | サイズの大きい順 |
| サイズ順（小→大） | サイズの小さい順 |

- お買い上げ時は、「ソート解除」に設定されています。

## 1 待受画面で、●94を押し、フォルダを選び、●を押す。

- ファイル一覧が表示されます。

## 2 📷3を押す。（ソート）




## 3 ソート方法を選び、●を押す。

- ソートされます。

**解除するとき**

- 5を押します。

**お知らせ**
- ドキュメントビューアを終了しても、表示順番は変更されたままとなります。

# miniSDメモリーカードに保存されたメールの添付ファイルを表示する

miniSDメモリーカードに保存されたメール（☞P.347）に添付されたファイルをドキュメントビューアで表示することができます。

- 表示できるファイルの種類
  Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、PDF、Text、PNG、BMP
- JPEG、GIFファイルはイメージビューアで表示されます。

**1 待受画面で、●9 5 1 2を押し、メールの種類を選び、●を押す。**

- メールBOX一覧画面で、📷#を押しても操作できます。

**2 メールを選び、●を押す。**

- メール詳細画面が表示されます。

**3 受信メールのときは、📷7を押し、表示する添付ファイルを選び、●を押す。**

送信メールのとき

- 📷6を押します。

未送信メールのとき

- 📷5を押します。

# FOMA端末データ交換編

# 赤外線通信について

赤外線通信機能を搭載したほかのFOMA端末などと、電話帳やスケジュール、メール、静止画などのデータを送受信したり、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能を搭載した機器と連動したりすることができます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になります。そのため、着信、通話、ｉモード、ｉモードメール送受信、SMS送受信、メッセージR／F受信などはできません。
- 通話中は、赤外線通信できません。

## 各種ロック中の動作について

- オールロック中、セルフモード中は、赤外線通信はできません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳の送受信ができません。
- PIMロック中は、ロックされている機能のデータの送受信ができません。たとえば、電話帳のPIMロック中は、電話帳の送受信はできません。

## 赤外線通信を行うと

赤外線通信機能では、次のデータを送受信することができます。

### FOMA端末から送信できるデータ

| 機　能 | １ 件 | 全 件 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 電話帳 | ○ | ○ | グループ情報、メモリ番号は１件送信できません。シークレット登録した電話帳はシークレットモードにしないと１件送信できません。また、ピクチャーコールに設定されている画像およびメールアドレスのアイコンの種類、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ設定は送信できません。電話帳全件送信は、所有者情報も送信されます。 |
| スケジュール | ○ | ○ | シークレット登録したスケジュールはシークレットモードにしないと１件送信できません。また、アラーム時刻以外のアラーム情報および連絡先、画像設定の情報は送信されません。また、終了日時が設定されていないデータは、終了日時に開始日時を設定して送信されます。 |
| ToDoリスト | ○ | ○ | シークレット登録したToDoリストはシークレットモードにしないと１件送信できません。なお、全件送信の場合、シークレットで登録されたデータも送信され、受信側では通常のデータとして保存されます。アラーム時刻以外のアラーム情報（サブ画面内容表示、連絡先、アラーム音選択、アラーム音量選択、鳴動時間の設定）は送信できません。 |
| テキストメモ | ○ | ○ | |
| ｉモードメール、SMS | ○ | ○ | 貼付データ、添付ファイル、保護メールも送信されます。<br>添付不可のデータは送信できません。 |
| ブックマーク | ○ | ○ | フォルダ情報は送信できません。 |
| マルチメディアの静止画、動画／ｉモーション、メロディ | ○ | × | サイトやインターネットホームページからダウンロードしたり、受信したｉモードメールに添付されたデータで、再配布不可のデータは送信できません。<br>FOMA端末にあらかじめ内蔵されているデータは送信できません。 |
| 所有者情報 | ○（指定なし） | | 受信側では電話帳として保存されます。 |

## FOMA端末で受信できるデータ

| 機　能 | 1 件 | 全 件 | 格納場所 | 格納順 |
|---|---|---|---|---|
| 電話帳 | ○ | ○ | 電話帳 | メモリ番号は「010」以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。電話帳全件受信は、自局番号以外の所有者情報は上書きされます。 |
| スケジュール | ○ | ○ | スケジュール | 日時順に登録されます。 |
| ToDoリスト | ○ | ○ | ToDoリスト | 日時順に登録されます。 |
| テキストメモ | ○ | ○ | テキストメモ | 最終修正日時順に登録されます。 |
| ｉモードメール、SMS | ○ | ○ | ｉモードメール、SMS | 受信日時／送信日時／保存日時順に登録されます。 |
| ブックマーク | ○ | ○ | ブックマーク | 一番上に登録されます。 |
| マルチメディアの静止画、動画／ｉモーション、メロディ | ○ | × | マルチメディアのイメージ、ｉモーション、メロディ | メモリの先頭から空き順に登録されます。 |
| 所有者情報 | ○（指定なし） | | 所有者情報 | 電話帳として保存されます。 |

お知らせ

- miniSDメモリーカード内のデータは送受信できません。
- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されます。ご注意ください。
- FOMAカード内の電話帳は送受信できません。
- ブックマークを送受信した場合、相手の機種によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。

電話帳の１件送受信について

- 受信した電話帳のデータは、メモリ番号「010」以降で一番若い空き番号が自動的に付加されます。ただし、「010」以降に空きがないときは、「000」以降の空き番号に付加されます。
- シークレットコードは送信されません。

電話帳の全件受信について

- 全件受信時は、メモリ番号、シークレット設定、グループ名、グループ番号も登録されます。

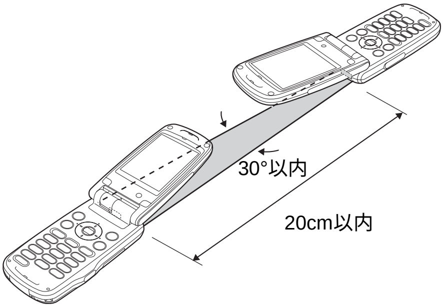
メールの１件送受信について

- ｉモーション取得前のｉモーションメール、ｉアプリToが貼付されたｉモードメールについては、貼付情報は削除され、送受信されません。

絵文字の送受信について

- 絵文字が登録できる箇所では、絵文字を受信することが可能です。ただし、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

## 赤外線通信機能をお使いになるときのご注意




- 机などの安定した台の上に受信側、送信側の FOMA 端末を置き、20cm 以内に近づけます。このとき、上の図のように両方の赤外線ポートが向き合うようにします。
- データを受信すると受信側に、「○○○ 保存しますか？」と表示されます。「はい」「いいえ」を選び、◉を押すまで、お互いの赤外線ポートが向き合ったままになるように、動かさないでください。
- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線通信ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

お知らせ
- 赤外線通信が正常にできなかったときは、次のようなメッセージが表示されます。
  「接続相手が見つかりません　続けますか？」、
  「認証に失敗しました　続けますか？」
  このようなときは、「はい」を選び、◉を押すと、もう一度通信をやり直すことができます。
- 通信が正常にできなかったときは、FOMA端末を近づけてもう一度通信を行ってください。
- 赤外線通信で画像を送信すると元の画像より画質が劣化したりファイルサイズが変わる場合があります。
- タイトルが全角10文字（半角19文字）以上の静止画を赤外線送信しても、受信側の機器によっては、全角９文字（半角18文字）までしか受信できません。

## 認証パスワードについて

全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。

- 端末暗証番号には、FOMA端末に設定されている現在の端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力します。
- 認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。赤外線通信を行うたびに変更してもかまいません。

# データを受信する

## データを１件受信する

赤外線通信を利用した１件受信は、赤外線受信画面から操作します。

**1** 待受画面で、◉93を押す。

- 赤外線受信画面が表示されます。

**2** 1を押す。（受信）

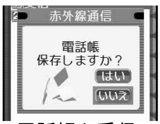



- 「赤外線ポートを向かい合わせてください」と表示され、受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に受信します。
- 受信が完了すると、確認画面が表示されます。

**認証パスワードの入力画面が表示されたとき**

- 送信側と同じ認証パスワード（４桁の数字）を入力すると、受信が開始されます。

**3** 「はい」を選び、◉を押す。




電話帳を受信した場合

**同じ内容のブックマークが存在するとき**

- 「同一ブックマークが存在します　保存しますか？」などと表示されます。
- 現在のデータに上書きするときは、「はい」を選び、◉を押します。

**受信したデータを保存しないとき**

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

## データを全件受信する

赤外線通信を利用した全件受信は、赤外線受信画面から操作します。

- 全件受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要です。

**1** 待受画面で、◉93を押す。

- 赤外線受信画面が表示されます。

**2** 2を押す。（全件受信）

- 「端末暗証番号は？」と表示され、端末暗証番号入力画面が表示されます。

**3** 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

**4** 送信側の**FOMA**端末を全件送信状態にする。

- 送信側で入力した認証パスワードを覚えておいてください。



次ページへ続く

**5** 送信側と同じ認証パスワード（４桁の数字）を入力する。

- 30秒以内に相手側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に受信します。
- 認証パスワードを入力後に全件受信を中止したいときは、⦿を押します。
- 上書き確認画面が表示されます。

**6** 「はい」を選び、⦿を押す。

上書き保存しないとき
- 「いいえ」を選び、⦿を押します。

お知らせ
- ブックマークを全件受信すると、利用された古い順に表示されます。

# データを送信する

赤外線通信機能を利用して、FOMA端末のデータを送信することができます。
- 送信できるデータについて詳しくは、P.324を参照してください。

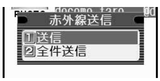
## データを１件送信する

送信したいデータのリスト画面や内容表示画面から操作します。
電話帳を例に説明します。

**1** 電話帳リスト画面や内容表示画面で、送信するデータを選ぶ。

- 送信したいデータを表示します。

**2** 📷6を押す。（赤外線送信）




- サブメニューの番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

**3** 受信側の**FOMA**端末を１件受信待ち状態にする。

**4** 1を押す。（送信）

- 送信が開始されます。
- 送信が完了すると、「通信終了しました」と表示され、操作１の画面に戻ります。

## データを全件送信する

送信したいデータのリスト画面から操作します。
電話帳を例に説明します。

**1** 電話帳リスト画面で、(📷)(6)を押す。(赤外線送信)

- サブメニューの番号は送信するデータの種類や画面によって異なります。

**2** (2)を押す。(全件送信)

- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

**3** 受信側の**FOMA**端末を全件受信待ち状態にする。

**4** 端末暗証番号(4～8桁の数字)を入力し、(●)を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

**5** 認証パスワード(4桁の数字)を入力する。

- 受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。
- 送信が完了すると、「通信終了しました」と表示され、操作1の画面に戻ります。

お知らせ

- ブックマークを全件送信すると、受信側のブックマーク一覧では利用された古い順に表示されます。
- スケジュールを全件送信するときは、スケジュール全件表示を行ってから、赤外線送信の操作を行ってください。

# ｉアプリと連携して赤外線通信を行う

実行中のソフトから、赤外線通信機能（☞P.324）を利用することができます。また、赤外線通信からｉアプリを起動することもできます。

- セルフモード中は、赤外線通信機能を利用できません。
- ｉアプリのPIMロック中はｉアプリを起動できません。

## ｉアプリから赤外線通信を起動する

**1** ソフト実行中に、赤外線通信を起動する。

- 赤外線通信の起動方法は、ソフトによって異なります。

**2** 「はい」を選び、◉を押す。

- 赤外線通信を開始します。

操作を中止するとき

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

赤外線通信を中止するとき

- 「通信中」というメッセージが表示されているときに、「中止」を選び、◉を押します。

## 赤外線通信からｉアプリを起動する

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、ｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動することができます。

- ｉアプリTo設定が「許可しない」に設定されている場合、赤外線通信からｉアプリは起動できません。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。

**1** 待受画面で、◉93を押す。

- 赤外線受信画面が表示されます。

**2** 1を押す。（受信）

- 受信待ち状態になります。詳しくは、P.327「データを１件受信する」の操作２を参照してください。

**3** 送信側からｉアプリ起動の信号を受信すれば、ソフトが起動する。

お知らせ

- ｉアプリ起動設定に該当するソフトがない場合は、「指定されたソフトがありません」というメッセージが表示されます。

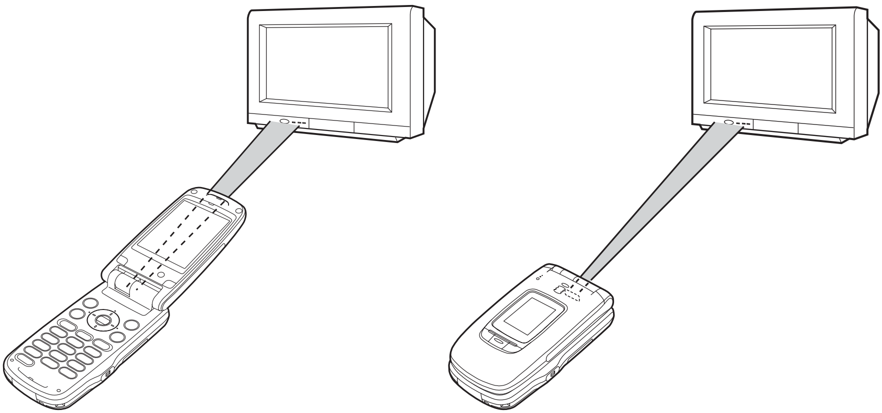
# 赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作することができます。

- 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリのソフトが必要です。（お買い上げ時に登録されている「キティ DEリモコン2」は、赤外線リモコン機能に対応しています。）
- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。

## リモコン操作を行う

赤外線リモコン機能に対応したｉアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。



- FOMA端末を閉じた状態で操作することができるｉアプリのソフトもあります。（お買い上げ時に登録されている「キティ DEリモコン2」はFOMA端末を閉じた状態で操作することができます。）
- 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。「キティ DEリモコン2」については、P.77または別冊『SH900i ｉアプリのご紹介』を参照してください。
- 操作できる距離は、およそ4 mです。（相手側の機器や周囲の明るさなどによって、変わります。）
- 赤外線リモコンの送信中は、「」が点滅します。

**お知らせ**

- 相手側の機器によっては、正常に操作できない場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できない場合があります。

# miniSDメモリーカードの使用時のご注意

FOMA端末では、miniSDメモリーカードを利用することができます。miniSDメモリーカードはこれまでのSDメモリーカードをさらに小型化した、メモリーカードです。FOMA端末内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをminiSDメモリーカードに保存したり、miniSDメモリーカード内のデータをFOMA端末（本体）に取り込むことができます。また、FOMA端末からminiSDメモリーカード内のデータを閲覧することができます。
miniSDメモリーカードアダプタを利用すると、SDメモリーカード対応パソコンやプリンタなどでも利用することができます。

miniSDメモリーカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。

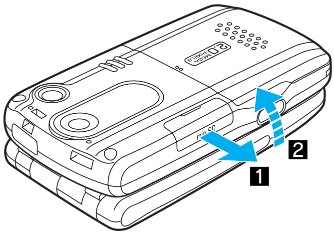
miniSDメモリーカードの登録内容は、正しく取り扱わなかったり、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておかれることをおすすめします。
なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- FOMA端末の電源を入れたままの状態でminiSDメモリーカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- miniSD メモリーカードは正しく装着してください。正しく装着していないと、使用できません。
- miniSD メモリーカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。
- miniSDメモリーカードおよびminiSDメモリーカードアダプタは、家電製品取扱店などでお買い求めいただけます。
  FOMA端末では、128MバイトまでのminiSDメモリーカードに対応しています。（2004年3月現在）
  miniSDメモリーカードの最新対応状況については、
  FOMA端末からの場合：「ｉMenu」→「メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」→「SH-MODE」
  パソコンからの場合　：http://k-tai.sharp.co.jp/products/sh900i.shtml
  をご覧ください。
- FOMA端末に付属の試供品のminiSDメモリーカードはフォーマット済みですが、市販品のminiSDメモリーカードや他の機器でフォーマットしたminiSDメモリーカードなどをお使いの場合は次のことにご注意ください。
  - FOMA端末に装着すると約5秒間FOMA端末でご使用頂くための情報を書き込みます。その間にminiSDメモリーカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。
  - パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。フォーマットの操作について詳しくは、P.345を参照してください。フォーマットすると元のデータが消えてしまいますのでご注意ください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。miniSD メモリーカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 文字を書かないでください。miniSD メモリーカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- miniSDメモリーカード内のデータ編集中に、miniSDメモリーカードを抜き差ししないでください。また、データ編集中にFOMA端末やminiSDメモリーカードを装着した機器の電源を切らないでください。データが壊れたり正常に動作しなくなることがあります。

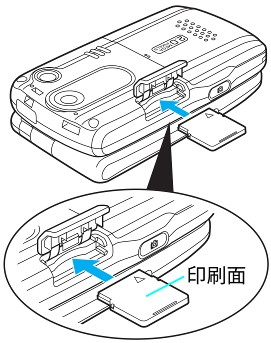
# miniSDメモリーカードを装着する／取り出す

## miniSDメモリーカードを装着する

FOMA端末の電源を入れた状態でminiSDメモリーカードを取り付けないでください。

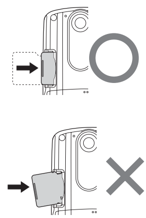


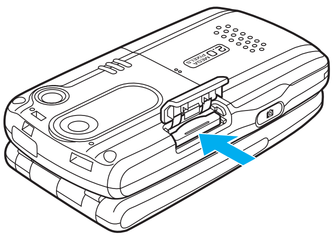

**1** **miniSD**メモリーカードスロットのカバーを開く。




**2** **miniSD**メモリーカードの印刷面を上にしてゆっくりと挿入する。

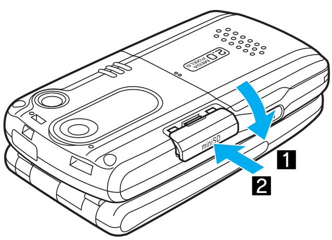
- miniSDメモリーカードが傾いたままで無理に押し込まないでください。miniSDメモリーカードスロットが破損することがあります。





**3** 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり押し込む。

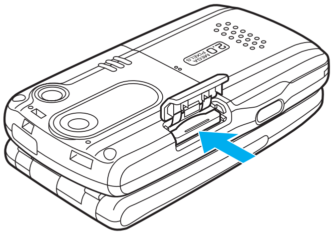
- 指で押し込んでください。




**4** **miniSD**メモリーカードスロットのカバーを閉じる。

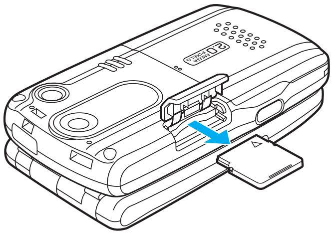
## miniSDメモリーカードを取り出す

FOMA端末の電源を入れた状態でminiSDメモリーカードを取り出さないでください。



**1** **miniSD**メモリーカードスロットのカバーを開き、**miniSD**メモリーカードを軽く押し込む。

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。miniSDメモリーカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させる恐れがあります。



**2** **miniSD**メモリーカードを取り出す。

- ゆっくりまっすぐに取り出してください。取り出したあと、miniSDメモリーカードスロットのカバーを閉じます。

お知らせ

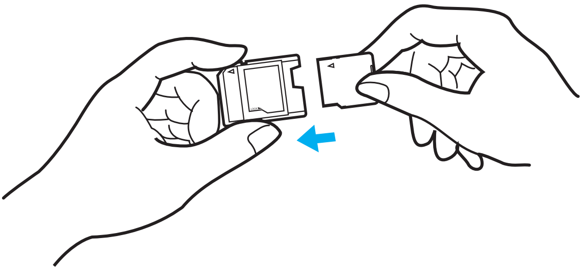
- miniSDメモリーカードを使用するときは、必ずminiSDメモリーカードに付属の取扱説明書を参照してください。
- miniSD メモリーカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り出したりしないでください。急に指を離すとminiSDメモリーカードが飛び出し危険です。
- miniSDメモリーカードを外すときは、必ずminiSDメモリーカードを軽く押し込み「カチッ」と鳴ったことを確認したあと、miniSDメモリーカードを引き抜いてください。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させる恐れがあります。
- FOMA端末から取り出したときは、必ずminiSDメモリーカードに付属の専用保護ケースに収納してください。

**miniSDメモリーカード取り扱い上のご注意**

- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところには置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。
- miniSDメモリーカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

## miniSDメモリーカード対応機器で使うには

miniSDメモリーカードをminiSDメモリーカードアダプタにセットして、パソコンなどの機器に装着します。



miniSDメモリーカードアダプタとminiSDメモリーカードのラベル面を合わせて、矢印の方向に押し込みます。

- 取り外すときは、miniSDメモリーカードアダプタの切欠き部を利用して、miniSDメモリーカードをつまんで挿入方向と反対の方向へ引き出します。
- miniSDメモリーカードアダプタにminiSDメモリーカードを装着していない状態で、パソコン等に装着しないでください。機器やアダプタを破損させる恐れがあります。
- また、パソコン等の機器にminiSDメモリーカードアダプタを装着したままの状態でminiSDメモリーカードだけを抜かないでください。機器が誤動作する可能性があります。
- 装着する機器によっては、miniSDメモリーカードアダプタに装着したminiSDメモリーカードを利用できないことがあります。

# miniSDメモリーカードを使う

## miniSDメモリーカードの使用条件

FOMA端末（本体）の電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、テキストメモ、メロディ、マルチメディアの静止画、動画／ｉモーションの各データを、miniSDメモリーカードにコピーすることができます。
コピーには、1件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。また、機能によっては、グループやフォルダなど分類内のデータをすべてコピーする方法もあります。

### FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーできるデータ

| 機能 | 件数※1 | 1件 | 選択 | 全件 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|
| 電話帳※2 | 合わせて最大65535件（約850件） | ○ | ○ | ○ | グループ内全件コピー |
| スケジュール※3※7 | | ○ | ○ | ○ | |
| ToDoリスト※3 | | ○ | ○ | ○ | |
| テキストメモ | | ○ | ○ | ○ | |
| ブックマーク | | ○ | ○ | ○ | フォルダ内全件コピー<br>フォルダ情報はコピーされません。 |
| ｉモードメール／SMS※5 | | ○ | ○ | ○ | フォルダ内全件コピー |
| 静止画※4※6 | 900フォルダ／1フォルダ最大400件（☞P.423） | ○ | ○ | ○ | フォルダ内全件コピー |
| 動画 | 4095フォルダ／1フォルダ最大400件（☞P.423） | ○ | ○ | ○ | フォルダ内全件コピー |
| メロディ※4 | 999フォルダ／1フォルダ最大400件（約300件） | ○ | ○ | ○ | フォルダ内全件コピー |

※1 保存するデータの大きさや、miniSDメモリーカードの容量によっては、件数が少なくなる場合があります。（　）内の件数は付属の16MバイトのminiSDメモリーカード（試供品）を使用した場合の目安です。

※2 シークレット設定、グループ番号、グループ名、メモリ番号、メールアドレスのアイコンの種類、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ、ピクチャーコール設定はコピーされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。

※3 シークレット設定とアラーム時刻以外のアラーム情報および連絡先、画像設定の情報はコピーされません。

※4 ファイル制限（FOMA端末外への出力制限）のないデータのみコピーすることができます。

※5 miniSDメモリーカードにコピーしたメールは、返信や転送はできますが、保護設定はできません。また、フォルダ情報はコピーされません。

※6 Flash画像、フレームはminiSDメモリーカードにコピーできません。

※7 終了日時が入力されていないデータをコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。

お知らせ

- FOMA端末で撮影した静止画または動画は、FOMA端末（本体）またはminiSDメモリーカードに保存することができます。
- miniSDメモリーカードにデータをコピーすると、管理情報もminiSDメモリーカードに書き込まれます。
- パソコンからminiSDメモリーカードへファイルをコピーしても、FOMA端末では表示されない場合があります。その場合はデータリンクソフトをご利用ください。
- PIMロック中、ロックされているデータは操作できません。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力すると、ロックが一時的に解除され、操作できるようになります。

## miniSD管理画面について




miniSD管理画面では、miniSDメモリーカード内のデータを参照したり、バックアップやフォーマットを行うなど、miniSDメモリーカード内のデータを管理・利用することができます。

- miniSD管理画面は、◉95を押すと表示されます。
- miniSDメモリーカード内のフォルダやファイル名などの情報は、「管理情報」と呼ばれる部分で管理されています。パソコン等でminiSDメモリーカードを利用（データ編集や追加、削除など）した場合は、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。（☞P.346）管理情報が正しくない状態では、データの編集、保存や移動、コピー等ができない場合がありますのでご注意ください。

## FOMA端末で利用するminiSDメモリーカードのフォルダ構成

miniSDメモリーカード

- DCIM ‥‥ 静止画フォルダ
  - xxxSHARP ‥‥ 撮影静止画用フォルダ
  - xxxSH_UF ‥‥ ユーザー作成フォルダ
- MISC ‥‥ DPOF設定ファイル用フォルダ
- PRIVATE
  - DOCOMO
    - RINGER ‥‥ メロディファイル用フォルダ
    - STILL ‥‥ その他画像ファイル用フォルダ
    - TABLE ‥‥ 管理情報フォルダ※
  - SHARP
    - IMPORT ‥‥ インポートフォルダ
    - DOCUMENT ‥‥ ドキュメントビューアフォルダ
    - VOICE ‥‥ ボイスメモフォルダ
- SD_PIM ‥‥ PIMデータ用フォルダ（電話帳、スケジュール／ToDoリスト、メール、テキストメモ、ブックマーク）
- SD_VIDEO ‥‥ 動画フォルダ
  - PRLxxx ‥‥ 撮影動画用フォルダ

※「TABLE」フォルダの下には「DCIM」、「RINGER」、「STILL」、「SD_VIDEO」各々の付加情報を格納するフォルダがあります。

- 「x」の部分には半角数字が1文字入ります。
- GIFアニメーションファイルは「STILL」フォルダに入り、それ以外のGIFファイルは「DCIM」フォルダに入ります。
- パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でminiSDメモリーカードのデータを正しく表示することができなくなります。

## FOMA端末からminiSDメモリーカードにコピーする<miniSDへコピー>

コピーしたいデータの一覧画面や内容表示画面から操作します。
電話帳を例に説明します。

- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

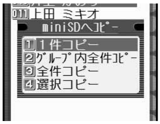
### 1 待受画面で、(電話帳)を押す。

- コピーしたいデータを選びます。

**電話帳の内容を確認してからコピーするとき**

- 内容表示画面で(MENU)(#)（miniSDへ１件コピー）を押します。そのあと、操作４へ進みます。

### 2 電話帳の一覧画面のときは、(MENU)(9)を押す。（miniSDへコピー）




### 3 (1)を押す。（１件コピー）

**グループ内全件コピーをするとき**

- (2)を押し、コピーするグループを選び、(●)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押します。

**全件コピーするとき**

- (3)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押します。

**選択コピーするとき**

- (4)を押し、コピーしたい電話帳を選び、(●)を押します。（メモリ番号が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されている電話帳を選び、(●)を押します。）
  コピーしたい電話帳をすべて選び、(i)（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

### 4 「はい」を選び、(●)を押す。

- コピーが開始されます。

**コピーしないとき**

- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

**お知らせ**

- 電話帳を全件コピーする場合、電話帳のグループ情報はコピーされません。
- マルチメディアの静止画、動画／ｉモーションをminiSDメモリーカードにコピーする場合、コピー先のフォルダを選択できます。
- FOMA端末とminiSDメモリーカードの間で静止画、動画／ｉモーションをコピーすると、元の画像より画質が劣化したり、ファイルサイズが変わる場合があります。コピー先フォルダの静止画が400枚より多くなると新しいフォルダが自動的に作成され、新しいフォルダに画像が保存されます。（GIFアニメーションの場合は作成されません。）
- FOMA端末に保存してあるカメラ撮影画像をminiSDメモリーカードにコピーすると画像ファイルサイズが大きくなります。FOMA端末のメモリが少ないと、FOMA端末の元画像を削除するだけでは、コピーしたminiSDメモリーカード画像をFOMA端末にコピーして戻せない場合があります。
- スケジュールをminiSDメモリーカードにコピーするときは、スケジュール全体表示を行ってからコピー操作を行ってください。
- FOMA端末で撮影可能な画像サイズや、撮影可能なファイルサイズよりも大きい画像は、コピーできない場合があります。
- コピーした項目を再度コピーすると別のデータとして保存されます。

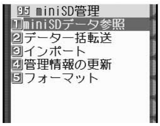
## FOMA端末（本体）のデータをバックアップする<データ一括転送>

FOMA端末の各機能（電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、ブックマーク、テキストメモ）のデータを、miniSDメモリーカードにバックアップデータとして各機能ごとに1ファイルで保存することができます。電話帳のデータ一括転送では所有者情報も含んで転送されます。

- バックアップできるデータの種類について詳しくは、P.336 を参照してください。ただし、マルチメディアの静止画や動画／ｉモーション、メロディはバックアップできません。
- 個人データのバックアップは、同機種間またはminiSDメモリーカード対応FOMA端末などでの情報共有、または機種交換時の個人データの移動等の目的でご利用されることをおすすめします。
- バックアップは電池残量が少ない場合は実行できません。充電しながら行うことをおすすめします。電池残量が少ない場合、正しくバックアップできない場合があります。
- あらかじめ、日付時刻を設定しておいてください。（☞『基本編』P.56）
- PIMロック中は、バックアップすることができません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳をバックアップすることができません。

### FOMA端末→miniSDメモリーカードにバックアップする

**1** 待受画面で、●95を押す。




**2** 2を押す。（データ一括転送）

- データ一括転送画面が表示されます。

**3** 1を押す。（**miniSD**へ保存）

- バックアップできる機能名が表示されます。

**4** バックアップする機能を選び、●を押す。

「メール」を選んだとき
- メール内の分類が表示されます。バックアップするメールを選び、●を押します。

**5** 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

**6** 「はい」を選び、●を押す。

- バックアップが開始されます。
- バックアップが終了すると、「データ一括転送完了しました」と表示されます。

バックアップをしないとき
- 「いいえ」を選び、●を押します。



次ページへ続く

お知らせ
- miniSDメモリーカードのメモリ使用状況によっては、転送できない場合もあります。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 電話帳のメールアドレス種別、シークレットコード、指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ、指定メール着信ランプ、ピクチャーコール設定はバックアップされません。名前やフリガナ・電話番号・メールアドレスの登録場所が変わる場合があります。
- スケジュール・ToDoリストでは、アラーム時刻以外のアラーム情報はバックアップされません。スケジュールでは、連絡先、画像設定の情報もバックアップされません。
- ToDoリストをバックアップすると、シークレット設定されたデータが通常のデータとして保存されますのでご注意ください。
- メールでは、ｉアプリ To、フォルダ情報はバックアップされません。
- FOMAカード内の電話帳・SMSはバックアップされません。
- 受信メールのデータ一括転送中に、メールやメッセージを受信した場合、一括転送を中止する場合があります。

## miniSDメモリーカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む

miniSDメモリーカードからFOMA端末にバックアップデータを読み込みます。
- FOMA端末内のデータを残したまま追加する方法と、FOMA端末内のデータを消去して書き込む方法があります。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。

**1** 待受画面で、●95を押す。
- miniSD管理画面が表示されます。

**2** 2を押す。（データ一括転送）
- データ一括転送画面が表示されます。

**3** 2を押す。（**miniSD**から読込）

**4** 読み込む機能を選び、●を押す。
- 選んだ機能のバックアップデータが表示されます。該当するデータがないときは、「miniSDデータがありません」と表示されたあと、操作３の画面に戻ります。
- 本FOMA端末でバックアップしたデータ名には、バックアップした日付が付いています。
  例：2004年4月11日8時52分の場合→「datagr040411_0852」

「メール」を選んだとき
- メール内の分類が表示されます。●を押すと、メールのバックアップリスト表示画面が表示されます。

バックアップデータの内容を確認するとき
- 操作４のあと、確認するバックアップデータを選び、📷2を押します。

バックアップデータの情報を確認するとき
- 操作４のあと、確認するバックアップデータを選び、📷3を押します。
- タイトル、ファイル形式、ファイル名、場所、ファイル制限、保存日時が表示されます。

**5** 読み込むバックアップデータを選び、●を押す。

**6** 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。
- 入力した端末暗証番号は、「✱」で表示されます。

**7** 「追加」を選び、◉を押す。

- バックアップが開始されます。
- バックアップが終了すると、「データ一括転送完了しました」と表示されます。

FOMA端末のデータに上書きするとき

- 「上書き」を選び、◉を押してから、「はい」を選び、◉を押します。
- 電話帳にバックアップデータを上書きする場合、所有者情報については自局番号を除いて上書きされます。また、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されますのでご注意ください。

お知らせ
- メールとブックマークについては、フォルダの情報が保存されていないため、受信メールは「受信トレイ」に、送信メールは「送信トレイ」に、ブックマークは「Bookmark」フォルダに保存されます。
- メールについては、転送に時間がかかる場合があります。

## バックアップデータを削除する

**1** 待受画面で、◉9 5を押す。

- miniSD管理画面が表示されます。

**2** 2を押す。（データ一括転送）

- データ一括転送画面が表示されます。

**3** 2を押す。（miniSDから読込）

**4** 削除する機能を選び、◉を押す。

**5** 削除するデータを選び、📷1を押す。（削除）

**6** 1を押す。（1件削除）

全件削除するとき

- 2を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、◉を押します。

選択削除するとき

- 3を押し、削除したいデータを選び、◉を押します。（マークが「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているデータを選び、◉を押します。）
  削除したいデータをすべて選び、ⓘ（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

**7** 「はい」を選び、◉を押す。

- バックアップデータが削除されます。

削除しないとき

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

# miniSDメモリーカード内のデータを表示する<miniSDデータ参照>

miniSDメモリーカードにコピーしたデータは、各機能の画面またはminiSD管理画面から確認することができます。

● マルチメディアのイメージ、ｉモーション、メロディのデータは、miniSDデータ参照では確認できません。マルチメディアからの操作で確認してください。

## 各機能の画面から確認する

miniSDメモリーカード内のデータの確認は、各データの一覧画面から操作できます。
電話帳を例に説明します。

**1** 待受画面で、(電話帳)を押す。

**2** (カメラ)(#)を押す。（**miniSD**データ参照）

● miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。FOMA端末（本体）のデータと同様に確認することができます。
● データを選び、(●)を押すと、miniSDメモリーカードにバックアップ（データ一括転送）したデータの内容を確認することができます。
● 該当するデータがないときは、「miniSDデータがありません」と表示されたあと、元の画面に戻ります。

## miniSD管理画面から確認する

**1** 待受画面で、(●)(9)(5)を押す。

● miniSD管理画面が表示されます。

**2** (1)を押す。（**miniSD**データ参照）

● miniSDデータ参照画面が表示されます。

**3** 確認する機能を選び、(●)を押す。

● 選んだ機能内のデータがリスト形式で表示されます。該当するデータがないときは、「miniSDデータがありません」と表示されたあと、元の画面に戻ります。

データ情報を確認するとき（情報表示）
● (カメラ)(3)を押します。

データを削除するとき
● (カメラ)(1)を押します。削除方法を選び、(●)を押したあと、画面の指示に従って操作してください。（基本的な操作方法は、電話帳などと同様です。）

FOMA端末（本体）へコピーするとき
● (カメラ)(2)を押します。コピー方法を選び、(●)を押したあと、画面の指示に従って操作してください。
● データ一括転送（☞P.339）で作成されたデータはコピーすることができません。

**4** 確認するデータを選び、(●)を押す。

● データが表示されます。
● データ表示中の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

## miniSDメモリーカードからFOMA端末にコピーする<本体へコピー>

miniSDメモリーカードに保存されている各データを、FOMA端末（本体）にコピーすることができます。
１件コピー、全件コピー、選択コピーの方法があります。
miniSDメモリーカードからのコピーは、各データのリスト画面から操作します。
電話帳を例に説明します。
- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

**1** 待受画面で、(MENU)を押す。

**2** (i)(#)を押す。（miniSDデータ参照）
- miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。

**3** コピーするデータを選び、(i)(2)を押す。（本体へコピー）

**4** (1)を押す。（１件コピー）

全件コピーするとき
- (2)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押します。

選択コピーするとき
- (3)を押し、コピーしたいデータを選び、(●)を押します。（番号が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されているデータを選び、(●)を押します。）
  コピーしたいデータをすべて選び、(i)（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

**5** 「はい」を選び、(●)を押す。
- コピーが開始されます。

コピーしないとき
- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

お知らせ
- miniSD管理画面でデータを確認中にコピーすることもできます。（☞P.342）
- miniSD メモリーカードにバックアップ（データ一括転送）したデータをコピーすることはできません。miniSDメモリーカードからの読み込み（☞P.340）を行ってください。

ブックマークをコピーするとき
- 操作５の画面で、「同じURLは上書きされます　よろしいですか？」と表示されます。現在のデータに上書きするときは、「はい」を選び、(●)を押します。

## miniSDメモリーカードのデータを削除する

miniSDメモリーカードのデータは、次のいずれかの方法で削除することができます。

| | |
|---|---|
| １件削除 | データを１件ずつ削除します。 |
| 全件削除 | すべてのデータを削除します。 |
| 選択削除 | 複数のデータを選び、まとめて削除します。 |

電話帳を例に説明します。
- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

次ページへ続く

**1** 待受画面で、を押す。

**2** #を押す。（**miniSD**データ参照）

- miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。

**3** 削除するデータを選び、1を押す。（削除）

**4** 1を押す。（1件削除）

すべてのデータを削除するとき
- 2を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、を押します。

複数のデータを選び、まとめて削除するとき
- 3を押し、削除したい電話帳を選び、を押します。（メモリ番号が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されている電話帳を選び、を押します。）削除したい電話帳をすべて選び、（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

**5** 「はい」を選び、を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、を押します。

お知らせ
- miniSD管理画面でデータを確認中に削除することもできます。（☞P.342）

## miniSDメモリーカード内のデータの詳細情報を表示する

データの詳細情報を表示することができます。
電話帳を例に説明します。
- 機能や画面によってサブメニューの番号は異なります。

**1** 待受画面で、を押す。

**2** #を押す。（**miniSD**データ参照）

- miniSDメモリーカード内のデータが表示されます。

**3** 表示するデータを選び、3を押す。（情報表示）




miniSDメモリーカード

## 4 確認を終わるときは、⊙（確認）を押す。

お知らせ
- miniSD管理画面でデータを確認中に情報表示することもできます。（☞P.342）

## miniSDメモリーカードを初期化する<フォーマット>

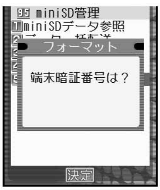
フォーマット（初期化）されていないminiSDメモリーカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります。

- フォーマットすると、miniSDメモリーカード内のすべてのデータが消去されます。ご注意ください。
- FOMA端末に付属の試供品のminiSDメモリーカードは、あらかじめフォーマットされています。再びフォーマットする必要はありません。
- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- パソコンなどでフォーマットしたminiSDメモリーカードは、FOMA端末では正常に使用できない場合があります。FOMA端末でフォーマットしたminiSDメモリーカードを使用することをおすすめします。

### 1 待受画面で、⊙95を押す。

- miniSD管理画面が表示されます。

### 2 5を押す。（フォーマット）




### 3 端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、⊙を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「✱」で表示されます。

### 4 「はい」を選び、⊙を押す。

- フォーマットが開始されます。
- フォーマットが終了すると、「フォーマットしました」と表示されます。

フォーマットしないとき
- 「いいえ」を選び、⊙を押します。

お知らせ
- 実行中は、miniSDメモリーカードを抜かないでください。

## miniSDメモリーカードの空き容量を確認する＜メモリ確認＞

miniSDメモリーカードのメモリの残量を確認することができます。

**1** 待受画面で、(●)(3)(1)を押す。

- 本体メモリ確認画面が表示されます。

**2** (i)（⇒**miniSD**）を押す。




- 現在のminiSDメモリーカードの使用状況が表示されます。
- インジケータおよび目盛りは目安です。
- もう一度(i)（FOMAカード）を押すと、FOMAカードメモリ確認画面が表示されます。

## miniSDメモリーカードの管理情報を更新する

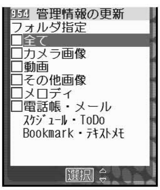
miniSDメモリーカードをパソコンなどで利用（データ編集や追加、削除など）した場合、miniSDメモリーカードの管理情報を更新する必要があります。

- 電池残量が少ない場合は実行できません。電池残量を確かめてから操作してください。
- miniSDメモリーカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できない場合があります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、miniSDメモリーカードが正しく動作しない場合があります。
- miniSDメモリーカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 他の機器で書き込んだデータを利用するときは、管理情報の更新が必要な場合があります。また、その際、ファイル名の拡張子が小文字（.jpg）の場合は、大文字に変更になりますので、ご注意願います。
- 管理情報の更新を行うと、Exif形式以外のデータのタイトル名は消去されますのでご注意ください。

**1** 待受画面で、(●)(9)(5)を押す。

- miniSD管理画面が表示されます。

**2** (4)を押す。（管理情報の更新）




- 待受ｉアプリ設定中の場合（☞P.84）は、「ｉアプリを終了しますか？」と表示されます。「はい」を選ぶと、管理情報の更新画面が表示されます。

**3** 管理情報を更新する項目を選び、(●)を押す。

- マークが「☑」に変わります。選択を解除するときは「☑」が表示されている項目を選び、(●)を押します。この操作をくり返して管理情報を更新する項目をすべて選択します。

「全て」を選択したとき

- 操作5に進みます。

miniSDメモリーカード

**4** (i)（完了）を押す。

**5** 「はい」を選び、●を押す。

● 管理情報更新が開始されます。
● 管理情報の更新実行中に●を押して「3バックグランド処理」を選び●を押すと、管理情報を更新しながら、他の操作を行うことができます。(PWR)を押した場合も、自動的に行われます。

更新しないとき
●「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ
● 実行中はminiSDメモリーカードを抜かないでください。
● 更新中に音声電話やテレビ電話を受けたり、メールを受けることもできますが、次の機能はご利用になれません。
　ｉモード／ｉアプリ／静止画･動画撮影／メール閲覧／イメージ再生／ｉモーション再生／メロディ再生／キャラ電再生／電話帳・メール・スケジュール・ToDo・テキストメモからのminiSDデータ参照／プリント指定（DPOF）／赤外線送受信／ドキュメントビューア

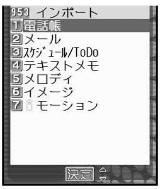
## パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンなどで作成したデータ（電話帳、メール、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ、マルチメディアの静止画、動画／ｉモーション、メロディ）を、miniSDメモリーカードを経由して、FOMA端末で確認することができます。
● あらかじめ、miniSDメモリーカードのインポートフォルダに、データリンクソフトを使い、パソコンなどからデータをコピーしておいてください。

**1** 待受画面で、●(9)(5)を押す。

● miniSD管理画面が表示されます。

**2** (3)を押す。（インポート）




**3** 確認する機能を選び、●を押す。

● 該当するデータがないときは、「miniSDデータがありません」と表示されたあと、操作２の画面に戻ります。
● 選んだ機能のデータ（ファイル名）が表示されます。

データを削除するとき
● (MENU)(1)を押します。以降の操作は通常のデータの削除と同様です。

FOMA端末にコピーするとき
● (MENU)(2)を押します。以降の操作は通常のデータのコピーと同様です。
● 漢字やひらがなのファイル名のファイルをコピーしたときは、FOMA端末で扱えるファイル名に変更されます。

データの情報を確認するとき（情報表示）
● (MENU)(3)を押します。
● パソコン等で作成したデータは、タイトル情報がない場合があります。

miniSDメモリーカード

次ページへ続く

## 4 確認するデータを選び、◉を押す。

- データが表示されます。

お知らせ

- メロディの場合、100Kバイトまで再生及びコピーできます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れた場合、１件のみ表示します。
- 1632×1224ドットを超える静止画（JPEG／GIF）は表示できない場合があります。大きな画像は、画像一覧用の画像を表示する場合もあります。
- FOMA端末で未対応のファイルが添付されているメール、100Kバイトを超えるファイルが添付されているメール、10000バイト以下の添付ファイルが合計11件以上添付されているメール、ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルが合計２件以上添付されているメール、ｉモーションまたは10000バイトを超える静止画ファイルを除く添付ファイルの合計サイズがメール本文と合わせて10000バイトを超えるメールの場合は、添付ファイルの一部または全部が削除されます。

# データ通信編

# FOMA端末から利用できるデータ通信について

## 利用できる通信形態

FOMA端末の通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の３つに分類されます。

- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA端末をmuseaと接続してデータ通信を行う場合、museaをアップデートしてご利用ください。
  アップデートの方法などの詳細については、ドコモのインターネットホームページを参照してください。

### ■ パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されます。ネットワークに接続中でもデータの送受信を行っていないときは通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータの送受信を行うという使い方ができます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、送信最大64kbps、受信最大384kbpsの速度でデータ通信を行うことができます。（通信環境や輻輳状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です）
パケット通信はFOMA端末とパソコンを接続して、各種設定を行うとご利用になれます。メールの文字データの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやり取りする場合に適しています。
FOMA端末では、パソコン等によるパケット通信と音声電話を同時に利用することができます。（☞P.19）

### ■ 64Kデータ通信

接続している時間の長さに応じて課金されます。ドコモのインターネット接続サービス「mopera」など、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDNの同期64Kアクセスポイントを利用します。
64Kデータ通信はFOMA端末とパソコンを接続して、各種設定を行うとご利用になれます。マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。

### ■ データ転送

FOMA USB接続ケーブル（別売品）や赤外線を使ってデータを転送、交換します。課金が発生しない通信形態です。電話帳、送受信メール、ブックマークなどのデータを送受信できます。
FOMA端末と他のFOMA端末や携帯電話を接続する場合は、赤外線通信を使います。パソコンなどを接続する場合は、赤外線通信とFOMA USB接続ケーブルを使う方法があります。

# ご利用にあたっての留意点

## ■インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットをご利用の場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダに対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に、インターネットサービスプロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。
ドコモのインターネット接続サービス「mopera」を利用すると、お申し込み手続き不要、月額使用料無料です。

## ■接続先（インターネットサービスプロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

## ■ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のインターネットサービスプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

## ■パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、以下の条件が必要になります。

- FOMA USB接続ケーブルに対応したパソコンであること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

ただし、上の条件が整っていても、基地局が混雑してたり、電波状況等により通信ができないことがあります。

**お知らせ**

- パケット接続を行う場合は、FOMA端末と接続する機器がJATE（財団法人電気通信端末機器審査協会）の認定品である必要があります。

## ■ データ通信用語集

### APN（Access Point Name）
インターネットサービスプロバイダや企業内LANを識別する文字列。モペラは「mopera.ne.jp」がAPNとなります。

### cid（Context Identifier）
FOMA端末にAPNを登録するときに割り当てる登録番号。FOMA端末では１番から10番まで使えます。

### DNS（Domain Name System）
ドメインネーム（例：mopera.ne.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのこと。

### IrDA（Infrared Data Association）
赤外線通信に関する規格を制定している組織の名称。

### IrMC（Ir Mobile Communications）
携帯電話どうしやPDA（携帯情報端末）間でデータを転送する目的で作られた規格。IrMCに準拠した赤外線端子を持つ携帯電話どうしやPDAとの間で、電話番号やスケジュールをやり取りできます。

### OBEX（Object Exchange）
データ通信の国際規格の１つ。OBEXに対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの間で、データの送受信ができます。

### QoS（Quality of Service）
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。（☞P.414、P.420、P.421）

### W-CDMA
世界標準規格として認定された第三世代移動通信システム（IMT-2000）の１つ。FOMA端末は、W-CDMA規格に準拠しています。

### W-TCP
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

### パソコンの管理者権限を持ったユーザー
Windows XP、2000 Professionalを使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。１台のパソコンに最低１人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバのインストールができません。

# データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。以下のような流れになります。

**パソコンとFOMA端末を接続する（☞P.355）**

↓

**通信設定ファイルをインストールする（☞P.354）**

| | Windows XPをお使いのとき | Windows 2000 Professionalをお使いのとき | Windows Meをお使いのとき | Windows 98をお使いのとき |
|---|---|---|---|---|
| インストールする | （P.356） | （P.357） | （P.359） | （P.360） |
| インストール後の確認をする | （P.362） | （P.362） | （P.362） | （P.362） |

↓

**FOMA PC設定ソフトをインストールする（☞P.367）**

↓

**かんたん設定でパケット通信の設定をする**

- mopera※（☞P.369）
- その他のプロバイダ（☞P.371）

**かんたん設定で64Kデータ通信の設定をする**

- mopera※（☞P.374）
- その他のプロバイダ（☞P.375）

↓

**接続する（☞P.376）**

**FOMA PC設定ソフトを使わずに通信の設定をする**

- パケット通信（☞P.383）
- 64Kデータ通信（☞P.398）

↓

**接続する（☞P.397）**

※「mopera」はドコモが提供するインターネット接続サービスです。簡単にインターネットに接続をしたいという方には、「mopera」での通信の設定をおすすめします。

## 通信設定ファイルについて

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、添付のCD-ROMから通信設定ファイルをインストールする必要があります。（☞P.356〜P.361）

お知らせ
- インストールに失敗してP.363の操作3の各画面で「FOMA SH900i」のデバイス名が表示されていないときには、「スタート」メニュー→「ファイル名を指定して実行」をクリックして「<CD-ROMドライブ名>:¥USBDRV¥SH900IU.EXE」を指定し、「OK」をクリックして実行し、通信設定ファイルをアンインストールしたあと、もう一度インストールしてください。
- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし（☞P.364）、もう一度インストールしてください。
- 自動検索の設定などで、誤って異なるOSのドライバをインストールすると、正しく動作しません。いったん、通信設定ファイルをアンインストールしてから、正しくインストールし直してください。

## FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールして使うと、FOMA端末とパソコンを接続して行うパケット通信や64Kデータ通信に必要なさまざまな設定を簡単に行うことができます。（☞P.365）

## 動作環境の確認

通信設定ファイル・FOMA PC設定ソフトは、以下の動作環境でご利用ください。

| 項　目 | 必要環境 |
| --- | --- |
| パソコン本体※1 | PC/AT互換機 |
| OS | Windows 98、Windows Me、Windows 2000 Professional、<br>Windows XP（各日本語版） |
| 必要メモリ※2 | Windows 98、Windows Me：32MB以上<br>Windows 2000 Professional：64MB以上<br>Windows XP：128MB以上 |
| ハードディスク容量※2 | 5MB以上の空き容量 |

※1 USBポート（USB仕様1.1/2.0に準拠）が必要です。

※2 必要メモリ・ハードディスク容量は、「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。なお、パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

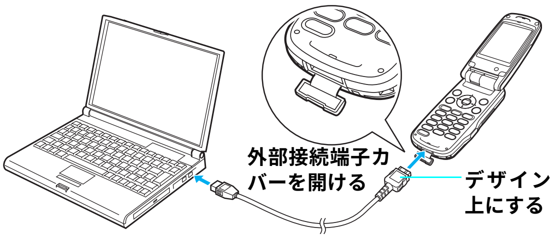
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## パソコンとFOMA端末を接続する

パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。通信設定ファイルがインストールされている場合には、FOMA端末の画面に「」が表示されます。

### ■ FOMA USB接続ケーブルで接続する

**1** **FOMA USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む。**



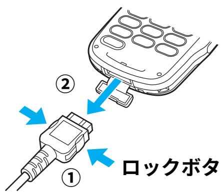

**2** **添付のCD-ROMをパソコンにセットする。**

**3** **FOMA USB接続ケーブルのパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む。**

- 初めてパソコンに接続する場合は、FOMA USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識し、ウィザード画面が表示されます。

### 取り外しかた

1 FOMA USB接続ケーブル側のFOMA端末側のロックボタンを押して（①）、FOMA端末からコネクタを抜きます（②）。




2 パソコンからFOMA USB接続ケーブルのコネクタを抜きます。

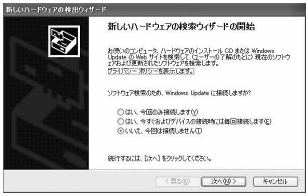
**お知らせ** ● FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら接続することもできます。

# Windows XPにインストールする

パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

## 1 FOMA端末をパソコンに接続する。

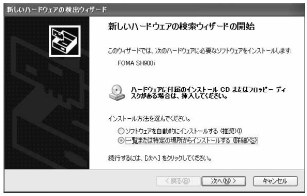
● ウィザードの開始画面が表示されます。




※お客様のパソコンの環境によっては、この画面が表示されない場合があります。

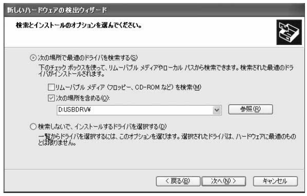
## 2 「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選び、「次へ」をクリックする。

● 検索場所の指定画面が表示されます。




## 3 検索するフォルダを指定する。

1 「次の場所で最適のドライバを検索する」を選ぶ。
2 「次の場所を含める」を選び、「参照」をクリックする。
次のディレクトリを指定します。
<CD-ROMドライブ名>:¥USBDRV
3 「次へ」をクリックする。
インストールが開始されます。インストールが終了すると検索ウィザードの完了画面が表示されます。




## 4 「完了」をクリックする。

● インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

## 5 続けて他のドライバをインストールする。

● 以降、操作2～4をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ　③コマンドポートドライバ
すべてのドライバのインストールが完了すると、タスクバーのインジケータから「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」というポップアップメッセージが数秒間表示されます。
● インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.362）

# Windows 2000 Professionalにインストールする



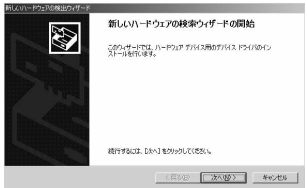
パソコンの管理者権限を持ったユーザーでインストールしてください。

## 1 FOMA端末をパソコンに接続する。

- ウィザードの開始画面が表示されます。

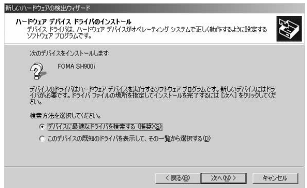
## 2 「次へ」をクリックする。

- 検索方法の選択画面が表示されます。



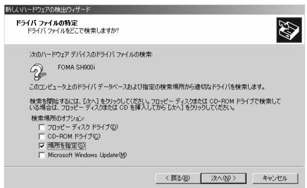

## 3 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選び、「次へ」をクリックする。

- 検索場所の指定画面が表示されます。



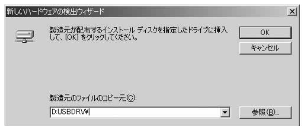

## 4 「場所を指定」を選び、「次へ」をクリックする。

- コピー元の指定画面が表示されます。



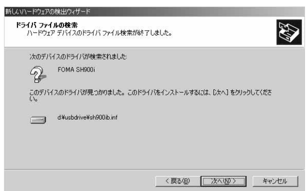

## 5 コピー元を指定し、「OK」をクリックする。

- 検索終了画面が表示されます。
- コピー元は次のディレクトリを指定します。
  ＜CD-ROMドライブ名＞:¥USBDRV
- 「参照」をクリックした場合は、上記ディレクトリからいずれかのファイルを選び、「開く」をクリックします。




## 6 「次へ」をクリックする。

- インストールが開始されます。インストールが終了すると検索ウィザードの完了画面が表示されます。
- 表示されるフォルダ名は、お使いのパソコンによって異なります。




## 7 「完了」をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

次ページへ続く

## 8 続けて他のドライバをインストールする。

- 以降、操作２～７をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ　③コマンドポートドライバ
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.362）

# Windows Meにインストールする



## 1 FOMA端末をパソコンに接続する。

- ウィザードの開始画面が表示されます。

## 2 「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選び、「次へ」をクリックする。



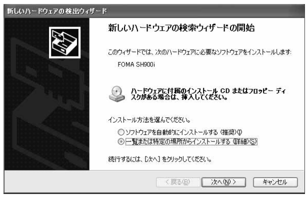

- 検索場所の指定画面が表示されます。

## 3 検索するフォルダを指定する。




1. 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選ぶ。
2. 「検索場所の指定」を選び、「参照」をクリックする
   次のディレクトリを指定します。
   ＜CD-ROMドライブ名＞:¥USBDRV
3. 「次へ」をクリックする
   インストール準備完了画面が表示されます。

## 4 「次へ」をクリックする。




- インストールが開始されます。インストールが終了するとウィザードの完了画面が表示されます。
- 表示されるフォルダ名はお使いのパソコンによって異なります。

## 5 「完了」をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

## 6 続けて他のドライバをインストールする。

- 以降、操作2～5をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ　③コマンドポートドライバ
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.362）

# Windows 98にインストールする

## 1 FOMA端末をパソコンに接続する。

- ウィザードの開始画面が表示されます。

## 2 「次へ」をクリックする。

- 検索方法の選択画面が表示されます。




## 3 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選び、「次へ」をクリックする。

- 検索場所の指定画面が表示されます。




## 4 検索するフォルダを指定する。

1. 「検索場所の指定」を選び、「参照」をクリックする。
   次のディレクトリを指定します。
   <CD-ROMドライブ名>:¥USBDRV
2. 「次へ」をクリックする。
   インストールを確認する画面が表示されます。




## 5 「更新されたドライバ（推奨）」を選び、「次へ」をクリックする。

- インストール準備完了画面が表示されます。




## 6 「次へ」をクリックする。

- インストールが開始されます。
- 表示されるフォルダ名はお使いのパソコンによって異なります。




## 7 「完了」をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。



## 8 「次へ」をクリックする。




- 検索方法の選択画面が表示されます。

## 9 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選び、「次へ」をクリックする。




- 検索場所の指定画面が表示されます。

## 10 検索するフォルダを指定する。




1. 「検索場所の指定」を選び、「参照」をクリックする。
   次のディレクトリを指定します。
   ＜CD-ROMドライブ名＞:¥USBDRV
2. 「次へ」をクリックする。
   インストール準備完了画面が表示されます。

## 11 「次へ」をクリックする。




- インストールが開始されます。インストールが終了するとウィザードの完了画面が表示されます。
- 表示されるフォルダ名はお使いのパソコンによって異なります。

## 12 「完了」をクリックする。

- インストールが終了し、次のドライバの検索画面が表示されます。

## 13 他のドライバをインストールする。

- 以降、操作８～12をくり返し行い、以下のドライバを順にインストールします。
  ①モデムドライバ　②OBEXポートドライバ　③コマンドポートドライバ
- インストールされるデバイスの種類とデバイス名を確認してください。（☞P.362）

通信設定ファイルをインストールする

# インストールしたドライバを確認する



FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信を行うことはできません。
〈例〉Windows XPで確認するとき

**1** **「スタート」メニュー→「コントロールパネル」をクリックし、「パフォーマンスとメンテナンス」アイコン→「システム」アイコンをクリックする。**

- システムのプロパティ画面が表示されます。

**Windows 2000 Professional、Me、98の場合**

- 「スタート」メニュー→「設定」→「コントロールパネル」の順に選び、「システム」アイコンをダブルクリックします。

**2** **「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする。**

- デバイスマネージャ画面が表示されます。

**Windows 2000 Professionalの場合**

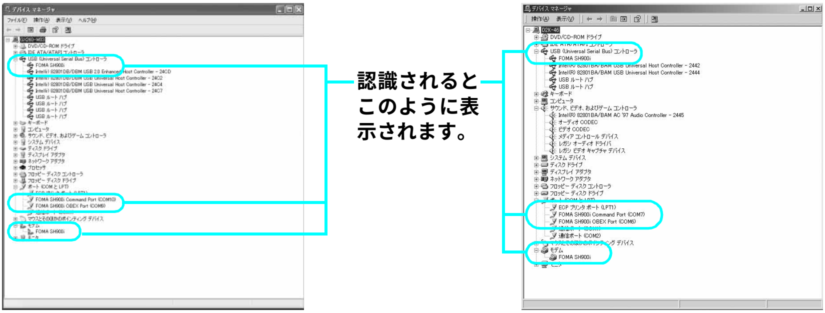
- 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」デバイスマネージャをクリックします。
  デバイスマネージャ画面が表示されます。

**Windows Me、98の場合**

- 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
  デバイスマネージャ画面が表示されます。

## 3 各デバイスをクリックし、インストールされたデバイス名を確認する。

「ポート（COMとLPT）」または「ポート（COM／LPT）」、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」または「USB（Universal Serial Bus）コントローラ」、「モデム」の箇所に、インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。




Windows XPの場合　　　Windows 2000 Professionalの場合




Windows Me、98の場合

● 通信設定ファイルをインストールすると、以下のドライバがインストールされます。

| デバイスの種類 | デバイス名 |
|---|---|
| ポート（COM/LPT） | ● FOMA SH900i Command Port （COMx）<br>● FOMA SH900i OBEX Port （COMx）<br>（COMxはお使いのパソコンによって異なります） |
| モデム | ● FOMA SH900i |
| USB（Universal Serial Bus）コントローラ | ● FOMA SH900i |

**お知らせ**
- インストールに失敗したとき、または操作３の画面に「FOMA SH900i」が表示されていないときには、「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」をクリックして「<CD-ROMドライブ名>:¥USBDRV¥SH900IU.EXE」を指定し、「OK」をクリックしてアンインストールしてから再度インストールしてください。

# 通信設定ファイルをアンインストールする

ここでは通信ファイルのアンインストール手順を説明しています。OSによって画面表示などが異なります。

- Windows XP、2000 Professionalで通信設定ファイルのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定操作については各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

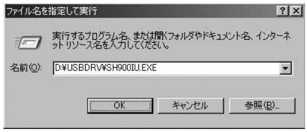
〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

## 1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする。

## 2 「スタート」メニュー→「ファイル名を指定して実行」をクリックする。

- 「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。

## 3 「＜CD-ROMドライブ名＞：¥USBDRV¥SH900IU.EXE」と入力し、「OK」をクリックする。




## 4 「はい」をクリックする。

- 通信設定ファイルのアンインストールが開始されます。




## 5 「OK」をクリックする。

- 通信設定ファイルのアンインストールが終了します。

**Windows 98の場合**

- 「今すぐ再起動しますか？」と表示されますので、「はい」をクリックして、パソコンを再起動してください。




**お知らせ**

- Windows Meでは通信設定ファイルをアンインストールしたあと、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、FOMA USB接続ケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

# FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をパソコンに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で以下の設定をすることができます。

## かんたん設定

ガイドに従い操作することで、FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時にW-TCPの設定などを自動で行います。

## W-TCPの設定

「FOMAパケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。
通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP設定」による通信設定の最適化が必要となります。

## 接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。
FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。cidの１番には標準で、moperaに接続するためのAPN、「mopera.ne.jp」が登録されていますが、その他のプロバイダや企業内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。
cid 「Context Identifier」…パケット通信の接続先（APN）に対応した番号のこと。FOMA端末にAPN登録をするときに設定します。

**お知らせ**

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。
  - ■ パケット通信（☞P.383）
  - ■ 64Kデータ通信（☞P.398）

## FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

FOMA PC設定ソフトの動作環境をご確認ください。（☞P.354）

### STEP１　FOMA PC設定ソフトをインストールする（☞P.367）

下記FOMA端末に同梱されているW-TCP環境設定ソフト（以後、旧「W-TCP設定ソフト」と呼びます）、およびFOMAデータ通信設定ソフト（以後、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」と呼びます）がお使いのパソコンにインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
（FOMA N2001、FOMA N2002、FOMA P2401、FOMA P2002、FOMA F2611、FOMA T2101V）
FOMA PC設定ソフトは、データ通信対応のすべてのFOMA端末で利用できます。

### STEP２　設定前の準備

設定を行う前に以下のことを確認してください。

- FOMA端末とパソコンの接続（☞P.355）
- FOMA端末がパソコンに認識されているか（☞P.362）

### STEP３　かんたん設定で通信の設定を行う

- moperaを利用したパケット通信（☞P.369）
- その他のプロバイダを利用したパケット通信（☞P.371）
- moperaを利用した64Kデータ通信（☞P.374）
- その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信（☞P.375）

その他の設定は、P.383以降を参照してください。

### STEP４　接続する（☞P.376）

インターネットに接続します。

| お知らせ | ● FOMA端末がCOM20より大きい番号として認識されている場合は、接続先（APN）設定の際、接続先（APN）の情報の取得・書込みができません。 |
|---|---|

# FOMA PC設定ソフトをインストールする

- Windows XP、2000 ProfessionalでFOMA PC設定ソフトのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定操作については各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。
- インストールを始める前に、稼動中の他のプログラムがないことをご確認ください。ご使用中のプログラムがあった場合は、FOMA PC設定ソフトの「キャンセル」をクリックし、使用中のプログラムを保存終了させたあと、インストールを再開してください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき
- Windows XP以外をご使用のときは、画面の表示が異なります。

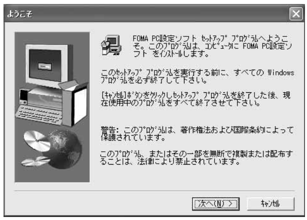
## 1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする。

## 2 SETUP.EXEを起動する。

1 「スタート」メニュー→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
2 「＜CD-ROMドライブ名＞:¥FOMA_PCSET¥SETUP.EXE」を指定し、「OK」をクリックする

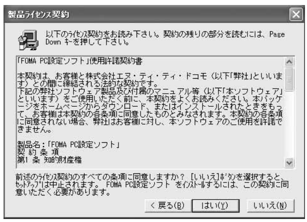
## 3 「次へ」をクリックする。

- 旧「W-TCP設定ソフト」および旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされているという画面や、既に「FOMA PC設定ソフト」がインストールされているという画面が表示された場合は、P.368を参照してください。




## 4 内容を確認のうえ、契約内容に同意する場合は「はい」をクリックする。

- FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約書です。「いいえ」をクリックすると、インストールは中止されます。




## 5 「タスクトレイに常駐する」が☑であることを確認し、「次へ」をクリックする。

- セットアップ後、タスクトレイにW-TCP設定が常駐します。（☞P.380）
  これは、W-TCP通信の最適化の設定・解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
  インストール後に常駐の設定は変更できます。




FOMA PC設定ソフトを利用する

次ページへ続く

## 6 インストール先を確認し、「次へ」をクリックする。




- 変更する場合は「参照」をクリックし、任意のインストール先を指定して「次へ」をクリックしてください。

## 7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、「次へ」をクリックする。




- 変更する場合はフォルダ名を入力し、「次へ」をクリックしてください。

## 8 「完了」をクリックする。




- FOMA PC設定ソフトが起動します。
  このまま各種設定を始められます。（☞P.369）

## FOMA PC設定ソフト インストール時の注意

### ■ 旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合

旧「W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合、警告画面が表示されます。「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から旧「W-TCP設定ソフト」を削除してください。（☞P.378）

### ■ 旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合

旧「FOMAデータ通信設定ソフト」がインストールされている場合、質問画面が表示されます。「はい」をクリックすると、旧「FOMAデータ通信設定ソフト」のアンインストールが自動的に行われたあと、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

### ■ FOMA PC設定ソフトがすでにインストールされている場合

すでにFOMA PC設定ソフトがインストールされている場合、質問画面が表示されます。「はい」をクリックすると、FOMA PC設定ソフトのアンインストールが自動的に行われた後、FOMA PC設定ソフトがインストールし直されます。

### ■ インストール途中で「キャンセル」をクリックした場合

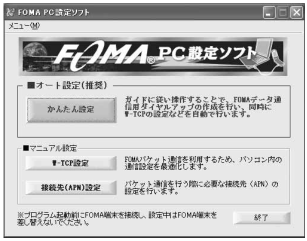
セットアップ途中で「キャンセル」や「いいえ」をクリックし、インストールを中断した場合、セットアップの中止画面が表示されます。インストールを継続する場合は「継続」を、意図的に中止する場合は、「中止」をクリックしてください。

# 通信の設定を行う

この設定ソフトでは、表示される設問に対する選択・入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

● 設定を行う前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。（☞P.355）

**1** **プログラムを起動する。**




● 「スタート」メニュー→「プログラム」（Windows XPの場合は、「すべてのプログラム」）→「FOMA PC設定ソフト」の順に選びます。
FOMA PC設定ソフトを起動すると右の画面が表示されます。

**タスクトレイからW-TCP設定を操作する場合**

● タスクトレイの「W TCP」をクリックし、W-TCP設定を起動してください。（☞P.380）




## かんたん設定からパケット通信を選択する

### ■ moperaを利用したパケット通信設定方法

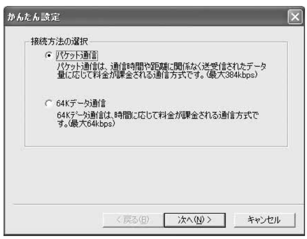
最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス「mopera」を利用します。

※【高速パケット通信】送受信したデータ量に応じて課金されます。接続時間を気にせずデータ通信ができます。受信最大384kbps、送信最大64kbps（一部機種を除く）の高速パケット通信が可能です。通信環境や輻輳状態の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。パケット通信を利用して画像を含むサイトやインターネットホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータの多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

**1** **FOMA PC設定ソフトを起動し、「かんたん設定」をクリックする。**




**2** **「パケット通信」を選び、「次へ」をクリックする。**

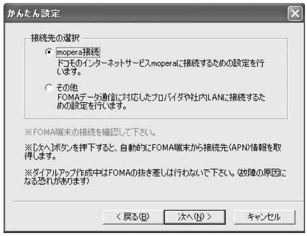





次ページへ続く

## 3 「mopera接続」を選び、「次へ」をクリックする。

● mopera以外のプロバイダをご利用の場合
(☞P.371)



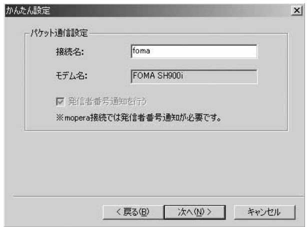

## 4 「OK」をクリックする。

● パソコンに接続されたFOMA端末から接続先(APN)設定を取得します。
しばらくお待ちください。



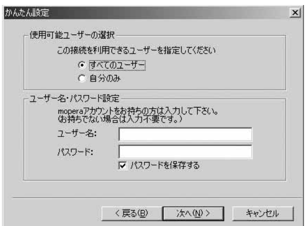

## 5 接続名を入力し、「次へ」をクリックする。

● 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。
● 次の記号(半角文字)は入力できません。
¥/:＊?!<>|"

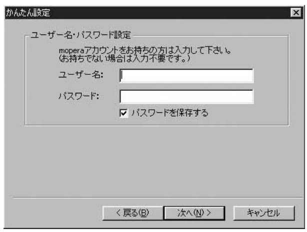



## 6 「次へ」をクリックする。

● 接続先がmoperaの場合は、ユーザー名、パスワードの入力は不要です。
● ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選んでください。




Windows XP、2000 Professionalの場合



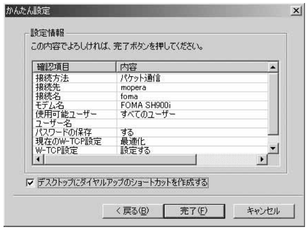

Windows Me、98の場合

## 7 「最適化を行う」が☑であることを確認し、「次へ」をクリックする。

● パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。
すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。



**8** **設定情報を確認し、「完了」をクリックする。**




- 設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

**9** **「OK」をクリックする。**

- 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は、「はい」を選びます。
- 通信を行うには（☞P.376）

## ■ その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法

最大384kbpsの高速パケット通信※の設定を行います。
※ 高速パケット通信について（☞P.369）

**1** **P.369〜P.370の操作１〜４を行う。**

- 操作３の接続先は「その他」を選びます。

**2** **接続名を入力し、「接続先（APN）設定」をクリックする。**




- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ¥/:＊?!<>|”
- 「接続先（APN）の選択」にはあらかじめ、moperaに接続するための接続先（APN）、「mopera.ne.jp」が設定されています。
- 「発信者番号通知を行う」を☑にすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

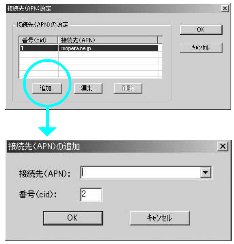
**高度な設定（TCP/IPの設定）**

- 「詳細情報の設定」をクリックするとIPアドレス・ネームサーバの設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

FOMA PC設定ソフトを利用する

次ページへ続く ▶▶

## 3 接続先（APN）を設定する。




● 番号（cid1※）にはあらかじめ、moperaに接続するための接続先（APN）、「mopera.ne.jp」が設定されています。
　❶「追加」をクリックする
　　接続先（APN）の追加画面が表示されます。
　❷「接続先（APN）」にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力し、「OK」をクリックする
　　接続先（APN）設定画面に戻ります。
●「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。
※cidは10まで登録可能です。

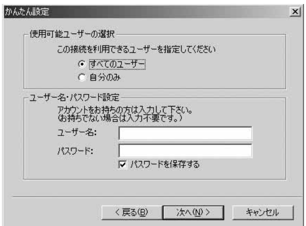
## 4 「OK」をクリックする。

● 操作２の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作３で設定した接続先（APN）が表示されています。

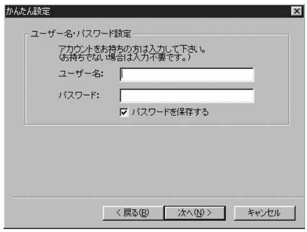
## 5 「接続先（APN）の選択」で接続先名（APN）を確認し、「次へ」をクリックする。

## 6 ユーザー名・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする。

● ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字等に注意し、正確に入力してください。
● ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。




Windows XP、2000 Professionalの場合



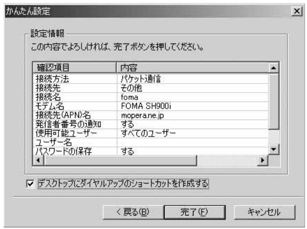

Windows Me、98の場合

## 7 「最適化を行う」が☑であることを確認し、「次へ」をクリックする。

● パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。すでに最適化されている場合には、この画面は表示されません。



## 8 設定情報を確認し、「完了」をクリックする。




- 設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

## 9 「OK」をクリックする。

- 設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動をする旨の画面が表示された場合は「はい」を選びます。
- 通信を行うには（☞P.376）

# かんたん設定から64Kデータ通信を選択する場合

## ■ moperaを利用した64Kデータ通信設定方法

通信速度64kbpsの64Kデータ通信※の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービスmoperaを利用します。

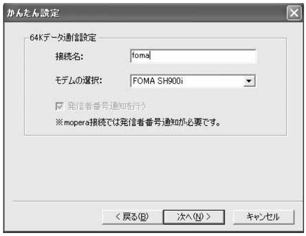
※【64Kデータ通信】接続していた時間に応じて課金されます。64kbpsの安定した通信速度によって快適なインターネットアクセスを実現できます。



### 1 P.369～P.370の操作１～４を行う。

- 操作２の接続方法は「64Kデータ通信」を選びます。

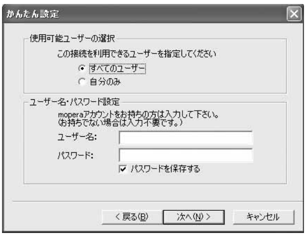
### 2 接続名の入力とモデムを選び、「次へ」をクリックする。



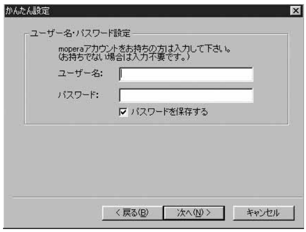

- 「接続名」欄に任意の接続名を入力します。
- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ¥/:＊?!<>|”
- 「モデムの選択」が「FOMA SH900i」に設定されていることを確認してください。

### 3 「次へ」をクリックする。

- 接続先がmoperaの場合は、ユーザー名、パスワードの入力は不要です。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。

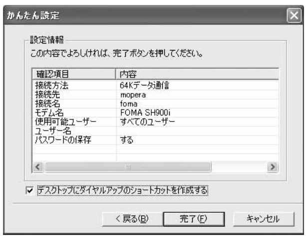



Windows XP、2000 Professionalの場合




Windows Me、98の場合

### 4 設定情報を確認し、「完了」をクリックする。




- 設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

### 5 「OK」をクリックする。

- 通信を行うには（☞P.376）

## ■ その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法

通信速度64kbpsの64Kデータ通信※の設定を行います。
※ 64Kデータ通信について（☞P.374）

### 1 P.369〜P.370の操作1〜4を行う。

- 操作2の接続方法は「64Kデータ通信」、操作3の接続先は「その他」を選びます。

### 2 各項目を設定し、「次へ」をクリックする。



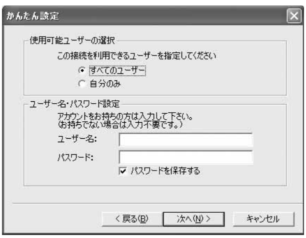

- ISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に以下の項目をそれぞれ登録します。
  - ■ 接続名：任意
  - ■ モデムの選択：FOMA SH900i
  - ■ 電話番号：
    プロバイダ情報を元に正しく入力してください。
- 入力できる文字は次のとおりです。
  0123456789ABCDPTWabcdptw!@$-.()+＊#,&および半角スペース
- 「発信者番号通知を行う」を☑にすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

#### 高度な設定（TCP/IPの設定）

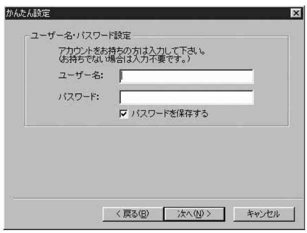
- 「詳細情報の設定」をクリックするとIPアドレス・ネームサーバの設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内LAN等のダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を元に、各種アドレスを登録してください。

### 3 ユーザー名・パスワードを設定し、「次へ」をクリックする。

- ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字、小文字等に注意し、正確に入力してください。
- ご使用のOSがWindows XP、2000 Professionalの場合は、使用可能なユーザーを選びます。




Windows XP、2000 Professionalの場合

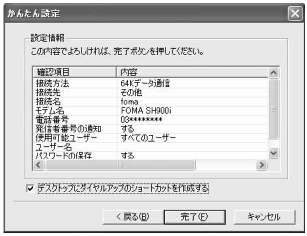



Windows Me、98の場合



次ページへ続く

## 4 設定情報を確認し、「完了」をクリックする。



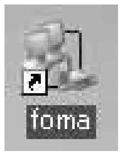

- 設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
  「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が☑のとき、ショートカットが自動的に作成されます。
  設定内容を変更する場合は「戻る」をクリックしてください。

## 5 「OK」をクリックする。

# 設定した通信を実行する

## 1 デスクトップの接続アイコンをダブルクリックする。

- 通信が開始されます。
- 接続アイコン名には、設定を行ったときに作成した接続名が表示されます。



アイコンは
OSによって
異なります。

## 2 接続を実行する。

- mopera を選んだ場合は「ユーザー名」・「パスワード」とも空欄のまま、「ダイヤル」をクリックします。
- P.375 の操作３で「ユーザー名」・「パスワード」を入力した場合は、その情報が入力されています。
- その他のプロバイダやダイヤルアップ接続の場合は、「ユーザー名」・「パスワード」を入力し、「ダイヤル」をクリックします。
- ユーザー名やパスワードを保存する項目を ☑ にすると、次回からは入力の必要がなくなります。



Windows XP、2000 Professionalの画面です。他のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

FOMA PC設定ソフトを利用する

**お知らせ**

- デスクトップの接続アイコンは、通信設定の際、「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」が☑のとき、表示されます。チェックマークを入力しなかった場合は、下記の操作を行ってください。
  (Windows XP)
  「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックする。
  (Windows 2000 Professional)
  「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする。
  (Windows Me、98)
  「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする。
- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中の画面、64Kデータ通信を実行すると呼出中の画面がそれぞれ表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイに通信状態が表示されます。
- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

## ■ 切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行って切断してください。

**1** **タスクトレイの「」をダブルクリックする。**

- 接続の画面が表示されます。

**2** **「切断」をクリックする。**

- 接続が切断されます。

# FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

## アンインストールを実行する前に

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された通信設定を元に戻す必要があります。

- Windows XP、2000 ProfessionalでFOMA PC設定ソフトのアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーが行うとエラーになります。
  パソコンの管理者権限の設定操作については各パソコンメーカ、マイクロソフトにお問い合わせください。

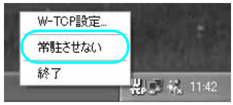
### 1 W-TCP設定ソフトの常駐設定を解除する。

右クリック



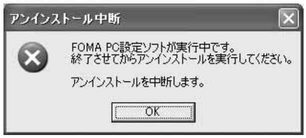

- 画面右下のタスクトレイの「」を右クリックして「常駐させない」をクリックします。

クリック




### 2 起動中のプログラムを終了させる。

- FOMA PC設定ソフトやW-TCP設定ソフトが起動中にアンインストールを実行しようとすると、右のような画面が表示されます。アンインストールプログラムを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。




## アンインストールする

＜例＞Windows XPでアンインストールするとき

### 1 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」をクリックし、「プログラムの追加と削除」アイコンをクリックする。

- プログラムの追加と削除画面が表示されます。

**Windows 2000 Professional、Me、98の場合**

- 「スタート」メニュー→「設定」→「コントロールパネル」の順に選び、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
  アプリケーションの追加と削除の画面が表示されます。

### 2 「FOMA PC設定ソフト」を選び、「変更と削除」をクリックする。

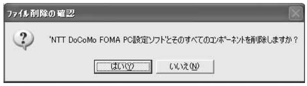



**Windows Me、98の場合**

- 「追加と削除」をクリックします。

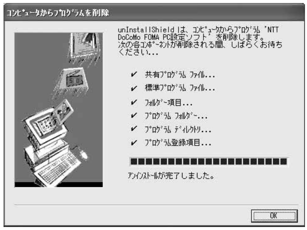
## 3 削除するプログラム名を確認し、「はい」をクリックする。

● FOMA PC設定ソフトのアンインストールが開始されます。



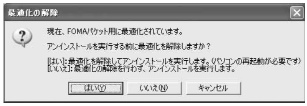

## 4 「OK」をクリックする。

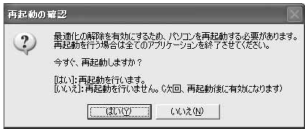
● FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。




### W-TCP最適化の解除

● W-TCP が最適化されている場合は右の画面が表示されます。
● アンインストールする場合は「はい」をクリックしてください。
W-TCP最適化の解除は、再起動後に行われます。



# W-TCP設定

## W-TCPの役割

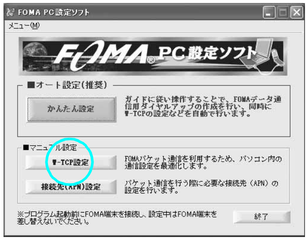
W-TCP設定ソフトはFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

## 最適化の設定と解除

### ■ Windows XPの場合

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

**1 FOMA PC設定ソフトを起動し、「W-TCP設定」をクリックする。**




タスクトレイからW-TCP設定を操作する場合

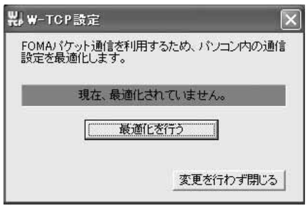
- タスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックし、W-TCP設定を起動してください。




**2 次の操作を行う。**

システム設定が最適化されていない場合

- 右の画面が表示されます。
  「最適化を行う」をクリックすると、W-TCP設定（ダイヤルアップ）画面が表示されます。
  最適化するダイヤルアップを選び、「実行」をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。
  システム設定は、画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が有効になります。



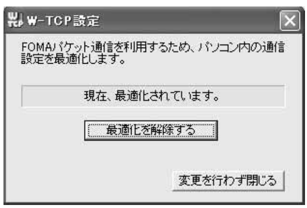

システム設定が最適化されている場合

- 右の画面が表示されます。
  内容を変更する場合は設定を行ってください。
  変更した内容はパソコンを再起動したあと、有効になります。




最適化を解除する場合

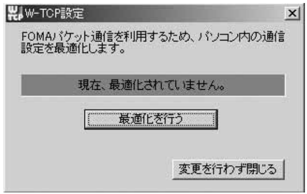
- W-TCP設定（ダイヤルアップ）画面で「システム設定」をクリックします。
  右の画面が表示されます。
  「最適化を解除する」をクリックし、画面表示に従ってパソコンを再起動したあと、最適化が解除されます。



## Windows 2000 Professional、Me、98の場合

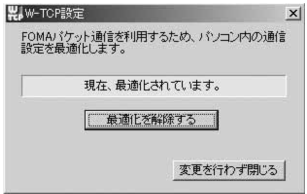
**1** **P.380の操作1～2を行う。**

**2** **次の操作を行う。**




**システム設定が最適化されていない場合**

- 右の画面が表示されます。
  「最適化を行う」をクリックし、現在開いているすべてのプログラムを終了させ、最適化設定を有効にするために、再起動を実行してください。

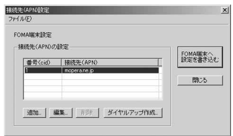



**システム設定が最適化されている場合**

- 右の画面が表示されます。
  FOMA端末以外での通信などの理由から設定を解除する場合は、「最適化を解除する」をクリックしてください。再起動を確認する画面が表示されます。現在開いているすべてのプログラムを終了し、最適化解除を有効にするために、再起動を実行してください。

# 接続先（APN）の設定

## FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み




「接続先（APN）設定」をクリックし、FOMA端末設定取得画面で「OK」をクリックすると、接続されたFOMA端末に自動的にアクセスし、登録されている接続先（APN）情報を読み込みます（FOMA端末が接続されていない場合は起動しません）。また、設定情報はツールバーから「ファイル」→「FOMA端末から設定を取得」を順に選んでも読み込むことができます。

## 接続先（APN）の追加・編集・削除

### 接続先（APN）を追加する場合

接続先（APN）設定画面で、「追加」をクリックします。

### 登録済みの接続先（APN）を編集または修正する場合

接続先（APN）設定画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選び、「編集」をクリックします。

### 登録済みの接続先（APN）を削除するには

接続先（APN）設定画面で、対象の接続先（APN）を一覧から選び、「削除」をクリックします。

- 番号（cid）の1に登録されている接続先（APN）は削除できません。

## ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップや編集中の接続先（APN）設定を保存したい場合は、ツールバーの「ファイル」からの操作で、接続先（APN）設定の保存を行うことができます。

## ファイルからの読み込み

保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みたい場合には、ツールバーの「ファイル」からの操作で、パソコンに保存されている接続先（APN）設定を読み込むことができます。

## ■ FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

接続先（APN）設定画面で、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックすると、表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

## ■ ダイヤルアップ作成機能

接続先（APN）設定画面で追加・編集された接続先（APN）を選び、「ダイヤルアップ作成」をクリックします。FOMA端末への書き込み確認画面が表示されますので、「はい」をクリックしてください。接続先（APN）への書き込み終了後、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面が表示されます。
任意の接続名を入力し、「アカウント・パスワードの設定」をクリックします。（moperaの場合は不要です。）
ユーザー名とパスワードを入力して（Windows XP、2000 Professionalの場合は使用可能ユーザーを選び）「OK」をクリックしてください。

ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合、パケット通信用ダイヤルアップの作成画面で「詳細情報の設定」をクリックし、必要な情報を登録後、「OK」をクリックしてください。
設定を入力後、「FOMA端末へ設定を書き込む」をクリックして、上書きを確認してから、書き込みを実行してください。

# パケット通信の設定をする

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信を設定する方法について説明します。設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使って説明します。

● ATコマンドで設定する操作は、以下のような流れになります。

| ATコマンドをサポートする通信ソフトを起動する（☞P.383～P.384の操作2～5） | | |
|---|---|---|
| ↓ | ↓ | ↓ |
| 接続先（APN）の設定をする（☞P.384の操作6～7） | 発信者番号通知／非通知を設定する（☞P.385） | ダイヤルアップネットワークを設定する（☞P.387） |
| ↓ | ↓ | ↓ |
| 通信ソフトを終了する（☞P.384　操作7） | | |

**お知らせ**

- パケット通信関連の設定をする前に通信設定ファイルをインストールしてください。（☞P.354）
- ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。
- ドコモのインターネット接続サービスmoperaをご利用になる場合、お買い上げ時に設定されているため、接続先（APN）の設定は不要です。
- 発信者番号通知の設定は必要に応じて設定してください（moperaをご利用の場合、「通知」または「設定なし」に設定する必要があります）。お買い上げ時は、「設定なし」に設定されています。
- その他の設定は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。

## 接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。最大10件まで登録できます。接続先は1～10の「cid」（☞P.384）という番号で管理されます。cid1には、すでにドコモのインターネット接続サービスmoperaに接続するための接続先（APN）、「mopera.ne.jp」があらかじめ設定されていますので、2～10の番号に設定することをおすすめします。
ここではWindows Meを例に、接続先（APN）の設定について説明します。
Windows Me以外をご使用のときは、画面の表示が異なりますが、基本的には設定方法は同じですので以下を参照してください。

● 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
● mopera以外の接続先（APN）については、インターネットサービスプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

**1** **FOMA端末をパソコンに接続する。**

**2** **「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ハイパーターミナル」の順に選ぶ。**

● ハイパーターミナルが起動します。
● Windows XPをお使いの場合は、「プログラム」が「すべてのプログラム」と表示されます。



次ページへ続く

**3** 「名前」に接続先名など任意の名前を入力し、「OK」をクリックする。

● 電話番号の詳細設定画面が表示されます。




**4** 「接続方法」から「FOMA SH900i」を選び、「電話番号」に実在しない電話番号(「0」など)を仮入力して、「OK」をクリックする。

● 市外局番には、Windowsに設定されている値「03」などが表示されていますが、接続先(APN)の設定とは関係ありませんので、任意の値を設定してください。




**5** 接続画面が表示されたら「キャンセル」をクリックする。

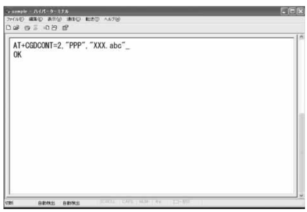
**6** 接続先(APN)を入力し、⏎を押す。

● 「AT+CGDCONT=<cid>, "PPP", "APN"」の形式で入力します。(☞P.413)
<cid> : 2~10までのうち任意の番号を入力します。
" PPP ": そのまま " PPP " と入力します。
" APN ": 接続先(APN)の名称を "　" で囲んで入力します。
● 「OK」と表示されると、APNの設定は完了です。
● 現在の接続先(APN)設定を確認したい場合は、「AT+CGDCONT?⏎」と入力すると、接続先(APN)設定が一覧で表示されます。(☞P.385)




**7** 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」メニューから「ハイパーターミナルの終了」を選ぶ。

● ハイパーターミナルが終了します。
● 「セッション×××を保存しますか?」と表示されますが、保存する必要はありません。




## ■ATコマンドで接続先(APN)設定をリセットするには

リセットした場合、<cid>=1のみ「mopera.ne.jp」(初期値)に戻り、<cid>=2~10の設定は未登録になります。

● AT+CGDCONT=⏎　　　　:すべてのcidをリセットする場合
● AT+CGDCONT=<cid>⏎　:特定のcidのみリセットする場合

## ATコマンドで接続先（APN）設定を確認するには

- AT+CGDCONT?⏎
  ATコマンドについて詳しくは、P.413を参照してください。




## ATコマンドを入力しても画面に何も表示されないときは

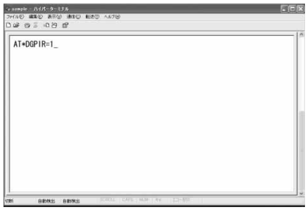
- ATE1⏎
  ATコマンドについて詳しくは、P.416を参照してください。

# 発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

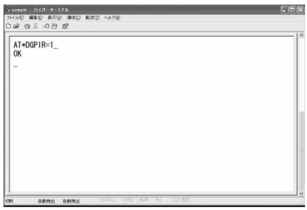
**1** **P.383〜P.384の操作１〜５を行う。**

**2** **パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定する。**




- 「AT∗DGPIR=<n>」の形式で入力します。（☞P.413）
  AT∗DGPIR=1⏎：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。
  AT∗DGPIR=2⏎：
  パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

**3** **「OK」と表示されたことを確認する。**



## ■ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。
＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合は、次のようになります。

| ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=1の場合） | ＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定 | 発信者番号の通知／非通知 |
|---|---|---|
| ＊99＊＊＊1# | 設定なし（初期値） | 通知 |
| | 非通知 | 非通知 |
| | 通知 | 通知 |
| 184＊99＊＊＊1# | 設定なし（初期値） | 非通知（ダイヤルアップネットワークの「184」が優先される） |
| | 非通知 | |
| | 通知 | |
| 186＊99＊＊＊1# | 設定なし（初期値） | 通知（ダイヤルアップネットワークの「186」が優先される） |
| | 非通知 | |
| | 通知 | |

- 「186」（通知）／「184」（非通知）を「設定なし」（初期値）戻すには、「AT＊DGPIR=0」と入力してください。
- ドコモのインターネット接続サービスmoperaをご利用になる場合は、発信者番号を「通知」または「設定なし」に設定する必要があります。

# ダイヤルアップネットワークを設定する

接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

## 接続先について

パケット通信では、あらかじめ接続先（APN）設定をしておきます。接続先（APN）設定で1～10の管理番号（cid）に接続先（APN）を登録しておけば、その管理番号を指定してパケット通信を行うことができます。接続先（APN）設定とはパソコンでパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、通常の電話帳と比較すると次のようになります。

| 電話帳の登録 | パケット通信の設定 |
|---|---|
| 登録番号（メモリ番号） | 1～10の管理番号（cid） |
| 相手の名前 | 接続先の名前（接続先（APN）） |
| 相手の電話番号 | ＊99＊＊＊<cid># |

たとえば、moperaの接続先（APN）、「mopera.ne.jp」をcid1に登録している場合、「＊99＊＊＊1#」という接続先番号を指定すると、moperaに接続できます。他のcidに登録した場合も同様です。

＊99＊＊＊1#：cid1に登録した接続先（APN）に接続します。＊99#でも接続できます。
＊99＊＊＊2#：cid2に登録した接続先（APN）に接続します。
　≀
＊99＊＊＊10#：cid10に登録した接続先（APN）に接続します。

お買い上げ時は、cid1にはドコモのインターネット接続サービスmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」があらかじめ登録されています。moperaの接続先（APN）以外のインターネットサービスプロバイダや企業LANに接続する場合は、cid2～10に接続先を登録してください。（☞P.384）

## Windows XPでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows XPでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先（APN）とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

### ■ 接続先を設定する

＜例＞<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

**1** 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリックする。

- ネットワーク接続画面が表示されます。

**2** 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリックする。

- 新しい接続ウィザード画面が表示されます。

**3** 「次へ」をクリックする。

- ネットワーク接続の種類を選ぶ画面が表示されます。

**4** 「インターネットに接続する」を選び、「次へ」をクリックする。

- 準備画面が表示されます。



次ページへ続く

## 5 「接続を手動でセットアップする」を選び、「次へ」をクリックする。

- インターネット接続画面が表示されます。

## 6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選び、「次へ」をクリックする。

- デバイスの選択画面が表示されます。

## 7 「モデム－FOMA SH900i（COMx）」を選び、「次へ」をクリックする。

- 「x」には数字が入ります。
- 接続名画面が表示されます。

## 8 「ISP名」に任意の接続名を入力し、「次へ」をクリックする。

- ダイヤルする電話番号画面が表示されます。



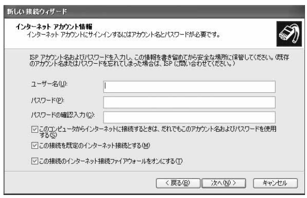

## 9 「電話番号」に接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする。

- インターネットアカウント情報画面が表示されます。




## 10 「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、各項目を画面例のように設定し、「次へ」をクリックする。

- 新しい接続ウィザードの完了画面が表示されます。
- mopera 以外のプロバイダに接続する場合の「ユーザー名」と「パスワード」は、プロバイダでご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。




## 11 「完了」をクリックする。

- 新しく作成した接続ウィザードが表示されます。

## 12 設定内容を確認し、「キャンセル」をクリックする。

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認のみを行います。

## TCP/IPプロトコルを設定する

**1** **作成した接続先アイコンを選び、「ファイル」メニューの「プロパティ」を選ぶ。**

- 接続先のプロパティ画面が表示されます。

**2** **「全般」タブの各項目の設定を確認する。**




- パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」の「FOMA SH900i」が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。
- 「ダイヤル情報を使う」が□になっていることを確認します。☑の場合は、□にします。

**3** **「ネットワーク」タブをクリックし、各項目の設定を確認する。**




- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。
- 「この接続は次の項目を使用します」の欄は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみを☑にします。「QoSパケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしておいてください。

**4** **「設定」をクリックする。**

- PPP設定画面が表示されます。

**5** **すべての項目を□にし、「OK」をクリックする。**




- 接続先のプロパティ画面に戻ります。

**6** **「OK」をクリックする。**

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。

## Windows 2000 Professionalでダイヤルアップネットワークの設定をする

Windows 2000 Professionalでは「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先とTCP/IPプロトコルの両方を設定します。

### ■ 接続先を設定する

＜例＞<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

**1 「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリックする。**

- ネットワークとダイヤルアップ接続画面が表示されます。

**2 「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリックする。**

- 所在地情報画面が表示されます。
- この画面は「新しい接続の作成」を初めてダブルクリックしたときに表示されます。
  ２回目以降の場合は、操作５へ進みます。

**3 「市外局番」を入力し、「OK」をクリックする。**

- 電話とモデムのオプション画面が表示されます。

**4 「OK」をクリックする。**

- ネットワークの接続ウィザード画面が表示されます。

**5 「次へ」をクリックする。**

- ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

**6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選び、「次へ」をクリックする。**

- ウィザードの開始画面が表示されます。

**7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選び、「次へ」をクリックする。**

- インターネットの選択画面が表示されます。

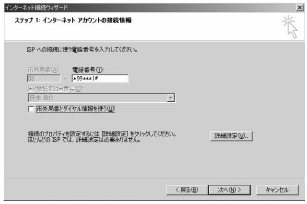
**8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選び、「次へ」をクリックする。**

- モデムの選択画面が表示されます。

**9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA SH900i」に設定されていることを確認し、「次へ」をクリックする。**

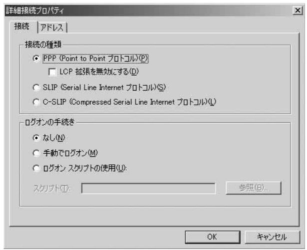
- インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。
- 「FOMA SH900i」に設定されていない場合は、「FOMA SH900i」に設定してください。
- 「FOMA SH900i」以外のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。

## 10 「電話番号」に接続先の番号を入力し、「詳細設定」をクリックする。

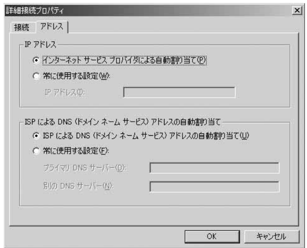


- 詳細設定プロパティの接続画面が表示されます。
- 「市外局番とダイヤル情報を使う」が□になっていることを確認します。☑の場合は□にします。

## 11 「接続」タブの各項目を画面例のように設定する。



## 12 「アドレス」タブをクリックし、各項目を画面例のように設定する。



## 13 「OK」をクリックする。

- インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

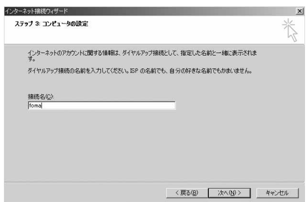
## 14 「次へ」をクリックする。

- インターネットアカウントのログイン情報画面が表示されます。

## 15 「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、「次へ」をクリックする。

- コンピュータの設定画面が表示されます。
- mopera以外のプロバイダに接続する場合の「ユーザー名」と「パスワード」は、プロバイダでご使用のユーザー名とパスワードを入力してください。

## 16 「接続名」に任意の接続名を入力し、「次へ」をクリックする。



- e-mailアカウントの設定画面が表示されます。



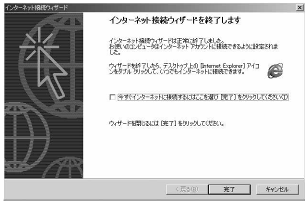
次ページへ続く

**17** **「いいえ」を選び、「次へ」をクリックする。**

● インターネット接続ウィザードの終了画面が表示されます。

**18** **「今すぐインターネットに接続するにはここを選び「完了」をクリックしてください」を□にし、「完了」をクリックする。**

● ネットワークとダイヤルアップ接続画面に戻ります。




## TCP/IPプロトコルを設定する

**1** **作成した接続先アイコンを選び、「ファイル」メニューの「プロパティ」を選ぶ。**

● 接続先のプロパティ画面が表示されます。

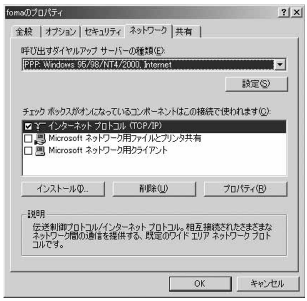
**2** **「全般」タブの各項目の設定を確認する。**

● パソコンに２台以上のモデムが接続されている場合は、「接続の方法」の「FOMA SH900i」が☑になっているか確認します。□の場合は、☑にします。
●「ダイヤル情報を使う」が□になっていることを確認します。☑の場合は□にします。




**3** **「ネットワーク」タブをクリックし、各項目の設定を確認する。**

●「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows95/98/NT4/2000,Internet」に設定します。
● コンポーネントは「インターネットプロトコル(TCP/IP)」のみを☑にします。




**4** **「設定」をクリックする。**

● PPPの設定画面が表示されます。

**5** **すべての項目を□にし、「OK」をクリックする。**

● 接続先のプロパティ画面に戻ります。



## 6 「OK」をクリックする。

- 接続先とTCP/IPプロトコルが設定されます。

# Windows Meでダイヤルアップネットワークの設定をする

## ■ 接続先を設定する

＜例＞<cid>=1を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

## 1 「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする。

- 初めて操作したときは、ダイヤルアップネットワークへようこそ画面が表示されます。
- ２回目以降はダイヤルアップネットワークへようこそ画面は表示されません。操作３へ進みます。

## 2 「次へ」をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

## 3 「新しい接続」をダブルクリックする。

- 接続名を入力する画面が表示されます。

## 4 「接続名」に任意の接続名を入力し、「次へ」をクリックする。



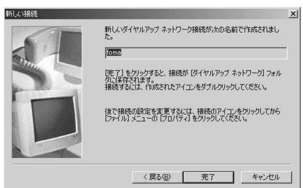

- 接続先電話番号の指定画面が表示されます。
- 「モデムの選択」が「FOMA SH900i」に指定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA SH900i」に設定してください。

## 5 接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする。




- ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面が表示されます。
- 「市外局番」欄には何も入力しません。

## 6 接続先名を確認し、「完了」をクリックする。




- 接続先が設定されます。

## TCP/IPプロトコルを設定する

### 1 作成した接続先アイコンを選び､「ファイル」メニューの「プロパティ」を選ぶ。

● 接続先の詳細設定画面が表示されます。

### 2 「全般」タブの各項目の設定を確認する。

● 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」が□になっているか確認します。☑の場合は□にします。
● 「接続方法」が「FOMA SH900i」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA SH900i」に設定してください。



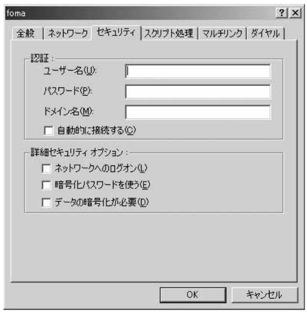

### 3 「ネットワーク」タブをクリックし、各項目の設定を確認する。

● 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」に設定します。
● 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」のみを☑します。




### 4 「セキュリティ」タブをクリックし、「ユーザー名」と「パスワード」には何も入力せず、「次へ」をクリックする。

● mopera 以外のプロバイダに接続する場合の「ユーザー名」および「パスワード」は、プロバイダでご使用のユーザー名およびパスワードを入力してください。




### 5 「OK」をクリックする。

● TCP/IPが設定されます。

# Windows 98でダイヤルアップネットワークの設定をする

## 接続先を設定する

＜例＞<cid>=１を使いドコモのインターネット接続サービスmoperaへ接続する場合

**1** **「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする。**

- 初めて操作したときは、ダイヤルアップネットワークへようこそ画面が表示されます。
- ２回目以降はダイヤルアップネットワークへようこそ画面は表示されません。操作３へ進みます。

**2** **「次へ」をクリックする。**

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

**3** **「新しい接続」をダブルクリックする。**

- 接続名を入力する画面が表示されます。

**4** **「接続名」に任意の接続名を入力し、「次へ」をクリックする。**

- 接続先電話番号の指定画面が表示されます。
- 「モデムの選択」が「FOMA SH900i」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA SH900i」に設定してください。




**5** **接続先の番号を入力し、「次へ」をクリックする。**

- ダイヤルアップネットワーク接続の完了画面が表示されます。
- 「市外局番」欄には何も入力しません。




**6** **接続先名を確認し、「完了」をクリックする。**

- 接続先が設定されます。



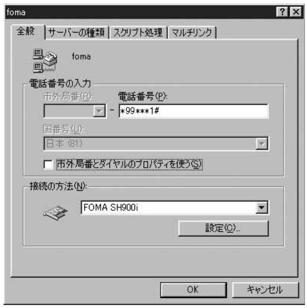
## TCP/IPプロトコルを設定する

**1** **作成した接続先アイコンを選び、「ファイル」メニューの「プロパティ」を選ぶ。**

- 接続先の全般設定画面が表示されます。

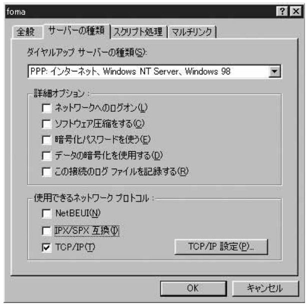
**2** **「全般」タブの各項目の設定を確認する。**

- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」が□になっているか確認します。☑の場合は□にします。
- 「接続の方法」が「FOMA SH900i」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA SH900i」に設定してください。




**3** **「サーバーの種類」タブをクリックし、各項目の設定を確認する。**

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「使用できるネットワークプロトコル」は「TCP/IP」のみを☑にします。




**4** **「OK」をクリックする。**

- TCP/IPが設定されます。

FOMA PC設定ソフトを利用しない設定方法

# ダイヤルアップ接続する

＜例＞Windows Meでダイヤルアップ接続する場合

## 1 FOMA端末をパソコンに接続する。

## 2 「スタート」メニュー→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリックする。

- ダイヤルアップネットワーク画面が表示されます。

## 3 接続先のアイコンをダブルクリックする。

- 接続画面が表示されます。
- 接続先のアイコンを選び、「接続」メニューの「接続」を選び、接続画面が表示されます。




## 4 各項目を確認し、「接続」をクリックする。

- 接続先へ接続されます。
- 「電話番号」には「ダイヤルアップネットワークを設定する」（☞P.387）で設定した電話番号が表示されます。
- 接続先がmoperaの場合、ユーザー名・パスワードの入力は不要です。




## ■ 切断するには

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行って切断してください。

## 1 タスクトレイの「 」をダブルクリックする。

- 接続の画面が表示されます。

## 2 「切断」をクリックする。

- 接続が切断されます。

# 64Kデータ通信の設定と接続

FOMA PC設定ソフトを使わずに、64Kデータ通信を設定する方法について説明します。
- 64Kデータ通信の条件について（☞P.351）

## 接続先とダイヤルアップネットワークの設定をする

64Kデータ通信の接続先およびTCP/IPプロトコルを設定します。64Kデータ通信では、接続先（APN）の設定はありません。接続先にはインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者から指定されたアクセスポイントの電話番号を入力します。ダイヤルアップネットワークの設定は、パケット通信と同じです。（☞P.387）
- 「発信者番号通知／非通知の設定」（☞P.385）、「その他の設定」は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。
- 設定内容の詳細については、インターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- moperaをご利用の場合、アクセスポイントの電話番号は「＊9601」となります。

## 接続先にダイヤルアップ接続する

パケット通信と同じ操作です。詳しくはP.397を参照してください。

# データの送受信（OBEX）について

## FOMA端末内のデータをパソコンと送受信する

- FOMA端末は、データ通信用のプロトコルとして、OBEXを持っています。本データ通信（OBEXによるデータの送受信）を使ってパソコンとの間で電話帳、電話番号表示の所有者情報、スケジュール、ToDo、送信メール（SMS含む）、受信メール（SMS含む）、未送信メール（SMS含む）、テキストメモ、メロディ、イメージ、ｉモーション、ダウンロードした画像、取り込んだｉモーション、ブックマークのデータを送受信することができます。また、FOMA SH900iには赤外線通信機能が搭載されています。赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末やパソコンなどと電話帳や受信メールなどのデータを送信したり、受信したりすることができます。
  パソコンなどとのケーブル接続によるメロディ、イメージ、ｉモーションのデータ送受信には対応しておりません。miniSDメモリーカード経由でデータの転送を行う必要があります。（☞P.404）
- FOMA端末では、次の３とおりのデータ送信が可能です。
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを１件ずつ送信する（１件書き込み）
  - ■ パソコンからFOMA端末にデータを一括して送信する（全件書き込み）
  - ■ FOMA端末からパソコンにデータを一括して送信する（全件読み出し）
- データの送受信中は圏外となり、音声電話やテレビ電話、ｉモードやｉモードメール、パケット通信などはできません。
- データの送受信終了後、しばらく「圏外」と表示される場合があります。

**お知らせ**

- FOMA端末とパソコンの接続が正しくできているか十分に確認してください。正しく接続されていない場合、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池をフル充電して、電池残量が充分残っていることを確認してください。電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
- パソコンの電源についても確認してください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- 待受画面の状態でデータ通信を行ってください。
- 通信中（音声通話やテレビ電話、データ通信）にデータの送受信はできません。また、データの送受信中には他の通信もできません。ただし、データの送受信開始直後などは着信を受ける場合があります。その場合、データの送受信が中止されます。
- FOMAカード内の電話帳は送信できません。
- 赤外線通信時、メールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディ、静止画やｉモーションはパソコンに送信できません。ただし、内蔵のカメラで撮影した静止画や動画は、ファイル制限が「あり」に設定されていても送信されます。
- メロディ（MFi）が貼り付けられているメール、ｉモーション取得前のｉモーションメール、およびｉアプリの起動指定が貼り付けられているメールは、それぞれ貼り付けられているデータを削除して送信されます。
- 赤外線通信時、FOMA端末内のFOMAカード動作制限のため表示できない画像、演奏できないメロディ、再生できないｉモーションは送信できません。
- オールロック（☞『基本編』P.191）、およびPIMロック（☞『基本編』P.194）、またはセルフモード（☞『基本編』P.197）が設定されている場合、電話帳データの送受信はできません。
- ダイヤル発信制限（☞『基本編』P.195）が設定されている場合、電話帳データの送受信はできません。
- データの大きさによっては、送受信に時間がかかる場合があります。また、データの大きさによってはFOMA端末で受信できない場合があります。
- データの送受信を行う前に日時設定（☞『基本編』P.56）で日付・時刻が設定されていることを確認してください。日時設定の設定が行われていないときは、受信したスケジュール、ToDoのデータを登録することはできません。
- 電話帳のデータを受信する場合、１件受信のときは、メモリ番号「010」から、全件受信のときは、メモリ番号の情報に従って登録します。
- 電話帳を全件受信すると、電話番号表示に登録されている所有者情報（電話番号を除く）も上書きされます。
- 電話帳はメモリ番号順に送信されます。
- 全件転送を行うと電話番号表示の所有者情報は電話帳と一緒に送信されます。

## ■ データの送受信（OBEX）に必要な機器

- データの送受信を行うには、OBEXに準拠したデータ転送用のソフトをインターネットからダウンロードし（☞P.404）、パソコンにインストールする必要があります。データ転送用のソフトの動作環境、インストール方法については、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。また、あらかじめSH900i通信設定ファイルのインストール（☞P.356～P.361）が必要です。
- FOMA端末とパソコンの接続には、FOMA USB接続ケーブルが必要です。

**お知らせ**

- FOMA端末のデータの送受信（OBEX）機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手機器がIrMC1.1に準拠していてもアプリケーションによっては送受信できないデータがあります。

# データを1件送信する（1件書き込み）

- パソコンからFOMA端末へデータを１件ずつ送信します。
- FOMA端末からパソコンへ１件ずつ送信することはできません。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

**1** **パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信（1件書き込み）の操作を行う。**

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

**2** **データ送信を開始する。**

- FOMA端末で受信が終わり、約30秒以内にデータ保存操作をしないと、受信したデータを破棄して画面を終了します。

**お知らせ**

- 電話帳のデータを1件ずつ受信するとき（パソコンからFOMA端末（本体）へ送信するとき）は電話帳のメモリ番号「010」～「749」の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。「010」～「749」がすべて登録されているときは、「000」～「009」(「ツータッチダイヤル」（☞『基本編』P.135））の空いているメモリ番号の中で最も若いメモリ番号に登録されます。
- 電話帳のデータを受信した場合、すでに名前や電話番号またはメールアドレスが750件登録されているときや750件を超えるときは、登録できないことを通知するメッセージが表示されます。

## データを全件転送する（全件書き込み／全件読み出し）

- パソコンとFOMA端末の間で一括書き込みと一括読み出しができます。
- 「全件書き込み」あるいは「全件読み出し」の操作では、データ転送用のソフトとFOMA端末の両方で認証パスワードを入力する必要があります。
- データ送信の操作方法は、データ転送用のソフトによって異なります。詳しくは、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。

**1 パソコンからデータ転送用のソフトを使ってデータ送信（全件転送）の操作を行う。**

- データ送信のしかたについては、データ転送用のソフトの取扱説明書を参照してください。
- パソコン側でも認証パスワードの入力が必要です。
- 認証パスワードは４桁の数字を入力してください。

**2 FOMA端末で、端末暗証番号（４～８桁の数字）と認証パスワード（４桁の数字）を入力し、全件書き込みできるようにする。**

**3 データ送信を開始する。**

**お知らせ**

- パソコンから FOMA 端末への全件書き込みを行うと FOMA 端末のデータはすべて書き換えられます。元のFOMA端末のデータは消去されるのでご注意ください。シークレット登録した電話帳、スケジュール、保護されたメールを含みます。
- パソコンからFOMA端末への全件書き込みの途中で送信エラーが起こると、送信中のFOMA端末のすべてのデータが消去されることがあります。全件書き込みの前にケーブルの接続、FOMA端末の電池残量、パソコンの電源の状態を確認してください。FOMA端末を卓上ホルダで充電しながら操作することをおすすめします。
- 相手の機器によっては、通信状況（バー表示）が表示されないことがあります。

▶MEMO◀

# 付録

# データリンクソフトのご紹介

「SHシリーズデータリンクソフト」を使って、FOMA端末と接続したパソコンとの間でデータを転送することができます。また、miniSDメモリーカードとパソコンとの間でもデータを転送することができます。
データリンクソフトは、http://k-tai.sharp.co.jp/soft/soft.htmlよりダウンロードいただけます。

- ダウンロードするには、インターネットに接続した環境のパソコンが必要です。
- また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- ダウンロード方法、操作方法など詳細については、上記インターネットホームページまたは、データリンクソフトのヘルプを参照してください。

## 対応機種と転送できるデータ

| 対応機種 | SH900i | | SH505iS | | SH505i | | SH252i | SH251iS | SH251i |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 転送手段／データ項目 | miniSDメモリーカード※3 | 通信ケーブル | miniSDメモリーカード※3 | 通信ケーブル※1 | miniSDメモリーカード※3 | 通信ケーブル※1 | 通信ケーブル※1 | 通信ケーブル（読込のみ） | |
| 電話帳、メール、ブックマーク、スケジュール | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| メロディ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| ToDoリスト、テキストメモ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| ピクチャ（静止画） | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○※2 | ○ |
| ムービー（動画） | ○ | × | ○ | × | ○ | × | × | ○※4 | × |
| インポート | ○ | × | ○ | × | ○ | × | × | × | × |

- ダウンロードした画像（Flash画像を含む）、ｉモードメールへの貼付または添付が禁止されたメロディは転送されません。
- ○の項目でも、携帯電話で設定可能なすべての項目を読み込み、編集できるわけではありません。

※1　書き込みできるのは、FOMA端末から通信ケーブルで読み込んだデータと、新規データだけです。
※2　Eアニメは読み込みできません。
※3　miniSDメモリーカードとデータの転送をする場合、パソコン側にminiSDメモリーカードを読み書きできる機器が必要です。
※4　読み込みは可能ですが、他の機種への書き込みはできません。

## 動作環境

パソコン本体：PC/AT互換機
CPU：Pentiumまたは100%互換のプロセッサ（Pentium II 266MHz以上を推奨）
HDD：インストール時に50MB以上の空き容量が必要
　　（画像などの読み込みには別途空き容量が必要）
ディスプレイ：800×600ドット以上の解像度、ハイカラー以上の表示能力
メモリ：64MB以上を推奨（Windows XPは128MB以上を推奨）
OS：Microsoft Windows 98 Second Edition/Windows Me/Windows 2000 Professional/
　　Windows XP Home Edition/Windows XP Professional（いずれも日本語版）
ブラウザ：Internet Explorer 5.5以降
通信ポート：USBポート（Ver1.1以上）。ただし、USBハブの使用はできません。
　　使用可能なポート番号はCOM１からCOM16までです。
その他：miniSDメモリーカードを読み書きできる機器

## ケーブル

データリンクソフトを利用するには「FOMA USB接続ケーブル」（SH900i用）が必要です。

## データリンクソフトのご使用にあたって

- 著作権について
  本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権はシャープ株式会社に帰属します。
- 免責事項について
  シャープ株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、シャープ株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

## データリンクソフトに関する技術的なお問い合わせ先

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL　03-5396-2351
受付時間：平日10:00〜12:00／13:00〜17:00
（土・日・祝日および所定の休日を除く）



# 外部機器との連携

対応する外部機器を利用してminiSDメモリーカードに保存した動画を、FOMA端末で再生できる場合があります。
対応機器などについて詳しくは、http://k-tai.sharp.co.jp/products/sh900i.shtmlをご覧ください。または下記にお問い合わせ下さい。

シャープ　データ通信サポートセンター
TEL　03-5396-2351
受付時間：平日10:00〜12:00／13:00〜17:00
（土・日・祝日および所定の休日を除く）

## 動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画を再生するには、アップルコンピュータ（株）のQuickTime™ Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3+3GPP）が必要です。
QuickTime™ Playerは、アップルコンピュータ（株）のホームページからダウンロードできます。

- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法などについて詳しくは、アップルコンピュータ（株）のホームページをご覧ください。

# こんな表示が出たら

基本機能やネットワークサービスに関するエラーメッセージについては「基本編」に記載しています。こちらもあわせてご覧ください。

## ｉモード関連

● ｉモード関連のエラーメッセージ中の（　）で囲まれた数字は、ｉモードセンターから送信されるもので、エラーの内容を区別するためのコードです。

| 表　示 | 説　明 | ページ |
|---|---|---|
| 「FOMAカードが異なるためご利用できません」 | ● FOMAカード動作制限機能により保護されている画像やメロディを選んで実行しようとしたときに表示されます。<br>● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選んで実行しようとしたときに表示されます。 | P.22<br>P.22 |
| 「FOMAカードが異なるため指定されたソフトが起動できませんでした」 | ● FOMAカード動作制限機能によって制限されているｉアプリを指定して起動しようとした場合に表示されます。 | P.22 |
| 「SMSがいっぱいです　これ以上コピーできません」 | ● FOMA端末（本体）またはFOMAカード内のSMSが最大件数まで保存されていてコピーできなかったときに表示されます。 | P.173<br>P.174 |
| 「ｉアプリTo設定されていません」 | ● サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメールからソフトを起動しようとしたときに、指定したソフトが連携許可されていないため、起動できません。 | P.78 |
| 「ｉモーション再生サイズを超えています」 | ● 標準タイプのｉモーションを取り込むときに、ｉモーションのサイズが300Kバイトを超えているため取り込みができない場合に表示されます。 | P.109 |
| 「ｉモーション再生サイズを超えました」 | ● 標準タイプのｉモーションを取り込むときに、ｉモーションのサイズが300Kバイトを超えているため取り込みが完了しなかった場合に表示されます。 | P.109 |
| 「ｉモーション最大サイズを超えています」 | ● ストリーミングタイプのｉモーションを取り込むときに、ｉモーションのサイズが２Mバイトを超えているため取り込みができない場合に表示されます。 | P.109 |
| 「ｉモーション最大サイズを超えました」 | ● ストリーミングタイプのｉモーションを取り込むときに、ｉモーションのサイズが２Mバイトを超えているため取り込みが完了しなかった場合に表示されます。 | P.109 |
| 「サービス未契約です」 | ● ｉモードをご契約いただいていないため、ｉモードのサービスをご利用になれません。<br>ｉモードをご利用になるにはお申し込みが必要です。 | P.26 |
| 「SSL通信が切断されました」 | ● SSL通信に対応したサイトやインターネットホームページに接続できなかったときに表示されます。<br>再び接続し直してください。 | P.36 |
| 「SSL通信が無効です」 | ● SSL通信の認証中にエラーが発生してSSL通信が切断されたときに表示されます。 | P.36 |
| 「SSL通信が無効に設定されています」 | ● 証明書設定で「無効」に設定した証明書を受信したときに表示されます。<br>証明書の内容を確認し、証明書を有効に設定してから再び接続し直してください。 | P.64 |
| 「URLが長すぎて登録できません」 | ● URLが登録可能文字数を超えるため、ブックマークへ登録できません。 | P.45 |
| 「応答がありませんでした（408）」 | ● サイトやインターネットホームページからの応答がなく、通信が中断されました。もう一度接続してみてください。 | P.39 |

| 表　示 | 説　明 | ページ |
|---|---|---|
| 「外部機器接続中のため使用できません」 | ● 外部機器接続中のため、ｉモードを終了する以外のｉモードの操作はできません。 | P.355 |
| 「携帯電話情報を送信しますか？」 | ● サイトやインターネットホームページを閲覧中に表示されることがあります。「はい」を選んで◉（選択）を押すと、携帯電話情報が送信されます。送信したくないときは「いいえ」を選んで◉（選択）を押すか、CLRを押すとコンテンツ表示画面に戻ります。<br>送信される携帯電話情報は、お客様のFOMA端末の製造番号、FOMAカードの識別番号です。これらの情報はインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。 | P.35 |
| 「圏外です」 | ● サービスエリア外や電波が届かないところで、ｉモードのサービスを利用しようとしたときに表示されます。<br>「Yıl」が表示されるところまで移動してｉモードのサービスをご利用ください。 | － |
| 「このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください　変更しますか？」 | ● ｉモーションタイプ設定を「標準タイプ」に設定しているときに、ストリーミングタイプのｉモーションを取り込もうとしたときに表示されます。 | P.109 |
| 「このサイトとのSSL通信は無効です」 | ● 書き換えられたSSL証明書を受信したときに表示されます。このサイトやインターネットホームページとはSSL通信できません。 | P.36 |
| 「このサイトの安全性が確認できません　接続しますか？」 | ● サポート外のSSL証明書を受信したときに表示されます。<br>接続するときは、「はい」を選んで◉（選択）を押します。接続しないときには、「いいえ」を選んで◉（選択）を押します。 | P.36 |
| 「このサイトは安全でない可能性があります　接続しますか？」 | ● 期限切れまたは有効期間前の SSL サーバ証明書を受信したときに表示されます。<br>接続するときは、「はい」を選んで◉（選択）を押します。接続しないときには、「いいえ」を選んで◉（選択）を押します。 | P.36 |
| 「この接続先の安全性が確認できません　接続しますか？」 | ● 端末内のSSLルート証明書が期限切れの場合に表示されます。<br>接続するときは、「はい」を選んで◉（選択）を押します。接続しないときには、「いいえ」を選んで◉（選択）を押します。<br>「日時設定」を行ってください。 | P.36 |
| 「この接続先は安全でない可能性があります　接続しますか？」 | ● 正しくない情報をもった SSL サーバ証明書を受信したときに表示されます。<br>接続するときは、「はい」を選んで◉（選択）を押します。接続しないときには、「いいえ」を選んで◉（選択）を押します。 | P.36 |
| 「このデータは再生できない可能性があります　取得しますか？」 | ● MP4（Mobile MP4）形式以外のｉモーションを取り込んだときに表示されます。 | P.285 |
| 「これ以上保護できません」 | ● 画面メモ／メッセージR／F／メール／送信済みメールで保護できる最大件数を超えています。保護を解除してください。 | P.20<br>P.52<br>P.187 |
| 「最大サイズを超えたので中断しました」 | ● サイトやインターネットホームページで受信したデータが1ページの最大サイズを超えたため、受信を中断し、取得したところまでのデータを表示します。<br>● メロディやダウンロード辞書を取り込み中に最大サイズを超えた場合に表示されます。 | P.43<br><br>－ |

付録

| 表　示 | 説　明 | ページ |
|---|---|---|
| 「サイトが移動しました（301）」 | ● サイトやインターネットホームページが移動したため、URL が変更されています。<br>ブックマークに登録されている場合は登録し直してください。 | P.45 |
| 「サイトに接続できませんでした（403）」 | ● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。 | P.39 |
| 「削除される添付ファイルがあります」 | ● 転送するｉモードメールに、ｉモードメールへの添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルが添付されています。<br>◉（選択）を押すと、ファイルが削除された状態でｉモードメール編集画面が表示されます。 | P.138 |
| 「指定サイトがみつかりません（404）」 | ● サイトやインターネットホームページが見つかりませんでした。サイトやインターネットホームページが存在しない可能性があります。 | － |
| 「指定サイトに表示データがありません（204）」 | ● 接続したサイトやインターネットホームページに表示するデータがない場合に表示されます。 | － |
| 「指定されたソフトがありません」 | ● ｉモードメール、赤外線通信機能からのｉアプリ起動時に、該当するソフトがない場合に表示されます。 | P.79 |
| 「指定されたソフトが起動できませんでした」 | ● サイトやインターネットホームページ、メッセージR／Fやｉモードメール、赤外線通信機能からソフトを起動しようとした場合、指定したソフトが起動できなかったときに表示されます。 | P.79 |
| 「指定したサイトへは接続できませんでした（504）」 | ● 何らかの原因でサイトやインターネットホームページに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。 | P.39 |
| 「しばらくお待ちください」 | ● 発信規制中です。しばらくたってからｉモードをご利用ください。 | － |
| 「セキュリティエラーのため終了しました」 | ● ｉアプリが不正な動作をしようとしました。<br>● ソフトが許可されている機能以外の動作をしようとする場合に表示されます。セキュリティエラーによりソフトが終了した場合、エラー履歴が保存されます。 | P.89<br>P.89 |
| 「接続が中断されました」 | ● 電波が弱いため、ｉモードが中断されました。<br>電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。<br>● 電波が強く「Yıll」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトやインターネットホームページが非常に混みあっています。しばらくたってから接続してください。 | 基P.63<br><br>－ |
| 「接続できません」 | ● 接続先の設定が正しくないときに表示されます。<br>ｉモード設定の「接続先選択」で接続先を正しく設定し直してください。<br>● 何らかの原因でｉモードに接続できませんでした。もう一度接続してみてください。 | P.62<br><br>P.39 |
| 「接続先番号が無効です」 | ● 接続先電話番号をお買い上げ時の設定から変更された場合、ｉモードに接続できません。お買い上げ時の設定に戻してください。 | P.62<br>P.68 |
| 「設定時間内に接続できませんでした」 | ●「接続待ち時間設定」で設定した接続待ち時間となったため、サイトやインターネットホームページへの接続、ｉモードメールの送信などが中断されました、しばらくたってからサイトやインターネットホームページへの接続やｉモードメール送信などを行ってください。 | P.61 |

付録

| 表　示 | 説　明 | ページ |
|---|---|---|
| 「送信できませんでした」 | ● ｉモードメールやSMSを正常に送信できなかった場合に表示されますので、電波の強いところでもう一度メールを送信し直してください。「宛先を確認してください」がいっしょに表示されるときは、宛先の修正を行ってから送信してください。<br>「ｉモードセンターが混みあっています」がいっしょに表示されるときは、しばらくたってから送信し直してください。また、「送信先のメールがいっぱいです」がいっしょに表示されるときは、送信先でメールを受け取ることができないためメールを送信できません。 | － |
| 「そのソフトは最新です」 | ● ｉアプリが更新されていないためバージョンアップされません。 | P.87 |
| 「ソフトに誤りがあります」 | ● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。 | － |
| 「ソフトに誤りがあるためダウンロードできません」 | ● ｉアプリのデータが不正のためダウンロードやバージョンアップができません。 | － |
| 「対応機種ではありません」 | ● 取得しようとしたｉアプリがFOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。 | － |
| 「ダウンロード中止しました」 | ● ダウンロード中に、ダウンロード中止操作を行ったときに表示されます。 | P.56<br>P.72 |
| 「ダウンロードできませんでした」 | ● ダウンロードするデータがない場合や、データが正しくない場合に表示されます。ダウンロードすることはできません。<br>● 正しくない、または未対応の形式であるためダウンロードできません。 | P.55<br>－ |
| 「重複するアドレスがあります」 | ● ｉ　モードメール作成時、同じメールアドレスを宛先や同報として複数設定することはできません。重複するアドレスを削除して送信してください。 | P.129 |
| （赤外線通信中に）<br>「中断されました」<br>「接続相手が見つかりません　続けますか？」<br>「認証に失敗しました　続けますか？」 | ● 赤外線通信を中止する操作をしたときに表示されます。<br>● 通信相手が認識できなかったときに表示されます。「はい」を選び、◉を押すと、もう一度やり直すことができます。<br>● 赤外線通信が正確に行えなかったときに表示されます。「はい」を選び、◉を押すと、もう一度やり直すことができます。 | P.326<br>P.326<br>P.326 |
| 「添付のファイルはｉモードに送信できません」 | ● 10000バイトを超える静止画を添付したｉモードメールはFOMA端末に送信できません。 | P.136 |
| 「入力データまたはURLが長すぎます」 | ● テキストボックスなどで入力した文字やURLなどの文字数が多すぎて送信することができません。<br>文字数を減らしてから送信し直してください。 | － |
| 「入力データをご確認ください（205）」 | ● サイトやインターネットホームページで入力を行い送信した後に、サーバがこの内容をリセットしたいときに表示されます。<br>画面上の入力した文字や設定が消去されます。（直前に送信した内容はすでに送信されています。） | － |
| 「認証タイプに未対応です（401）」 | ● 認証できないときに表示されます。<br>元のページに戻ります。 | － |
| 「認証を中止しました」 | ● 認証画面で「キャンセル」を選択したとき、またはCLRを押したときに表示されます。 | － |
| 「パスワードをご確認ください（401）」 | ● 認証画面で認証できないときに表示されます。 | － |
| 「ファイルを添付することができません」 | ● サイズを超えているため添付できません。本文を削除するかファイルを添付せずに送信してください。 | P.138 |

付録

| 表　示 | 説　明 | ページ |
|---|---|---|
| 「無効なデータを受信しました（301）」「無効なデータを受信しました（302）」 | ● 受信したデータにエラーがあるため表示できません。受信したデータは破棄されます。 | − |
| 「未送信メールがいっぱいです」 | ● 保護された送信メールと未送信メールが合計 100 件を超えるために新規メールを作成することができません。保護された送信メールの保護解除を行うか未送信メールを送信あるいは削除してから作成し直してください。 | P.20<br>P.129<br>P.187 |
| 「メモリ不足です」 | ● メモリが不足したため、ソフトを実行できません。<br>● メモリが不足したため処理を中断し、ｉモードを終了します。 | −<br>− |

## ドキュメントビューア関連

| 表　示 | 説　明 | ページ |
|---|---|---|
| 「正しく表示できません」 | ● ファイルサイズが大きく、ドキュメントビューアでファイルが表示できないときに表示されます。<br>● ファイル内に、ドキュメントビューアがサポートしていない機能があるときに表示されます。<br>● メモリ不足などにより、ドキュメントビューアの起動に失敗したときに表示されます。<br>● ドキュメントビューア起動時、タイムアウトが発生し、起動に失敗したときに表示されます。解析に多くの時間がかかるファイルのときに発生します。<br>● ファイルの詳細情報を表示しようとしたとき、情報取得に失敗したときに表示されます。<br>● ドキュメントビューアとしての表示はされますが、更にルーペや指定位置拡大、自動スクロールなどの機能を実行するにはメモリが不足しているときに表示されます。 | P.314<br>P.314<br>−<br>−<br>P.319<br>P.316<br>P.318 |
| 「50 件選択しました　これ以上選択できません」 | ● 選択削除で50件を超えるファイルを選んだときに表示されます。 | P.320 |
| 「エラー発生　ドキュメントビューアを終了します」 | ● ドキュメントビューアが起動され、次ページなどの読み込み時、解析に失敗したときに表示されます。ファイルの途中に壊れた情報が入っているときなどに発生します。 | − |

## マルチメディア関連

| 表　示 | 説　明 | ページ |
|---|---|---|
| 「一部削除できませんでした」 | ● xxxSHARP/xxxSH_UF/PPLxxx 等のフォルダ内にフォルダが存在する場合に表示されます。<br>● パソコンなどで該当フォルダを削除するか、miniSDメモリーカードをフォーマットしてください。 | ー<br>P.345 |
| 「このデータは再生できません 削除しますか？」 | ● 日時設定がリセットされたあとに、ｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。 | ー |
| 「再生可能回数が終了しました 削除しますか？」 | ● 再生可能回数が終了したｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。 | P.106 |
| 「再生可能期限が切れました 削除しますか？」 | ● 再生期間または再生期限が終了したｉモーションを再生しようとしたときに表示されます。 | P.106 |
| 「再生可能日前です 再生できません」 | ● 再生期間が設定されているｉモーションを、再生可能期間前に再生しようとしたときに表示されます。 | P.106 |
| ただいまカメラを使用できません | ● 高温下にて保管されていた場合や、長時間連続でご使用して、カメラ周辺部の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。 | ー |
| 「電池残量が足りません」 | ● 電池残量が不足しています。カメラモードを起動できません。充電してからお使いください。 | 基P.47 |
| 「[M]点灯」 | ● イメージのメモリの空き容量が6Kバイト未満になったとき、または静止画の保存件数が300件に達したときに表示されます。<br>● イメージの画像を整理し、空き容量を確保してから、もう一度操作を行ってください。 | ー<br>ー |
| 「[M]点灯」 | ● ｉモーションのメモリの空き容量が10Kバイト未満になったとき、または動画／ｉモーションの保存件数が100件に達したときに表示されます。<br>● ｉモーションの画像を整理し、空き容量を確保してから、もう一度操作を行ってください。 | ー<br>ー |
| 「[M]点灯」 | ● イメージとｉモーションのメモリの空き容量について、上記の両方の状態が重なったときに表示されます。 | ー |
| 「未対応画像です編集できません」 | ● 画像データが正しくないため編集ができません。 | ー |
| 「メモリが少なくなっています 不要な画像を削除してください」 | ● 本体の空きメモリが少なくなっているため、現在の設定のままで撮影した画像を保存するには、すでに保存されている別のファイルを削除して空きエリアを増やす必要があります。 | ー |

付録

# ATコマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。パソコンでコマンドを入力すると、その内容に従ってFOMA端末が動作します。

## ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて入力します。必ず半角英数字で入力してください。以下に入力例を示します。

ATD＊99＊＊＊1#↵

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、必ず１行で入力します。１行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、160文字（「AT」含む）まで入力できます。

## ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作するには、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作することができます。

- オフラインモード
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作を行います。
- オンラインデータモード
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中はATコマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA端末が通信中の状態でも、特別な操作（下記参照）をすると、ATコマンドでFOMA端末を操作することができる状態になります。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

**お知らせ**
- ターミナルモードとは、パソコンを１台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

## オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、以下の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C（＊）のER信号をOFFにします。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

（＊）USBインターフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

# ATコマンド一覧

[M] ：FOMA SH900i Modem Portで使用できるATコマンドです。

● 着信機能（パケット通信、64Kデータ通信）はありません。

| ATコマンド | 概　要 | パラメータ／説明 | コマンド実行例 |
|---|---|---|---|
| AT%V<br>[M] | FOMA端末のバージョンを表示します。 | FOMA端末のバージョンをVerX.XX等の形式で表示します。 | AT%V↵<br>Ver1.00<br>OK |
| AT&C<n><br>[M] | DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。※1 | n=0：回路CDを常にON<br>n=1：回路CD信号は回線接続状態に従って変化します（お買い上げ時）<br>「&C 1」に設定する場合は、接続完了時のCONNECTを送出する直前にCD信号を「ON」にします。回路が切断され、“NO CARRIER”を送出する直前にCD信号を「OFF」にします。 | AT&C1↵<br>OK |
| AT&D<n><br>[M] | オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号が「ON」から「OFF」に変わったときの動作を設定します。※1 | n=0：状態を無視します（常にONとみなす）<br>n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモード<br>n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモード（お買い上げ時） | AT&D1↵<br>OK |
| AT&F<br>[M] | FOMA端末のATコマンド設定値を工場出荷時の状態にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。 | — | AT&F↵<br>OK |
| AT&S<n><br>[M] | DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御のしかたを設定します。※1 | n=0：常時ON（お買い上げ時）<br>n=1：回線接続時にDR信号ON | AT&S0↵<br>OK |
| AT&W<br>[M] | 現在の設定値をFOMA端末に記憶します。※5 | — | AT&W↵<br>OK |
| AT∗DGPIR=<n><br>[M] | 本コマンドの設定は、発信時に有効です。ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けることができます。※2 | n=0：パケット通信確立時、接続先（APN）にそのまま接続します（お買い上げ時）<br>n=1：パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します<br>n=2：パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します<br>本コマンドとダイヤルアップネットワークの両方で「186（通知）」／「184（非通知）」を設定した場合については、386ページの表を参照してください。 | AT∗DGPIR=0↵<br>OK<br>AT∗DGPIR?↵<br>∗ DGPIR:0<br>OK |
| +++<br>[M] | FOMA端末のモードをオンラインデータモードからオンラインコマンドモードへ移行します。エスケープガード区間は「1秒」の固定値です。 | — | — |
| AT+CEER<br>[M] | 直前の通信の切断理由を表示します。 | 「切断理由一覧」を参照。（☞P.419） | AT+CEER↵<br>+CEER:36<br>OK |
| AT+CGDCONT<br>[M] | パケット発信時の接続先（APN）を設定します。※2 | 「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.419） | 「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.419） |

付録

| ATコマンド | 概　要 | パラメータ／説明 | コマンド実行例 |
|---|---|---|---|
| AT+CGEQMIN<br>[M] | パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。※2 | 「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.420） | 「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.420） |
| AT+CGEQREQ<br>[M] | パケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。※2 | 「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.421） | 「ATコマンドの補足説明」を参照。（☞P.421） |
| AT+CGMR<br>[M] | FOMA端末のバージョンを表示します。 | — | AT+CGMR↵<br>123456789012345<br>6<br>OK |
| AT+CGREG=<n><br>[M] | ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知されている内容は圏内／圏外です。※1 | <n><br>0： 設定しません（お買い上げ時）<br>1： 設定します<br>「AT+CGREG=1」に設定すると、“+CGREG：<stat>”の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4,5」をサポートします。<br><stat><br>0： 圏外<br>1： 圏内（home）<br>4： 不明<br>5： 圏内（visitor） | AT+CGREG=1↵<br>OK<br>（通知ありに設定）<br>AT+CGREG?↵<br>+CGREG：1,0<br>OK<br>（圏外を意味している）<br>+CGREG：1<br>（圏外から圏内に移動した場合） |
| AT+CGSN<br>[M] | FOMA端末の製造番号を表示します。 | — | AT+CGSN↵<br>123456789012345<br>OK |
| AT+CLIR=<n><br>[M] | 64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手側に通知するかどうかを設定します。※2 | <n><br>0： サービスご契約の設定どおり<br>1： 通知しません<br>2： 通知します（お買い上げ時）<br>「+CLIR?」のとき、AT+CLIR=<n>,<m>を表示します。<br><m><br>0： CLIRは起動していません（常時通知）<br>1： CLIRは常時起動しています（常時非通知）<br>2： 不明<br>3： CLIRテンポラリ-モード（非通知デフォルト）<br>4： CLIR テンポラリ - モード（通知デフォルト） | AT+CLIR?<br>+CLIR：2,3<br>OK |
| AT+CMEE=<n><br>[M] | FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。※1 | エラーを“ERROR”のみで表示するか、理由を文字あるいは数値でレポートするかを設定します。<br><n><br>0： リザルトコードを使用せずに“ERROR”を表示します（お買い上げ時）<br>1： リザルトコードを使用し、数字で理由を表示します<br>2： リザルトコードを使用し、文字で理由を表示します<br>「n=1」または「n=2」でエラーレポート表示に設定した場合、エラーレポートは以下のように表示されます。<br>+CME ERROR：xxxx（xxxxには数字または文字が表示されます。「エラーレポート一覧」☞P.419） | AT+CMEE=0↵<br>OK<br>AT+CNUM↵<br>ERROR<br>AT+CMEE=1↵<br>OK<br>AT+CNUM↵<br>+CME ERROR:10 |

| ATコマンド | 概　要 | パラメータ／説明 | コマンド実行例 |
|---|---|---|---|
| AT+CNUM<br><br>[M] | FOMA端末の自局番号を表示します。 | number：電話番号<br>type：　129もしくは145<br>129：国際アクセスコード+を含まない<br>145：国際アクセスコード+を含む | AT+CNUM↵<br>+CNUM：“+819012345678”,145<br>OK |
| AT+CR=<mode><br><br>[M] | 回線接続時に“CONNECT”のリザルトコードが表示される前に、パケット通信／64Kデータ通信を表示するかどうかを設定します。※1<br>パケット通信のときは、“GPRS”と表示され64Kデータ通信のときは“SYNC”と表示されます。 | < mode><br>0：回線接続時に表示しません（お買い上げ時）<br>1：回線接続時に表示します | AT+CR=1↵<br>OK<br>ATD＊99＊＊＊1#<br>+CR：GPRS<br>CONNECT |
| AT+CREG=<n><br><br>[M] | ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかを設定します。※1 | 「AT+CREG=1」に設定すると、“+CREG：<stat>”の形式で通知されます。<stat>パラメータは「0,1,4,5」をサポートします。<br><n><br>0：通知なし<br>1：通知あり<br><stat><br>0：圏外<br>1：圏内（home）<br>4：不明<br>5：圏内（visitor） | AT+CREG=1↵<br>OK<br>（通知ありに設定）<br>AT+CREG?↵<br>+CREG：1,0<br>OK<br>（圏外を意味している）<br>+CREG：1<br>（圏外から圏内に移動した場合） |
| AT+GMI<br><br>[M] | FOMA端末のメーカの名前が半角英数字で表示されます。 | — | AT+GMI↵<br>SHARP<br>OK |
| AT+GMM<br><br>[M] | FOMA端末の製品名の略称（FOMA SH900i）がアルファベットおよび数字で表示されます。 | — | AT+GMM↵<br>FOMA SH900i<br>OK |
| AT+GMR<br><br>[M] | FOMA端末のバージョンを表示します。 | FOMA端末のバージョンをVerX.XX等の形式で表示します。 | AT+GMR↵<br>Ver1.00<br>OK |
| AT+IFC=<n,m><br><br>[M] | パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。※1 | DCE by DTE（<n>）<br>0：フロー制御を行いません<br>1：XON/XOFFフロー制御を行います<br>2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行います（お買い上げ時）<br>DTE by DCE（<m>）<br>0：フロー制御を行いません<br>1：XON/XOFFフロー制御を行います<br>2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行います（お買い上げ時） | AT+IFC=2,2↵<br>OK |
| AT+WS46=<n><br><br>[M] | 発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響を与えるものではありません。※1 | n=22：FOMAネットワーク（固定値） | AT+WS46=22↵<br>OK |
| A/<br><br>[M] | 直前に実行したコマンドを再実行するときに使用します。 | — | A/<br>OK |

付録

| ATコマンド | 概　要 | パラメータ／説明 | コマンド実行例 |
|---|---|---|---|
| ATD<br><br>[M] | 発信処理を行います。※3 | ● パケット通信ATD＊99＊＊＊<cid>#↵<br>「ATD＊99#」を入力した場合：<br>「<cid>=1」（お買い上げ時）を用います。（<cid>の入力を省略した場合は、「<cid>=1」になります。）<br>「ATD184＊99＊＊＊<cid>#」で始まる書式を入力した場合：<br>指定した<cid>に規定した接続先（APN）に対して“184”が付加されます。（発信者番号通知ありの“186”でも同様の操作ができます。）<br>● 64Kデータ通信ATD［パラメータ］［電話番号］↵<br>相手側の電話番号に「0〜9、＊、#、A、a、B、b、C、c、D、d、-（ハイフン）、スペース、T、t、P、p、！、W、w、@、,（カンマ）」以外を設定した場合は、発信できません。　　の文字は入力可能ですが、ダイヤル時には認識されません。 | ATD＊99＊＊＊1#↵<br>CONNECT |
| ATE<n><br><br>[M] | パソコンから送信された本コマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。※1 | n=0： エコーバックなし<br>n=1： エコーバックあり（お買い上げ時）<br>通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定してください。 | ATE1↵<br>OK |
| ATH<br><br>[M] | パケット通信および64Kデータ通信時に入力すると、回線を切断します。 | — | （通信中）<br>+++<br>OK<br>ATH↵<br>NO CARRIER |
| ATI<n><br><br>[M] | 確認コードを表示します。 | n=0： NTT DoCoMo<br>n=1： 製品名の略称を表示します（FOMA SH900i）<br>n=2： 製品のバージョンを“VerX.XX”等の形式で表示します | ATI0↵<br>NTT DoCoMo<br>OK |
| ATO<br><br>[M] | 通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻ります。 | — | ATO↵<br>CONNECT |
| ATQ<n><br><br>[M] | リザルトコードを表示するかどうかを設定します。※1 | n=0： リザルトコードを表示します（お買い上げ時）<br>n=1： リザルトコードを表示しません | ATQ0↵<br>OK |
| ATV<n><br><br>[M] | リザルトコードの表示方法を設定します。※1 | すべてのリザルトコードを数字表記あるいは英文字表記で表示します。<br>n=0： リザルトコードを数字表記で表示します<br>n=1： リザルトコードを英文字表記で表示します（お買い上げ時） | ATV1↵<br>OK |

| ATコマンド | 概　要 | パラメータ／説明 | コマンド実行例 |
|---|---|---|---|
| ATX<n><br><br>[M] | 接続のCONNECT表示に速度表示の有無を設定します。また、ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行います。※1 | ビジートーン検出：<br>接続先が通話中のとき、BUSY応答を送出します。<br>ダイヤルトーン検出：<br>FOMA端末に接続されているかどうかを判定します。<br>速度表示：<br>接続時のCONNECT表示に速度を表示するかどうかを設定します。<br>n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし<br>n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり<br>n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり<br>n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり<br>n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） | ATX1↵<br>OK |
| ATZ<br><br>[M] | FOMA端末のATコマンド設定値をリセットします。※4 | FOMA端末のATコマンド設定値を不揮発メモリの内容にリセットします。通信中に本コマンドを入力した場合は、回線を切断してからリセットします。 | （オンライン時）<br>ATZ↵<br>NO CARRIER<br>（オフライン時）<br>ATZ↵<br>OK |
| ATS2=<n><br><br>[M] | エスケープキャラクタの設定を行います。 | n=0〜127（お買い上げ時n=43）<br>n=127に設定するとエスケープは無効になります。 | ATS2=43↵<br>OK<br>ATS2?↵<br>043<br>OK |
| ATS3=<n><br><br>[M] | 復帰（CR）キャラクタの設定を行います。 | ATコマンド文字列の最後を認識するキャラクタを定義します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=13） | ATS3=13↵<br>OK<br>ATS3?↵<br>013<br>OK |
| ATS4=<n><br><br>[M] | 改行（LF）キャラクタの設定を行います。 | 英文でリザルトコードを表示する場合、［CR］キャラクタの後ろに付きます。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=10） | ATS4=10↵<br>OK<br>ATS4?↵<br>010<br>OK |
| ATS5=<n><br><br>[M] | バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。 | ATコマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。設定値は変更できません。（お買い上げ時n=8） | ATS5=8↵<br>OK<br>ATS5?↵<br>008<br>OK |
| ATS6=<n><br><br>[M] | ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。 | 本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。<br>n：2〜10（お買い上げ時n=5） | ATS6=10↵<br>OK |
| ATS7=<n><br><br>[M] | 接続完了までの待ち時間（秒）を設定します。※1 | n：1〜255（お買い上げ時n=60）<br>64Kデータ通信呼およびパケット通信発呼の発呼時に、FOMA端末がパソコンからATD入力を受信してから設定した秒数が経過しても、FOMA端末がパソコンに“CONNECT”を送出できない場合は、“NO CARRIER”のリザルトを返し、切断処理へ移行します。値を「121〜255」に設定した場合、“OK”のリザルトを返しますが、値は「120」に設定されます。 | ATS7=60↵<br>OK |

| ATコマンド | 概　要 | パラメータ／説明 | コマンド実行例 |
|---|---|---|---|
| ATS8=<n><br>[M] | カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定します。 | 本コマンドによりレジスタは設定されますが、ポーズ時間（3秒）に影響しません。<br>n=0：　ポーズしません<br>n=1：　1〜255（お買い上げ時n=3） | ATS8=3⏎<br>OK |
| ATS10=<n><br>[M] | 自動切断の遅延時間（秒）を設定します。（1/10秒）※1 | 本コマンドによりレジスタは設定されますが、動作しません。<br>n:1〜255（お買い上げ時n=1） | ATS10=1⏎<br>OK |
| ATS30=<n><br>[M] | データの送受信をこの時間以上行わないと切断します。 | 本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<n>は分単位で設定します。<br>n:0〜255（お買い上げ時n=0）<br>n=0は不活動タイマオフ | ATS30=3⏎<br>OK |
| ATS103=<n><br>[M] | 着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 | 本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<br>n=0：　＊アスタリスク<br>n=1：　／スラッシュ（お買い上げ時）<br>n=2：　¥マークあるいはバックスラッシュ | ATS103=0⏎<br>OK |
| ATS104=<n><br>[M] | 発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 | 本コマンドの設定は、64Kデータ通信時のみ有効です。<br>n=0：　＃シャープ<br>n=1：　%パーセント（お買い上げ時）<br>n=2：　＆アンド | ATS104=0⏎<br>OK |
| AT¥S<br>[M] | 現在の設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。 | — | AT¥S⏎<br>E1 Q0 V1 X4<br>&C1 &D2 &S0 ¥V0<br>S000=000<br>S002=043<br>S003=013<br>S004=010<br>S005=008<br>S006=005<br>S007=060<br>S008=003<br>S010=001<br>S030=000<br>S103=001<br>S104=001<br>OK |
| AT¥V<n><br>[M] | 接続時の応答コード仕様を選択します。※1 | 本コマンドは、ATX<n>コマンド（☞P.417）がn=0以外のときのみ有効です。<br>n=0：　拡張リザルトコードを使用しません（お買い上げ時）<br>n=1：　拡張リザルトコードを使用します | AT¥V1⏎<br>OK |

※1「&W」コマンドでFOMA端末に記憶されます。

※2「&W」コマンドで FOMA 端末に記憶されません。「&F」「Z」コマンドによるリセットも行われません。

※3「ATDN⏎」や「ATDL⏎」でリダイヤル発信ができます。

※4「&W」コマンドを使用する前に「Z」コマンドを実行すると、最後に記憶した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

※5「&W」コマンドでFOMA端末に記憶された設定値は、(PWR)（POWER）による電源OFF時に不揮発データとしてFOMA端末に格納されます。

## 切断理由一覧

### パケット通信

| 値 | 理　由 |
|---|---|
| 27 | 接続先（APN）が存在しないか、もしくは正しくありません。 |
| 30 | ネットワークによって切断されました。 |
| 33 | パケット通信の契約がされていません。 |
| 36 | 正常に切断されました。 |

### 64Kデータ通信

| 値 | 理　由 |
|---|---|
| 1 | 指定した番号は存在しません。 |
| 16 | 正常に切断されました。 |
| 17 | 相手側が通信中のため、通信ができません。 |
| 18 | 発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。 |
| 19 | 相手側が呼び出し中のため通信ができません。 |
| 21 | 相手側が着信を拒否しました。 |
| 63 | ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。 |
| 65 | 提供されていない伝達能力を指定しました。 |
| 88 | 端末属性の異なる端末に発信したか、もしくは着信を受けました。 |

## エラーレポート一覧

| 数字表示 | 文字表示 | 理　由 |
|---|---|---|
| 10 | SIM not inserted | FOMAカードがセットされていません。 |
| 15 | SIM wrong | ドコモ以外のSIMが挿入されています。 |
| 16 | incorrect password | パスワードが間違っています。 |
| 100 | unknown | 不明なエラーです。 |

## ATコマンドの補足説明

### コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

**概要**

パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。
「&W」コマンドでFOMA端末に記憶されません。「&F」「Z」コマンドによるリセットも行われません。

**書式**

+CGDCONT=[<cid> [, "PPP" [, "<APN>"]]]⏎

**パラメータ説明**

<cid>＊ ：1～10
<APN>＊：任意
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」を登録できます。お買い上げ時は、「<cid>=1」には、moperaに接続するための接続先（APN）、「mopera.ne.jp」が登録されています。<APN>は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

付録

次ページへ続く

### 実行例

「abc」という接続先（APN）名を登録する場合のコマンド（<cid>=3の場合）
AT+CGDCONT=3, "PPP", "abc"↵
OK

### パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=
すべての<cid>の設定をクリアします。ただし、「<cid>=1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=<cid>
指定された<cid>の設定をクリアします。ただし、「<cid>=1」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。
AT+CGDCONT=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGDCONT?
現在の設定値を表示します。

## ■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

付録

### 概要

PPPパケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。
設定パターンは、以下のコマンド実行例に記載されている４パターンが設定できます。
「&W」コマンドでFOMA端末に記憶されません。「&F」「Z」コマンドによるリセットも行われません。

### 書式

AT+CGEQMIN=[<cid> [,, <Maximum bitrate UL> [, <Maximum bitrate DL>]]]↵

### パラメータ説明

<cid>＊：1〜10
<Maximum bitrate UL>＊：なし（初期値）または64
<Maximum bitrate DL>＊：なし（初期値）または384
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1〜10」が登録できます。「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

### 実行例

以下の４パターンのみ設定できます。(1) の設定が各cidに初期値として設定されています。
（1） 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=2の場合）
AT+CGEQMIN=2↵
OK
（2） 上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=3の場合）
AT+CGEQMIN=3,,64,384↵
OK
（3） 上り64kbps／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（<cid>=4の場合）
AT+CGEQMIN=4,,64↵
OK
（4） 上りすべての速度／下り384kbps速度のみ許容する場合のコマンド（<cid>=5の場合）
AT+CGEQMIN=5,,,384↵
OK

### パラメータを省略した場合の動作
AT+CGEQMIN=
すべての<cid>の設定をクリアします。
AT+CGEQMIN=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=?
設定可能な値のリストを表示します。
AT+CGEQMIN?
現在の設定を表示します。

## ■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

### 概要
PPPパケット通信時の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
設定は以下のコマンド実行例に記載されている１パターンのみで初期値としても設定されています。
「&W」コマンドでFOMA端末に記憶されません。「&F」「Z」コマンドによるリセットも行われません。

### 書式
AT+CGEQREQ=[<cid>]⏎

### パラメータ説明
各cidにはその内容がお買い上げ時に設定されています。
<cid>＊：1〜10
<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1〜10」を登録できます。
上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド

### 実行例
（<cid>=3の場合）
AT+CGEQREQ=3⏎
OK

### パラメータを省略した場合の動作
AT+CGEQREQ=
すべての<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=<cid>
指定された<cid>をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=?
設定可能な値のリスト値を表示します。
AT+CGEQREQ?
現在の設定を表示します。

# リザルトコード

## ■ リザルトコード

| 数字表示 | 文字表示 | 意　味 |
|---|---|---|
| 0 | OK | 正常に実行しました。 |
| 1 | CONNECT | 相手側と接続しました。 |
| 3 | NO CARRIER | 回線が切断されました。 |
| 4 | ERROR | コマンドを受け付けることができません。 |



次ページへ続く

| 数字表示 | 文字表示 | 意　味 |
|---|---|---|
| 5 | NO DIALTONE | ダイヤルトーンの検出ができません。 |
| 6 | BUSY | 話中音の検出中です。 |
| 7 | NO ANSWER | 接続完了　タイムアウト |
| 100 | RESTRICTION | ネットワークが規制中です。 |
| 101 | DELAYED | リダイヤル発信規制中です。 |

## ■拡張リザルトコード

| 数字表示 | 文字表示 | 意　味 |
|---|---|---|
| 5 | CONNECT 1200 | FOMA端末－PC間速度1200bpsで接続しました。 |
| 10 | CONNECT 2400 | FOMA端末－PC間速度2400bpsで接続しました。 |
| 11 | CONNECT 4800 | FOMA端末－PC間速度4800bpsで接続しました。 |
| 13 | CONNECT 7200 | FOMA端末－PC間速度7200bpsで接続しました。 |
| 12 | CONNECT 9600 | FOMA端末－PC間速度9600bpsで接続しました。 |
| 15 | CONNECT 14400 | FOMA端末－PC間速度14400bpsで接続しました。 |
| 16 | CONNECT 19200 | FOMA端末－PC間速度19200bpsで接続しました。 |
| 17 | CONNECT 38400 | FOMA端末－PC間速度38400bpsで接続しました。 |
| 18 | CONNECT 57600 | FOMA端末－PC間速度57600bpsで接続しました。 |
| 19 | CONNECT 115200 | FOMA端末－PC間速度115200bpsで接続しました。 |
| 20 | CONNECT 230400 | FOMA端末－PC間速度230400bpsで接続しました。 |
| 21 | CONNECT 460800 | FOMA端末－PC間速度460800bpsで接続しました。 |



お知らせ

- リザルトコードは、ATV<n>コマンド（☞416）がn=1に設定されている場合は英文字表記（初期値）、n=0に設定されている場合は数字表記で表示されます。
- 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため、通信速度は表示します。ただし、FOMA端末－PC間はFOMA USB接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。
- 「RESTRICTION」（数字：100）が表示された場合は、通信ネットワークが混雑してます。しばらくしてから接続し直してください。

# 通信プロトコルリザルトコード

| 数字表示 | 文字表示 | 意　味 |
|---|---|---|
| 1 | PPPoverUD | 64Kデータ通信で接続 |
| 5 | PACKET | PACKETで接続 |

### リザルトコード表示例

ATX0が設定されている場合

AT¥Vコマンド（☞P.418）の設定にかかわらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD∗99∗∗∗1#
CONNECT

数字表示例：ATD∗99∗∗∗1#
1

ATX1が設定されている場合

● ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）

接続完了のときに、CONNECT<FOMA端末－PC間の速度>の書式で表示します。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1 21

● ATX1、AT¥V1が設定されている場合※

接続完了のときに、以下の書式で表示します。

CONNECT <FOMA端末－PC間の速度>PACKET <接続先（APN）>／<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>／<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp /64/384
（mopera.ne.jpに、上り最大64kbps、下り最大384kbpsで接続したことを表します。）

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
1 21 5

※ ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しく行えない場合があります。AT¥V0のみでのご利用をおすすめします。

# 主な仕様（マルチメディア）

付属の16MバイトのminiSDメモリーカード（試供品）に保存できる静止画撮影枚数、動画撮影時間、音声録音時間の目安は次のとおりです。

● 保存できる枚数や時間は、撮影環境や被写体などの条件により、少なくなることがあります。

## 静止画撮影枚数

| | ECONOMY | NORMAL | FINE | SUPER FINE |
|---|---|---|---|---|
| サブ待受：160×120 | 約800枚 | 約400枚 | 約400枚 | － |
| TV電話：176×144 | 約400枚 | 約400枚 | 約280枚 | － |
| メイン待受：240×320 | 約400枚 | 約280枚 | 約140枚 | － |
| CIF：352×288 | 約400枚 | 約280枚 | 約140枚 | － |
| VGA：480×640 | 約280枚 | 約170枚 | 約140枚 | － |
| XGA：768×1024 | 約140枚 | 約75枚 | 約50枚 | 約40枚 |
| SXGA：960×1280 | 約140枚 | 約60枚 | 約45枚 | 約30枚 |
| 2M記録：1224×1632 | 約140枚 | 約50枚 | 約30枚 | 約20枚 |

## 動画撮影時間

| | ECONOMY | NORMAL | FINE |
|---|---|---|---|
| Sub QCIF：128×96 | 約72分 | 約49分 | 約37分 |
| QCIF：176×144 | 約61分 | 約37分 | 約25分 |
| HQVGA：240×176 | 約14分 | 約7分 | 約5分 |
| QVGA：320×240 | － | － | 約5分 |

## 音声録音時間（ボイスレコーダー）

● 最大約２時間です。

# 索引



付録

## た



## は

付録

付録

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

# マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

## こんな場合は必ず電源を切りましょう

### ■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

★航空機内　★病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

### ■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

### ■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

### ■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

## 使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

### ■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

### ■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

## プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

## こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

**●マナーモード（☞『基本編』P.139）／オリジナルマナーモード（☞『基本編』P.140）**

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが機能します（マナーモード）。マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（伝言メモ、着信バイブレータ、マナートークモード）のON（設定）／OFF（解除）を設定することもできます（オリジナルマナーモード）。

**●ドライブモード（☞『基本編』P.76）**

電話をかけてきた相手の方に、運転中のため電話に出られないことをお知らせするガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので、安全に運転できます。

**●着信バイブレータ（☞『基本編』P.141）**

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

**●伝言メモ（☞『基本編』P.79）**

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス（☞『基本編』P.263）、転送でんわサービス（☞『基本編』P.271）などのオプションサービスが利用できます。

**マナーもいっしょに携帯しましょう。**

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

## 販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ九州
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ四国

---

製造元　シャープ株式会社

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK™
Trademark of American Soybean Association
この印刷物は、植物性大豆油インキを使用しています

Li-ion
環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMo
または代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

'05.1（10版）
TINSJA006AFZi
05A 30.0 DS TU432⑪

FOMA SH900i

# ｉアプリのご紹介

お買い上げ時は、FOMA端末には３本のソフトが入っています。お客様のFOMA端末をより楽しく便利にご使用いただけるソフトをご利用ください。

キティと一緒にテレビをコントロール！
キティDEリモコン２

FOMA端末で戦闘機ドッグファイトを満喫！
パイロットになろう！ **SH**

絵文字を使ったメールを楽しもう！
**Dimo**絵文字メール

- 「Dimo絵文字メール」の利用方法については、「FOMAｉモード操作ガイド」を参照してください。
- 掲載のソフトは削除することができます。ソフトを削除後に再度ご利用になる場合は、「SH-MODE」からダウンロードしてください。

【アクセス方法】（2004年3月現在）
ⓘ➡「Menu」選択➡◉➡「メニューリスト」選択➡◉➡「ケータイ電話メーカー」選択➡◉➡「SH-MODE」選択➡◉
※アクセス方法は予告なしに変更されることがあります。
※上記サイトをご覧になるには、別途ｉモード契約が必要です。

## ｉアプリの使いかた

**1** ⓘを**1**秒以上押す。
- ｉアプリ画面が表示されます。

**2** 「❶ソフト一覧」を選び、◉を押す。



- ソフト一覧画面が表示されます。

ソフトを起動するとき
- ◎で起動するソフトを選び、◉を押します。

起動しているソフトを終了するとき
- ☎を押したあと、◎で「はい」を選び、◉を押します。

## お問い合わせ先

ドコモの携帯電話・PHSからの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話からはご利用になれません。
一般電話等からの場合
0120-800-000
携帯・PHS OK ※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。


販売元　NTT DoCoMoグループ
製造元　シャープ株式会社
'05.1（2版）
TINSJA007AFZA
05A 30.0 DS TU⑪






# パイロットになろう！ SH

飛行機の操縦を楽しむ、本格的なフライトシミュレーションゲームです。

最初は簡単な射撃訓練からはじまり、クリアするごとに上位のミッション（任務）に挑戦できます。上位のミッションでは、戦闘機や輸送機まで登場して白熱したドッグファイトも楽しめます。

- プロペラ機とジェット機の操縦をシミュレーション
  プロペラ機とジェット機で各2種の戦闘機を選択することができます。
  また、機体を選択する際は、各機体のイメージや飛行能力などを確認することもできます。
- 飛行するミッションを自由に選択
  飛行トレーニングからドッグファイトまで、難易度の異なる3つのミッションが用意されています。飛行する時にお好きなミッションを選択してゲームをお楽しみいただけます。



## ソフトを起動する

**1** ソフト一覧画面から◎で「パイロットになろう！ **SH**」を選び、◉を押す。
- ソフトが起動し、タイトル画面が表示されます。

**2** タイトル画面で◉を押す。



- メニューが表示されます。
- このあと、◎で次の各メニューを選び、◉を押すと、次の各操作が行えます。
  - ■ FLIGHT…機体とミッション（任務）を選び、ゲームを開始
  - ■ HI-SCORE…各機体のミッションごとのハイスコアを表示
  - ■ OPTION…ゲーム中の詳細を設定
  - ■ HELP…機体を操作するボタンの使い方、ゲームのルール、計器の説明などを表示
- 各メニュー内の画面で（戻る）を押すと、メニューに戻ります。

**3** メニューから◎で「**FLIGHT**」を選び、◉を押す。



- 機体選択画面になります。操縦する機体は次の中から選択できます。

| 種類 | 機体種別 | 機体名 |
|---|---|---|
| 1 | プロペラ | A6M3 |
| 2 | | P51D |
| 3 | ジェット | F16C |
| 4 | | J39A |



**4** ◎で操縦したい機体名を選ぶ。

機体のイメージを確認するとき
- 機体を選択した状態で ✱ を押すと機体確認画面が表示されます。
  画面下に選択した機体の性能が以下のように表示されます。
  - ■ WEAPON：搭載武器
  - ■ SPEED ：速度
  - ■ DEFENCE ：防御能力
  - ■ TURN：旋回能力
  - ■ ATTACK ：攻撃能力
  
  ※ 速度、防御能力、旋回能力、攻撃能力のランクは、D〜A・Sの５段階表示とグラフで表示されます。



- （戻る）を押すと機体選択画面に戻ります。

**5** ◉を押す。

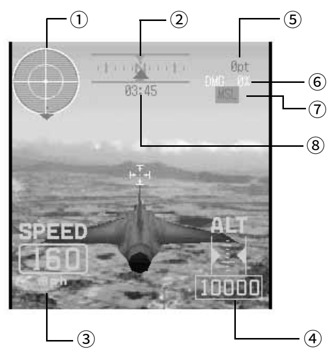


- ミッション選択画面になります。ミッションは次の中から選択できます。

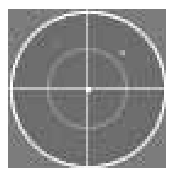
| ミッション名 | オブジェクト | 内　容 |
|---|---|---|
| 1 射撃訓練 | バルーン 20個 | 空中に浮かんでいるターゲットバルーンを破壊する。 |
| 2 敵機撃墜 | 戦闘機 20機 | 敵戦闘機を撃墜する。 |
| 3 敵輸送機撃墜 | 敵輸送機 10機、護衛機 20機 | 敵輸送機を撃墜する。護衛機は、撃墜する必要なし。 |

※ ミッションクリアは70ポイント以上の獲得が条件となります。
- 最初はミッション1（射撃訓練）以外選択できません。ミッション1（射撃訓練）をクリアすると、次のミッションが選択できるようになります。

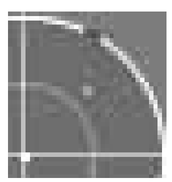
**6** ◎でミッション名を選び、◉を押す。




- フライト画面になります。
- 制限時間内にターゲットをすべて破壊し、70ポイント以上獲得するとミッション成功、次のステージに進むことができます。制限時間をオーバーしたり、敵に撃墜されるか、墜落するとミッション失敗です。また、自機がダメージを受けたときにバイブレーションを発生させることもできます。
- 操作方法
  射撃訓練ミッションのバルーンは、機銃やミサイルで破壊します。ミサイルを使用する場合、画面上に敵機が見えているときはロックオンしますが、敵機が移動することにより避けられることがあります。また、ミサイルを発射すると、一定時間経過するまで次の発射ができません。
  - ■ ◎：機首の上げ下げ（ピッチ）や左右の旋回（バンク）など、機体のコントロールに使います。また、◎の代わりに5 8 7 9でも操作できます。
  - ■ ◉：選択した武器（機銃またはミサイル）を発射します。
    ※ミサイルは、ジェット機にのみ装備されます。
  - ■ 0〜3：スロットル（推進力）をコントロールします。0（停止）、1（低速）、2（中速）、3（高速）から選択できます。
  - ■ ✱：武器（機銃またはミサイル）を切り替えます。
    ※武器の切り替えは、ジェット機にのみ有効です。
- フライト画面の表示（計器説明）
  ① レーダー：自機を中心とした敵機の位置を確認できます。
  ② 方位計：自機の向いている方向が表示されます。
  ③ 速度計：自機の速度が表示されます。
  ④ 高度計：自機の高度が表示されます。
  ⑤ ＊＊ｐｔ：現在の得点が表示されます。
  ⑥ DMG：自機のダメージ状況が表示されます。この表示が100%になると自機は墜落します。
  ⑦ GUN/MSL：選択している武器（機銃またはミサイル）が表示されます。
  ⑧ TIME：残り時間が表示されます。この時間が0になるとミッション終了となります。



- レーダーの見かた
  - ■ 自機を中心にして上から見下ろした形になります。
  - ■ 画面上部が自機の向いている方向(ヘディング)を示します。
  - ■ 画面上の赤い点は敵、黄色い点はロックオンしている敵を示します。



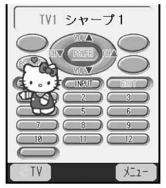
  - ■ レーダーの表示範囲から外れた敵は、外周の縁上に三角マークで表示し、敵の方向を示します。

## こんなこともできます

◖ハイスコアを確認する◗
タイトル画面後のメニュー画面 ➡「HI-SCORE」選択➡◉
- 各機体ごとにミッションごとのハイスコアが表示されます。
- ◎で機体を切り替えることができます。

◖設定を変える（オプション）◗
タイトル画面後のメニュー画面 ➡「OPTION」選択➡◉
- 次の項目について設定ができます。
  ◎でオプション項目を選択、◎で状態を選択し、（戻る）を押すと設定されます。
  ◎で状態を選択する前に（戻る）を押すと、メニュー画面に戻ります。
  - ■ サウンド：サウンドのON／OFFを切り替えることができます。
  - ■ 昇降舵：◎の操作を逆転させることができます。
  - ■ 振動：ダメージを受けたときなどに起こる振動（バイブレータ）のON／OFFを切り替えることができます。

◖ヘルプを見る◗
タイトル画面後のメニュー画面 ➡「HELP」選択➡◉
- ゲームの操作方法、ルール、計器について説明が表示されます。




# キティDEリモコン２

キティと一緒に、FOMA端末で楽しくテレビをコントロール。FOMA端末を閉じたままでもテレビの音量変更やチャンネル切替が可能です。

- サブディスプレイと背面ボタンを使って、FOMA端末を閉じたままで、リモコン操作を行うことができます。
- 待受画面に設定すると、ボタンひとつでリモコンを表示させることができます。
- 毎月キティが模様替え。更に待受画面に設定すれば、待受画像としてキティのアニメが楽しめます。
- 主要メーカーのテレビリモコンコードに対応。最新のコードをサイトからダウンロードすることもできます。



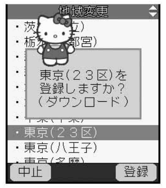
## ソフトを起動する

**1** ソフト一覧画面から◇で「キティDEリモコン２」を選び、●を押す。

- ソフトが起動し、リモコン画面が表示されたら、◎（メニュー）➡「リモコン設定」選択➡●➡「地域変更」選択➡●を押します。




**2** 地域変更画面から◇で、リモコンを使用する地域を選び、◎（登録）を押す。




- 地域データダウンロードの確認画面が表示されます。
- ⓘ（中止）を押すと、リモコン画面が表示されますが、地域未設定ですので「放送局確認」が行えません。

**3** ◎（登録）を押す。

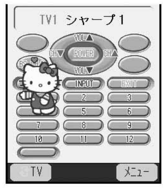



- 地域データがダウンロードされ、選局ボタン設定中画面のあと、選局ボタン変更画面が表示されます。（選んだ地域の放送局が表示されます。）
- 地域データダウンロード時には、あらかじめ選局ボタンが設定されています。
- 選局変更画面でアプリを終了させると、地域データが削除されますのでご注意ください。

**4** ◇で設定する放送局を選び、登録したいダイヤルボタン（1～9、＊、0、＃）を押す。

- 各項目の該当するダイヤルボタンが表示されます。
- 操作をくり返して、必要な選局ボタンの設定を行います。
- 地域によっては、受信している放送局が表示されない場合があります。そのときは、「放送局その他」をご利用ください。

**5** 選局ボタンの設定完了後、◎（登録）を押す。

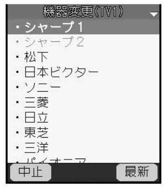



- リモコン画面になります。（リモコン操作に使用するボタンが表示されます。）
- 画面の上部には、現在設定されているテレビのメーカー名（お買い上げ時は、「シャープ１」が表示されています。お使いのテレビが合っているときは、そのままリモコンとしてお使いになれます。お使いのテレビと異なる場合は、操作6以降を行ってください。

**6** リモコン画面で◎（メニュー）を押し、「リモコン設定」を選び、●を押す。

- リモコン設定メニューが表示されます。

**7** ◇で「機器変更」を選び、●を押す。




- 登録されているテレビのメーカー名が表示されます。（メーカーによっては、ＴＶコードが複数あります。）

お使いのテレビのメーカー名がないとき

- 次の操作で最新のＴＶコードをダウンロードすることができます。
- ◎（最新）➡◎（取得）を押すと「SH-MODE」に登録されている最新のＴＶコードリストがダウンロードされる➡ダウンロードする機器を選ぶ➡●
- 一部のメーカーや機器には対応しておりません。

**8** ◇でお使いのテレビのメーカーを選び、●を押す。

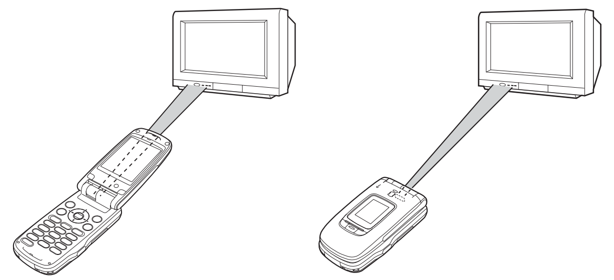
- リモコン画面に戻ります。これで準備ＯＫです。

## リモコンの基本操作

◖リモコン操作のしかた◗

FOMA端末の赤外線ポートをテレビのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。

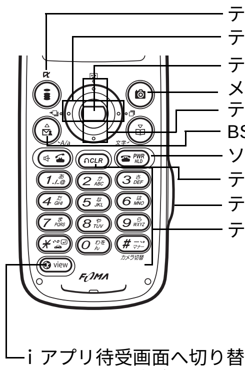
- 操作できる距離は、およそ４ｍです。（テレビや周囲の明るさによって、変わります。）
- リモコンは赤外線機能を利用しています。詳しくは、取扱説明書『FOMA SH900i 取扱説明書　アプリケーション編』P.331を参照してください。
- セルフモード時はリモコンを操作することができません。
- リモコンは、一部機種に対応していない場合があります。また、操作と異なる動作をする場合があります。
- サブディスプレイのメニュー表示は、英語で表示されます。日本語で表示することはできません。





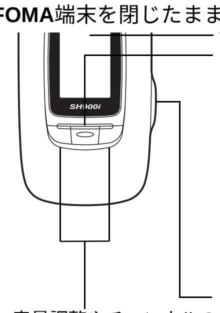
◖リモコン操作に使用するボタン◗

**FOMA端末を開いたままで操作する場合**




- テレビ機器の切り替え（TV1～TV9）
- テレビのチャンネルを切り替え
- テレビの電源をON/OFF
- メニューを表示
- テレビの音量を調整（◇：大、◇：小）
- BSチャンネルの切り替え
- ソフトを終了
- テレビ入力の切り替え
- テレビの電源をON/OFF
- テレビのチャンネルを選択
  - 1～9：1～9チャンネル
  - ＊：10チャンネル
  - 0：11チャンネル
  - ＃：12チャンネル
  - ※放送局の割り当ては変更できます。
- ｉアプリ待受画面へ切り替え
  - ※ｉアプリ待受画面へ切り替えます。また、待受画面に「キティ DEリモコン２」を設定している場合、view ワンタッチでリモコンが使用できる状態になります。

**FOMA端末を閉じたままで操作する場合**




- サブディスプレイ
- メニューの選択
  1. POWER/INPUT：テレビの電源ON/OFF／テレビ入力の切り替え
  2. VOLUME：音量調整
  3. CHANNEL：チャンネル選択
  4. SYSTEM：終了（待受画面設定時は、ｉアプリ画面に戻ります。）
  - ※待受画面に「キティDEリモコン2」を設定している場合は、背面中央ボタンを1秒以上押すと、リモコンが使用できる状態になります。
- テレビの電源をON/OFF
- 音量調整やチャンネルの切り替えなど
  - ※サブディスプレイに表示されている機能を実行します。

## アプリを待受画面に設定する

待受画面にキティを表示させ、ボタンひとつでリモコンを表示させることができます。

- リモコン画面および通信中以外の状態（メニュー、ダイアログ、確認画面など）で、２分経過すると、休眠状態になります。元の画面に戻るには、view を押します。背面ディスプレイの場面は、▯（背面中央ボタン）を１秒以上押します。

**1** ソフト一覧画面から◇で「キティDEリモコン2」を選び、◎4を押す。

- 待受画面設定画面が表示されます。

**2** ◇で「はい」を選び、●を押す。

- 待受画面通信設定画面が表示されます。

**3** 1または2を選び、●を押す。

- 2（通信しない）を押すと、情報提供できない場合がありますのでご注意ください。

## 画面の設定を変更する

キティが表示されないリモコン画面にすることができます。

**1** リモコン画面で◎（メニュー）を押し、◇で「画面設定」を選び、●を押す。

**2** ◇で「キティモード」を選び、●を押す。

**3** ◇で「**OFF**」を選び、●を押す。

- キティが表示されなくなります。操作方法等は変わりません。
- リモコン画面の設定は、ソフトを終了しても継続されます。

再度キティを表示させるとき

- ◇で「ON」を選び、●を押します。

## 複数のテレビで利用する

◖テレビを追加する◗

**1** リモコン画面で◎（メニュー）を押し、◇で「リモコン設定」を選び、●を押す。

- リモコン設定メニューが表示されます。

**2** ◇で「機器追加」を選び、●を押す。

- 機器追加画面が表示されます。

**3** ◇で使用するテレビのメーカーを選び、●を押す。

- 追加したテレビ（TV1～TV9）のリモコン画面になります。

◖テレビを削除する◗

**1** リモコン画面で◎（メニュー）を押し、◇で「リモコン設定」を選び、●を押す。

- リモコン設定メニューが表示されます。

**2** ◇で「機器削除」を選び、●を押す。

- 機器削除画面が表示されます。

**3** ◇で削除する機器を選び、◎（削除）を押す。

**4** もう一度、◎（削除）を押す。

- 選択したテレビが削除されます。
- ⓘ（戻る）を押すと、リモコン画面に戻ります。

## こんなこともできます

◖設定されている放送局を確認する◗

◎（メニュー）➡「放送局確認」選択➡●

- 確認を終わるときは、ⓘ（戻る）を押します。

◖ボタンの操作音を鳴らなくする◗

◎（メニュー）➡「サウンド」選択➡●➡「OFF」選択➡●

◖リモコン画面の色を変える◗

◎（メニュー）➡「画面設定」選択➡●➡「パネル色設定」選択➡●➡色を選択➡●

◖ｉアプリ待受画面表示時の画像を設定する◗

◎（メニュー）➡「画面設定」選択➡●➡「待受画像設定」選択➡●➡「オリジナルへ変更」選択➡●➡●➡イメージ（本体）から画像を選択➡●

- view を押すと、選択した画像が表示されます。

※「キティ DEリモコン２」を待受画面に設定したあとで、ｉアプリ待受画面表示の設定を行ってください。ｉアプリ待受画面で設定した画像は、メインディスプレイのみ表示されます。
設定できる画像は表示サイズ240×320以下、ファイルサイズ30Kバイト以下のものに限ります。

◖キティの模様替えをする◗

◎（メニュー）➡「画面設定」選択➡●➡「キティモード」選択➡●➡「月次更新」選択➡●➡◎（はい）

※「月次更新」は、その月の模様替えを行っていないとき、および「キティモード」がＯＮのときのみ選択できます。

◖設定されている地域を変更する◗

◎（メニュー）➡「リモコン設定」選択➡●➡「地域変更」選択➡●➡地域を選択➡●➡◎（登録）➡◎（登録）

- 引き続き、選局ボタン変更を行うときは、「ソフトを起動する」の手順4～5を行います。

◖設定されている選局ボタンを変更する◗

◎（メニュー）➡「リモコン設定」選択➡●➡「選局ボタン変更」選択➡●➡「ソフトを起動する」の手順4～5を行う